別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基本計画									
事項		記入欄							備考
計画の区分		学部の設置							
フリガナ 設置者		ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ　ﾑｻｼﾉﾀﾞｲｶﾞｸ 学校法人　武蔵野大学							
フリガナ 大学の名称		ﾑｻｼﾉﾀﾞｲｶﾞｸ 武蔵野大学　(Musashino University)							
大学本部の位置		東京都江東区有明三丁目3番3号							
大学の目的		本学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を育成するとともに、学問の研究を深め、世界の平和と人類の幸福に寄与することをもって目的とする。							
新設学部等の目的		【アントレプレナーシップ学部】 仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。 【アントレプレナーシップ学科】 変革期を迎え、予測困難で多様性に富んだ現代社会の中で、高い倫理観と好奇心をもって、世界の幸せのために未知なるものに挑戦しようという志、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、多様な背景を持つ人を巻き込みながら、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	アントレプレナーシップ学部 ［Faculty of Entrepreneurship］ アントレプレナーシップ学科 ［Department of Entrepreneurship］	年 4	人 60	年次 人 －	人 240	 学士 （ビジネス） 【Bachelor of Business】	年　月 第　年次 令和3年4月 第1年次	 （1～4年次） 東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	計		60	－	240				
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）		・文学部日本文学文化学科［定員減］　(△20)　(令和3年4月) ・人間科学部社会福祉学科［定員減］　(△12)　(令和3年4月) ・薬学部薬学科［定員減］　(△15)　(令和3年4月) ・看護学部看護学科［定員減］　(△20)　(令和3年4月) ・データサイエンス学部データサイエンス学科［定員増］　(20)　(令和3年4月) ・法学研究科ビジネス法務専攻（博士後期課程）　(3)　(令和2年4月届出済み) ・工学研究科数理工学専攻（博士後期課程）　(2)　(令和2年4月届出済み) ・データサイエンス研究科データサイエンス専攻（修士課程）　(20)　(令和2年6月届出済み)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科	82 科目	99 科目	4 科目	185 科目	124 単位			

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分	アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科	人 19 (11)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 19 (11)	人 0 (0)	人 120 (89)	
		データサイエンス研究科 データサイエンス専攻（修士課程）	6 (6)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	令和2年6月届出済み
		法学研究科 ビジネス法務専攻（博士後期課程）	10 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	1 (1)	令和2年4月届出済み
		工学研究科 数理工学専攻（博士後期課程）	4 (4)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	令和2年4月届出済み
		計	39 (31)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	50 (42)	0 (0)	－ (－)	

教員組織の概要	既設分		人	人	人	人	人	人	人	
		文学部 日本文学文化学科	10 (10)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	141 (141)	
		グローバル学部 グローバルコミュニケーション学科	8 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	136 (136)	
		日本語コミュニケーション学科	3 (3)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	148 (148)	
		グローバルビジネス学科	6 (6)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	133 (133)	
		法学部 法律学科	10 (10)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	123 (123)	
		政治学科	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	123 (123)	
		経済学部 経済学科	8 (8)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	116 (116)	
		経営学部 経営学科	9 (9)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	110 (110)	
		会計ガバナンス学科	5 (5)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	116 (116)	
		データサイエンス学部 データサイエンス学科	8 (8)	7 (7)	1 (1)	2 (2)	18 (18)	0 (0)	110 (110)	
		人間科学部 人間科学科	8 (8)	5 (5)	0 (0)	5 (5)	18 (18)	0 (0)	147 (147)	
		社会福祉学科	9 (9)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	127 (127)	
		工学部 環境システム学科	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	136 (136)	
		数理工学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	12 (12)	0 (0)	122 (122)	
		建築デザイン学科	5 (5)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	8 (8)	0 (0)	137 (137)	
		教育学部 教育学科	14 (14)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	160 (160)	
		幼児教育学科	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	164 (164)	
		薬学部 薬学科（6年制）	17 (17)	1 (1)	25 (25)	12 (12)	55 (55)	0 (0)	106 (106)	
		看護学部 看護学科	9 (9)	6 (6)	9 (9)	4 (4)	28 (28)	0 (0)	129 (129)	
		通信教育部 人間科学部人間科学科	11 (11)	7 (7)	1 (1)	7 (7)	26 (26)	0 (0)	137 (137)	※通学課程を兼ねる
		通信教育部 教育学部教育学科	14 (14)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	87 (87)	※通学課程を兼ねる
		計	156 (156)	65 (65)	61 (61)	33 (33)	315 (315)	0 (0)	－ (－)	
	合計		175 (166)	65 (65)	61 (61)	33 (33)	334 (325)	0 (0)	－ (－)	

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計
	事務職員	242 人 (242)	15 人 (15)	257 人 (257)
	技術職員	0 人 (0)	0 人 (0)	0 人 (0)
	図書館専門職員	2 人 (2)	0 人 (0)	2 人 (2)
	その他の職員	12 人 (12)	0 人 (0)	12 人 (12)
	計	256 人 (256)	15 人 (15)	271 人 (271)

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
	校舎敷地	82,698.59 ㎡	1,352.00 ㎡	17,435.45 ㎡	101,486.04 ㎡
	運動場用地	22,313.76 ㎡	0.00 ㎡	12,828.25 ㎡	35,142.01 ㎡
	小計	105,012.35 ㎡	1,352.00 ㎡	30,263.70 ㎡	136,628.05 ㎡
	その他	3,228.91 ㎡	1,708.09 ㎡	545.84 ㎡	5,482.84 ㎡
	合計	108,241.26 ㎡	3,060.09 ㎡	30,809.54 ㎡	142,110.89 ㎡

武蔵野大学高等学校（収容定員1,200人・運動場基準面積8,400㎡）
武蔵野大学中学校（収容定員750人・運動場基準面積8,400㎡）
千代田インターナショナルスクール東京（収容定員480人・運動場基準面積規定なし）

		専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
校　舎		87,438.76㎡ (87,438.76㎡)	624.78㎡ (624.78㎡)	21,306.50㎡ (21,306.50㎡)	109,370.04㎡ (109,370.04㎡)	武蔵野大学高等学校(収容定員1,200人・校舎基準面積6,240㎡) 武蔵野大学中学校(収容定員750人・校舎基準面積4,320㎡) ・借用面積有明4号館4,735.40㎡ 借用期間：20年6カ月

	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
教室等	133室	40室	78室	6室 (補助職員 5人)	0室 (補助職員 0 人)	大学全体

	新設学部等の名称	室　数	
専任教員研究室	アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科	11 室	1室学長室を兼ねる

	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
図書・設備	アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科	41,907〔7,178〕 (35,519〔6,242〕)	111〔54〕 (111〔54〕)	46〔46〕 (46〔46〕)	94 (94)	49 (49)	0 (0)	
	計	41,907〔7,178〕 (35,519〔6,242〕)	111〔54〕 (111〔54〕)	46〔46〕 (46〔46〕)	94 (94)	49 (49)	0 (0)	

	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
図書館	5,934.14 ㎡	1,092	560,600	大学全体

	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
体育館	4,159.11 ㎡	テニスコート３面	

		区　分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	教員１人当り研究費等		486千円	486千円	486千円	486千円	— 千円	— 千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。 共同研究費は大学全体
		共同研究費等		23,700千円	23,700千円	23,700千円	23,700千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	12,171千円	12,932千円	13,540千円	14,149千円	13,997千円	— 千円	— 千円	
		設備購入費	9,939千円	10,560千円	11,057千円	11,554千円	11,430千円	— 千円	— 千円	

	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
		1,160千円	1,080千円	1,080千円	1,080千円	— 千円	— 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料　等

既設大学等の状況

大学の名称	武蔵野大学								備考
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部						0.93		東京都江東区有明三丁目３番３号	
日本文学文化学科	4	220	2年次 5	871	学士(文学)	0.93	平成23年度		※平成30年度入学定員増（19人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部						0.94		東京都西東京市新町一丁目１番２０号	
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	165	3年次 3	663	学士(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)	0.86	平成28年度		※令和2年度3年次編入学定員（3人）
日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	80	3年次 5	325	学士(日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ)	1.02	平成28年度		※令和2年度3年次編入学定員（5人）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	4	55	3年次 7	227	学士(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ)	1.07	平成28年度		※令和2年度3年次編入学定員（7人）
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部						－			
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	平成23年度		※平成28年度より学生募集停止(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科)
法学部						0.96			
法律学科	4	190	2年次 3	738	学士（法律学）	0.94	平成26年度		※平成30年度入学定員増（50人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人） ※平成31年度入学定員減（△10人） ※令和2年度2年次編入学定員（△2人）
政治学科	4	100	2年次 3	428	学士（政治学）	1.00	平成26年度		※平成30年度入学定員増（20人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人） ※平成31年度入学定員減（△20人） ※令和2年度2年次編入学定員（△2人）
経済学部						0.98			
経済学科	4	175	2年次 3	643	学士（経済学）	0.98	平成26年度		※平成30年度入学定員増（85人） ※平成31年度2年次編入学定員（5人） ※平成31年度入学定員減（△10人） ※令和2年度2年次編入学定員（△2人）
経営学科	4	－	－	－	学士（経営学）	－	平成26年度		※平成31年度より学生募集停止（経営学科）
会計ガバナンス学科	4	－	－	－	学士（会計学）	－	平成30年度		※平成31年度より学生募集停止（会計ガバナンス学科）
経営学部						0.97			
経営学科	4	220	2年次 3	443	学士（経営学）	0.96	平成31年度		※令和2年度2年次編入学定員（3人）
会計ガバナンス学科	4	90	－	180	学士（会計学）	0.99	平成31年度		
政治経済学部						－			
政治経済学科	4	－	－	－	学士（政治経済学）	－	平成10年度		※平成26年度より学生募集停止（政治経済学科）
経営学科	4	－	－	－	学士（経営学）	－	平成24年度		※平成26年度より学生募集停止（経営学科）
データサイエンス学部						1.00			
データサイエンス学科	4	70	－	140	学士（データサイエンス学）	1.00	平成31年度		
人間科学部						0.95			
人間科学科	4	215	2年次 2	873	学士(人間学)	0.97	平成11年度		※平成30年度入学定員増（37人） ※平成31年度入学定員減(△20人) ※令和2年度2年次編入学定員（△2人）
社会福祉学科	4	157	2年次 4	626	学士(社会福祉学)	0.92	平成20年度		※平成30年度入学定員増（14人）
工学部						0.98			
環境システム学科	4	70	－	280	学士(環境システム学)	0.99	平成27年度		
数理工学科	4	60	－	240	学士（工学）	0.94	平成27年度		
建築デザイン学科	4	70	－	280	学士（工学）	1.01	平成27年度		
環境学部						－			
環境学科	4	－	－	－	学士(環境学)	－	平成21年度		※平成27年度より学生募集停止（環境学科）
教育学部						0.98			
教育学科	4	120	－	580	学士（教育学）	0.98	平成23年度		※平成30年度入学定員減（△100人）
幼児教育学科	4	100	－	300	学士（幼児教育学）	0.97	平成30年度		
薬学部						0.93			
薬学科	6	160	－	915	学士(薬学)	0.93	平成16年度		※平成30年度入学定員増（15人）
看護学部						0.93			
看護学科	4	145	－	555	学士(看護学)	0.93	平成18年度		※平成30年度入学定員増（25人）
通信教育部									
人間科学部			3年次			0.69			
人間科学科	4	250	700	2,400	学士（人間学）	0.69	平成14年度		
教育学部			3年次			0.85			
教育学科	4	17	85	238	学士（教育学）	0.85	平成25年度		

	大学の名称	武蔵野大学大学院								備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	文学研究科									
	日本文学専攻	2	7	－	14	修士（文学）	0.85	平成26年度	東京都江東区有明三丁目３番３号	
	日本文学専攻	3	2	－	6	博士（文学）	0.16	平成29年度		
	言語文化研究科									
	言語文化専攻	2	55	－	110	修士（日本語教育学、異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学、日本語）	0.79	平成22年度	東京都西東京市新町一丁目１番２０号	
	言語文化専攻	3	2	－	6	博士（文学）	1.00	平成29年度		
	法学研究科									
	ビジネス法務専攻	2	10	－	20	修士（法学）	0.15	平成30年度		
	政治経済学研究科									
	政治経済学専攻	2	10	－	20	修士（政治経済学）	0.10	平成22年度		
	政治経済学専攻	3	3	－	9	博士（政治学、経済学）	0.00	平成25年度		
	経営学研究科									
	会計学専攻	2	10	－	20	修士（会計学）	0.55	平成31年度		
	人間社会研究科									
	人間学専攻	2	30	－	60	修士（臨床心理学、人間行動学、言語聴覚学）	0.73	平成11年度		
	人間学専攻	3	3	－	9	博士（人間学）	0.44	平成14年度		
	実践福祉学専攻	2	7	－	14	修士（社会福祉学）	0.00	平成24年度		
	仏教学研究科									
	仏教学専攻	2	5	－	10	修士（仏教学）	0.50	平成28年度		
	仏教学専攻	3	2	－	6	博士（仏教学）	0.33	平成25年度		
	環境学研究科									
	環境マネジメント専攻	2	10	－	20	修士（環境学）	0.50	平成22年度		
	環境システム専攻	3	2	－	6	博士（環境学）	0.16	平成30年度		
	工学研究科									
	数理工学専攻	2	15	－	30	修士（工学）	0.69	平成31年度		
	建築デザイン専攻	2	15	－	30	修士（工学）	0.26	平成31年度		
	教育学研究科									
	教育学専攻	2	10	－	20	修士（教育学）	0.30	平成26年度		
	薬科学研究科									
	薬科学専攻	2	5	－	10	修士（薬科学）	0.20	平成24年度		
	薬科学専攻	3	5	－	15	博士（薬科学）	0.86	平成21年度		
	看護学研究科									
	看護学専攻	2	10	－	20	修士（看護学）	0.45	平成22年度		
	看護学専攻	3	3	－	9	博士（看護学）	0.55	平成25年度		
	通信教育部									
	人間社会研究科									
	人間学専攻	2	60	－	120	修士（人間学）	1.12	平成21年度		
	実践福祉学専攻	2	10	－	20	修士（社会福祉学）	0.85	平成30年度		
	仏教学専攻	2	－	－	－	修士（仏教学）	－	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止（仏教学専攻）
	仏教学研究科									
	仏教学専攻	2	20	－	40	修士（仏教学）	0.80	平成28年度		
	環境学研究科									
	環境マネジメント専攻	2	10	－	20	修士（環境学）	1.05	平成26年度		
	附属施設の概要	名　　称：薬用植物園 目　　的：薬学に関する教育研究 所 在 地：東京都西東京市新町一丁目1番20号 設置年月：平成16年4月 規 模 等：土地992㎡、保有植物は67科184種								

学校法人武蔵野大学　設置認可等に関わる組織の移行表

令和2年度	入学定員	編入学定員	収容定員
武蔵野大学			
文学部			
日本文学文化学科	220	2年次 5	895
グローバル学部			
グローバルコミュニケーション学科	165	3年次 3	666
日本語コミュニケーション学科	80	3年次 5	330
グローバルビジネス学科	55	3年次 7	234
法学部			
法律学科	190	2年次 3	769
政治学科	100	2年次 3	409
経済学部			
経済学科	175	2年次 3	709
経営学部			
経営学科	220	2年次 3	889
会計ガバナンス学科	90		360
データサイエンス学部			
データサイエンス学科	70		280
人間科学部			
人間科学科	215	2年次 2	866
社会福祉学科	157	2年次 4	640
工学部			
環境システム学科	70		280
数理工学科	60		240
建築デザイン学科	70		280
教育学部			
教育学科	120		480
幼児教育学科	100		400
薬学部			
薬学科	160		960
看護学部			
看護学科	145		580
通信教育部			
人間科学部			
人間科学科	250	3年次700	2,400
教育学部			
教育学科	17	3年次 85	238
計	**2,729**	2年次 **23** 3年次 **800**	**12,905**

令和3年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
武蔵野大学				
文学部				
日本文学文化学科	200	2年次 5	815	定員変更（△20）
グローバル学部				
グローバルコミュニケーション学科	165	3年次 3	666	
日本語コミュニケーション学科	80	3年次 5	330	
グローバルビジネス学科	55	3年次 7	234	
法学部				
法律学科	190	2年次 3	769	
政治学科	100	2年次 3	409	
経済学部				
経済学科	175	2年次 3	709	
経営学部				
経営学科	220	2年次 3	889	
会計ガバナンス学科	90		360	
アントレプレナーシップ学部				学部の設置（届出）
アントレプレナーシップ学科	60		240	
データサイエンス学部				
データサイエンス学科	90		360	定員変更（20）
人間科学部				
人間科学科	215	2年次 2	866	
社会福祉学科	145	2年次 4	592	定員変更（△12）
工学部				
環境システム学科	70		280	
数理工学科	60		240	
建築デザイン学科	70		280	
教育学部				
教育学科	120		480	
幼児教育学科	100		400	
薬学部				
薬学科	145		870	定員変更（△15）
看護学部				
看護学科	125		500	定員変更（△20）
通信教育部				
人間科学部				
人間科学科	250	3年次700	2,400	
教育学部				
教育学科	15	2年次 55	225	
計	**2,740**	2年次 **78** 3年次 **715**	**12,914**	

令和2年度	入学定員	編入学定員	収容定員
武蔵野大学大学院			
文学研究科			
日本文学専攻(M)	7		14
日本文学専攻(D)	2		6
言語文化研究科			
言語文化専攻(M)	55		110
言語文化専攻(D)	2		6
法学研究科			
ビジネス法務専攻(M)	10		20
政治経済学研究科			
政治経済学専攻(M)	10		20
政治経済学専攻(D)	3		9
経営学研究科			
会計学専攻(M)	10		20
人間社会研究科			
人間学専攻(M)	30		60
人間学専攻(D)	3		9
実践福祉学専攻(M)	7		14
仏教学研究科			
仏教学専攻(M)	5		10
仏教学専攻(D)	2		6
環境学研究科			
環境マネジメント専攻(M)	10		20
環境システム専攻(D)	2		6
工学研究科			
数理工学専攻(M)	15		30
建築デザイン専攻(M)	15		30
教育学研究科			
教育学専攻(M)	10		20
薬科学研究科			
薬科学専攻(M)	5		10
薬科学専攻(D)	5		15
看護学研究科			
看護学専攻(M)	10		20
看護学専攻(D)	3		9
通信教育部			
人間社会研究科			
人間学専攻(M)	60		120
実践福祉学専攻(M)	10		20
仏教学研究科			
仏教学専攻(M)	20		40
環境学研究科			
環境マネジメント専攻(M)	10		20
計	**321**		**664**

令和3年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
武蔵野大学大学院				
文学研究科				
日本文学専攻(M)	7		14	
日本文学専攻(D)	2		6	
言語文化研究科				
言語文化専攻(M)	55		110	
言語文化専攻(D)	2		6	
法学研究科				
ビジネス法務専攻(M)	10		20	
ビジネス法務専攻(D)	3		9	課程変更(届出)
政治経済学研究科				
政治経済学専攻(M)	10		20	
政治経済学専攻(D)	3		9	
経営学研究科				
会計学専攻(M)	10		20	
データサイエンス研究科				研究科の設置
データサイエンス専攻(M)	10		20	(届出)
人間社会研究科				
人間学専攻(M)	30		60	
人間学専攻(D)	3		9	
実践福祉学専攻(M)	7		14	
仏教学研究科				
仏教学専攻(M)	5		10	
仏教学専攻(D)	2		6	
環境学研究科				
環境マネジメント専攻(M)	10		20	
環境システム専攻(D)	2		6	
工学研究科				
数理工学専攻(M)	15		30	
数理工学専攻(D)	2		6	課程変更(届出)
建築デザイン専攻(M)	15		30	
教育学研究科				
教育学専攻(M)	10		20	
薬科学研究科				
薬科学専攻(M)	5		10	
薬科学専攻(D)	5		15	
看護学研究科				
看護学専攻(M)	10		20	
看護学専攻(D)	3		9	
通信教育部				
人間社会研究科				
人間学専攻(M)	60		120	
実践福祉学専攻(M)	10		20	
仏教学研究科				
仏教学専攻(M)	20		40	
環境学研究科				
環境マネジメント専攻(M)	10		20	
計	**336**		**699**	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	建学	仏教（生き方を考える）基礎	1③～④	2			○								兼1	
		仏教（生き方を考える）発展	3①～②	2			○								兼1	
		小計（2科目）	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼2	—
	スポーツ・身体	スポーツと身体科学	1①～②		1			○							兼6	
		フィールド・スポーツ	2①～④		1			○							兼1	集中
		小計（2科目）	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—
	情報	データサイエンス基礎	1①	1				○							兼1	
		人工知能基礎	1②	1				○							兼1	
		メディアリテラシー	1④		1			○							兼1	
		情報技法基礎	1③		1			○							兼1	
		情報技法発展Ａ	2①・②		1			○							兼1	
		情報技法発展Ｂ	2①・②		1			○							兼1	
		情報技法発展Ｃ	2①・②		1			○							兼1	
		プログラミング基礎	1④		1			○							兼1	
		プログラミング発展Ａ	2①・②		1			○							兼1	
		プログラミング発展Ｂ	2①・②		1			○							兼1	
		人工知能技術と社会	2③・④		1			○							兼1	
		機械学習活用１	2③・④		1			○							兼1	
		機械学習活用２	2③・④		1			○							兼1	
		データサイエンス活用１	2③・④		1			○							兼1	
		データサイエンス活用２	2③・④		1			○							兼1	
		メディアデザイン	2③・④		1			○							兼1	
		サービスデザイン	2③・④		1			○							兼1	
		人工知能実践プロジェクト	3①～④		2			○							兼3	
		小計（18科目）	—	2	17	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—
	外国語	英語基礎Ａ	1①～②	2				○							兼7	
		英語基礎Ｂ	1①～②		1			○							兼8	
		英語基礎Ｃ	1③～④	2				○							兼8	
		英語基礎Ｄ	1③～④		1			○							兼8	
		英語発展Ａ	2①～②		1			○							兼6	
		英語発展Ｂ	2①～②		1			○							兼6	
		英語発展Ｃ	2③～④		1			○							兼5	
		英語発展Ｄ	2③～④		1			○							兼5	
		英語綜合Ａ	3①～②		1			○							兼6	
		英語綜合Ｂ	3③～④		1			○							兼5	
		中国語基礎１	1①～②		1			○							兼7	
		中国語基礎２	1③～④		1			○							兼7	
		中国語発展１	2①～②		1			○							兼2	
		中国語発展２	2③～④		1			○							兼1	
		フランス語基礎１	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語基礎２	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語発展１	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語発展２	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語基礎１	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語基礎２	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語発展１	2①～②		1			○							兼2	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
共通科目	外国語	ドイツ語発展２	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語基礎１	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語基礎２	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語発展１	2①～②		1			○							兼1	
		スペイン語発展２	2③～④		1			○							兼1	
		韓国語基礎１	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語基礎２	1③～④		1			○							兼4	
		韓国語発展１	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語発展２	2③～④		1			○							兼2	
		留学準備１	1①～②・③～④		1			○							兼1	
		留学準備２	1①～②・③～④		1			○							兼1	
		英語資格・検定試験対策１	1①・②・③・④		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策２	1①・②・③・④		1			○							兼2	
		小計（34科目）	—	4	32	0	—			0	0	0	0	0	兼59	—
	教養日本語	日本語リテラシー	1④	1			○								兼7	
		日本語基礎Ａ	1①		1			○							兼6	
		日本語基礎Ｂ	1②		1			○							兼6	
		日本語基礎Ｃ	1③		1			○							兼6	
		日本語基礎Ｄ	1④		1			○							兼6	
		日本語発展Ａ	2①		1			○							兼4	
		日本語発展Ｂ	2②		1			○							兼4	
		日本語発展Ｃ	2③		1			○							兼4	
		日本語発展Ｄ	2④		1			○							兼4	
		日本事情	1①～②		2		○								兼1	
		小計（10科目）	—	1	10	0	—			0	0	0	0	0	兼13	—
	ＣＨＰ	ＳＤＧｓ基礎	1①	1			○								兼1	
		ＳＤＧｓ発展１	1②	1			○								兼3	
		ＳＤＧｓ発展２	1③	1			○								兼3	
		ＳＤＧｓ発展３	1④	1			○								兼3	
		ＳＤＧｓ特講	3①～②		2			○							兼1	
		小計（5科目）	—	4	2	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—
	フィールド・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○								兼1	
		フィールド・スタディーズ１	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ２	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ３	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ４	1①～④		4			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展１Ａ	1①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展１Ｂ	1①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展１Ｃ	1①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展１Ｄ	1①～④		4			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展２Ａ	2①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｂ	2①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｃ	2①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｄ	2①～④		4			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｅ	2①～④		5			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展３Ａ	3①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展３Ｂ	3①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展３Ｃ	3①～④		3			○							兼1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	フィールド・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ	3①～④		4			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展３Ｅ	3①～④		5			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展４Ａ	4①～④		1			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展４Ｂ	4①～④		2			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展４Ｃ	4①～④		3			○							兼1	
		フィールド・スタディーズ発展４Ｄ	4①～④		4			○							兼1	
		小計（23科目）	—	1	60	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
	インターンシップ	インターンシップ	2①～④		1		○								兼1	
		企業協働プロジェクト	2①～④		2			○							兼6	
		小計（2科目）	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼7	—
	全学教養ゼミナール	全学教養ゼミナール１	1①～②		2		○								兼1	
		全学教養ゼミナール２	1③～④		2		○								兼1	
		小計（2科目）	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	—
	寄付講座	武蔵野市自由講座	1③～④		2		○								兼13	オムニバス
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼2	
		小計（3科目）	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	マインド科目	キャリアデザイン１	1①～②	1				○		3						
		キャリアデザイン２	1③～④	1				○		3						
		キャリアデザイン３	2①～②		1			○		1						
		幸福学	2③		1		○								兼1	
		好奇心醸成	2①		1		○			1						
		未来構想	2④	1			○			1						
		事業と哲学	2①～②	2			○			2						
		倫理観１	2③	1			○			2						
		倫理観２	3①	1			○			2					兼1	
		女性とアントレプレナーシップ	2･3･4①・③		1		○			2						
		政治と社会	2･3･4①・③		1		○								兼1	
		地域課題と事業創造	2･3･4②・④		1		○			2						
		デザインと事業創造	2･3･4②・④		1		○			1						
		科学技術と事業創造	2･3･4②・④		1		○								兼1	
		グローバルアントレプレナー（海外研修）	2①～④	1				○		2						集中
		情報編集力	1②	1			○								兼1	
		アントレプレナーシップ１Ａ	1③	1			○			1						
		アントレプレナーシップ１Ｂ	1④	1			○			2						
		アントレプレナーシップ２Ａ	2①	1			○			1						
		アントレプレナーシップ２Ｂ	2②	1			○			1						
		アントレプレナーシップ２Ｃ	2③	1			○			1						
		アントレプレナーシップ２Ｄ	2④	1			○			1						
		アントレプレナーシップ３Ａ	3①	1			○			1						
		アントレプレナーシップ３Ｂ	3②	1			○			1						
		アントレプレナーシップ３Ｃ	3③	1			○			1						
		アントレプレナーシップ３Ｄ	3④	1			○			1						
		アントレプレナーシップ４Ａ	4①	1			○			1						
		アントレプレナーシップ４Ｂ	4②	1			○			1						
		アントレプレナーシップ４Ｃ	4③	1			○			1						
		アントレプレナーシップ４Ｄ	4④	1			○			1						
		小計（30科目）	—	23	8	0	—			18	0	0	0	0	兼5	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	事業推進科目	クリティカルシンキング基礎	1①～②	2			○			3					兼1	
		クリティカルシンキング１	2①～②		2		○								兼1	
		クリティカルシンキング２	2①～②		2		○			1						
		課題解決プロセス１	2①		1		○			1						
		課題解決プロセス２	2②		1		○			1						
		ビジネスモデル研究基礎	1①	1			○			4						
		インターネットビジネス基礎	1②	1			○								兼1	
		領域別Tech研究Ａ	1③・2①		1		○			3						
		領域別Tech研究Ｂ	1③・2①		1		○			2						
		領域別Tech研究Ｃ	1④・2②		1		○			2						
		領域別Tech研究Ｄ	1④・2②		1		○			3						
		アフターデジタルの課題解決	2③	1			○								兼1	
		事業計画Ａ	2①～②・③～④		2		○			1						
		事業計画Ｂ	2①～②・③～④		2		○			1						
		プロトタイピングＡ	2①～④		1			○		1						集中
		プロトタイピングＢ	2①～②		1			○		1						
		コミュニケーション基礎	1・2③・④		1		○			3						
		コーチング	2･3･4②･④		1		○			2						
		プレゼンテーション	2･3･4①･③		1		○			2						
		チーム・プロジェクトマネジメント	2②・③・④		1			○		3						
		ファイナンス・アカウンティング基礎	1・2①・②		1		○			2						
		ファイナンスＡ	3･4①・③		1		○			2						
		ファイナンスＢ	3･4①・③		1		○								兼1	
		リーガル基礎	1・2③・④		1		○			1						
		マーケティング基礎	1・2①・②		1		○			3					兼1	
		マーケティングＡ	2･3･4②・④		1		○			1					兼1	
		マーケティングＢ	2･3･4①・③		1		○								兼1	
		マーケティングＣ	2･3･4①・③		1		○			1						
		グローバルマネジメント	3･4②・④		1		○			1					兼1	
		リーダーシップとマネジメント	3･4①・③		1		○			1						
		組織・人事マネジメント	3･4②・④		1		○			2						
		小計（31科目）	－	5	31	0	－			16	0	0	0	0	兼7	—
	実践科目	プロジェクト入門	1①	1				○		3						集中
		インターンシップ（領域別Tech研究）	2①～④	1					○	5						集中
		インターンシップＡ	2・3・4①～④		2				○	3						集中
		インターンシップＢ	2・3・4①～④		3				○	3						集中
		インターンシップＣ	2・3・4①～④		4				○	3						集中
		プロジェクト基礎Ａ	1②	2			○			3						
		プロジェクト基礎Ｂ	1③	2			○			2					兼1	
		プロジェクト基礎Ｃ	1④	2			○			2					兼1	
		プロジェクト応用Ａ	2①～②	4			○			3						
		プロジェクト応用Ｂ	2③～④	4			○			3						
		プロジェクト発展Ａ	3①～②	4			○			3						
		プロジェクト発展Ｂ	3③～④	4			○			3						
		プロジェクト発展Ｃ	4①～②	4			○			3						
		プロジェクト発展Ｄ	4③～④	4			○			3						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
学科科目	実践科目	プロジェクト発展Ｅ	3・4①～④		1		○			1						
		プロジェクト発展Ｆ	3・4①～④		2		○			1						
		プロジェクト発展Ｇ	3・4①～④		3		○			1						
		プロジェクト発展Ｈ	3・4①～④		4		○			1						
		小計（18科目）	—	32	19	0	—			15	0	0	0	0	兼1	—
	ゼミナール科目	ゼミナール１	2③～④	2				○		5						
		ゼミナール２	3①～②	2				○		4					兼1	
		ゼミナール３	3③～④	2				○		5						
		ゼミナール４	4①～②		2			○		5						
		ゼミナール５	4③～④		2			○		4					兼1	
		小計（5科目）	—	6	4	0	—			18	0	0	0	0	兼1	—
合計（185科目）			—	82	198	0	—			19	0	0	0	0	兼120	—

学位又は称号	学士（ビジネス）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修１６単位を含めて１９単位。学科科目は、必修６６単位を含めて９７単位。自由選択単位は、８単位以上の合計１２４単位以上修得する。 自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 （履修科目の登録の上限：１年４０単位、２年次４０単位、３年次４０単位、４年次４０単位） なお、選択科目のうち、以下を選択必修とする。 ・情報科目　情報技法発展Ａ、情報技法発展Ｂ、情報技法発展Ｃから１単位 ・情報科目　プログラミング発展Ａ、プログラミング発展Ｂから１単位 ・情報科目　機械学習活用１、機械学習活用２、データサイエンス活用１、データサイエンス活用２から１単位 ・マインド科目　キャリアデザイン３、幸福学、好奇心醸成から１単位 ・マインド科目　女性とアントレプレナーシップ、政治と社会、地域課題と事業創造、デザインと事業創造、科学技術と事業創造から２単位 ・事業推進科目　クリティカルシンキング１、クリティカルシンキング２から２単位 ・事業推進科目　課題解決プロセス１、課題解決プロセス２から１単位 ・事業推進科目　領域別Tech研究Ａ、領域別Tech研究Ｂ、領域別Tech研究Ｃ、領域別Tech研究Ｄから２単位 ・事業推進科目　事業計画Ａ、事業計画Ｂから２単位 ・事業推進科目　プロトタイピングＡ、プロトタイピングＢから１単位 ・事業推進科目　コミュニケーション基礎、ファイナンス・アカウンティング基礎、リーガル基礎、マーケティング基礎から２単位 ・事業推進科目　コーチング、プレゼンテーション、チーム・プロジェクトマネジメントから１単位 ・事業推進科目　マーケティングＡ、マーケティングＢ、マーケティングＣから１単位	１学年の学期区分	４学期
	１学期の授業期間	７週
	１時限の授業時間	１００分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○			1					兼1	
		共生社会	1②		2		○				1				兼5	
		しあわせを考える	2①～②		2		○				1				兼1	
		小計(3科目)	－	4	4	0	－			1	1	0	0	0	兼6	—
	健康体育科目	スポーツと身体科学	1①～②		1			○							兼6	
		フィールド・スポーツ	2①～④		1			○							兼1	集中
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計(3科目)	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼7	—
	情報科目	データ・情報リテラシー	1①	1				○							兼1	
		メディア・人工知能リテラシー	1②	1				○							兼1	
		情報分析・創出・表現技法	1③・④		1			○							兼2	
		プログラミングリテラシー	1③・④		1			○							兼2	
		小計(4科目)	－	2	2	0	－			0	0	0	0	0	兼5	—
	外国語	英語１Ａ	1①～②	1				○							兼7	
		英語１Ｂ	1①～②	1				○							兼8	
		英語１Ｃ	1③～④	1				○							兼8	
		英語１Ｄ	1③～④	1				○							兼8	
		英語２Ａ	2①～②		1			○							兼6	
		英語２Ｂ	2①～②		1			○							兼6	
		英語２Ｃ	2③～④		1			○							兼5	
		英語２Ｄ	2③～④		1			○							兼5	
		英語３Ａ	3①～②		1			○							兼8	
		英語３Ｂ	3③～④		1			○							兼7	
		中国語１Ａ	1①～②		1			○							兼5	
		中国語１Ｂ	1①～②		1			○							兼4	
		中国語１Ｃ	1③～④		1			○							兼5	
		中国語１Ｄ	1③～④		1			○							兼4	
		中国語２Ａ	2①～②		1			○							兼2	
		中国語２Ｂ	2③～④		1			○							兼1	
		中国語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		中国語２Ｄ	2③～④		1			○							兼1	
		中国語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		中国語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語１Ａ	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語１Ｃ	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語２Ａ	2①～②		1			○							兼2	
		フランス語２Ｂ	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ａ	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ｃ	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ａ	2①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ｂ	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	外国語	スペイン語１Ａ	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語１Ｂ	1①～②		1			○							兼3	
		スペイン語１Ｃ	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語１Ｄ	1③～④		1			○							兼3	
		スペイン語２Ａ	2①～②		1			○							兼1	
		スペイン語２Ｂ	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語２Ｃ	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語２Ｄ	2③～④		1			○							兼1	
		スペイン語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語１Ａ	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語１Ｂ	1①～②		1			○							兼4	
		韓国語１Ｃ	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語１Ｄ	1③～④		1			○							兼4	
		韓国語２Ａ	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語２Ｂ	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		小計(60科目)	－	4	56	0	－			0	0	0	0	0	兼62	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1・2②		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1・2②		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		International Lectures 2	1･2･3･4②		1		○				1				兼3	
		英語資格・検定試験対策A	1②･③		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1①･②･③		1			○							兼2	
		小計(6科目)	－	0	6	0	－			0	1	0	0	0	兼7	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1④	1				○							兼7	
		小計(1科目)	－	1	0	0	－			0	0	0	0	0	兼7	—
	セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			2				兼40	
		発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○							兼6	オムニバス
			数学的ものの考え方	2②・④		2		○							兼2	
			社会現象を分析する	2③		2		○							兼3	
			環境学への展望	2②		2		○							兼1	
			人間の心理を探る	2①・③		2		○							兼2	
			生命科学と人間	2④		2		○							兼3	
			市民の社会貢献	2①・④		2		○							兼2	
			市民生活と権利を考える	2③・④		2		○							兼4	
			現代メディアの探求	2①・③		2		○							兼1	
			社会情報と生活	2②・③・④		2		○							兼2	
			日本の歴史	2①・④		2		○							兼2	
			外国の歴史	2①・②		2		○							兼2	
			哲学への探索	2②・③		2		○							兼2	
			文化人類学への誘い	2①		2		○							兼2	
			文学を読み解く楽しみ	2④		2		○							兼2	
			ホスピタリティマインド概論	2②		2		○							兼1	
			ホスピタリティマインド各論	2③		2		○							兼1	
		小計(18科目)	－	6	34	0	－			0	2	0	0	0	兼70	—
	フィールドスタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			1					集中
			フィールド・スタディーズ１	1①～④		1			○		1					集中

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ２	1①～④		2			○		1						集中
		フィールド・スタディーズ３	1①～④		3			○		1						集中
		フィールド・スタディーズ４	1①～④		4			○		1						集中
		海外フィールド・スタディーズ１	1①～④		2			○		1						集中
		海外フィールド・スタディーズ２	1①～④		3			○		1						集中
		海外フィールド・スタディーズ３	1①～④		4			○		1						集中
		海外フィールド・スタディーズ４	1①～④		5			○		1						集中
		海外フィールド・スタディーズ５	1①～④		6			○		1						集中
		小計(10科目)	－	1	30	0	－			1	0	0	0	0	兼0	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②		1		○								兼1	
		インターンシップ１	2②･③		1			○		1						集中
		インターンシップ２	2②･③		2			○		1						集中
		インターンシップ３	2①～④		4			○		1						集中
		インターンシップ４	2①～④		6			○		1						集中
		海外インターンシップ１	2②･③		4			○							兼1	集中
		海外インターンシップ２	2②･③		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ３	2②･③		8			○							兼1	集中
		小計(8科目)	－	0	32	0	－			1	0	0	0	0	兼2	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）１	2①～②		2		○			1	1				兼4	集中
		サブ・メジャー（ゼミナール）２	2①～④		4		○			1					兼18	集中
		サブ・メジャー（総合研究）１	3①～④		2		○								兼1	集中
		サブ・メジャー（総合研究）２	3①～④		4		○								兼7	集中
		小計(4科目)	－	0	12	0	－			1	1	0	0	0	兼19	—
	寄付講座科目	寄付講座１	1･2･3･4①～②		2		○								兼13	オムニバス
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○			1						
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2①～②		2		○			1						
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼2	
		小計(6科目)	－	0	12	0	－			1	0	0	0	0	兼16	—
学科科目	基礎科目群	経営学入門	1①	2			○			4	6	1				オムニバス
		経営学基礎	1②	2			○			4	6	1				オムニバス
		経営学への招待Ａ	1①	2			○			4	6	1				オムニバス
		経営学への招待Ｂ	1③～④	2			○			4	6	1				オムニバス
		経営フィールドワーク入門	1①～④	2			○			4	6	1				集中・オムニバス・共同
		グループコミュニケーション１	1③～④	2			○			4	6	1				オムニバス
		ＩＣＴと研究調査	1③～④		2		○								兼1	
		会計学入門	1④		2		○								兼1	
		経済学入門	1②		2		○								兼1	
		小計(9科目)	－	12	6	0	－			4	6	1	0	0	兼3	—
	基幹科目群	経営研究入門Ａ	2③	1			○			3	2	1				
		経営研究入門Ｂ	2④	1			○			3	2	1				
		経営戦略１	2①		2		○				1					
		経営戦略２	2④		2		○				1					
		経営戦略分析	2①		2		○				4	1				
		イノベーションマネジメント	2④		2		○				1					
		マーケティング１	2①		2		○			1						
		マーケティング２	2③		2		○			1						
		流通経済	2④		2		○				1					
		組織行動	2③		2		○				1					
		経営組織	2②		2		○				1					
		セルフマネジメント	2①		2		○			1						
		経営のための会計入門	2①		2		○			1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	基幹科目群	財務会計１	2②		2		○			1						
		財務会計２	2③		2		○			1						
		中小企業マネジメント	2②		2		○				1					
		コーポレート・ガバナンス論１	2④		2		○								兼1	
		企業倫理	3④		2		○								兼1	
		企業と社会	2①		2		○								兼1	
		経営史	2③		2		○					1				
		質的研究調査	2④		2		○				1					
		量的研究調査	2③		2		○				1					
		アート&テクノロジーＡ	2③		2		○				2					
		アート&テクノロジーＢ	3③		2		○				2					
		グループコミュニケーション２Ａ	2①		2		○				1	1				
		グループコミュニケーション２Ｂ	3①		2		○				1	1				
		ワールドビジネス	2②		2		○								兼1	
		第一次産業論	2･3･4②		1		○			1	1					
		第二次産業論Ａ	2･3･4③		1		○				1					
		第二次産業論Ｂ	2･3･4③		1		○				1					
		第三次産業論	2･3･4①		1		○				1					
		観光産業論	2･3･4③		1		○			1						
		ＩＣＴ産業論	2･3･4④		1		○				1					
		コンテンツ産業論	2･3･4②･③		1		○				1					
		バイオ産業論	2･3･4②		1		○				1					
		小計(35科目)	－	2	58	0	－			5	6	1	0	0	兼3	—
	展開科目群	経営フィールドワークＡ	2･3･4①～④		2		○				1					
		経営フィールドワークＢ	2･3･4①～④		2		○				1					
		発展・経営戦略１	3③		2		○					1				
		発展・経営戦略２	3④		2		○				1					
		発展・イノベーションマネジメント	3④		2		○				1					
		発展・マーケティング１	3③		2		○			1						
		発展・マーケティング２	3④		2		○			1						
		発展・流通経済	3①		2		○				1					
		発展・組織行動	3①		2		○				1					
		発展・中小企業マネジメント	3①		2		○				1					
		発展・量的研究調査	3①		2		○				1					
		ビジネスデザイン	3③		2		○			1						
		人材マネジメント	3③		2		○			1						
		組織コミュニケーション	3④		2		○				1					
		コンフリクトマネジメント	3④		2		○				1					
		経営者と社会	3①		2		○					1				
		コーポレート・ガバナンス論２	3④		2		○								兼1	
		ＣＳＲ論	3②		2		○								兼1	
		経営学と未来	4③～④		2		○			1						
		フィナンシャル・プランニング論１	2②		2		○			1						
		フィナンシャル・プランニング論２	2③		2		○			1						
		経営管理と会計	3③		2		○			1						
		企業経営とファイナンス	3④		2		○			1						
		観光交通	3①		2		○			1						
		エリアマネジメント	3③		2		○			1						
		エリア産業	3②		2		○			1						
		エリアガバナンス	3④		2		○			1						
		グローバルマネジメント	3①		2		○								兼1	
		ビジネスイングリッシュ	3③		2		○								兼1	
		現代ビジネス１	3①～②		2		○				1					

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　経営学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
学科科目	展開科目群	現代ビジネス２	3③～④		2		○				2					
		小計(31科目)	－	0	62	0	－			6	6	1	0	0	兼2	—
	応用科目群	応用経営学Ａ	3・4②		2		○								兼1	隔年
		応用経営学Ｂ	3・4②		2		○								兼1	隔年
		応用経営学Ｃ	3・4④		2		○			1						隔年
		応用経営学Ｄ	3・4④		2		○			1						隔年
		小計(4科目)	－	0	8	0	－			1	0	0	0	0	兼1	—
	最先端研究	ゼミナール１	3①～②	2				○		4	6	1				
		ゼミナール２	3③～④	2				○		4	6	1				
		経営研究	3③～④		2			○		4	6	1				
		ゼミナール３	4①～②	2				○		4	6	1				
		ゼミナール４	4③～④	2				○		4	6	1				
		卒業研究	4①～④		4			○		4	6	1				
		小計(6科目)	－	8	6	0	－			4	6	1	0	0	兼0	—
合計（208科目）			－	40	332	0	－			9	6	1	0	0	兼190	—

学位又は称号	学士（経営学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修１８単位を含めて２２単位。学科科目は、必修２２単位を含めて７２単位。自由選択単位は、３０単位以上の合計１２４単位以上修得する。 自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 （履修科目の登録の上限：１年次４０単位、２年次４０単位、３年次４０単位、４年次４０単位）	１学年の学期区分	４学期
	１学期の授業期間	８週
	１時限の授業時間	９０分 （週２時限）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　会計ガバナンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○				1				兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○								兼5	
		小計(3科目)	－	4	4	0	－			0	1	0	0	0	兼10	—
	健康体育科目	スポーツと身体科学	1①～④		1			○							兼5	
		フィールド・スポーツ	2①～④		1			○							兼1	集中
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計(3科目)	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼6	—
	情報科目	データ・情報リテラシー	1①	1				○							兼2	
		メディア・人工知能リテラシー	1②	1				○							兼2	
		情報分析・創出・表現技法	1③・④		1			○							兼3	
		プログラミングリテラシー	1③・④		1			○							兼2	
		小計(4科目)	－	2	2	0	－			0	0	0	0	0	兼6	—
	外国語	英語１Ａ	1①～②	1				○							兼8	
		英語１Ｂ	1①～②	1				○							兼6	
		英語１Ｃ	1③～④	1				○							兼7	
		英語１Ｄ	1③～④	1				○							兼6	
		英語２Ａ	2①～②		1			○							兼3	
		英語２Ｂ	2①～②		1			○							兼2	
		英語２Ｃ	2③～④		1			○							兼3	
		英語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		英語３Ａ	3①～②		1			○							兼9	
		英語３Ｂ	3③～④		1			○							兼10	
		中国語１Ａ	1①～②		1			○							兼5	
		中国語１Ｂ	1①～②		1			○							兼4	
		中国語１Ｃ	1③～④		1			○							兼5	
		中国語１Ｄ	1③～④		1			○							兼4	
		中国語２Ａ	2①～②		1			○							兼3	
		中国語２Ｂ	2①～②		1			○							兼3	
		中国語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		中国語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		中国語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		中国語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語１Ａ	1①～②		1			○							兼3	
		フランス語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語１Ｃ	1③～④		1			○							兼3	
		フランス語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語２Ａ	2①～②		1			○							兼3	
		フランス語２Ｂ	2①～②		1			○							兼3	
		フランス語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ａ	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ｃ	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ａ	2①～②		1			○							兼4	
		ドイツ語２Ｂ	2①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　会計ガバナンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
共通科目	外国語	スペイン語１Ａ	1①～②		1			○							兼2	
		スペイン語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		スペイン語１Ｃ	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語２Ａ	2①～②		1			○							兼4	
		スペイン語２Ｂ	2①～②		1			○							兼4	
		スペイン語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語１Ａ	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語１Ｂ	1①～②		1			○							兼4	
		韓国語１Ｃ	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語１Ｄ	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語２Ａ	2①～②		1			○							兼4	
		韓国語２Ｂ	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		小計(60科目)	－	4	56	0		－		0	0	0	0	0	兼59	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1②・③・④		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1②・③・④		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1②		1		○								兼1	
		International Lectures 2	1②		1		○								兼1	
		英語資格・検定試験対策A	1①・②		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1③・④		1			○							兼3	
		小計(6科目)	－	0	6	0		－		0	0	0	0	0	兼5	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1①・②・③・④	1				○							兼2	
		小計(1科目)	－	1	0	0		－		0	0	0	0	0	兼2	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○								兼62	
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼2	オムニバス
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼1	
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼3	
		環境学への展望	2①・②		2		○								兼1	
		人間の心理を探る	2②・③		2		○								兼3	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼1	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼1	
		市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼2	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼2	
		社会情報と生活	2①・②		2		○								兼1	
		日本の歴史	2①・④		2		○								兼2	
		外国の歴史	2①・③		2		○								兼1	
		哲学への探索	2②・③		2		○								兼1	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼1	
		文学を読み解く楽しみ	2③・④		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		小計(18科目)	－	6	34	0		－		0	0	0	0	0	兼81	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○				1		1		兼47	集中
		フィールド・スタディーズ１	1①～④		1			○							兼1	集中

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　会計ガバナンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ２	1①～④		2			○							兼6	集中
		フィールド・スタディーズ３	1①～④		3			○							兼1	集中
		フィールド・スタディーズ４	1①～④		4			○					1		兼16	集中
		海外フィールド・スタディーズ１	1①～④		2			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ２	1①～④		3			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ３	1①～④		4			○							兼2	集中
		海外フィールド・スタディーズ４	1①～④		5			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ５	1①～④		6			○							兼1	集中
		小計(10科目)	－	1	30	0	－			0	1	0	1	0	兼47	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②・④		1		○								兼1	
		インターンシップ１	2①～④		1			○							兼1	集中
		インターンシップ２	2①～④		2			○							兼1	集中
		インターンシップ３	2①～④		4			○			1				兼14	集中
		インターンシップ４	2①～④		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ１	2①～②		4			○							兼2	集中
		海外インターンシップ２	2①～②		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ３	2①～②		8			○							兼1	集中
		小計(8科目)	－	0	32	0	－			0	1	0	0	0	兼17	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）１	2①～②		2		○				1				兼4	集中
		サブ・メジャー（ゼミナール）２	2①～④		4		○								兼3	集中
		サブ・メジャー（総合研究）１	3①～④		2		○				1				兼4	集中
		サブ・メジャー（総合研究）２	3①～④		4		○								兼4	集中
		小計(4科目)	－	0	12	0	－			0	1	0	0	0	兼8	—
	寄付講座科目	寄付講座１	1③～④		2		○								兼11	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2③～④		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計(6科目)	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼14	—
学科科目	基礎科目群	会計人と倫理	1①	2			○			4	1	1				オムニバス・共同（一部）
		簿記１	1①	2			○			1		1				
		簿記２	1②	2			○			1		1				
		会計学入門	1④	2			○			1						
		経営学入門	2①		2		○								兼11	
		経済学入門	1④		2		○								兼2	
		小計(6科目)	－	8	4	0	－			4	1	1	0	0	兼13	—
	基幹科目群	簿記３	1③		2		○								兼1	
		簿記４	1④		2		○								兼1	
		工業簿記１	1③		2		○			1						
		工業簿記２	1④		2		○			1						
		原価計算１	2①		2		○			1						
		原価計算２	2②		2		○			1						
		財務会計１	2①		2		○			1						
		財務会計２	2②		2		○			1						
		管理会計１	2③		2		○						1			
		管理会計２	2④		2		○						1			
		コーポレート・ガバナンス論１	2④		2		○			1						
		企業と社会	2①		2		○				1					
		企業倫理	3④		2		○				1					
		小計(13科目)	－	0	26	0	－			3	1	0	1	0	兼1	—
	科目群 展開	共生原理	1②		2		○								兼1	
		アドバンス簿記１	2③		2		○								兼1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　会計ガバナンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	展開科目群	アドバンス簿記２	2④		2		○			1						
		財務会計３	2③		2		○								兼1	
		財務会計４	2④		2		○								兼1	
		連結会計	3②		2		○					1				
		管理会計３	3①		2		○						1			
		管理会計４	3②		2		○						1			
		コーポレート・ファイナンス論	3③		2		○				1					
		国際財務報告論	3①		2		○								兼1	
		監査論	3③		2		○					1				
		非営利会計論１	3①		2		○			1						
		非営利会計論２	3②		2		○			1						
		公会計論１	3③		2		○			1						
		公会計論２	3④		2		○			1						
		租税法１	2③		2		○			1						
		租税法２	3①		2		○			1						
		税務会計１	3③		2		○			1						
		税務会計２	3④		2		○			1						
		コーポレート・ガバナンス論２	3①		2		○			1						
		ＣＳＲ論	3②		2		○			1						
		統合報告書論１	3③		2		○								兼1	
		統合報告書論２	3④		2		○								兼1	
		会計データ分析１	3①		2		○				1					
		会計データ分析２	3②		2		○				1					
		会計インターンシップ	3①～④		2				○	3			1			
		金融論１	2③		2		○								兼1	
		金融論２	2④		2		○								兼1	
		フィナンシャル・プランニング論１	2②		2		○								兼1	
		フィナンシャル・プランニング論２	2③		2		○								兼1	
		小計(30科目)	－	0	60	0	－			5	1	1	1	0	兼6	―
	応用科目群	会計学特殊研究Ａ	2･3･4①～④		2		○				1					
		会計学特殊研究Ｂ	2･3･4①～④		2		○								兼1	
		小計(2科目)	－	0	4	0	－			0	1	0	0	0	兼1	―
	課題研究	プレゼミ１	2①～②	2				○		4	1	1				
		プレゼミ２	2③～④	2				○		4	1	1				
		ゼミナール１	3①～②	2				○		4	1	1				
		ゼミナール２	3③～④	2				○		4	1	1				
		ゼミナール３	4①～④	2				○		4	1	1				
		ゼミナール４	4①～④	2				○		4	1	1				
		卒業論文	4①～④		2			○		4	1	1				
		小計(7科目)	－	12	2	0	－			4	1	1	0	0	兼0	―

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経営学部　会計ガバナンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	育成プログラム	公認会計士・税理士育成プログラム１	1①		1		○			1						
		公認会計士・税理士育成プログラム２	1①		4		○					1				
		公認会計士・税理士育成プログラム３	1②～③		4		○					1				
		公認会計士・税理士育成プログラム４	1②～③		4		○			1						
		小計(4科目)	－	0	13	0	－			1	0	1	0	0	兼0	—
合計(185科目)			－	38	301	0	－			5	2	1	1	0	兼215	—

学位又は称号	学士(会計学)	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修１８単位を含めて２２単位。学科科目は、必修２０単位を含めて７２単位。自由選択単位は、３０単位以上の合計１２４単位以上修得する。 自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本語科目・日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 なお、育成プログラムについては別に定める。 （履修科目の上限：１年次４０単位、２年次４０単位、３年次４０単位、４年次４０単位）	１学年の学期区分	４学期
	１学期の授業期間	８週
	１時限の授業時間	９０分 （週２時限）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼4	
		共生社会	1②		2		○								兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○								兼5	
		小計(3科目)	－	4	4	0	－			0	0	0	0	0	兼13	—
	健康体育科目	スポーツと身体科学	1①～④		1			○							兼5	
		フィールド・スポーツ	2①～④		1			○							兼1	集中
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計(3科目)	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼6	—
	情報科目	データ・情報リテラシー	1①	1				○							兼2	
		メディア・人工知能リテラシー	1②	1				○							兼2	
		情報分析・創出・表現技法	1③・④		1			○							兼3	
		プログラミングリテラシー	1③・④		1			○							兼2	
		小計(4科目)	－	2	2	0	－			0	0	0	0	0	兼7	—
	外国語	英語１Ａ	1①～②	1				○							兼3	
		英語１Ｂ	1①～②	1				○							兼4	
		英語１Ｃ	1③～④	1				○							兼3	
		英語１Ｄ	1③～④	1				○							兼4	
		英語２Ａ	2①～②		1			○							兼3	
		英語２Ｂ	2①～②		1			○							兼2	
		英語２Ｃ	2③～④		1			○							兼3	
		英語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		英語３Ａ	3①～②		1			○							兼9	
		英語３Ｂ	3③～④		1			○							兼10	
		中国語１Ａ	1①～②		1			○							兼5	
		中国語１Ｂ	1①～②		1			○							兼4	
		中国語１Ｃ	1③～④		1			○							兼5	
		中国語１Ｄ	1③～④		1			○							兼4	
		中国語２Ａ	2①～②		1			○							兼3	
		中国語２Ｂ	2①～②		1			○							兼3	
		中国語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		中国語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		中国語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		中国語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語１Ａ	1①～②		1			○							兼3	
		フランス語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語１Ｃ	1③～④		1			○							兼3	
		フランス語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語２Ａ	2①～②		1			○							兼3	
		フランス語２Ｂ	2①～②		1			○							兼3	
		フランス語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ａ	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語１Ｃ	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ａ	2①～②		1			○							兼4	
		ドイツ語２Ｂ	2①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	外国語	スペイン語１Ａ	1①～②		1			○							兼2	
		スペイン語１Ｂ	1①～②		1			○							兼2	
		スペイン語１Ｃ	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語１Ｄ	1③～④		1			○							兼2	
		スペイン語２Ａ	2①～②		1			○							兼4	
		スペイン語２Ｂ	2①～②		1			○							兼4	
		スペイン語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		スペイン語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		スペイン語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		韓国語１Ａ	1①～②		1			○							兼5	
		韓国語１Ｂ	1①～②		1			○							兼4	
		韓国語１Ｃ	1③～④		1			○							兼5	
		韓国語１Ｄ	1③～④		1			○							兼3	
		韓国語２Ａ	2①～②		1			○							兼4	
		韓国語２Ｂ	2①～②		1			○							兼2	
		韓国語２Ｃ	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語２Ｄ	2③～④		1			○							兼2	
		韓国語３Ａ	3①～②		1			○							兼2	
		韓国語３Ｂ	3③～④		1			○							兼2	
		小計(60科目)	－	4	56	0		－		0	0	0	0	0	兼53	―
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1②・③・④		1			○			1					
		English for Studying Abroad 2	1②・③・④		1			○			1					
		International Lectures 1	1②		1		○			1						
		International Lectures 2	1②		1		○			1						
		英語資格・検定試験対策A	1①・②		1			○			1				兼1	
		英語資格・検定試験対策B	1③・④		1			○			1				兼2	
		小計(6科目)	－	0	6	0		－		1	1	0	0	0	兼3	―
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1①・②・③・④	1				○							兼6	
		小計(1科目)	－	1	0	0		－		0	0	0	0	0	兼6	―
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメントレベル	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			2	1	1			兼59	
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼2	オムニバス
		数学的ものの考え方	2②・④		2		○			1						
		社会現象を分析する	2③		2		○								兼3	
		環境学への展望	2①・②		2		○								兼1	
		人間の心理を探る	2②・③		2		○			1					兼2	
		生命科学と人間	2④		2		○								兼1	
		市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼1	
		市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼2	
		現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼2	
		社会情報と生活	2①・②		2		○								兼1	
		日本の歴史	2①・④		2		○								兼2	
		外国の歴史	2①・③		2		○								兼1	
		哲学への探索	2②・③		2		○								兼1	
		文化人類学への誘い	2①		2		○								兼1	
		文学を読み解く楽しみ	2③・④		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		小計(18科目)	－	6	34	0		－		2	1	1	0	0	兼78	―
	フィールド・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	4	1			兼42	集中
		フィールド・スタディーズ１	1①～④		1			○							兼1	集中

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ２	1①～④		2			○		1	1				兼4	集中
		フィールド・スタディーズ３	1①～④		3			○							兼1	集中
		フィールド・スタディーズ４	1①～④		4			○			1				兼16	集中
		海外フィールド・スタディーズ１	1①～④		2			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ２	1①～④		3			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ３	1①～④		4			○							兼2	集中
		海外フィールド・スタディーズ４	1①～④		5			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ５	1①～④		6			○							兼1	集中
		小計(10科目)	－	1	30	0	－			2	4	1	0	0	兼42	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②・④		1		○								兼1	
		インターンシップ１	2①～④		1			○							兼1	集中
		インターンシップ２	2①～④		2			○							兼1	集中
		インターンシップ３	2①～④		4			○							兼15	集中
		インターンシップ４	2①～④		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ１	2①～②		4			○							兼2	集中
		海外インターンシップ２	2①～②		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ３	2①～②		8			○							兼1	集中
		小計(8科目)	－	0	32	0	－			0	0	0	0	0	兼18	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）１	2①～②		2		○								兼5	集中
		サブ・メジャー（ゼミナール）２	2①～④		4		○								兼3	集中
		サブ・メジャー（総合研究）１	3①～④		2		○								兼5	集中
		サブ・メジャー（総合研究）２	3①～④		4		○								兼4	集中
		小計(4科目)	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼9	—
	寄付講座科目	寄付講座１	1③～④		2		○								兼11	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	2③～④		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計(6科目)	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼14	—
学科科目	基礎科目群	経済学基礎1	1①		2		○			1	2					
		初年次ゼミ	1①		1		○			4	4	1				
		経済学入門	1③・④		2		○			1			1			
		経済学と数学	1③		1		○				1					
		経済学のための数学	2①		2		○				1					
		統計学1	1④・2①		2		○				1					
		データ分析入門	1④		2		○			1	1	1				
		大学での学び方を考える	1①		1		○			1						
		ミクロ経済学1	2①		2		○			1						
		ミクロ経済学2	2③		2		○					1				
		マクロ経済学1	2①		2		○				1					
		マクロ経済学2	2③		2		○				1					
		ゲーム理論1	2③		2		○			1						
		小計(13科目)	－	0	23	0	－			4	3	1	1	0	兼0	—
	基幹科目群	経済学基礎2	1②		1		○			3	2	1				
		ミクロ経済学3	2④		2		○			1						
		ミクロ経済学4	2④		2		○			1						
		マクロ経済学3	2④		2		○				1					
		マクロ経済学4	3①		2		○				1					
		計量経済学1	2③		2		○				1					
		計量経済学2	2④		2		○				1					
		英語で学ぶ経済学1	2①		2		○					1				

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	基幹科目群	英語で学ぶ経済学2	2②		2		○				1					
		小計(9科目)	－	0	17	0	－			3	4	1	0	0	兼0	—
	展開科目群	経済学プレゼミ	2③～④		2			○		4	4	1				
		統計学２	2①		2		○				1					
		ゲーム理論２	2④		2		○			1						
		データで学ぶ世界経済	3④		2		○								兼1	
		データで学ぶ日本経済史	3①		2		○								兼1	
		国際経済史１	2①		2		○			1						
		国際経済史２	2②		2		○			1						
		現代経済史１	2②		2		○				1					
		現代経済史２	2③		2		○				1					
		経済思想史１	3③		2		○			1						
		経済思想史２	3④		2		○			1						
		財政学１	2③		2		○						1			
		財政学２	2④		2		○						1			
		日本経済論	3③～④		2		○				1					
		公共経済学１	3②		2		○				1					
		公共経済学２	3③		2		○				1					
		経済政策論	3③～④		2		○								兼1	
		産業組織論１	3③		2		○					1				
		産業組織論２	3④		2		○					1				
		国際貿易論１	3②		2		○				1					
		国際貿易論２	3④		2		○				1					
		金融論１	2③		2		○			1						
		金融論２	2④		2		○			1						
		国際金融論１	3①		2		○								兼1	
		国際金融論２	3②		2		○								兼1	
		労働経済学１	3②		2		○			1						
		労働経済学２	3④		2		○			1						
		環境経済学１	3①		2		○				1					
		環境経済学２	3④		2		○				1					
		金融システム論	3②		2		○								兼1	
		行動経済学	3③～④		2		○								兼1	
		途上国の経済分析	3④		2		○								兼1	
		都市経済学	3①～②		2		○								兼1	
		小計(33科目)	－	0	66	0	－			5	4	1	1	0	兼7	—
	応用科目群	経済学特殊研究Ａ	3①		2		○			1						
		経済学特殊研究Ｂ	3③		2		○			1						
		小計(2科目)	－	0	4	0	－			1	0	0	0	0	兼0	—
	最先端研究	ゼミナール1	3①～②		2			○		5	4	1				
		ゼミナール2	3③～④		2			○		5	4	1				
		ゼミナール3	4①～②		2			○		5	4	1				
		ゼミナール4	4③～④		2			○		5	4	1				
		卒業論文	4③～④		2			○		5	4	1				
		小計(5科目)	－	0	10	0	－			5	4	1	0	0	兼0	—
	経営・会計科目群	経営学入門	1①		2		○								兼2	
		経営学基礎	2①～④		2		○								兼11	
		フィナンシャル・プランニング論１	2②		2		○								兼1	
		フィナンシャル・プランニング論２	2③		2		○								兼1	
		会計学入門	1④		2		○								兼1	
		簿記１	2①		2		○								兼2	
		簿記２	2②		2		○								兼2	
		小計(7科目)	－	0	14	0	－			0	0	0	0	0	兼17	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目 資格対策科目群	キャリア開発	3①・③		2		○								兼1	
	地方公務員特殊研究１	2①～②		4		○								兼1	
	地方公務員特殊研究２	2③～④		4		○								兼1	
	地方公務員特殊研究３	3①～②		4		○								兼1	
	地方公務員特殊研究４	3③～④		4		○								兼1	
	小計(5科目)	－	0	18	0	－			0	0	0	0	0	兼2	—
学科科目 隣接科目群	法学１（法学の基礎）	1①～②		2		○								兼1	
	法学２（法学概論）	1③～④		2		○								兼1	
	憲法１（統治）	1①～②		2		○								兼1	
	憲法２（人権）	1③～④		2		○								兼1	
	民法１Ａ（総則）	1①～②		2		○								兼1	
	民法１Ｂ（総則）	1③～④		2		○								兼1	
	民法２Ａ（物権）	2①		2		○								兼1	
	民法２Ｂ（担保物権）	2③		2		○								兼1	
	民法３Ａ（債権各論）	2①		2		○								兼1	
	民法３Ｂ（債権各論）	2②		2		○								兼1	
	民法４Ａ（債権総論）	2③		2		○								兼1	
	民法４Ｂ（債権総論）	2④		2		○								兼1	
	民法５Ａ（親族法）	3③		2		○								兼1	
	民法５Ｂ（相続法）	3④		2		○								兼1	
	行政法１（総論①）	2④・3①		2		○								兼1	
	行政法２（総論②）	3②		2		○								兼1	
	民法Ｓ１(総則)	2①		2		○								兼1	
	民法Ｓ２(物権法・担保物権法)	2②		2		○								兼1	
	民法Ｓ３(債権各論)	2③		2		○								兼1	
	民法Ｓ４(債権総論)	2④		2		○								兼1	
	政治学原論１	2①		2		○								兼1	
	政治学原論２	2③		2		○								兼1	
	日本政治論	2④		2		○								兼1	
	国際政治学１	2①		2		○								兼1	
	国際政治学２	2③		2		○								兼1	
	政治学史１	2③		2		○								兼1	
	政治学史２	2④		2		○								兼1	
	行政学	2①		2		○								兼1	
	公共政策論１	2③		2		○								兼1	
	公共政策論２	2④		2		○								兼1	
	小計(30科目)	－	0	60	0	－			0	0	0	0	0	兼12	—
学科科目 育成プログラム	国家公務員育成プログラム１	1①～②		1		○								兼1	
	国家公務員育成プログラム２	1③～④		1		○								兼1	
	国家公務員育成プログラム３	2②		1		○								兼1	
	国家公務員育成プログラム４	2③		1		○								兼1	
	育成プログラム１	1休		1		○				1					
	育成プログラム２	1休		2		○				1					
	育成プログラム３	1休		3		○				1					
	育成プログラム４	1休		4		○				1					
	育成プログラム５	1休		5		○				1					
	育成プログラム６	1休		6		○				1					
	育成プログラム７	1休		8		○				1					
	小計(11科目)	－	0	33	0	－			0	1	0	0	0	兼3	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（経済学部　経済学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
合計(238科目)		－	18	437	0	－			8	5	1	1	0	兼233	—

学位又は称号	学士（経済学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修１８単位を含めて２２単位。学科科目は、８４単位。自由選択単位は、１８単位以上の合計１２４単位以上修得する。 自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目、日本語科目・日本事情に関する科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。 （履修科目の登録の上限：１年次４０単位、２年次４０単位、３年次４０単位、４年次４０単位）	１学年の学期区分	４学期
	１学期の授業期間	８週
	１時限の授業時間	９０分 （週２時限）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○								兼5	
		小計(3科目)	－	4	4	0	－			0	0	0	0	0	兼10	—
	健康体育科目	スポーツと身体科学	1①～④		1			○							兼5	
		フィールド・スポーツ	2①～④		1			○							兼1	集中
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③～④		2		○								兼1	
		小計(3科目)	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼6	—
	情報科目	データ・情報リテラシー	1①	1				○							兼1	
		メディア・人工知能リテラシー	1②	1				○							兼1	
		情報分析・創出・表現技法	1③・④		1			○							兼3	
		プログラミングリテラシー	1③・④		1			○							兼2	
		小計(4科目)	－	2	2	0	－			0	0	0	0	0	兼6	—
	外国語応用	English for Studying Abroad 1	1・2②・③・④		1			○							兼1	
		English for Studying Abroad 2	1・2②・③・④		1			○							兼1	
		International Lectures 1	1・2・3・4②		1		○			1						
		International Lectures 2	1・2・3・4②		1		○			1						
		英語資格・検定試験対策A	1①・②		1			○							兼2	
		英語資格・検定試験対策B	1③・④		1			○							兼3	
		小計(6科目)	－	0	6	0	－			1	0	0	0	0	兼4	—
	日本語リテラシー	日本語リテラシー	1①・②・③・④	1				○							兼5	
		小計(1科目)	－	1	0	0	－			0	0	0	0	0	兼5	—
	セルフディベロップメント科目 基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○								兼8	
	セルフディベロップメント科目 発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	1・2③・④		2		○								兼2	オムニバス
		数学的ものの考え方	1・2②・④		2		○								兼1	
		社会現象を分析する	1・2③		2		○			1					兼2	
		環境学への展望	1・2①・②		2		○								兼1	
		人間の心理を探る	1・2②・③		2		○								兼3	
		生命科学と人間	1・2④		2		○								兼1	
		市民の社会貢献	1・2①・④		2		○								兼1	
		市民生活と権利を考える	1・2③・④		2		○								兼2	
		現代メディアの探求	1・2①・③		2		○								兼2	
		社会情報と生活	1・2①・②		2		○								兼1	
		日本の歴史	1・2①・④		2		○			1					兼1	
		外国の歴史	1・2①・③		2		○								兼1	
		哲学への探索	1・2②・③		2		○								兼1	
		文化人類学への誘い	1・2①		2		○								兼1	
		文学を読み解く楽しみ	1・2③・④		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド概論	1・2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	1・2③		2		○								兼1	
		小計(18科目)	－	6	34	0	－			2	0	0	0	0	兼5	—
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○								兼49	集中
		フィールド・スタディーズ１	1①～④		1			○							兼1	集中
		フィールド・スタディーズ２	1①～④		2			○							兼6	集中
		フィールド・スタディーズ３	1①～④		3			○							兼1	集中
		フィールド・スタディーズ４	1①～④		4			○							兼17	集中
		海外フィールド・スタディーズ１	1①～④		2			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ２	1①～④		3			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ３	1①～④		4			○							兼2	集中
		海外フィールド・スタディーズ４	1①～④		5			○							兼1	集中

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	フィールド・ワールド・スタディーズ科目	海外フィールド・スタディーズ５	1①～④		6			○							兼1	集中
		小計(10科目)	－	1	30	0	－			0	0	0	0	0	兼49	—
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	1・2②・④		1		○								兼1	
		インターンシップ１	1・2①～④		1			○							兼1	集中
		インターンシップ２	1・2①～④		2			○							兼1	集中
		インターンシップ３	1・2①～④		4			○							兼15	集中
		インターンシップ４	1・2①～④		6			○								集中
		海外インターンシップ１	1・2①～②		4			○							兼2	集中
		海外インターンシップ２	1・2①～②		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ３	1・2①～②		8			○							兼1	集中
		小計(8科目)	－	0	32	0	－			0	0	0	0	0	兼18	—
	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）１	1・2①～②		2		○								兼5	集中
		サブ・メジャー（ゼミナール）２	1・2①～④		4		○								兼3	集中
		サブ・メジャー（総合研究）１	2・3①～④		2		○								兼5	集中
		サブ・メジャー（総合研究）２	2・3①～④		4		○								兼4	集中
		小計(4科目)	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼9	—
	寄付講座科目	寄付講座１	1・2・3・4③～④		2		○								兼11	
		資金計画論	1・2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	1・2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	1・2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー(金融と人生設計)	1・2③～④		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	1・2③～④		2		○								兼1	
		小計(6科目)	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼14	—
学科科目	言語演習科目	中国語１Ａ	1①		1			○							兼5	オムニバス
		中国語１Ｂ	1②		1			○							兼5	オムニバス
		中国語１Ｃ	1③		1			○							兼5	オムニバス
		中国語１Ｄ	1④		1			○							兼5	オムニバス
		中国語２Ａ	1・2①		1			○							兼6	オムニバス
		中国語２Ｂ	1・2②		1			○							兼6	オムニバス
		中国語２Ｃ	1・2③		1			○							兼7	オムニバス
		中国語２Ｄ	1・2④		1			○							兼7	オムニバス
		中国語３Ａ	2・3①		1			○							兼7	オムニバス
		中国語３Ｂ	2・3②		1			○							兼7	オムニバス
		中国語３Ｃ	2・3③		1			○							兼3	オムニバス
		中国語３Ｄ	2・3④		1			○							兼3	オムニバス
		中国語資格試験演習１Ａ	1①～②		1			○							兼2	
		中国語資格試験演習１Ｂ	1③～④		1			○							兼2	
		中国語資格試験演習２Ａ	1・2①～②		1			○							兼3	
		中国語資格試験演習２Ｂ	1・2③～④		1			○							兼3	
		ビジネス中国語Ａ	2・3①		1			○							兼1	
		ビジネス中国語Ｂ	2・3②		1			○							兼1	
		ビジネス中国語Ｃ	2・3③		1			○							兼1	
		ビジネス中国語Ｄ	2・3④		1			○							兼1	
		小計(20科目)	－	0	20	0	－			0	0	0	0	0	兼19	—
		English for Qualifications 1A	1①		1			○							兼3	
		English for Qualifications 1B	1②		1			○							兼3	
		English for Qualifications 1C	1③		1			○							兼3	
		English for Qualifications 1D	1④		1			○							兼3	
		English for Qualifications 2A	1・2①		1			○							兼3	
		English for Qualifications 2B	1・2②		1			○							兼3	
		English for Qualifications 2C	1・2③		1			○							兼3	
		English for Qualifications 2D	1・2④		1			○							兼3	
		English for Qualifications 3A	2・3①		1			○							兼1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	言語演習科目	英語科目群	English for Qualifications 3B	2・3②		1			○							兼1	
			English for Qualifications 3C	2・3③		1			○							兼1	
			English for Qualifications 3D	2・3④		1			○							兼1	
			Practical Communication 1A	1①		1			○							兼3	
			Practical Communication 1B	1②		1			○							兼3	
			Practical Communication 1C	1③		1			○							兼3	
			Practical Communication 1D	1④		1			○							兼3	
			Practical Communication 2A	1・2①		1			○							兼3	
			Practical Communication 2B	1・2②		1			○							兼3	
			Practical Communication 2C	1・2③		1			○							兼3	
			Practical Communication 2D	1・2④		1			○							兼3	
			Practical Communication 3A	2・3①		1			○							兼1	
			Practical Communication 3B	2・3②		1			○							兼1	
			Practical Communication 3C	2・3③		1			○							兼1	
			Practical Communication 3D	2・3④		1			○							兼1	
			Reading for business studies A	1①		1			○		1						
			Reading for business studies B	1②		1			○		1						
			Business Writing	1・2①・②		1			○		1						
			Business Presentation	1・2③・④		1			○		1						
			Business Meeting	2・3③・④		1			○							兼1	
			小計(29科目)	－	0	29	0	－			2	0	0	0	0	兼8	－
		日本語科目群	基礎日本語１Ａ	1①		1			○							兼1	
			基礎日本語１Ｂ	1①・②		1			○							兼1	
			基礎日本語１Ｃ	1①・②・③		1			○							兼1	
			基礎日本語１Ｄ	1①・②・③・④		1			○							兼1	
			基礎日本語１Ｅ	1①・②・③・④		1			○							兼1	
			基礎日本語１Ｆ	1①・②・③・④		1			○							兼1	
			基礎日本語１Ｇ	1①・②・③・④		1			○							兼1	
			基礎日本語１Ｈ	1①・②・③・④		1			○							兼1	
			日本語１Ａ	1①・③		1			○							兼4	
			日本語１Ｂ	1②・④		1			○							兼4	
			日本語１Ｃ	1③		1			○							兼3	
			日本語１Ｄ	1④		1			○							兼3	
			日本語２Ａ	1・2①		1			○							兼4	
			日本語２Ｂ	1・2②		1			○							兼4	
			日本語２Ｃ	1・2③		1			○							兼3	
			日本語２Ｄ	1・2④		1			○							兼3	
			実用日本語１Ａ	1①		1			○							兼3	
			実用日本語１Ｂ	1②		1			○							兼3	
			実用日本語１Ｃ	1③		1			○							兼3	
			実用日本語１Ｄ	1④		1			○							兼3	
			実用日本語２Ａ	1･2①		1			○							兼3	
			実用日本語２Ｂ	1･2②		1			○							兼3	
			実用日本語２Ｃ	1･2③		1			○							兼3	
			実用日本語２Ｄ	1･2④		1			○							兼3	
			日本語資格試験演習Ａ	1・2①		1			○		1						
			日本語資格試験演習Ｂ	1・2②		1			○		1						
			日本語資格試験演習Ｃ	1・2③		1			○		1						
			日本語資格試験演習Ｄ	1・2④		1			○		1						
			小計(28科目)	－	0	28	0	－			1	0	0	0	0	兼13	－

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	学科基礎科目	基礎ゼミ/Fundamental Seminar	1①～②、③～④	1				○		1	1	1				
		プレゼミA/Pre-seminar A	1・2①～②	1				○		1	1					
		プレゼミB/Pre-seminar B	1・2③～④	1				○		1	1					
		Career Design	1・2③	1				○		1						
		小計(4科目)	－	4	0	0	－			2	2	1	0	0	兼0	—
	多文化共修科目	グローバルスタディーズ/Global Studies	1・2①～②	2			○			2		1				
		グローバルプロジェクト/Global Project	2・3①～②	2			○			2		1				
		小計(2科目)	－	4	0	0	－			3	0	1	0	0	兼0	—
	ビジネス科目	Introduction to Business Studies A	1③	2			○				1					
		Introduction to Business Studies B	1④	2			○				1					
		Management A	1・2①	2			○			1						
		Management B	1・2②	2			○			1						
		Accounting A	1③		1		○			1						
		Accounting B	1④		1		○			1						
		Accounting Advanced A	1・2①		1		○			1						
		Accounting Advanced B	1・2②		1		○			1						
		Research Method for Business Studies A	1・2①		2		○					1				
		Research Method for Business Studies B	1・2②		2		○					1				
		Finance A	1・2③		2		○			1						
		Finance B	1・2④		2		○			1						
		Management in Japan	1・2①～②		2		○			1						
		Digital Economy	1・2③～④		2		○			1						
		Statistics for Business Studies A	2・3①～②		2		○			1						
		Statistics for Business Studies B	2・3③～④		2		○			1						
		Managerial Accounting A	2・3①		2		○			1						
		Managerial Accounting B	2・3②		2		○			1						
		Organizational Behavior A	2・3③		2		○					1				
		Organizational Behavior B	2・3④		2		○					1				
		Business Economics A	1・2③		2		○			1						
		Business Economics B	1・2④		2		○			1						
		Global Trading A	2・3③		2		○								兼1	
		Global Trading B	2・3④		2		○								兼1	
		Financial Services A	2・3①		2		○			1						
		Financial Services B	2・3②		2		○			1						
		Hospitality A	2・3③		2		○								兼1	
		Hospitality B	2・3④		2		○								兼1	
		Marketing in Global Business A	1・2③		2		○				1					
		Marketing in Global Business B	1・2④		2		○				1					
		Advanced Marketing in Global Business A	2・3①		2		○				1					
		Advanced Marketing in Global Business B	2・3②		2		○				1					
		Strategy in Global Business A	2・3①		2		○				1					
		Strategy in Global Business B	2・3②		2		○				1					
		China Business Studies A	2・3①		2		○								兼1	
		China Business Studies B	2・3②		2		○								兼1	
		Emerging Markets	2・3①～②		2		○			1						
		International Business Law and Ethics	2・3①～②		2		○			1						
		Internship A	1・2①～④		1		○			1						
		Internship B	1・2①～④		1		○			1						
		Internship C	1・2①～④		2		○			1						
		Internship D	1・2①～④		4		○			1						
		Entrepreneurship	3・4①～②		2		○				1					
		小計(43科目)	－	8	74	0	－			3	2	1	0	0	兼3	—

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（グローバル学部　グローバルビジネス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
学科科目	学部隣接科目群	英語資格試験演習A/Practical Exercises for English Qualifications A	2・3①		2			○							兼1	
		英語資格試験演習B/Practical Exercises for English Qualifications B	2・3②		2			○							兼1	
		英語資格試験演習C/Practical Exercises for English Qualifications C	2・3③		2			○							兼1	
		英語資格試験演習D/Practical Exercises for English Qualifications D	2・3④		2			○							兼1	
		異文化コミュニケーションA/Cross-cultural Communication A	1③		2		○								兼1	
		異文化コミュニケーションB/Cross-cultural Communication B	1④		2		○								兼1	
		小計(6科目)	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼3	—
	特別講義	特別講義/Special Lectures A	2・3①～④		1		○								兼1	
		特別講義/Special Lectures B	2・3①～④		1		○								兼1	
		特別講義/Special Lectures C	2・3①～④		1		○								兼1	
		特別講義/Special Lectures D	2・3①～④		1		○								兼1	
		小計(4科目)	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼1	—
	ゼミ/Seminar	ゼミ/Seminar A	2・3①～②		2			○		2	2	1				
		ゼミ/Seminar B	2・3③～④		2			○		2	2	1				
		ゼミ/Seminar C	3・4①～②		2			○		3	2					
		ゼミ/Seminar D	3・4③～④		2			○		3	2					
		卒業論文/Research Project for Graduation Thesis	3・4①～④		4			○		3	2					
		小計(5科目)	－	0	12	0	－			4	2	1	0	0	兼0	—
合計(204科目)			－	30	315	0	－			6	2	1	0	0	兼159	—

学位又は称号	学士（グローバルビジネス）	学位又は学科の分野	文学関係、経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修１３単位を含めて１７単位。学科科目は、必修２８単位及び選択必修単位を含めて９２単位。自由選択単位は、１５単位以上の合計１２４単位以上修得する。 自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。 （履修科目の登録の上限：１年次４０単位、２年次４０単位、３年次４０単位、４年次４０単位）	１学年の学期区分	４学期
	１学期の授業期間	８週
	１時限の授業時間	９０分 （週２時限）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（データサイエンス学部　データサイエンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	建学科目	仏教概説	1①～④	4			○								兼1	
		共生社会	1②		2		○								兼6	
		しあわせを考える	2①～②		2		○								兼5	
		小計（3科目）	－	4	4	0	－			0	0	0	0	0	兼10	－
	健康体育科目	スポーツと身体科学	1①～④		1			○							兼5	
		フィールド・スポーツ	2①～④		1			○							兼1	
		オリンピック・パラリンピック文化論	2③・④		2		○								兼1	
		小計（3科目）	－	0	4	0	－			0	0	0	0	0	兼6	－
	情報科目	データ・情報リテラシー	1①	1				○		1						
		メディア・人工知能リテラシー	1②	1				○		1						
		情報分析・創出・表現技法	1③・④		1			○							兼3	
		プログラミングリテラシー	1③・④		1			○					2			
		小計（4科目）	－	2	2	0	－			1	0	0	2	0	兼3	－
	外国語	英語1A	1①～②	1				○							兼8	
		英語1B	1①～②	1				○							兼10	
		英語1C	1③～④	1				○							兼7	
		英語1D	1③～④	1				○							兼10	
		英語2A	2①～②		1			○							兼21	
		英語2B	2①～②		1			○							兼2	
		英語2C	2③～④		1			○							兼14	
		英語2D	2③～④		1			○							兼19	
		英語3A	3①～②		1			○							兼1	
		英語3B	3③～④		1			○							兼1	
		中国語1A	1①～②		1			○							兼5	
		中国語1B	1①～②		1			○							兼4	
		中国語1C	1③～④		1			○							兼5	
		中国語1D	1③～④		1			○							兼4	
		中国語2A	2①～②		1			○							兼1	
		中国語2B	2①～②		1			○							兼1	
		中国語2C	2③～④		1			○							兼2	
		中国語2D	2③～④		1			○							兼1	
		中国語3A	3①～②		1			○							兼2	
		中国語3B	3③～④		1			○							兼2	
		フランス語1A	1①～②		1			○							兼3	
		フランス語1B	1①～②		1			○							兼2	
		フランス語1C	1③～④		1			○							兼3	
		フランス語1D	1③～④		1			○							兼2	
		フランス語2A	2①～②		1			○							兼1	
		フランス語2B	2①～②		1			○							兼1	
		フランス語2C	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語2D	2③～④		1			○							兼2	
		フランス語3A	3①～②		1			○							兼2	
		フランス語3B	3③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語1A	1①～②		1			○							兼3	
		ドイツ語1B	1①～②		1			○							兼2	
		ドイツ語1C	1③～④		1			○							兼3	
		ドイツ語1D	1③～④		1			○							兼2	
		ドイツ語2A	2①～②		1			○							兼1	
		ドイツ語2B	2①～②		1			○							兼1	
		ドイツ語2C	2③～④		1			○							兼2	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（データサイエンス学部　データサイエンス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	外国語		ドイツ語2D	2③～④		1			○							兼2	
			ドイツ語3A	3①～②		1			○							兼2	
			ドイツ語3B	3③～④		1			○							兼2	
			スペイン語1A	1①～②		1			○							兼2	
			スペイン語1B	1①～②		1			○							兼2	
			スペイン語1C	1③～④		1			○							兼2	
			スペイン語1D	1③～④		1			○							兼2	
			スペイン語2A	2①～②		1			○							兼1	
			スペイン語2B	2①～②		1			○							兼1	
			スペイン語2C	2③～④		1			○							兼1	
			スペイン語2D	2③～④		1			○							兼1	
			スペイン語3A	3①～②		1			○							兼2	
			スペイン語3B	3③～④		1			○							兼2	
			韓国語1A	1①～②		1			○							兼5	
			韓国語1B	1①～②		1			○							兼3	
			韓国語1C	1③～④		1			○							兼5	
			韓国語1D	1③～④		1			○							兼3	
			韓国語2A	2①～②		1			○							兼1	
			韓国語2B	2①～②		1			○							兼1	
			韓国語2C	2③～④		1			○							兼2	
			韓国語2D	2③～④		1			○							兼2	
			韓国語3A	3①～②		1			○							兼2	
			韓国語3B	3③～④		1			○							兼2	
			小計（60科目）	－	4	56	0	－			0	0	0	0	0	兼69	－
	外国語応用		English for Studying Abroad 1	1②・③・④		1			○							兼1	
			English for Studying Abroad 2	1②・③・④		1			○							兼1	
			International Lectures 1	1②		1		○								兼1	
			International Lectures 2	1②		1		○								兼1	
			英語資格・検定試験対策A	1①・②		1			○							兼2	
			英語資格・検定試験対策B	1③・④		1			○							兼3	
			小計（6科目）	－	0	6	0	－			0	0	0	0	0	兼5	－
	日本語リテラシー		日本語リテラシー	1①・②・③・④	1				○							兼1	
			小計（1科目）	－	1	0	0	－			0	0	0	0	0	兼1	－
	セルフディベロップメント科目	基礎セルフディベロップメント	基礎セルフディベロップメント	1①～④	6			○			2	1		2		兼58	
		発展セルフディベロップメント	芸術のすすめ	2③・④		2		○								兼2	オムニバス
			数学的ものの考え方	2②・④		2		○								兼1	
			社会現象を分析する	2③		2		○								兼3	
			環境学への展望	2①・②		2		○								兼1	
			人間の心理を探る	2②・③		2		○								兼3	
			生命科学と人間	2④		2		○								兼1	
			市民の社会貢献	2①・④		2		○								兼1	
			市民生活と権利を考える	2③・④		2		○								兼2	
			現代メディアの探求	2①・③		2		○								兼2	
			社会情報と生活	2①・②		2		○								兼1	
			日本の歴史	2①・④		2		○								兼2	
			外国の歴史	2①・③		2		○								兼1	
			哲学への探索	2②・③		2		○								兼1	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（データサイエンス学部　データサイエンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	発展セルフディベロップメント（セルフディベロップメント科目）	文化人類学への誘い	2①		2		○								兼1	
		文学を読み解く楽しみ	2③・④		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド概論	2②		2		○								兼1	
		ホスピタリティマインド各論	2③		2		○								兼1	
		小計（18科目）	－	6	34	0	－			2	1	0	2	0	兼77	－
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	フィールド・スタディーズ	1①～④	1			○			2	1	1			兼45	集中
		フィールド・スタディーズ1	1①～④		1			○							兼1	集中
		フィールド・スタディーズ2	1①～④		2			○							兼6	集中
		フィールド・スタディーズ3	1①～④		3			○							兼1	集中
		フィールド・スタディーズ4	1①～④		4			○							兼17	集中
		海外フィールド・スタディーズ1	1①～④		2			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ2	1①～④		3			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ3	1①～④		4			○							兼2	集中
		海外フィールド・スタディーズ4	1①～④		5			○							兼1	集中
		海外フィールド・スタディーズ5	1①～④		6			○							兼1	集中
		小計（10科目）	－	1	30	0	－			2	1	1	0	0	兼45	－
	インターンシップ科目	インターンシップ（事前研究）	2②・④		1		○								兼1	
		インターンシップ1	2①～④		1			○							兼1	集中
		インターンシップ2	2①～④		2			○							兼1	集中
		インターンシップ3	2①～④		4			○			1				兼14	集中
		インターンシップ4	2①～④		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ1	2①～②		4			○							兼2	集中
		海外インターンシップ2	2①～②		6			○							兼1	集中
		海外インターンシップ3	2①～②		8			○							兼1	集中
		小計（8科目）	－	0	32	0	－			0	1	0	0	0	兼17	－
	副専攻（サブ・メジャー）科目	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2①～②		2		○								兼5	集中
		サブ・メジャー（ゼミナール）2	2①～④		4		○								兼3	集中
		サブ・メジャー（総合研究）1	3①～④		2		○								兼1	集中
		サブ・メジャー（総合研究）2	3①～④		4		○								兼8	集中
		小計（4科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼15	－
	寄付講座科目	寄付講座1	1③～④		2		○								兼11	
		資金計画論	2①～②		2		○								兼1	
		証券ビジネス論	2③～④		2		○								兼1	
		経済教育論	2③～④		2		○								兼1	
		金融リテラシー（金融と人生設計）	2③～④		2		○								兼1	
		未来型都市とメディア	2③～④		2		○								兼1	
		小計（6科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼14	－
学科科目	専門共通科目	データサイエンス学	1①～②	2			○			1						
		人類と人工知能（AI）	1③～④	2			○				1					
		メディアクリエーション・データデザイン演習Ⅰ	1①	1				○			1					
		メディアクリエーション・データデザイン演習Ⅱ	1②	1				○			1					
		データサイエンスプログラミング演習Ⅰ	1③	1				○			1					
		データサイエンスプログラミング演習Ⅱ	1④	1				○				1				
		データと数理Ⅰ	2①	2			○				1		1			
		データと数理Ⅱ	2②	2			○					1	1			
		データと経済統計	2③	2			○					1				
		データと計量経済学	2④	2			○				1					
		ソーシャルイノベーションの起こし方	2①	2			○				1					
		グリーンエコノミー基礎	2②	2			○			1						
		サイバーフィジカルシステム	2①	2			○			1						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（データサイエンス学部　データサイエンス学科）

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	専門コース科目		機械学習と深層学習	2②	2			○				1					
			Webテクノロジ	2③	2			○				1					
			複合現実	2④	2			○								兼1	
			マーケティングデータ分析	2③	2			○				1					
			機械学習デザイン演習Ⅰ	2①	1				○				1				
			機械学習デザイン演習Ⅱ	2②	1				○			1					
			人工知能(AI)デザイン演習Ⅰ	2③	1				○			1					
			人工知能(AI)デザイン演習Ⅱ	2④	1				○				1				
			データサイエンス特論	3①	2			○			4						オムニバス
			情報経済特論	3②	2			○			1						
			データマイニング	3③	2			○				1					
			小計（24科目）	－	40	0	0	－			6	5	1	1	0	兼1	－
		AIクリエーション・コース	人工知能(AI)テクノロジ	2④		2		○				1					
			マルチメディア知識ベース	3①		2		○			1						
			人工知能(AI)・人間協調進化システム	3②		2		○				1					
			人工知能(AI)ゲームクリエーション	3③		2		○				1					
			ロボティクス・IoT	3③		2		○			1						
			サイバーセキュリティと人工知能(AI)	3④		2		○			1						
			小計（6科目）	－	0	12	0	－			2	2	0	0	0	兼0	－
		AIアルゴリズムデザイン・コース	機械学習アルゴリズムデザイン	2④		2		○				1					
			データベースデザイン	3①		2		○				1					
			画像・音声認識システム	3①		2		○			1						
			テキストマイニング	3②		2		○			1						
			時空間データベース	3③		2		○			1						
			リアルワールド解析シミュレータ	3④		2		○			1						
			小計（6科目）	－	0	12	0	－			3	2	0	0	0	兼0	－
		ソーシャルイノベーション・コース	マーケティング・オートメーション	3①		2		○			1						
			人工知能(AI)社会の情報倫理	3①		2		○								兼2	
			社会・環境・ビジネスデザイン	3②		2		○				1					
			グローバル・ビジネス・ガバナンス	3③		2		○								兼2	
			ビジネスモデル創出	3④		2		○			1						
			社会・環境・ビジネスフィールドワーク	3④		2		○				1					
			小計（6科目）	－	0	12	0	－			2	1	0	0	0	兼4	－
		演習	専門（人工知能（AI）クリエーション）コース演習Ⅰ	3①	2				○		1	1					オムニバス
			専門（人工知能（AI）アルゴリズムデザイン）コース演習Ⅱ	3②	2				○		1	1					オムニバス
			専門（ソーシャルイノベーション）コース演習Ⅲ	3③	2				○		1	1					オムニバス
			小計（3科目）	－	6	0	0	－			3	3	0	0	0	兼0	－
	社会連携教育		社会連携活動概論	2①	1			○			1						
			データサイエンス社会実践学習（短期）	2・3①～④		1				○	1	1	1				メディア
			データサイエンス社会実践学習（中期）	2・3①～④		2				○	1	1	1				メディア
			データサイエンス社会実践学習（長期）	2・3①～④		3				○	1	1	1				メディア
			データサイエンス社会実践学習（海外）	2・3①～④		4				○	3						メディア
			小計（5科目）	－	1	10	0	－			3	1	1	0	0	兼0	－
	プロジェクト型科目		未来創造PJ-AⅠ	1③～④		4			○		4	5	1				
			未来創造PJ-BⅠ	1③～④		2			○		4	5	1				
			未来創造PJ-AⅡ	2①～②		4			○		4	5	1				
			未来創造PJ-BⅡ	2①～②		2			○		4	5	1				
			未来創造PJ-AⅢ	2③～④		4			○		4	5	1				
			未来創造PJ-BⅢ	2③～④		2			○		4	5	1				
			未来創造PJ-AⅣ	3①～②		4			○		7						
			未来創造PJ-BⅣ	3①～②		2			○		7						

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（データサイエンス学部　データサイエンス学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	プロジェクト型科目	卒業論文創成課題	3③～④	2				○		7						
		卒業論文Ⅰ	4①～②	4				○		7						
		卒業論文Ⅱ	4③～④	4				○		7						
		小計(11科目)	－	10	24	0	－			7	5	1	0	0	兼0	－
合計(184科目)			－	75	262	0	－			7	5	1	2	0	兼222	－

学位又は称号	学士（データサイエンス学）	学位又は学科の分野	工学関係、経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
共通科目は、必修１８単位を含めて２２単位。学科科目は必修５４単位を含めて８７単位。自由選択単位は１５単位以上の合計１２４単位以上修得する。 自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目、日本語科目・日本事情に関する科目の単位をあてることができる。 （履修科目の登録の上限：１年次４０単位、２年次４２単位、３年次４４単位、４年次３４単位（年間）） 	１学年の学期区分	４学期
	１学期の授業期間	８週
	１時限の授業時間	９０分 （週２時限）

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	建学	仏教（生き方を考える）基礎	学生が自らの「生き方」を考える機会を与える授業である。 本授業においては、その前提となる学祖・高楠順次郎の生涯と教育理念、及び、仏教の開祖である釈尊の思想を学ぶ。それらの学びを基礎にして、本学のブランドステートメントである「世界の幸せをカタチにする。」の実現に向けて、Happiness Creator（幸せの響創者）としての志を立て、仏教思想を基盤とした「生き方」を構想する。	
		仏教（生き方を考える）発展	「仏教（生き方を考える）基礎」で学んだ内容を踏まえ、本授業で改めて建学の精神に基づく自身の「生き方」を考え、その確立をはかる。 「世界は幸せか」を問い、取り組むべき課題を自ら見つける。この主体性を発揮するために、課題を中心に据え自分事として向き合う。縁起の世界観に基づき、無限につながり合っていくことを学ぶ。	
	スポーツ・身体	スポーツと身体科学	各種のスポーツ種目（バドミントン、テニス、卓球、屋外球技、屋内球技、ゴルフ等）を教材としてとりあげる。演習は体力づくり・スポーツ技術の学習を通して将来の健康な生活づくりに役立つ運動やその知識を習得する。更に競技・種目を中心とした演習展開のすべての作業に学生が携わりながらＰＤＣＡサイクルを毎時間繰り返すことで、「自己理解」「他者理解」を深めるとともに、「コミュニケーション能力」を高め、創造力・実践力を高めていく。	
		フィールド・スポーツ	集中演習形式による各種の運動体験を通じて「健康・体力の維持増進を含めて、自己の身体及び身体運動のもつ意義」を考えると同時に、「社会的適応能力や社会発展のメカニズムに積極的に関わりうる能力の獲得」を企図し実現する。演習展開のすべての作業に学生が主体的に携わりながらＰＤＣＡサイクルを毎時間繰り返すことで、「自己理解」「他者理解」を深めるとともに、「コミュニケーション能力」を高め、創造力・実践力を高めていく。	
	情報	データサイエンス基礎	本授業は、目的に応じてデータを収集・管理・編集し、基本的なデータ処理関数を適用し、その結果を可視化・図式化し第三者に客観的エビデンスを示せるようになるデータサイエンスリテラシーを学習の到達目標とする。さらに、クラウドベースの文書表現ツールの活用法および動画レポートの作成、インターネット時代の情報倫理、自己防衛法などの情報リテラシーを学ぶ。 学習方法としてはグループ協調学習を基軸に進め、協働・プレゼンスキルなども副次的に身につける。	
		人工知能基礎	本授業は、人工知能の基本的な能力や社会応用の可能性について理解をするとともに人工知能ツールやサービスの利活用方法について体験的な学習を進め人工知能の利活用リテラシーを学ぶ。さらに、人工知能に代表される人間の知性を代行するサービスの社会的浸透が進むと働き方、職業、職種、社会生活がどのように変化しどのように対応して自分のキャリアを描くべきかを考えてもらう。 学習方法としてはグループ協調学習を基軸に進め、協働・プレゼンスキルなども副次的に身につける。	
		メディアリテラシー	ＷｅｂからＳＮＳに代表される個人が発信し、個人が利活用できる多様な社会メディアが溢れている時代で、個人はモバイル端末から直接不特定多数に向けて情報発信や不特定多数の情報ソースから情報を収集することができる環境に置かれている。 本授業では、これらの情報環境を前提にした、メディアを安全安心に、相互の権利やマナーを尊重して利活用できるスキルセットを実践的に理解し、自らメディアを通じた社会発信や利活用できる実践的なリテラシーを学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	情報	情報技法基礎	目的に応じた情報（データ）の可視化と分析、仮説（アイディア）の創出、情報の論理的な図式化技法を学ぶ。具体的には、クラウドツールであるスプレッドシートや可視化ツールを活用し、情報・データを様々な形で可視化したり、情報を分類・比較したりすることを通じて、情報の新しい関係性（仮説）を発見する基本的な方法論と実践技法を学ぶ。さらに発見された仮説（アイディア）を論理的に表現・論証し、その論理構造が他者に伝わりやすい形で表現する手法（可視化・図式化）を学ぶ。これらの技法を学ぶことを通じて、他者に伝達したい主張の共通理解を得るために、情報分析による論証や論理的な説明の重要性と具体的な実践スキルを身につける。	
		情報技法発展Ａ	情報技法基礎の履修を前提に、データの統計的な分析法および論理的な分析と表現手法についての学びを行う。いわゆる統計的思考および論理的思考について実践的知識とスキルを学ぶ。問題を発見し、解決案を見出し、他者を説得するためには、エビデンスに基づいた主張と論理的な説得の構造が必要である。本授業では、情報技法基礎で学んだ分析スキルに加え、より高度な統計的手法を学ぶ。また論理的思考法では、観察された事象を論理的な構造として捉える論理構造の構築手法、論理構造の説得力のある表現手法について学ぶ。これらの学修を通じて、統計的思考及び論理的思考の実践的な思考法及びスキルを身につけると同時に、情報を正しく読む力、データに基づき論理的に主張する力、異なる考え方の間を論理的に埋めていくコミュニケーション力など、社会で求められる能力の基礎スキルを獲得することを狙いとする。	
		情報技法発展Ｂ	情報技法基礎の履修を前提に、質的データの収集方法やその分析表現方法および情報（アイディア）の創出方法等について体系的・実践的に学ぶ。いわゆるデザイン思考についての実践的知識とスキルを学ぶ。質的データの収集・分析・表現方法については、社会調査法、観察方法の基本的な方法論とスキルセットを学ぶ。また、デザイン思考については、アイディアを創出し洗練化する基本的なプロセス、重要な概念・方法論について実践的なワークショップを通じて反復的に学ぶ。	
		情報技法発展Ｃ	情報技法基礎の履修を前提に、データの高度な分析や可視化の技法について専用の可視化・分析ツールを活用して行う。本授業では、ＢＩツールと呼ばれるような、大量のデータをリアルタイムに可視化し、迅速な問題発見や意思決定を行うための技法を身につける。大量のデータの分析にあたり、まずはデータ自身の性質を把握するために可視化技法が最も基本となるスキルである。１つのデータを多角的に可視化することを通じて、データの本質を見出していく手法を学ぶ。また単に可視化するにとどまらず、ＡＩツールなどと連動したデータのモデル化やシミュレーションを行い、現状のデータを理解する手法とともに、予測のための方法も学ぶ。	
		プログラミング基礎	ブロックを組み合わせることでコンピュータのキャラクターを動かしたり、IoTデバイスのランプや音をコントロールすることで、簡単なプログラムを作成する方法を学び、プログラミングの基本的な仕組みを理解する。授業ではプログラミングをするときに重要な問題解決手法（問題の分離、パターンの発見、抽象化、手順化）について学び、課題を解決するために必要な機能を自分で考え、プログラムで作成できる能力を身につける。	
		プログラミング発展Ａ	ＡＩを学ぶために必要なプログラミング言語の一つであるPythonを利用し、プログラミングの基礎、またＡＩの基本要素の一つである回帰モデルを作成する。プログラミングでは変数やリストディクショナリなどの基本型、算術および比較演算子、またifやfor文などの制御型について学ぶ。また単回帰や重回帰などの線形回帰による分析方法について学び、Webサイトの広告費からクリック数を予測するプログラムを作成する。	
		プログラミング発展Ｂ	プログラミング発展Ａの履修を前提に、ＡＩを学ぶために必要なプログラミング言語の一つであるPythonを利用した関数化、またヒストグラムや折れ線グラフなどを作成する可視化方法について学ぶ。またＡＩの学習アルゴリズムとして近年注目されているニューラルネットワークについて学び、基本的なアルゴリズムの一つであるパーセプトロンを実装して手書き文字を学習し、自分で書いた文字を分類するプログラムを作成する。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	情報	人工知能技術と社会	情報通信技術及び人工知能技術に関わる歴史と進化のあらまし、情報通信技術及び人工知能技術を利活用する上で必要となる重要概念や用語の理解をするとともに、重要な技術についてはその原理的な仕組みも学ぶ。 さらに、ビジネスから様々な生活シーンに展開される人工知能の社会的活用の現状と将来展望をケーススタディをベースに実践的に学ぶ。	
		機械学習活用１	人と会話をすることが可能なコンピュータを作りながら、人はどのように言葉を獲得しているのか、なぜ言葉を理解することができるのか、またコンピュータは人の言葉をどのように理解しているのか、コンピュータが理解できる会話とできない会話にはどのような違いがあるのかを理解する。授業では質問応答システムをもとに、質問の解析、文書の検索、回答候補の抽出、回答を選択する仕組みについて学び、コンピュータがどのように人の質問を理解しているのかを学ぶ。更に人同士の会話の仕組みと比較し、現在のコンピュータでできていないこと、またできるようになるためにはどのような仕組みが必要なのかについて議論する。	
		機械学習活用２	周りを理解して人に教えることができるコンピュータを作りながら、人はどのように世界を見ているのか、なぜものを見て理解することができるのか、またコンピュータは世界をどのように理解しているのか、コンピュータが理解できる世界とできない世界にはどのような違いがあるのかを理解する。授業では画像認識システムを元に、画像の特徴検出、物体検出、また物体の分類、シーンの認識について学び、コンピュータがどのように世界を理解しているのかを学ぶ。更に人がものを見て理解する仕組みと比較し、現在のコンピュータでできていないこと、またできるようになるためにはどのような仕組みが必要なのかについて議論する。	
		データサイエンス活用１	情報処理、人工知能、統計学などの情報科学系の知恵を理解し、使う力の育成を学習の到達目標とする。また、課題背景を理解したうえで、専門分野の課題を整理し、解決する力の育成も重視する。大学や企業で扱うのは「新しい」ことであり、いわゆる「正解」がないため、「適切な前提と適切な方法で導かれた結果は、きっと適切だろう」という判断の仕方をする必要がある。この授業では、適切な調査と適切な分析をするための実践的な能力を修得する。	
		データサイエンス活用２	データサイエンスを意味のある形に使えるようにし、実装、運用できるようにする力の育成を学習の到達目標とする。また、課題背景を理解したうえで、専門分野の課題を整理し、解決する力の育成も重視する。授業方法としては、ペアワークや、グループワークを念頭に、Google Classroomの「質問」機能や「課題」機能などのICTを活用して、授業中にリアルタイムで実施する双方向活動と、授業後に非同期で実施する双方向活動を進行する。	
		メディアデザイン	人工知能やデータサイエンスの技術を、様々な情報メディアで利活用する上で必要となるメディアの基本的な知識、スキルを実践的に学ぶ。 メディアとしては、Webメディアを取り上げる。Webメディアを構成する重要要素技術であるHTMLとHTMLを編集できるツールを扱う基礎スキルを習得して、Webメディアをデザインし、実運用できるようにする。さらに、動画メディア（MRなども）の作成・編集・発信ができる基礎的なスキルも学ぶ。	
		サービスデザイン	情報技法基礎、情報技法発展Ａ、情報技法発展Ｂ、プログラミング基礎、プログラミング発展Ａ、プログラミング発展Ｂの履修を前提とした内容である。基本は、サービスデザインの体系的な方法論・プロセスを実践的かつ体験的に学ぶ。 デザインするサービスは、モバイルアプリやWebサービスを想定して、アイディア創出からデザイン、プロトタイプ作成まで行うことを想定している実践的な内容である。プロトタイプとしては、ビデオプロトタイプ作成を目標にする。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	情報	人工知能実践プロジェクト	一連の情報科目の知識やスキルを集大成して、ユニークなアイディアを創出して、具体的にそのアイディアを具現化し、成果をアウトプットする実践的プロジェクト科目である。 一連の情報科目で学んだ先進的なツールの活用や方法論を駆使して、ＳＤＧｓに貢献できるようなユニークなアイディアをメディア、サービス、分析など、カタチのあるものとして集大成する総合的な演習活動である。	
	外国語	英語基礎Ａ	これからの英語学習の第一段階として、講読テキスト〈時事または文化的内容〉をしっかりと訳読しながら、基礎的な文法も確認して語彙力・読む力を高めていく。授業中に随時行うTOEIC-Bridgeワーク演習では、サブテキストの＜Reading＞の部分を、問題演習を徹底して、スコアアップにいかしていく。 基本文法の理解を確実にして読解力をつけること、自分にとって英語を学ぶ意味を明確にすること、英文を読解しながら幅広い考え方に触れ自己の思考力を向上させることを授業到達目標とする。	
		英語基礎Ｂ	これからの英語学習の第一段階として、視聴覚テキスト〈時事または文化的内容〉をしっかりと訳読しながら、基礎的な文法も確認して語彙力・聞く力を高めていく。授業中に随時行うTOEIC-Bridgeワーク演習では、サブテキストの＜Listening＞の部分を、問題演習を徹底して、スコアアップに活かしていく。 基本文法の理解を確実にして読解力をつけること、自分にとって英語を学ぶ意味を明確にすること、英文を読解しながら幅広い考え方に触れ自己の思考力を向上させることを授業到達目標とする。	
		英語基礎Ｃ	総合英語教材を使用して、日常的に「使える英語」の基本を学び、Reading & Listeningという両技能の習得を目標にした授業展開をしていく。授業中に随時行うTOEIC-Bridge ワーク演習ではより実践的な問題演習を繰り返して、e-learning活用のワークブックとともにスコアアップをはかっていく。 基本文法の理解を確実にして読解力をつけること、自分にとって英語を学ぶ意味を明確にすること、英文を読解しながら幅広い考え方に触れ自己の思考力を向上させることを授業到達目標とする。	
		英語基礎Ｄ	この演習の中で学生はしっかりノートをとり単語の勉強を行っていく。またグループ発表等を通して、自分の考えを英語でまとめて発表することで、＜Speaking and Writing＞の英語スキル向上を図っていく。単語帳を作って定期的に更新し、それを小テストや他の英語クラスでも活用していくことを学生に求める。 小テストを実施するので、学生はその結果を受けて自身の学習状況を把握していく。	
		英語発展Ａ	２年次は英語の自律学習の段階ととらえて、異文化英語教材を使用して日常的に「使える英語」のレベルを高めつつ、Reading & Listeningという総合的な技能の習得を目標にした授業展開をしていく。演習中に随時行うTOEIC-IPワーク演習では、e-learning活用のワークブックとともに問題演習を徹底して、スコアアップをはかっていく。 １年次で身につけた基礎を元に大学での学びへの英文読解力・表現力を高め、英語への世界観を広げること、自身の専門分野で有効な英語を積極的に見つけていくこと、英語発展Ｂの授業とつながりながら、自分が英語で発信したい情報は何かをしっかりと考えることを授業到達目標とする。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	外国語	英語発展Ｂ	グループワーク・発表・作文練習・毎週の問題演習等を通して＜Speaking and Writing＞の力を高めていく。新しい単語や文法等を書き込んで単語帳を作り、演習中のテストや他の英語クラスでも活用していくことを学生に求める。定期的に小テストを実施して、学生には自身の英語レベルを理解させる。教員は様々な手法・教材を用いて、学生の英語表現のスキル向上やTOEICスコアアップを図っていく。	
		英語発展Ｃ	英語発展Ａ・英語発展Ｂに引き続き、２年次は英語の自律学習の段階ととらえて、特色のある英語教材を使用して、日常的に「使える英語」のレベルを高めつつ、Reading & Listeningという総合的な２つの技能の習得を目標にした授業展開をしていく。授業中に随時行うTOEIC-IPワーク演習では、e-learning活用のワークブックとともに模擬テストなどの問題演習を徹底して、スコアアップをはかっていく。 英語発展Ｄの授業とつなげながら徐々に難易度を上げ、専門分野で活用できる英語力を身につけること、英語発展Ａ・英語発展Ｂでの学習を継続して最終段階として英語を「自分のものにする」こと、２年間でどこまで「使える」ようになったか自分の力を把握し次の学びへ活かすことを授業到達目標とする。	
		英語発展Ｄ	英語発展Ａ・英語発展Ｂに引き続き、２年次は英語の自律学習の段階ととらえて、学部に即した英語教材を使用して、日常的に「使える英語」のレベルを高めつつ、特にReading & Speaking(プレゼン) という重要な２つの技能の習得を目標にした授業展開をしていく。「英文を読み込むこと」そして「人前で簡単なプレゼンをすること」を実践する。授業中に随時行うTOEIC-IPワーク演習では、模擬テストなどの問題演習を徹底して、スコアアップをはかっていく。	
		英語綜合Ａ	以下の３クラスのうち、いずれかを選択する。 ≪TOEIC演習≫ TOEIC公開テストを受験するために徹底したレベルアップを図るクラスである。レベルの高いTOEIC問題集を活用しながら、実践的な応用能力を身につける。チャレンジしつつ、英語４技能の総合力を高めていく。 ≪Reading≫ 少しレベルの高い英文を読みこなしていく技能を身につける。徹底した講読演習を進めながら、英語４技能の総合力を高める。 ≪コミュニケーション≫ ディスカッションやディベートを中心とした演習を行う。	
		英語綜合Ｂ	以下の３クラスのうち、いずれかを選択する。 ≪TOEIC演習≫ TOEIC公開テストを受験するために徹底したレベルアップを図るクラスである。英語綜合Ａに引き続きレベルの高いTOEIC問題集を活用しながら、実践的な応用能力を身につける。チャレンジしつつ、英語４技能の総合力を高めていく。 ≪Reading≫ 英語綜合Ａに引き続きレベルの高い英文を読みこなしていく技能を身につける。徹底した講読演習を進めながら、英語４技能の総合力を高める。 ≪コミュニケーション≫ 英語綜合Ａに引き続きディスカッションやディベートを中心とした演習を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	外国語	中国語基礎１	【演習概要】ピンインを見て正しい発音ができる訓練をし、他者が発音した中国語の音を正しいピンインで把握することを通して、単語をはじめとして文章にいたるまでのリスニング能力を養う。また日本語文法と中国語文法の対応関係を理解できるようにする。 【到達目標】ピンインを見れば正しい発音ができるようになり、辞書をひいて円滑に自習できる基礎力をつくる。中国語の主要な文法に目を通して理解し、中国語文法の特徴を把握する。	
		中国語基礎２	【演習概要】中国語基礎１に続き、ピンインを見て正しい発音ができる訓練をし、他者が発音した中国語の音を正しいピンインで把握することを通して、単語から文章にいたるリスニング能力を養う。また日本語文法と中国語文法の対応関係を理解できるようにする。 【到達目標】ピンインを見れば正しい発音ができるようになり、辞書をひいて円滑に自習できる基礎力をつくる。中国語の主要な文法に目を通して理解し、中国語文法の特徴を把握する。	
		中国語発展１	【演習概要】中国語基礎１・中国語基礎２に続く中級の文法を、段階を追って無理なく理解できるようにする。実践的な中国語を反復して練習する。基礎文法を段階を追って無理なく理解できるようにする。演習中に反復練習をして、文法事項の完全習得を目標とする。毎週単語テストを行うため、復習は必須であり、予習として授業前に必ず本文の朗読練習を行うこととする。 【到達目標】中国語検定４級に合格できる中国語力を完全に身につけるとともに、３級合格も目指す。	
		中国語発展２	【演習概要】中国語発展１に続き、中級の文法を、段階を追って無理なく理解できるようにする。実践的な中国語を反復して練習する。基礎文法を段階を追って無理なく理解できるようにする。演習中に反復練習をして、文法事項の完全習得を目標とする。毎週単語テストを行うため、復習は必須であり、予習として演習前に必ず本文の朗読練習を行うこととする。 【到達目標】中国語検定４級に合格できる中国語力を完全に身につけるとともに、３級合格も目指す。	
		フランス語基礎１	【演習概要】テキストを使用し、文法の基礎を教え、様々な例文を補足して理解を深める。まずは、文法及び発音の規則に時間をかけ、習得させる。時事に関する話題や逸話などを取り入れ、フランス語に対する興味を高める。また、視聴覚教材を積極的に取り入れる。 【到達目標】初級の発音や文法を習得し、フランス語学習の基礎を形成する。また、フランス語学習の全体像を示し、フランス語習得のための道筋を示す。フランス語学習の意義を歴史の文化等の観点から教え、学習意欲を高める。	
		フランス語基礎２	【演習概要】発音、文法事項を丁寧に解説し、何度も練習を繰り返しながら、フランス語に慣れていく。しっかり習得できるように定期的に小テストを行う。ときにはシャンソンなど視聴覚教材も活用する。 【到達目標】初級文法を中心に、フランス語の基礎を習得することを目標とする。フランス語の発音やリズムに慣れ、聞く・話す・書く・読むという総合的なコミュニケーション能力を養い、言葉を通じてフランスの社会や文化にも関心を広げていく。	
		フランス語発展１	【演習概要】初等文法を踏まえた上で、さらに本格的な文法習得をする。発音の正確さと基礎を絶えず確認しながら、映画、小説・詩などを活用して、フランス語に対する感性を磨いていく。普段からの予習・復習を怠りなく行う。 【到達目標】１年で学んだ基礎を押さえた上で、さらなる表現の上達を目指す。映像・朗読ＣＤなどの視聴覚資料などを用いながら、運用の多様性を獲得し、フランス語のニュアンスに触れうる感性を獲得することを目指す。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	外国語	フランス語発展２	【演習概要】指定された教科書のテキストを読みながら文法事項を解説し、文の基本構造を説明する。フランス語で話したり、聞いて理解することにも注意を払う。また、仏検対策の練習も重ねていき、ときには視聴覚教材も活用する。 【到達目標】１年次に習った文法事項を確認しながら、フランス語の比較的やさしい文章を理解し、日常の出来事をフランス語で表現できるようになることが目標である。仏検４級に合格できるように文法を復習し基礎を固めていく。さらに、文章を通してフランスの社会や文化にも関心を広げる。	
		ドイツ語基礎１	ドイツ語圏は文学、音楽、哲学は言うに及ばず、近年ではエコ先進国として環境問題でも注目されている。サッカー等のスポーツやモダンアートもさかんである。またヨーロッパ連合ＥＵの中でユーロ経済の重要な役割を担っている。ドイツ語圏は中世からの面影を残した街並みや、森と水の豊かな自然にも恵まれ一年中美しい観光国でもある。この演習ではドイツ語の基礎を、「ドイツ短期留学」を設定したＣＤの付いた教科書を用いて実践的な演習を通して学習する。	
		ドイツ語基礎２	ドイツ語圏は文学、音楽、哲学は言うに及ばず、近年ではエコ先進国として環境問題でも注目されている。サッカー等のスポーツやモダンアートもさかんである。またヨーロッパ連合ＥＵの中でユーロ経済の重要な役割を担っている。ドイツ語圏は中世からの面影を残した街並みや、森と水の豊かな自然にも恵まれ一年中美しい観光国でもある。この演習ではドイツ語基礎１に続き、ドイツ語の基礎を、「ドイツ短期留学」を設定したＣＤの付いた教科書を用いて実践的な演習を通して学習する。	
		ドイツ語発展１	【演習概要】ドイツ語基礎１・ドイツ語基礎２で学んだ知識を復習しながら、できるだけ多くの文に触れることで、ドイツ語の表現力をつけていく演習である。具体的な「場面」を設定したワークブックとＣＤの付いた教科書を用いて演習形式で進めていく。教科書と並行して、１年次の復習を兼ねて、ドイツ語検定４級の準備も行う。 【到達目標】ドイツ語初級後期から中級の文法事項を習得し、表現力を向上させて、学年中にドイツ語検定４級合格のドイツ語能力を身につける事を目標とする。	
		ドイツ語発展２	【演習概要】ドイツ語基礎１・ドイツ語基礎２で学んだ知識を復習しながら、ドイツ語発展１とあわせ、できるだけ多くの文に触れることで、ドイツ語の表現力をつけていく演習である。具体的な「場面」を設定したワークブックとＣＤの付いた教科書を用いて演習形式で進めていく。教科書と並行して、１年次の復習を兼ねて、ドイツ語検定４級の準備も行う。 【到達目標】ドイツ語初級後期から中級の文法事項を習得し、表現力を向上させて、学年中にドイツ語検定４級合格のドイツ語能力を身につける事を目標とする。	
		スペイン語基礎１	はじめて習う言語のため、文字の読み方から、発音、語形変化、動詞の活用など、基本文法をていねいにしっかりと学ぶ。Gramatica(文法)、Dialogo(ダイアローグ)、キーフレーズ、会話練習を中心に進めていく。毎回、新出語や動詞の活用などの暗記テストを行い、また、１課終わるごとに小テストを行う。映像を見たり、音声を聴いたりする機会も設けていく。	
		スペイン語基礎２	スペイン語基礎１に引き続き、文字の読み方から、発音、語形変化、動詞の活用など、基本文法をていねいにしっかりと学ぶ。Gramatica(文法)、Dialogo(ダイアローグ)、キーフレーズ、会話練習を中心に進めていく。毎回、新出語や動詞の活用などの暗記テストを行い、また、１課終わるごとに小テストを行う。映像を見たり、音声を聴いたりする機会も設けていく。	
		スペイン語発展１	初級文法や表現を実習し、コミュニケーション中心の演習で口頭練習問題、日常会話、ロールプレイ等をする。スペイン語圏の文化や歴史、社会事情を知るための教材をとりいれ、視聴覚教材も適宜使用する。スペイン語基礎１・スペイン語基礎２の学習内容を定着させ、初級文法をひととおり身につける。日常のさまざまな場面での表現をおぼえ、簡単な文章を読み書きしたり、基本的な日常会話ができるようになる。過去のことについても話せるようになり、予定、願望、要求などを表せるようになる。スペイン語圏の文化を知り、視野を広げる。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	外国語	スペイン語発展２	スペイン語発展１に引き続き初級文法や表現を実習し、コミュニケーション中心の演習で口頭練習問題、日常会話、ロールプレイ等をする。スペイン語圏の文化や歴史、社会事情を知るための教材をとりいれ、視聴覚教材も適宜使用する。日常のさまざまな場面での表現をおぼえ、簡単な文章を読み書きしたり、基本的な日常会話ができるようになる。過去のことについても話せるようになり、予定、願望、要求などを表せるようになる。スペイン語圏の文化を知り、視野を広げる。	
		韓国語基礎１	初習外国語として演習の効率をあげるために、テキストを使って授業を進める。最初ハングルの発音と書き方等の文字の初歩的な練習から始め、基礎的な文法と表現を学ぶ。 以下の力を身につけることを目標とする。 ・文字（ハングル）の読み書きができる。 ・正確な発音ができる。 ・簡単な自己紹介とあいさつができる。 ・文法が理解・活用でき、簡単な文章が読める。 ・初級の文型を活用した簡単な文章が書ける。	
		韓国語基礎２	韓国語の基本的な文法事項と表現を学ぶと共に、簡単な文章の読解、作文と会話の練習を行う。学習項目の文法と表現はドリルを多くして、読む・書く・話す総合的な力が身につくように進める。 以下の力を身につけることを目標とする。 ・基本的なあいさつができる。 ・正確な発音ができる。 ・辞書が使える。 ・初中級レベルの文法と文型が活用できる。 ・初級レベルの文章が読解でき、作文ができる。	
		韓国語発展１	基本的な文法事項と表現を学び、簡単な文章の読解、作文と会話の練習を行う。学んだ学習事項が確実に身につけられるように文法事項と関連表現のドリルを多くして、読む・書く・話す総合的な力が身につくように進める。 以下の力を身につけることを目標とする。 ・各課で提示された文型と表現が作文と会話で応用できる。 ・各課で提示された不規則活用、慣用表現などの文法事項が理解でき、活用できる。 ・中級前半レベルの文章の読解と作文ができる。 ・あいさつと、買い物・食事など生活に必要な簡単な会話ができる。	
		韓国語発展２	中級レベルの文章を読んで、関連する文法や表現を学習する。練習問題を通して関連表現を確実に覚え活用できるように十分な練習をする。文の内容と関連した韓国の文化、社会についてもとりあげ、理解が深まるように進める。 以下の力を身につけることを目標とする。 ・中級レベルの文法・文型が理解でき、活用できる。 ・言い回しや縮約形や省略形が理解できる。 ・中級レベルの文章が訳読でき、関連の文法・文型を活用した作文ができる。	
		留学準備１	英語圏への留学に必要となる、IELTS試験対策を中心に、英語の4技能に係る能力向上を目指す。Speaking, Listening, Writing, Readingの4つの技能を同時に向上させるとともに、試験対策に必要なタイムマネージメントスキルも磨く。英語圏への留学を希望する学生にとっては、留学前の英語力向上として、また、留学から帰国した学生にとっては、英語力の維持と継続的な学習機会の場となる。	
		留学準備２	英語圏への留学に必要となる、IELTS試験対策を中心に、英語の4技能に係る能力向上を目指す。Speaking, Listening, Writing, Readingの4つの技能を同時に向上させるとともに、試験対策に必要なタイムマネージメントスキルも磨く。英語圏への留学を希望する学生にとっては、留学前の英語力向上として、また、留学から帰国した学生にとっては、英語力の維持と継続的な学習機会の場となる。留学準備1の履修を踏まえ、より実践的な学習を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	外国語	英語資格・検定試験対策１	本授業では、到達目標をTOEIC公開テストにおけるスコア向上に絞る。TOEICに熱意のある学生に向けた効率的なスコア向上のためのテクニック、及び自宅での学習方法を中心として教授する。保持スコアのレベル別に「英語資格・検定試験対策１」、「英語資格・検定試験対策２」を開講し、学生のレベルに合わせた確実なスコア向上につなげる。対象学生の推奨保持TOEICスコアは550点以上とし、本演習修了時のTOEICスコアは730点とする。	
		英語資格・検定試験対策２	本授業では、到達目標をTOEIC公開テストにおけるスコア向上に絞る。TOEICに熱意のある学生に向けた効率的なスコア向上のためのテクニック、及び自宅での学習方法を中心として教授する。保持スコアのレベル別に「英語資格・検定試験対策１」、「英語資格・検定試験対策２」を開講し、学生のレベルに合わせた確実なスコア向上につなげる。対象学生の推奨保持TOEICスコアは400点以上とし、本演習修了時のTOEICスコアは550点とする。	
	教養日本語	日本語リテラシー	大学生として日本語で文章を書く際の基本を学ぶ。自分が（学科に関するテーマについて）疑問に感じたことを論理的に展開するために、書籍・資料を読み解き、引用し、まとめる力を身につける。与えられた課題をこなす受動的な姿勢ではなく、能動的に「どうしたら説得力をもって伝えられるか」を考え、何度も推敲を重ねて仕上げる。内容は、以下のとおり。 １．日常的な文章の作法、２．レポートの作法、３．自学自習の作法、４．学び合いの作法	
	教養日本語	日本語基礎Ａ	会話場面におけるリスニング能力を高め、場面に応じて適切に話す能力をつける。相手が述べた情報を正確に聞き取り、相手の意図や感情を正しく理解した上で、自分の言いたいことを相手に誤解されることなく伝えることのできる能力をつける。 本授業の到達目標は以下である。 ・自らの得意不得意を認識し、これから学ぶ専門との繋がりを考える 4年間の学びで専門性を高められるよう、長期目標と短期目標が立てられるようになる ・与えられる学びではなく、自ら楽しみ求めにいく学びにシフトできるようにする 苦手なことに関して、他者に助言などを求める勇気とつながりをもち、互いに学びを深め合えるようになる ・自己の得意不得意を認識し、得意分野を伸ばし、不得意分野を克服するための学習計画を戦略的に立てられるようになる 与えられたテーマに関して、「なぜそう思うのか」「他者と異なるポイントは何か」をじっくり考えられるようになる。	
		日本語基礎Ｂ	アカデミック・ジャパニーズを身につけるために必要な基礎的な部分を養成する。論理的思考力を養成する。 本授業の到達目標は以下である。 ・日々の生活の中から、日々の課題や物事を解決するためのヒントを見つけられる人物になる。 ・個別経験を抽象的な概念につなげ、汎用性をもった伝え方ができるようになる。他者につたえたい強力なメッセージを抽出し、メッセージを伝えるためにどのような資料を用いるべきかを検討できるようになる ・自分の発表テーマに関する資料を読む際に、筆者が特別の立場や視点から取り上げた、現代の問題に関する記事やレポートを理解できる。 ・主張、論争、議論を含むニュース、インタビュー、ドキュメンタリーからの抜粋を要約することができる。 ・理路整然と、論拠を並べ挙げることができる。 ・自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に述べ、プレゼンテーションができる。必要事項を補足しながら、関連事例をあげて、主張を強化、展開することができる。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	教養日本語	日本語基礎Ｃ	文章による表現技術を養成する。的確な表現を使って正しい構造の文を書く能力や、構成のしっかりした論理的な文章を書く能力をつける。本授業の到達目標は以下である。 ・長いレポートを執筆するための表現や、それを支える細かい文法について精査し、より正確に言語を使用する能力を身につける。 また、自身が能力を身につけるだけでなく、他者にわかりやすく説明できるような知識と説明力も身につける ・失敗や苦手なところ、曖昧なところをそのままにせず、じっくり調べてとりくむ人物になる ・事象が生じた原因を探り、解決する力を養う 物事を解決するいくつかの方策を検討し、どのような伝え方が他者により良く伝わるか工夫する力を養う ・自分が関心を持つ様々な話題や問題点について、明瞭、詳細に書くことができる。 ・標準的なレイアウトや段落切りの慣例に従って、ある程度の長さのはっきりと理解できる文章を書くことができる。 ・いくつかの選択肢の利点と不利な点や、構成要素・特徴を挙げて説明できる。 ・ エッセイやレポートを書くときに、根拠を提示しながらある視点に賛成や反対の理由を挙げ、様々な選択肢の利点と不利な点を説明できる。	
		日本語基礎Ｄ	自分の専門分野について詳しく説明できるようになる。また、話をする相手に、自分の専門分野に興味をもってもらえる伝え方を身につける。１年次の集大成として専門書の読解を行い、２年次以降につながるより豊かな学びの基礎を築く。 ・部分的な情報に出会ったときに、それ以外の場所での学びとリンクさせながら総合的に捉えられる人物になる。 ・部分的な情報を総合的に捉える力を身につける 得た情報をそのまま話すのではなく、大きな枠組・詳細を区別しながら他者に伝えられるようになる ・発表準備の際に、そのテーマに関する 主張、論争、議論を含むニュース、インタビュー、ドキュメンタリーからの抜粋を要約することができる。 ・関連説明、根拠、コメントを述べることによって、議論で自分の意見を説明したり、維持したりできる。 ・原因や結果を推測し、異なるアプローチの利点と不利な点を比較考察しながら、論点や問題の概略をはっきりと述べることができる。 ・相手の発話を正しく理解したかどうかを確認するための質問ができ、あいまいな点の説明を求めることができる。	
		日本語発展Ａ	・興味のあることや社会的な問題について詳しく説明したり、自分の意見をわかりやすく述べたりする能力をつける。 ・話をしている相手に、興味を持ってもらえる能力をつける。 ・相手と異なる意見を述べるとき、意見交換ができる能力をつける。 １年次の成果物から自らの得意不得意を再認識し、これから学ぶ専門との繋がりを考える ３年以降のより専門性の高い学びに繋がるよう、長期目標と短期目標が立てられるようになる。 日々の生活の中で見つけた課題について、今後の予想を推測する知的好奇心と洞察力を持つ人物になる。	
		日本語発展Ｂ	大学での研究活動のため、発表の聞き取りと発表・質疑応答のしかたを身につけ、うまく発表するためのテクニックを学ぶ。 データを批判的に読む力を身につけ、自らも興味に基づいた簡易調査を行えるようになる。 日々の生活の中で見つけた課題について、傾向を推測し調査する知的好奇心と実践力を持つ人物になる。 個別経験を抽象的な概念につなげ、傾向・要因を探るために考えて調査計画を立てられる。自分が推測したことに関して、なぜそのような推測に至ったかを独自調査をもとに説明できるようになる。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	教養日本語	日本語発展Ｃ	留学生活に必要な、アカデミックレベルの文章を書く技術を身につける。 短文の書き方、段落の作り方、いくつかの段落からなる長文の書き方を学ぶ。資料を利用した論理的なレポートの作成を行う。 独自の調査につなげるため、より専門的な書籍や論文を読解・整理し、体系的に他者に伝えられる。専門に関する他者の発表をクリティカルに聞き、疑問点を挙げたり、より深い議論になりそうな意見を述べたりし、他者の発表に貢献できる。また、それにより自分の考える力も磨くことができる。	
		日本語発展Ｄ	自分の専門分野について詳しく説明できるようになる。 話をする相手に、自分の専門分野に興味をもってもらえる伝え方を身につける。 専門的な資料をもとに、比較検討し、自分の見解をまとまった文字数のレポートにまとめられる。 専門的なディスカッションや質疑応答に対応できる能力を身につける。 自己の興味だけでなく、他者の調査についても興味を持て、積極的に議論に参加できる人物になる。 個別経験を抽象的な概念につなげ、複数の資料をもとに比較検討し、持論を展開する。 比較の軸を自分で決め、課題を整理できる。 抽象的な概念と具体事例の双方をいったりきたりしながら考察を深められる。	
		日本事情	現代日本を理解するために、時間軸（歴史的視点）、水平軸（地理的視点）で考える視点も加味し、現代の諸問題を扱う。 前半は、具体的なテーマとして、文化、教育、労働、農業、食糧、観光、宗教、防衛などからVTRや書籍、データで事例を示す。 後半は、小グループでテーマを設定し、文献等の調査や討論により焦点化された疑問や課題について、インタビューやアンケート調査により一定の結論をまとめ発表する。	
	ＣＨＰ	ＳＤＧｓ基礎	本授業では、国連におけるＳＤＧｓ制定の経緯にからめて、地球（世界）を取り巻く様々な課題を認識し、それらの課題と17の目標それぞれとの関連を学ぶ。実例として一つの目標を深く考察することも行う。本授業は初年次教育として情報・文献等の収集、情報の吟味と整理、大学レベルの学修の基本的な手続きと作法等を実地に学ぶ場とし、適宜グループ学習、プレゼンテーション等を取り入れる。	
		ＳＤＧｓ発展１	17のＳＤＧｓのうち、(1) 貧困 (4) 教育 (5) ジェンダー (10) 不平等 (16) 平和 (17) 実施手段 の６つの目標について、専門的な立場からの講義を行う。分野に属する一つの目標を掘り下げたり、複数の目標について取り上げたりして、これらの目標をいかに実現できるかを真剣に考える場とする。 食品・飲料・消費財産業、製造業、金融サービス業、エネルギー・天然資源・化学産業、ヘルスケア・ライフサイエンス産業、運輸・輸送機器産業等、様々な業界で目標達成のためになされている具体的な取組の事例紹介を行う。 また、ＳＤＧｓ基礎で修得した情報・文献の収集、情報の吟味と整理を活用して、グループで設定した興味関心に応じて調査した内容発表を行う。	
		ＳＤＧｓ発展２	17のＳＤＧｓのうち、(2) 飢餓 (8) 経済成長と雇用 (9) インフラ・産業化・イノベーション (11)持続可能な都市 (12)持続可能な消費と生産 の５つの目標について、専門的な立場からの講義を行う。分野に属する一つの目標を掘り下げたり、複数の目標について取り上げたりして、これらの目標をいかに実現できるかを真剣に考える場とする。 食品・飲料・消費財産業、製造業、金融サービス業、エネルギー・天然資源・化学産業、ヘルスケア・ライフサイエンス産業、運輸・輸送機器産業等、様々な業界で目標達成のためになされている具体的な取組の事例紹介を行う。 また、ＳＤＧｓ基礎・発展１で修得した情報・文献の収集、情報の吟味と整理を活用して、自らの興味関心に応じて調査した内容発表を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	ＣＨＰ	ＳＤＧｓ発展３	17のＳＤＧｓのうち、(3) 保健 (6) 水・衛生 (7) エネルギー (13) 気候変動 (14) 海洋資源 (15) 陸上資源 の６つの目標について、専門的な立場からの講義を行う。分野に属する一つの目標を掘り下げたり、複数の目標について取り上げたりして、これらの目標をいかに実現できるかを真剣に考える場とする。 食品・飲料・消費財産業、製造業、金融サービス業、エネルギー・天然資源・化学産業、ヘルスケア・ライフサイエンス産業、運輸・輸送機器産業等、様々な業界で目標達成のためになされている具体的な取組の事例紹介を行う。 また、ＳＤＧｓ基礎・発展１・発展２で修得した情報・文献の収集、情報の吟味と整理を活用して、調査した内容を分析し、提言ができるようになる。	
		ＳＤＧｓ特講	世界に観察される様々な問題の解決を図り、将来の長きにわたって解決に向かう方向を維持して行くため、日々われわれが具体的に何に取り組み、何をなすべきか、現状認識を深めつつ、多角的・複眼的に考察することで実践への手がかりをつかむ演習授業である。 さらに「世界の幸せをカタチにする。」という本学のブランド・ステートメントを、ＳＤＧｓの17の目標を通じていかに実現できるかを真剣に考える場とする。	
	フィールド・スタディーズ	フィールド・スタディーズ	プログラムから、自ら１つ選択し実践する。各プログラムの趣旨に沿って活動に参加した場合に、認定単位を付与する。なお、認定される単位数は、各プログラムの実施期間（実日数）により決定する。 (1)海外フィールドワーク (2)国内フィールドワーク (3)チームビルディング (4)地方創生プロジェクト〈ボランティア・農業体験・地域活性化支援〉 (5)体験学習 (6)学会・シンポジウム	
		フィールド・スタディーズ１	プログラムの内から、自ら１つ選択し実践する。各プログラムの趣旨に沿って活動に参加した場合に、認定単位を付与する。なお、認定される単位数は、各プログラムの実施期間（実日数）により決定する。 本演習は、地方行政視察、他、１週間～２週間のプログラムが対象となる。プログラムによっては、事前及び事後学習を行う。	
		フィールド・スタディーズ２	プログラムの内から、自ら１つ選択し参加する。各プログラムの趣旨に沿って活動に参加し修了した場合に、認定単位を付与する。なお、プログラム参加後認定される単位数は、各プログラムの実施期間（実日数）により決定する。 本演習は、２週間～３週間のプログラムが対象となる。プログラムによっては、事前・事後学習を行う。	
		フィールド・スタディーズ３	プログラムの内から、自ら１つ選択し参加する。各プログラムの趣旨に沿って活動に参加し修了した場合に、認定単位を付与する。なお、プログラム参加後認定される単位数は、各プログラムの実施期間（実日数）により決定する。 本演習は、４週間以上のプログラムが対象となる。プログラムによっては、事前・事後学習を行う。	
		フィールド・スタディーズ４	プログラムの内から、自ら１つ選択し参加する。各プログラムの趣旨に沿って活動に参加し修了した場合に、認定単位を付与する。なお、プログラム参加後認定される単位数は、各プログラムの実施期間（実日数）により決定する。 本演習は、1カ月以上のプログラムが対象となる。プログラムによっては、事前・事後学習を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展１Ａ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。1年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と18時間以上の学外学習を、合計で24時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展１Ｂ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。1年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と36時間以上の学外学習を、合計で48時間以上実施し、単位認定を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	フィールド・スタディーズ	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。1年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と54時間以上の学外学習を、合計で72時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展１Ｄ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。1年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と72時間以上の学外学習を、合計で96時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展２Ａ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。2年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と18時間以上の学外学習を、合計で24時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｂ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。2年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と36時間以上の学外学習を、合計で48時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｃ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。2年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と54時間以上の学外学習を、合計で72時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｄ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。2年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と72時間以上の学外学習を、合計で96時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展２Ｅ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。2年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と90時間以上の学外学習を、合計で120時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展３Ａ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。3年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と18時間以上の学外学習を、合計で24時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展３Ｂ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。3年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と36時間以上の学外学習を、合計で48時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展３Ｃ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。3年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と54時間以上の学外学習を、合計で72時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展３Ｄ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。3年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と72時間以上の学外学習を、合計で96時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展３Ｅ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。3年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と90時間以上の学外学習を、合計で120時間以上実施し、単位認定を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	フィールド・スタディーズ	フィールド・スタディーズ発展４Ａ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。4年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と18時間以上の学外学習を、合計で24時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展４Ｂ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。4年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と36時間以上の学外学習を、合計で48時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展４Ｃ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。4年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と54時間以上の学外学習を、合計で72時間以上実施し、単位認定を行う。	
		フィールド・スタディーズ発展４Ｄ	上級学年で受ける専門教育と社会とのつながりをより明確に理解し、社会の課題に対してＳＤＧｓの指標を実現するための解決策を提示していくことを本授業の目的とする。4年次の授業科目として開講する。事前・事後学習と72時間以上の学外学習を、合計で96時間以上実施し、単位認定を行う。	
	インターンシップ	インターンシップ	効果的なインターンシップの実現のためには、社会で「働く」ことの意義や、就業に必要な心構え・知識・能力を理解するとともに、就業体験において最低限必要な基礎的能力を身につけなければならない。そのため、就業体験に必要な知識・技術等を総合的に学ぶ。具体的には、体験者を交えた働くことの意義に関するブレスト、自己分析・履歴書（企業への自己紹介書）、ソーシャル・スキル、企業・業界研究、実習目標の設定など、導入から応用実践的な内容まで及び、教育方法においてもアクティブ・ラーニングを取り入れている。	
		企業協働プロジェクト	本授業は、企業・自治体等と連携した教育を開発した上で実践する。本学の産学連携教育は、産業界側のニーズを取り入れながら、企業・自治体と協働開発で理論と実践を有機的に構成した教育プログラムを構築していくのが最大の特長であり、当該ゼミはその基幹科目である。ゼミでは「Think independently」「Search for Answers」を方針に、課題発見力育成を主眼とし徹底した事例研究を行う。	
	全学教養ゼミナール	全学教養ゼミナール１	本授業は、大学での専門教育の基盤となる知識を習得した上で、さらに学び視野を広げる力を身に付けることを目的とする。「思想・芸術」、「国際・地域」、「社会・制度」を主なテーマとする。専門教育とは異なるこれらのテーマについて学ぶことで、多様な価値観や多角的な視野を修得する。	
		全学教養ゼミナール２	本授業は、大学での専門教育の基盤となる知識を習得した上で、さらに学び視野を広げる力を身につけることを目的とする。「人間・環境」、「物質・生命」、「数理・情報」を主なテーマとする。専門教育とは異なるこれらのテーマについて学ぶことで、多様な価値観や多角的な視野を修得する。	
	寄付講座	武蔵野市自由講座	（概要）それぞれの専門家の視点から薬学に関わる事柄に関する解説を行い、薬を多方面から理解できるような知識を習得することを目的としている。 （オムニバス方式／全14回） （20　市瀬　浩志／１回）自然が生み出す薬 （29　永井　尚美／１回）医薬品とは？ 薬と医薬品は同じもの？ （30　廣谷　功／２回）医薬品および化粧品の開発、総まとめ （31　三原　潔／１回）現在の薬学教育と今後の展望 （32　室井　正志／１回）身近な毒物 （33　山下　直美／１回）医療と薬学の話 （36　渡辺　恵史／１回）免疫と薬の話 （40　高尾　良洋／１回）薬剤師の現状とこれからの役割 （47　片川　和明／１回）薬を化学的視点で見る （48　善家　孝介／１回）人の健康を脅かす環境問題 （52　服部　祐介／１回）薬のさまざまな形と機能性製剤・錠剤ができるまで （54　石井　雅樹／１回）菌類の話 （57　山岸　喜彰／１回）体内における薬の運命	オムニバス方式

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	寄付講座	証券ビジネス論	激変する日本や世界の資本市場の全容と、投資のリスク＆リターンの考え方、株式投資・債券投資・グローバル証券投資・分散投資の方法などを実務の観点から解説する。証券会社社員をスピーカーとして招き、実例をおり込み講義を行う。経済情報の捉え方、金融資本市場の役割とその変化、証券投資のリスク・リターン、ポートフォリオ・マネジメント、債券市場の役割と投資、株式市場の役割と投資、投資信託の役割と仕組み、外国為替相場と変動要因、グローバル化する世界と資本市場の果たす役割、ライフプランニングとＮＩＳＡ等に触れる。	
		未来型都市とメディア	体系的なメディア論は根底に踏まえながら具体的実証的にテレビを通して未来の姿をイメージし、身につくようフジテレビの現場などから実際の仕事を紹介し、同時にスキル体験を実感できるよう段階的に充実した実践的メディア人への養成講座を目指す。また更に専門性を目指せるよう大学院でのメディアから社会開発へ更なる深化の基礎にも役立てる。学生が変化の著しい現場の社会との同時感覚を持てるようクリエイティブな感性を刺激していく。	
学科科目	マインド科目	キャリアデザイン１	リーダーシップは、自分を導く“Lead the Self”がスタートである。Lead the Self、すなわち「自らを導く」リーダーシップを、キャリアという観点で鍛えていく。具体的には、自身の過去の経験を内省し、それを数人で対話することにより掘り下げ合い、自身の価値観、特に「譲れない想い」に気づき、言語化していく。 キャリアデザイン１～３では、自身の考えるべき過去-現在-未来の軸を扱い、本演習では１年次前期の必修科目として、過去と現在を中心に考え、自分自身と向き合う土台を作り、未来を考える、キャリアデザイン２につなげていく。	
		キャリアデザイン２	Lead the Self、すなわち「自らを導く」リーダーシップを、キャリアという観点で１年次後期の演習として「キャリアデザイン１」に引き続き、鍛えていく。キャリアデザイン１で掘り下げた自らの「譲れない想い」をさらに問い直しながら、未来への志につなげ、言語化していく。自身の考えるべき過去-現在-未来の軸のうち、本演習では、現在と未来を中心に考え、キャリアデザイン１をベースとして、過去-現在-未来の軸を明確にしていく。そのうえで、２年次のキャリアデザイン３（自己の変革を目指す）、幸福学（未来を改めて考える）、好奇心醸成（現在を揺さぶる）の選択必修により、この軸をさらに強化していく。	
		キャリアデザイン３	自分を導くリーダーシップ、“Lead the Self”を「自己の変革」という視点でさらに深めていく。キャリアデザイン１，２ で明確にした自身の「譲れない想い」や未来への志を深掘り、内省と対話を繰り返しながら言語化を進める。そして、想いをもっているにも関わらずなかなか変われない要素を振り返り、自身の変革を妨げる「免疫機能」、さらにその免疫機能のベースとなっている「強力な固定観念」をあぶりだし、自らの変革の糸口を探る。加えて、社会とは何かを考え、自身と社会のつながり、関わり方を内省し、対話しながら、未来へ思いを馳せ、「未来構想」科目につなげていく。	
		幸福学	キャリアデザインで考えた自らを導くリーダーシップ、”Lead the Self”における「志」を「幸福」という視点からさらに深めていく。事業はすべからく「人が幸せになるために行う」ことに帰着することから、事業を志すものとして、「幸福」を考え、自らの志につなげていく。その根幹となる「幸せの４つの因子」（「やってみよう因子」「ありがとう因子」「なんとかなる因子」「ありのままに因子」）から、幸せを感じる構造を認識したうえで、これを事業運営につなげ、短期的な売上や利益を重視した事業を行うのではなく、幸福の４つの因子を満たす社会をつくることに想いを馳せ、「未来構想」につなげていくことを目指す。	
		好奇心醸成	キャリアデザインで学ぶ、自らをリードするリーダーシップ”Lead the Self”の幅を「好奇心」をキーワードに広げていく。「ことを成す」ためには、様々な情報に感度高く、主体的に触れながら、自身の使える知識や知恵にしていく必要がある。本授業では、ワークショップによるセッションと、課題実行を通じて、「好奇心」を後天的なスキルとして強化していくことを目指す。社会にある様々なニュースや課題をピックアップしながら、学生同士で主張や感想を共有し、教員からのフィードバックを得ながら、「多面的な視点」の身につけ方を学ぶことで、現在の「譲れない想い」を揺さぶり、広げていき、「未来構想」科目につなげていく。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	マインド科目	未来構想	複数の未来シナリオを策定することにより、目指すべき社会ビジョン、それに向かうための戦略を構想するためのアプローチである「シナリオ思考」を学ぶ。 複数の未来シナリオを作成、シナリオごとに未来はどうなっているか、そのシナリオを実現するためにはどんな打ち手が必要かを検討する。これにより、異なる知見をもつ人材のコラボレーションによりビジョン・戦略を立案・合意形成を行うスキルを身につけることを目指す。 そのうえで、キャリアデザイン1,2、その応用の選択必修科目で内省と対話を通して深掘りしてきた、「自らの譲れない想い」や未来への志と合わせ、自身がどんな未来を創っていきたいかを構想し、3年次以降のプロジェクトに活かしていく。 2年次の必修科目にて行う。	
		事業と哲学	会社/団体、事業/プロジェクト、サービス/プロダクト開発全てに通底する「事業哲学」をどのように考え固めていくべきかを、ワークショップや内省と対話を通じて深っていく。ミッション（使命/存在理由）を考え、コンセプト、ブランドキーワード、理想や信条を考え、市場を決めていくことで、会社やプロジェクトは何のために存在するか、に始まり、それをどう具体的なアクションに落とし込むまで、首尾一貫した「軸」を作れるようにしていく。自らを導く"Lead the Self"と、会社やプロジェクトが存在する理由を考えることで、自身が取り組む事業につなげていく。	
		倫理観１	ケースによる議論や、自身との内省や仲間との対話を通じて、倫理観を考え、深めていく。題材は経営、事業に限らず、生活における身近な話題も取り上げ、倫理観が人間の全行動のベースとなることを学ぶ。 「法律/ルールを守る」に始まり、全員が法律/ルールを守っているか、自分勝手な解釈でねじまげていないか、なぜそれを破る人がいるのか、そして人間はどういう時に倫理観を外れた行動をしてしまうのか、といった要素に触れながら、倫理観には絶対基準はなく、社会の要請をベースに自分で決めなければならないことを学ぶ。そしてそこから自分に矢を向けて、自分はどうしたらよいかを探っていく。倫理観１ではその基礎段階として、幅広く様々な要素における倫理観の存在を意識できるようにする。	
		倫理観２	ビジネスや起業、政治や行政等、仕事をしていく上で問われる倫理観を、ケースを通じて議論と対話を行いながら、倫理観１から発展させ、さらに深めていく。どうしようもなく追い込まれた状態を疑似体験することで、「人間は誰しも倫理観を破る可能性がある」ことを知り、「常に倫理観高く仕事をしていく」うえで、人間の特性を理解したうえで、どのように自身やチームを律したらよいか、そして自身の倫理観と向き合うためにどういう習慣をつくるか、を考える。倫理観が高い社会人となるための必要十分な意識を持ち続けるきっかけをつくることを目指す。	
		女性とアントレプレナーシップ	ＳＤＧｓの１７のゴールのうち、（１）貧困、（４）教育、（５）ジェンダーへのアプローチを、「女性」にフォーカスして学ぶ。 女性起業家のゲスト参加、国内外の事例研究を通じて、過去は社会における女性がどのような立場であったか、現状はどうなっているか、未来はどうするのか、対話や議論を行う。社会で活躍する女性が立ち向かう課題に触れ深堀りすることで、女性に限らず全ての人がありのまま輝けるような環境、社会を創っていくにはどうしたらいいか意識を持ち、真のジェンダー平等が実現する未来を構想していく。 科目修了後進路希望に応じて、女性起業家やジェンダー課題を扱うスタートアップ企業・NPO法人等へのインターンシップで専門性を深める。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	マインド科目	政治と社会	ＳＤＧｓの１７のゴールのうち、（１）貧困、（３）保健、（１０）不平等、（１６）平和へのアプローチを「政治」という糸口から学ぶ。 政治家や公共セクターのリーダーのゲスト参加、事例研究を通じて、政治や政治家が立ち向かうべき課題に触れ、深堀りしながら、政治や行政という手段を通して、どのように社会に対し創造と変革を行っていくのか、について講義とディスカッションを行う。社会の課題に対して様々なアプローチがある中で、政治や行政が担うべき役割を知り、政治や行政と共同して創る未来を構想していく。 科目修了後は進路希望に応じて、地方自治体等へのインターンシップで政治が果たす役割と社会との繋がりを学びながら、専門性を深める。	
		地域課題と事業創造	ＳＤＧｓの１７のゴールのうち、（９）インフラ・産業化・イノベーション、（１０）不平等、（１１）持続可能な都市、へのアプローチとして、「地域課題」にフォーカスして学ぶ。 我々が直面する社会課題のうち、特に日本の深刻な課題である地域課題、（主に人口減少による）都市間格差を取り上げる。地域創生に取り組む起業家、社会起業家、行政担当のゲスト参加、過去のケーススタディ、実地研究を通じて、どのように地域格差や人口減少を乗り越え、どのようにして住みやすく、そこに住み集う人が充実した生活を送れる場所にするか、について講義とディスカッションを行う。地域課題の視点から私たちが立ち向かうべき課題に触れ、考えながら、サステイナブルな生き方を実現する地域の在り方を考え、「生き方」の未来を構想していくことを目指す。 科目修了後は進路希望に応じて、地方自治体等へのインターンシップで地域課題の現場を体験し、専門性を深める。	
		デザインと事業創造	ＳＤＧｓの１７のゴールのうち、（８）経済成長と雇用、（１２）持続可能な消費と生産、（１７）実施手段へのアプローチとして、ストーリーをもって事業を生み出し、全体をデザインしていくことを学ぶ。 企業や団体は、ミッション（使命/存在理由）、ビジョン（実現する姿）、バリュー（共有する価値観）を形にするために、市場、競合、自社資源（ヒト、モノ、カネ）を活用し、ビジネス/ソーシャルアクションをどう構想するのか、一連のプロセスをワークショップ形式で学び、修得していく。この科目を通じて、各スキルや技術を有機的に結合し、領域を超えたものをつなげてストーリーをもってミッション・ビジョンを実現し、社会を変革していく行動を起こせるようになることを目指す。 科目修了後進路希望に応じて、強固なミッション・ビジョン・バリューに基づいた事業経営を行っているスタートアップ企業・NPO法人等へのインターンシップで専門性を深める。	
		科学技術と事業創造	ＳＤＧｓの１７のゴールのうち、（２）飢餓、（６）、水・衛星、（９）インフラ・産業化・イノベーション、（７）エネルギー、（１３）気候変動、（１４）海洋資源、（１５）陸上資源へのアプローチとして、「科学技術」「研究」にフォーカスして、その領域に挑むアントレプレナーシップ（起業家精神）を学ぶ。 研究者や起業家等のゲスト参加や事例研究を通じて、多様な領域の科学技術に触れ、世の中にどんな技術があり、それをどう解釈すべきか認識を深め、その技術を活用した事業で社会やビジネスの課題を解決する可能性を探っていく。科学技術に興味関心を持ち、課題解決手段の選択肢として考えられる状態を目指す。 科目修了後進路希望に応じて、「科学技術」「研究」を扱うスタートアップ企業・NPO法人等へのインターンシップを通じて、「科学技術」「研究」という領域で実現できること、未来の可能性を肌で感じ、専門性を深める。	
		グローバル アントレプレナー （海外研修）	海外短期１～２週間の集中研修。訪問地の調査を行い、起業環境や日本との違いを認識したうえで現地のスタートアップを訪問し、創業者たちが起業に至った経緯、問題意識、どのように事業アイディアを立案したか？等を対話し、現地の環境に触れながら学ぶ。 日本とは異なる環境や人に触れ、刺激を得て、発想の幅を広げる。また、自身の「事業アイディア」を英語でプレゼンし、起業家からフィードバックを得る。帰国後も現地で学んだことを同学年および下級生にプレゼンし、フィードバックを得ることで、学びを深めていく。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	マインド科目	情報編集力	アントレプレナーシップ１Ａ～４Ｄを４年間かけて学んでいくにあたり、最初に、物事の本質を考え、情報を加工し解釈する「情報編集力」を養う授業を行う。「どうすれば稼げるようになるか」「どうすれば面接はうまくいくのだろうか」「いじめや自殺や体罰がなくなるにはどうしたらいいのだろうか」といった、正解がひとつでない課題を、ブレインストーミングやディベートを通して本質的に考えることで、「思考力」「判断力」「表現力」をベースとする「情報編集力」を養う。本授業をアントレプレナーシップ１Ａ～４Ｄの開講前に実施することで、様々なゲスト起業家の活動紹介から得られる情報を、自分として使える「知恵」にしていく。	
		アントレプレナーシップ１Ａ	アントレプレナーシップ（起業家精神）を持って社会に貢献するために、リーダーシップが不可欠であり、まず自分を導く（Lead the Self）ことがスタートとなる。本授業では、「「ことを成す」ために、自分を導くリーダーシップ（Lead the self）とは何か」をテーマに講義と対話を行う。第一線で活躍する志高い現役の起業家や社会起業家をゲストに呼び、どのようにして自身の想いを育て踏み出したのか、「譲れない想い」は何なのか、その想いをもって今後何を成し遂げたいのか等、について対話を行う。ゲストの高い志や情熱に触れることで、気づきを得て、自身のリーダーシップを育む。	
		アントレプレナーシップ１Ｂ	「ＳＤＧｓと社会起業」をテーマに、社会課題をビジネスで解決するとはどういうことか、それがどのようにＳＤＧｓで目指すゴールに繋がっていくのかを、第一線で活躍する社会起業家から学ぶ。具体的には、起業家をゲストに呼び、どのようなきっかけでその社会課題に興味を持ち、なぜ起業という選択肢をとったのか、大事にしていることは何か、そして今後ビジネスをどう展開し、どのような社会をつくっていきたいか等、について対話を行う。ゲストが起業を志すに至った想いとストーリーを掘り下げることを通じて、自身はどのように社会課題に向き合うのか、について考えを持つことを目指す。	
		アントレプレナーシップ２Ａ	日本は少子高齢化により、地域創生は社会全体として取り組まなければならない課題である。本授業では、地方で起こっているリアルイシューに対して、課題解決に挑戦する起業家の取組を学ぶ。地方で起業し、地域創生に取り組む起業家をゲストに呼び、現場の声を聴き、リアルイシューについて対話と議論で認識を深める。地域における真の課題は何なのか、今後の展望をどう考えているか等、ゲストの実際のストーリーを掘り下げ、その高い志や情熱に触れることで、自分は「地域課題」にどう取り組んでいくのか、について考えを深める。	
		アントレプレナーシップ２Ｂ	本授業では、スタートアップの成長モデルについて学ぶ。急成長中のスタートアップ起業家をゲストに呼び、課題認識と起業の経緯、現在の取組、また今後さらに事業を成長させるために必要と考えていること等について対話と議論を行う。ゲストの起業からの成長ストーリーを掘り下げ、そのスピード感や情熱に触れ、事業を成長させていくことに対して学び、自身がどう解決すべき課題を捉え、それを事業の形にしていくか、考えを深めていく。	
		アントレプレナーシップ２Ｃ	スタートアップ企業が成長していく過程では、様々な組織の課題に直面する。本授業では、30名くらいまでの小規模な規模における組織を率いて事業展開を行っている起業家をゲストに呼び、「組織とコミュニケーション」をテーマに対話と議論を行う。スタートアップという急激に成長し、変容していく組織運営をどのように考え、コミュニケーションしているのか、どんな課題があるのか、今後の組織運営をどう考えているのか、についてゲストと対話し、急成長するスタートアップの組織について学び、考えを深める。	
		アントレプレナーシップ２Ｄ	近年、AIやブロックチェーンといった先進テクノロジーを使って、社会課題を解決しようという取組が増えている。本授業では、テクノロジーを活用し、社会課題を解決する事業を起こしている起業家をゲストに呼び、対話と議論を行う。テクノロジーをどのように活用しているのか、その技術に着目した理由は何か、今後の展望等、ゲストのストーリーを掘り下げ、テクノロジーを活用した社会課題解決の手法や可能性について学び、自らがどのようにテクノロジーを向き合うか、認識を深める。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	マインド科目	アントレプレナーシップ３Ａ	本授業では、貧困や不平等といった社会課題をターゲットとしたソーシャルビジネスに関する講義と、それに関する事業を起こしているゲストの起業家との対話と議論を行う。その社会課題に興味を持ったきっかけ、その解決策として起業という選択肢をとった理由、ソーシャルビジネスの課題と未来についてどう考えるか、ゲストのストーリーを掘り下げ、その志や情熱に触れることで、社会起業という選択肢について考え、自身の進路についても考えを深めていく。	
		アントレプレナーシップ３Ｂ	「ことを成す」すなわち社会を導くためには、人を導くリーダーシップ（Lead the people）が重要である。本授業では、「人を導くリーダーシップ（Lead the people）」をテーマとして、ビジョンを示し、周囲から多くの共感を得ながら、チームや各ステークホルダーを率いて第一線で活躍する起業家、また各界で活動するリーダーをゲストに呼び、人を導くために大事だと考えること、過去、困難に直面し乗り越えた経験、そしてこれから人を導くのに必要なリーダーシップ、について対話を行う。ゲストの志、情熱にふれ、人を導くリーダーシップとはどういうことか、について考えを深めていく。	
		アントレプレナーシップ３Ｃ	「ことを成す」リーダーとなるためには、自身の辿ってきた道のりを振り返り、現在自分が大事にしてることに気づき、未来に想いを馳せることが重要である。自身が情熱を燃やせることを見つけ、それに対して繰り返し行動し、社会からの要請に応え貢献していくことで、リーダーとなるキャリアが形成されていく。本授業では、「ことを成すリーダーのキャリア」をテーマに、第一線で活躍する起業家、また各界にて「ことを成す」ために活動するリーダーをゲストに呼び、過去どのような経験を経て現在のキャリアを築いてきたのかについての対話を行い、自身のキャリアについて考え、どのようなキャリアを歩んでいくかについて考えていく。	
		アントレプレナーシップ３Ｄ	世界中で続々とデータやAIを武器にしたスタートアップが登場し、新しいサービスを立ち上げるにはデータやAIを活用することは、当たり前となってきている。本授業では、「データ、AIとスタートアップ」をテーマに、データ、AIを活用して事業を起こしている起業家をゲストに呼び、データ、AIをどのように活用しているのか、その活用にはどのような課題があるのか、テクノロジーの発展を見据えた今後のさらなるデータ、AIの展望等、について対話と議論を行う。課題解決とデータ、AIを掛け合わせて「ことを成す」ためのヒントを得て、自身の事業にはどのように活用できるのかを考えていく。	
		アントレプレナーシップ４Ａ	人口減少・高齢化といった今後の社会構造の変化に対応し、地域創生は社会的に取り組まなければならない課題であり、その解決のカギの大きな要素として中小企業の活性化が挙げられる。本授業では、「地域創生とスモールビジネス（中小企業）」をテーマに、日本の企業数の９９％以上を占める中小企業にフォーカスし、その創業者、経営者をゲストに呼び、独自の強みや技術を生かした取り組み、地域創生へ中小企業が果たす役割、地域の経営者として大事にしている想い、について対話と議論を行う。ゲストから生の声を聴き、対話を行い、その志や、情熱、に触れて、地域での事業を通して、サステイナブルな生活環境について考え、自身が地域で事業を行う際の可能性につき意識を深める。	
		アントレプレナーシップ４Ｂ	スタートアップの組織には従業員数が増加する段階で直面する「成長の壁」ともいえる組織課題がある。本授業では、事業の成長に伴い、組織が拡大していくなかで生じる組織課題にフォーカスし、授業を行う。スタートアップ組織の拡大を経験してきた起業家をゲストに呼び、組織の急拡大にどのような課題が発生したのか、それをどうやって乗り越えてきたのか、組織づくりで大切にしていることは何か、等について対話と議論を行い、ゲストの考えを引き出し、事業の成長と組織の拡大というテーマについて考えを深め、自身がチーム運営を行う際に役立てていく。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	マインド科目	アントレプレナーシップ４Ｃ	「ことを成す」とは、「社会を導く（Lead the society）」ともいえる。本授業では、自分を導くリーダーシップ（Lead the Self）、人を導くリーダシップ（Lead the people）を経て、社会を導くリーダーシップ（Lead the society）を持ち合わせた、第一線で活躍する起業家、また各界で活動するリーダーをゲストに呼び、リーダーシップを高める過程でどのように自己を変革してきたか、どのような苦労があり、それをどう乗り越えてきたか、社会を導くとはどういうことか、について対話と議論を行う。ゲストがリーダーとして「ことを成し」てきたストーリーに触れることで、自らがリーダーとして社会を導き「ことを成す」覚悟を深める。	
		アントレプレナーシップ４Ｄ	スタートアップ企業は、一気にスケール可能なビジネスモデルであること、また、実際に急成長をしていくことが求められる。本授業では、「急成長するスタートアップ」をテーマに、事業を成長させてきたスタートアップ経営者をゲストに呼び、創業から現在までの道のり、過去ぶつかってきた困難、今後のさらなる成長展望等について対話を行う。様々な困難にぶつかりながらスタートアップ企業を成長させたゲストの体験談や成長を遂げるまでのストーリーからそのスピード感や志、苦悩にも触れ、スタートアップの成長について学び、考えを深める。	
	事業推進科目	クリティカルシンキング基礎	論理的な思考力をもって社会の課題や自分の好奇心に、健全な批判的精神を持ち、事象を構造化していくクリティカルシンキングを、「ことを成す」ための不可欠なスキルとして鍛えていく。本授業ではまず「問いをたてる力」を学ぶ。そして相手の批判をせずに自由に意見を出し合うインタラクティブな対話と議論を通じて、自身が潜在的に持っていた課題認識を表に出し言語化し、問いとしていく力をつける。その上で、論理思考の手法（主にピラミッドストラクチャーによる構造化）を学び、「問い」を自分なりの解として静的に構造化していく力をつける。1年次の必修科目として、全員が学ぶ。	
		クリティカルシンキング１	クリティカルシンキング基礎で学んだクリティカルシンキングの応用編として、その枠組みを広げていくべく、ピラミッドストラクチャー、要素分解と、飛躍思考をインタラクティブスタイルで学ぶ。まず、クリティカルシンキング基礎で学んだピラミッドストラクチャー（主張と根拠のピラミッド）を、さらに数をこなしながら鍛えていく。要素分解（物事を具体化する力）では、世の中の事象を大括りで捉えるのではなく、ロジックツリーを用いて、もれなくダブりなく（MECE）、かつ具体的に要素分解する力を養い、その結果として、課題をより解像度高く、視点を広げて理解する力を養う。飛躍思考（物事を解釈する力）では、世の中で起きている出来事から何を読み解くか、背景を解釈しストーリーとしてつなげていく力を養い、論理思考だけではできない、「（現実的に）思考を飛躍させる」力を養う。その結果として、世の中について「自分のストーリーで語れる力」を身につける。	
		クリティカルシンキング２	クリティカルシンキング基礎で学んだクリティカルシンキングの応用編として、システム思考により、事象の「動的（ダイナミック）な構造化」をインタラクティブスタイルで行う。静的（スタティック）な構造化を行う論理思考におけるピラミッドストラクチャーでの分析手法に対し、現実社会は常に流動的であり、事象の因果の連鎖により課題が生まれている。この因果の連鎖をループとしてモデル化して、動的（ダイナミック）に事象を構造化する手法を学びながら、現代社会の課題を多数分析し、課題解決への糸口をつくる力を養う。	
		課題解決プロセス１	ユーザー中心主義に則り、課題を定義し、新しい提供価値を発見する作法の一つである「デザイン思考」を学び、デザイン思考のマインドセットおよび基礎的なスキルをワークショップスタイルで修得する。 デザイン思考の一連の流れ「観察・理解」→「課題定義」→「発想」→「試作・実験」を体験し、４つのステップごとにメソッドと背景にあるマインドを掘り下げる。グループごとにテーマを決めて、主体的にデザイン思考のアプローチに則った価値発見プロセスを実践することで、「課題を形にしていく」スキルを修得し、プロジェクトに活かしていく。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	事業推進科目	課題解決プロセス２	市民の力で社会を変えていく手法である「コミュニティ・オーガナイジング」の５つのリーダーシップの要素、ストーリーテリング（パブリック・ナラティブ）・関係構築・チーム構築・戦略立案・アクションを学び、ワークショップでのトレーニングを通じて、自身のプロジェクトマネジメント・課題解決に導いていくことを目指す。「先行き不透明な状況の中、人々が目的を達成できるよう責任を引き受けるリーダーシップ」と言うこともでき、「人は誰しもリーダーとなれる」という前提に立っており、"Lead the Self"、つまり内在する問題意識を具体的に行動に移していくための手法として、主にソーシャルアクションを目指す学生を対象に提供していく。	
		ビジネスモデル研究基礎	企業が売上や利益を生み出す仕組みであるビジネスモデルの4要素、すなわち「顧客価値の提供（CVP）」「利益方程式」「経営資源」「プロセス」を、スタートアップや大企業等の事例を中心に学修していく。基本のビジネスモデルの学習と、グループワークによる研究をベースに、ビジネスの構造を類型化し理解して、自ら構想し、組み立てられるようになるための、基本的な枠組みを修得する。加えて、ビジネスモデルをベースに事業を実施し、競争を勝ち抜いていくための事業戦略の基本的な枠組みも、過去の事例等をベースに学んでいく。これが事業推進上、全ての基礎となることから、1年次の必修科目として、全員が学ぶ。	
		インターネットビジネス基礎	メディア・広告、コマース、エンタメ、金融、と対象領域を広げてきたインターネットは、モバイル化によって、多くの人と繋がることになった。そしてこれからは、IoE（Internet of Everything）により全てのモノやコトがインターネットと繋がっていく。本授業では、現在、インターネットをベースにした事業のビジネスモデルを整理しながら、既存産業においてどのような活用がされ、また今後の活用可能性があるか、ケースとディスカッションを通じて考えていくことで、インターネットの切り口で、領域別Tech研究Ａ～Ｄを概観する。	
		領域別Tech研究Ａ	領域別Tech研究Ａでは、ＳＤＧｓの１７の目標のうち、（４）教育、（５）ジェンダー、（８）経済成長と雇用、（９）インフラ・産業化・イノベーション、（１２）持続可能な消費と生産に対するアプローチにフォーカスし、それを事業として、テクノロジーを使って解決する切り口とその専門知識を学ぶ。 具体的には、教育（EdTech）、人材（HRTech）、スポーツ・観光・旅行（SportsTech・ResorTech）の３つの事業領域、すなわち「人」に関する課題と解決可能性を、事例研究とグループワークを通じて理解し、深めていく。 科目修了後進路希望に応じて、その領域で事業を起こしているスタートアップ企業・NPO法人、大企業等へのインターンシップで専門性を深める。	
		領域別Tech研究Ｂ	領域別Tech研究Ｂでは、ＳＤＧｓの１７の目標のうち、（９）インフラ・産業化・イノベーション、（１１）持続可能な都市、（１７）実施手段、に対するアプローチにフォーカスし、それを事業として、テクノロジーを使って解決する切り口とその専門知識を学ぶ。 具体的には、金融（FinTech）、不動産（RETech）、モビリティ・物流（MaaSTech・LogisticsTech）、の領域、すなわち「事業インフラ」を事例研究とグループワークを通じて理解し、深めていく。 科目修了後進路希望に応じて、その領域で事業を起こしているスタートアップ企業・NPO法人、大企業等へのインターンシップで専門性を深める。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	事業推進科目	領域別Tech研究Ｃ	領域別Tech研究Ｃでは、ＳＤＧｓの１７の目標のうち、（１）貧困、（２）飢餓、（３）保健、（６）水・衛生、（７）エネルギー、（１２）持続可能な消費と生産、（１３）気候変動、（１４）海洋資源、（１５）陸上資源、に対するアプローチにフォーカスし、それを事業として、テクノロジーを使って解決する切り口とその専門知識を学ぶ。 具体的には、健康・医療（MedTech・HealthTech）、農業・食料（AgriTech・FoodTech）、環境・エネルギー（CleanTech・EnergyTech）の領域、すなわち「健康・環境」を事例研究とグループワークを通じて理解し、深めていく。 科目修了後進路希望に応じて、その領域で事業を起こしているスタートアップ企業・NPO法人、大企業等へのインターンシップで専門性を深める。	
		領域別Tech研究Ｄ	領域別Tech研究Ｄでは、ＳＤＧｓの１７の目標のうち、（１０）不平等、（１２）持続可能な消費と生産、（１６）平和、（１７）実施手段、に対するアプローチにフォーカスし、それを事業として、テクノロジーを使って解決する切り口とその専門知識を学ぶ。 具体的には、政治・法律(GovTech・LegalTech）、マーケティング・広告・小売・営業（MarTech・AdTech・RetailTech・SalesTech)、製造・建設・ファッション（ものづくりTech・ConstructionTech・FashTech）の領域、すなわち「事業推進実現の仕組み」を事例研究とグループワークを通じて、理解し、深めていく。 科目修了後進路希望に応じて、その領域で事業を起こしているスタートアップ企業・NPO法人、大企業等へのインターンシップで専門性を深める。	
		アフターデジタルの課題解決	これまでインターネットの進化に伴い生まれ、成長してきたITビジネスの発展段階を明らかにしながら、Ｂeforeインターネット、Ａfterインターネットでモノやコトの価値がどう変容したのか、情報発信、情報消費がどう変容したのか、利益を生む源泉がどう変容してきたのか、結果としての社会はどう変容してきたのか、をケースやディスカッションを通じて深く考えていく。そのうえで、IoTで全てが繋がり、そこで蓄積されたデータをＡIが活用していく「アフターデジタル」の社会で、ITはどこを目指し、どこに向かうのかを考え、領域別Tech研究Ａ～Ｄを総括していく。	
		事業計画Ａ	ビジネスにおける事業計画のたて方の基礎を学び、実際に事業プランを多数作成する練習を行う。主に既存のスタートアップ事業のビジネスモデルの理解をしたうえで、自分ならどのような事業構築をするかを考え、ビジネスプランとしてアウトプットし、プレゼンテーションを行いフィードバックを得る作業を繰り返すことにより、自分の中に「ビジネスの枠組み」を定着させ、実際に踏み出せる状態に近づける。また、単に数字を合わせることに止まらず、戦略論の基本を踏まえて、どこに差別化ポイントをおくかを数字で表現することも学び、実践科目に活かしていく。	
		事業計画Ｂ	社会課題の解決をNPO等を活用して取り組んでいく事業計画のたて方の基礎を学び、実際に事業プランを多数、作成する練習を行う。「ソーシャルビジネス」ならではの、顧客やサポーターの貢献を高め、また課題解決力を最大限高めるためのストーリーを表現することも学び、実践科目に活かしていく。ソーシャルビジネスの既存モデルの理解をしたうえで、社会貢献とビジネスのバランスをとり、どのような事業構築をするかを考え、プランとしてアウトプットし、プレゼンテーションを行いフィードバックを得る作業を繰り返すことにより、自分の中に「社会起業の枠組み」を定着させ、実際に踏み出せる状態に近づける。	
		プロトタイピングＡ	事業アイデアを基にしたソフトフェアのプロトタイピングを作成し、仮説検証を行う訓練を行う。本演習では、１）課題とソリューション発見、２）ラフスケッチで主要機能を規定、３）遷移モデルを作成、４）デザイン、５）インタラクションを詰めて実装する、というソフトウェアにおけるプロトタイピングのプロセスを学ぶ。いきなりソフトウェアの完成品をつくるのではなく、プロトタイプ（模型）を少しずつ作り、ユーザーからのフィードバックを受けながら軌道修正を行い、完成に近づけていくプロセスを、実際に行っていく。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	事業推進科目	プロトタイピングＢ	事業アイデアを基にしたハードウェアのプロトタイピングを作成し、仮説検証をする訓練を行う。本演習では、実際にハードウェアを物理的にプロトタイピングし、フィードバックを受けながら改善して、完成品に近づけていくプロセスを、ファブラボ等の施設を利用し、ツールを実際に活用しながら手を動かし、学んでいく。いきなりハードウェアの完成品をつくるのではなく、プロトタイプ（模型）を少しずつ作り、ユーザーからのフィードバックを受けながら軌道修正を行い、完成に近づけていくプロセスを、実際に行っていく。	
		コミュニケーション基礎	「ことを成す」ために不可欠な、社会で主体的に活動していくうえで必要となるコミュニケーションスキルを身につける。コーチングをベースとした、１対１のコミュニケーションにおける傾聴、承認、質問、フィードバックを通じた関係づくり、３名以上のミーティングにおける情報共有、意見交換、合意形成等のファシリテーション、多人数に対する効果的なプレゼンテーションといった、さまざまなコミュニケーションの場における基本的な態度、スキルを実践を通じて身につけていく。	
		コーチング	コミュニケーション基礎を学修した後、コーチングを深く学ぶ科目。コミュニケーション基礎では、基本動作としてのコーチングを学んだが、本授業では、マネジメントに特化したコーチングを学ぶ。マネジャーとしての“1on1ミーティング”の手法、具体的には心理的安全性を構築するコミュニケーションと、目標設定、進捗、修正点の認識、次へのコミット等、経験学習での気づきを促すような流れを、トレーニングを通じて学んでいく。加えて、観察結果をしっかりと相手に伝えていく「フィードバック」の手法も学び、実践トレーニングすることで、言うべきことを言うアサーション力や、マネジメントに求められるスタンスを身につけていく。各学生の「学生生活」をよりよきものにしていくことを題材にしながら、実生活でそのまま使えるようなスキルにしていく。	
		プレゼンテーション	プレゼンテーションのベースにある「考えて、伝える」スキルを、実践を通じて鍛えていく。プレゼンテーションを「うまく話す」方法ではなく、「人を動かす」ための手法と理解し、１）人に理解されるような言葉の選び方、２）内容を理解してもらうための「主張と根拠のピラミッド」を瞬時につくる技術、３）共感してもらうために「ビジュアルなイメージをもってもらう」技術、４）内容の骨子を覚えてもらうための「一言でまとめる」技術、５）情熱と自信をもって、「人に動いてもらう」技術を、トレーニングで身につけていく。	
		チーム・プロジェクトマネジメント	２年次対象。与えられた様々な小テーマをチームで問題解決していくグループワークを通じ、他者理解、リーダーシップ、マネジメントの実践につなげるチームビルディングを実践する。（1）チームの目的を設定し、方向感を合わせ、（2）目的へのプロセスを明確にリードし、（3）チームの力を最大化するために、心理的安全性を確保し、メンバー間でしっかりとコミュニケーションをとる、の３点を修得し、他者と共創することの重要性をプロジェクト形式で学んでいく。 また、プロジェクトのゴール設定、進捗管理、モチベーションマネジメントを、１年生の実践科目のプロジェクト運営をサポートするステューデントアシスタント（S.A.）となり、教員のサポートに入る。下級生リーダーをサポートすることで、「活きたプロジェクトマネジメント」を学ぶ。	
		ファイナンス・アカウンティング基礎	ファイナンスの基礎的な考え方と、事業運営に必要となる会計・税務を総合的に学び、自ら「ことを成す」うえで支障がない最低限の知識、スキルを身につける。企業価値とは、キャッシュフローとリスクと成長性から導かれる関数であることを理解し、ケーススタディや練習問題を通じて、企業価値を上げることの意味、どのようにしたら上がるのかを理解することを目指す。 また会計・税務は、事業を起こす最低限の知識、スキルを身につける。具体的には、Ｂ/S，P/L，Ｃ/Fの基本的な内容、関係を学んだうえで、同学期にて学修している実践科目のＢ/S、P/Lを作成しながら、学修後には自分で簡単な財務諸表を作れることを目指す。 税務は入門編として、どういう対象に対しどういう税金がかかるのかの基礎を学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	事業推進科目	ファイナンスＡ	スタートアップが急成長するために必要なエクイティファイナンス、多くの企業が事業拡大のために利用するデットファイナンス等、起業や事業運営において必要となる資金調達について学び、資本政策を理解し自ら作成する訓練を行う。 また、M&Ａの基本的な手法も学んでいく。M&Ａによる成長を目指すか、自ら事業成長を目指すかの判断をどう考えるべきか、逆に自らがM&Ａの提案を受けた時にどう考えたらいいのかの双方から、ケーススタディを通じて学ぶ。また、資金調達手段としての株式公開（IPO)を知り、IPOは企業にとってどういう意味があるのか、どのように考えたらいいのかを、ケースの事例研究を通じて学び、来るべき時の選択肢をもっておく。	
		ファイナンスＢ	NPOが事業推進していくうえで必要な資金調達手法、寄付やクラウドファンディング等の手法につき学んでいく。単なる資金調達の手段としてでなく、顧客やサポーターが団体に対し貢献を高めるためのマーケティング手法でもある、ということを理解したうえで、どのような時にどんな資金調達を行うのか、それぞれの長所短所は何か、を具体的な事例にて学び、自身がソーシャルビジネスにおいて起業した後に、どうしたいか、何をしなければならないか、を理解する。	
		リーガル基礎	事業運営に必要となる会社法・民法・著作権・商標・特許権等を総合的に学び、自ら事業を起こす際に支障がない水準のリーガル知識を、インタラクティブレクチャーにて修得していく。また、リーガルに関し理解が不足していたが故に発生するリスクを、実際に起きた過去事例に基づき学び、リーガルを詰めることの重要性を理解し、問題が発生した際に、どのようなプロセスと手続きにて、問題を解決していけばよいのか、その勘所を認識しておくことを目指す。	
		マーケティング基礎	マーケティングに関する基礎的な知識やスキルをインタラクティブレクチャーとケース分析で学ぶとともに、実践的で役に立つ「マーケティング思考」を修得することを目的とする。まずはSTP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）を大前提に、「誰のどんな課題をどのように解決するか」「競合他社とどう差別化していくか」というマーケティング戦略論をベースとして、そこを実現するための手法を学ぶ。マーケティングリサーチ、消費者行動分析、ブランディング、コピーライティング、コミュニケーションデザイン等、現在一般的であるマーケティングの領域に加え、デジタルマーケティング、データマーケティング等今日的なトピックについて学び、基本スキルを身につける。	
		マーケティングＡ	マーケティング基礎の知識やスキルをベースに、事業を行ううえでもっとも大切な「顧客」を見つめ、理解していくスタンスを学ぶ。具体的には事業アイデアの探索や、仮説の検証等、ＰＤＣＡを素早く回す上で重要なマーケティング・リサーチの方法を学ぶ。定量調査では、質問表の作成、データの分析を、定性調査では、インタビューやエスノグラフィ等、具体的な事例による実践を通じて基本的な顧客志向のリサーチ手法を身につける。また、非合理的な消費者行動を、さまざまな角度から分析する。心理学や社会学等様々な分野で行われてきた消費者行動の研究を紹介しながら、時代が変わっても普遍的な人間の購買行動について理解し、より効果的な顧客志向の消費者戦略の策定を、実社会での実践、事例を通じて行っていく。	
		マーケティングＢ	ブランドやマーケティング・コミュニケーションに関するスキルを学ぶ。ブランドについては、スタートアップや大企業等から、様々な商品等のブランドの設計から表現までを実践する。 マーケティング・コミュニケーションについては、広告制作を基に、コミュニケーション・デザインへの理解を深めるとともに、今後の事業推進に必要なコミュニケーションの基礎体力を身につける。 「何のために伝えるか」「何を伝えるか」「どう伝えるか」というコピーライティングの基礎を学びながら実際に言葉を生み出し、「コンセプトと何か？」「何が人の心を動かすのか」といったより実践知を身につけることで、事業を推進する力としていく。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	事業推進科目	マーケティングＣ	スモールビジネス（中小企業）や起業して間もないスタートアップでは、限られた経営資源で、フォーカスされたマーケティング施策を実施していく必要がある。ケーススタディに加え、成長を狙うリアルな事例における商品企画、販促企画例を実際に活用しながら、「どうしたら顧客への認知を広め、売上を上げられるか」を、顧客と議論しながら考えていく。 そして重要なPR手法として「営業」の概要についても学ぶ。体系的に、必要となるコミュニケーションポイント等を押さえ、商品の営業や営業を通したニーズの抽出等を実践的に行い、どう顧客ニーズとフィットさせていきながら合意に至るか、という営業プロセスを理解し、ロールプレイ等を通じ「使えるスキル」としていく。スモールビジネスにおいては、営業の成否が事業展開の鍵となるため、本授業で学んでいく。	
		グローバルマネジメント	国別の経済/文化の違いをもとに、異文化コミュニケーションを学び、グループで討議する。各国のリーダーをゲストに招いたりオンラインで各国を繋ぎ授業を実施したり、各国毎の特徴を対話や議論を通じ、触れながら、異文化の中での志、アントレプレーナーシップをどう形成していくか、意識を深めていく。ダイバーシティの本質を理解し、最終的には自らに矢を向けて「では、自分は何者で、どうするのか」を考え、アントレプレナーシップを醸成していく。	
		リーダーシップとマネジメント	スタートアップ創業時に強力なチームを作るための仲間の集め方・巻き込み方・モチベーションの上げ方を学ぶ。目標を設定し共有し、チームのパフォーマンスを最大化し、導いていくためには、１対N人のコミュニケーションと、１対１×N人分のコミュニケーションを相互に行いながら少しずつモチベーションを上げ、パフォーマンスを上げていく必要があるが、リアルケースや、学生のチームビルディング、ブロジェクトでのチームビルディングを題材に、実践的なロールプレイを行いながら、リーダー/マネージャーのあり方と行動様式を身につけていく。	
		組織・人事マネジメント	自律型組織や管理型組織に関し、それぞれの組織がもつ特徴や、相違点を学び、組織設計力と組織最適化力を学ぶ。まずは事例を基に基本的枠組みを学んだうえで、クラス内で擬似的にチームをつくり、どういった場合に自律型組織がフィットし、どういった場合にに管理型組織がフィットするか、体感することで、状況に応じた組織の作り方や、モチベーションの上げ方を学んでいく。プロジェクトで組織を作り課題に取り組む中で、自分たちが抱えるようになった組織マネジメント上の課題を共有し、解決策を議論し実行することで、「組織、チーム」に対する意識を高めることも目指す。	
	実践科目	プロジェクト入門	１年次１学期の集中授業。与えられた小テーマについて、チームで解決策を企画、検討、実践し、振り返り、改善し、レビューするという一連の流れを経験する。これにより、アントレプレナーシップ学部で学ぶことへのマインド醸成、「ことを成す」ために何をどう考え、どう記録し、どう振り返るればよいか、に関する最低限のスキルや、チームでコミュニケーションをとり、チームビルディングを行いながら進めていくための最低限のスキルを修得する。	
		インターンシップ（領域別Tech研究）	「領域別Tech研究Ａ～Ｄ」で学ぶ専門知識修得の仕上げとして、「領域別Tech研究Ａ～Ｄ」で学んだ領域をテクノロジーで解決するスタートアップやＮＰＯ、大企業へのインターンシップを、５日間連続の集中形式にて実施する。実際に現場研修を行うことで、各領域の専門性と実務の理解を深める。 教員が関与する組織をインターンシップ先として選定し、各課題に対してテクノロジーをどう関与させ、事業として成立しているのかといった「領域別Tech研究Ａ～Ｄ」で修得した内容を必ず指導項目として盛り込む等、授業との連関を強く打ち出して実施する。実施結果は、担当教員のみならず学生同士で振り返りを共有し、それぞれの経験を、他学生の学びにもつなげることを目指す。	
		インターンシップＡ	１０日連続の集中形式にて実施するインターンシップ。「インターンシップＡ」では、主に大企業へ訪問する。大企業でのインターンシッププログラムは、人と触れ合うことを重視するプログラムとするため、１０日のプログラムにて実施する。教員が関与する組織をインターンシップ先として選定し、大企業の役割、事業モデル、組織について現場で学び、理解を深めるとともに、大企業が社会に果たす役割を考える。インターンシップ修了後は、振り返りと発表会を実施し、他学生の学びにもつなげることを目指す。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	実践科目	インターンシップＢ	１５日連続の集中形式にて実施するインターンシップ。「インターンシップＢ」では、主にスタートアップへ訪問する。スタートアップでのプログラムは、ビジネスモデルやオペレーションを理解し、取引先等ステークホルダーへの訪問も行うため、１５日のプログラムにて実施する。スタートアップ企業の事業モデル、仕事の進め方を現場で学び、そのスピード感や組織に触れ理解を深めるとともに、急成長の秘訣を探る。教員が関与する組織をインターンシップ先として選定し、目指すゴール、実施状況もフォローする。インターンシップ修了後は、振り返りと発表会を実施し、他学生の学びにもつなげることを目指す。	
		インターンシップＣ	２０日連続の集中形式にて実施するインターンシップ。「インターンシップＣ」では、主にNPO組織に訪問する。取り組む社会課題の現場へ訪問することで認識を深め、働く人のモチベーションも深く考えることを目指すため、２０日のプログラムにて実施する。教員が関与する組織をインターンシップ先として選定し、長期間現場で学ぶことで、現場で生の課題を感じ、社会課題に対する理解を深め、その解決方法を学ぶ。教員が関与する組織をインターンシップ先として選定し、途中経過、実施状況もフォローする。インターンシップ修了後は、振り返りと発表会を実施し、他学生の学びにもつなげることを目指す。	
		プロジェクト基礎Ａ	１年次２学期の初回のプロジェクトでは、まず一人で企画を考えて、実践することを重視する。学生自ら題材を決定し、振り返りや気づきをシェアしあう。 実施するテーマを決め、マーケティング戦略とオペレーションを検討して実行し、商売の基礎を学ぶ。具体的には、販売、商品開発企画の骨組みと、貸借対照表と損益計算書の作成・記帳について学び、仮想の会社運営を実践する。	
		プロジェクト基礎Ｂ	１年次３学期のプロジェクトでは、チームで実践することに挑戦する。全チーム共通のテーマ、プロセスを設定するが、チームごとに個性がでてくることに対して、振り返りや気づきを得てプロセスの理解度が増すことを目的とする。チーム編成は「プロジェクト基礎Ａ」での気づきや個性を踏まえて決定する。 少人数のチームを組み、仮想の会社運営に例えて、仮説検討・実施、振り返りのサイクルを回す実践を行い、担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行うことを通じて、ビジネススキルや踏み出す力を学ぶ。	
		プロジェクト基礎Ｃ	１年次４学期のプロジェクトでは、チームでロールプレイを行う。全員がいずれかのプロジェクトのリーダーとフォロワーをそれぞれ担当していくことで、チームの中でどんな役割が自分に合っているのか理解を深めていく。 少人数のチームを組み、仮想の会社運営に例えて、仮説検討・実施、振り返りのサイクルを回す実践を行い、担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行うこと通じて、リーダーシップと役割分担、協働の大切さを学んでいく。	
		プロジェクト応用Ａ	２年次前期に、「ＥＣにて商品を販売する」というテーマでマーケティングや戦略、営業活動を行っていく。 １年次に実施し修得してきたスキルや知識を踏まえ、より幅広い商売やソーシャルアクションを繰り返し学んでいく。 少人数のチームを組み、仮想の会社/団体運営に例えて、仮説検討・実施、振り返りのサイクルを回す実践を行い、担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行うことを通じて、ＰＤＣＡを回し成長させるスキルを学ぶ。 具体的には、１年次の「プロジェクト基礎Ａ・Ｂ・Ｃ」で学んだ、企画、マーケティング、収支管理のスキルをベースとして、ＥＣのビジネスモデルを作成し、「仕入れ・販売・在庫管理」について理解し、ビジネスとして決算処理と報告までを実践する。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	実践科目	プロジェクト応用Ｂ	２年次後期には、前期で学んだＥＣ販売を発展的に引き継ぎ、さらなる事業の成長に挑戦し、３年次に実際に起業するための基礎スキル・マインドを完成させる。 １年次/２年次に実施し修得してきたスキルや知識を踏まえ、より幅広い商売やソーシャルアクションを繰り返し学んでいく。 少人数のチームを組み、仮想の会社/団体運営に例えて、仮説検討・実施、振り返りのサイクルを回す実践を行い、担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行うことを通じて、会社運営全般にわたるビジネススキルを学ぶ。 具体的には、「プロジェクト応用Ａ」で学んだ「仕入れ・販売・在庫管理」に加え、「顧客対応」「製造過程」「サービス等の無形商材」についても扱い、知識と経験と踏み出す力を深めていく。	
		プロジェクト発展Ａ	３年次前期のプロジェクト（４単位） これまでプロジェクトを実践し、他科目で学ぶ中で修得してきたスキル、知識を実践で活かしていくべく会社/団体を作り、起業する。 「プロジェクト発展Ａ」では、チームもしくは個人でテーマを決めてゼロからビジネスモデルを考え、起業することに必要な最低限の手続き、資金繰り、会社の運営について学び実践することで、起業に対するハードルを下げることを目的とする。 担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行うことを通じて、会社を形にするプロセスを学ぶ。 起業した会社や団体は経営状況により、「プロジェクト発展Ｂ」以降のプロジェクトでも継続して経営を行う。	
		プロジェクト発展Ｂ	３年次後期のプロジェクト（４単位） 「プロジェクト発展Ｂ」では、「プロジェクト発展Ａ」で経験した、起業のイロハを踏まえ、売り上げを立てて、その会社や団体を成長・拡大させていくための戦略を実行し、困難と失敗を繰り返すことで学びを得て社会に価値を提供し、成長していくことを目指す。 担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行うことを通じて、会社運営を回し成長させていくプロセスを学ぶ。 起業した会社や団体は経営状況により、「プロジェクト発展Ｃ」以降のプロジェクトでも継続して経営を行う。	
		プロジェクト発展Ｃ	４年次前期のプロジェクト（４単位） 「プロジェクト発展Ｃ」では、「プロジェクト発展Ａ・Ｂ」の経験を踏まえ、マーケティング戦略・人事組織戦略の実行を通じ非連続な成長にチャレンジ、社会に対し価値を提供していく。困難と失敗を繰り返しながらビジネスモデルをブラッシュアップしていく。 担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングしながら、非連続な会社の成長を共に考え、サポートをすることを通じて、会社経営を学ぶ。 起業した会社や団体は経営状況により、「プロジェクト発展Ｄ」のプロジェクトでも継続して経営を行う。	
		プロジェクト発展Ｄ	４年次後期のプロジェクト（４単位） これまでプロジェクトを実践し、他科目で学ぶ中で修得してきたスキル、知識を実践で活かしていくべく、卒業後の進路も踏まえたテーマを定めて、実際に起業し、様々なアクションを実行していく。 「プロジェクト発展Ｄ」では、「プロジェクト発展Ａ・Ｂ・Ｃ」に引き続き、起業を通じて社会に対し価値を提供していくことに挑戦するが、既存のスタートアップとの協業や資金調達、時には事業売却も視野に入れながら、ビジネスを発展させ、最終的に会社を継続するか継承するか閉じるかの意思決定を行う。 担当教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行うことを通じて、会社を継続させること、継承していくこと、終了させること、等の選択肢を意思決定することの大切さ、難しさを学ぶ。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	実践科目	プロジェクト発展Ｅ	３、４年次のプロジェクト（１単位） 予め決められたカリキュラムを実施する科目ではなく、国内での起業や非営利団体の立ち上げと継続的な自律的活動（活動期間３カ月以上）に対して付与する。 対外的/学内の自主的な活動に対し、学生からの申請により、アントレプレナーシップ学部の活動にふさわしいと判断された場合は、活動内容に応じて単位を付与するもの。例えば、学外で起業して、成果が出てきたようなケース等。別途定められた付与基準に従い、教員審査を踏まえ単位付与が行われる。単位数は、活動内容の規模・影響力に応じて異なる。	
		プロジェクト発展Ｆ	３，４年次のプロジェクト（２単位） 予め決められたカリキュラムを実施する科目ではなく、国内での起業や非営利団体の立ち上げ等に相当する継続的な自律的活動（活動期間６か月以上）に対して付与する。 対外的/学内の自主的な活動に対し、学生からの申請により、アントレプレナーシップ学部の活動にふさわしいと判断された場合は、活動内容に応じて単位を付与するもの。例えば、学外で起業して、成果が出てきたようなケース等。別途定められた付与基準に従い、教員審査を踏まえ単位付与が行われる。単位数は、活動内容の規模・影響力に応じて異なる。	
		プロジェクト発展Ｇ	３、４年次のプロジェクト（３単位） 予め決められたカリキュラムを実施する科目ではなく、海外での起業や非営利団体の立ち上げと継続的な自律的活動（活動期間３カ月以上）や国内での起業や非営利団体の継続的な自立的活動（活動期間９カ月以上）に対して付与する。 対外的/学内の自主的な活動に対し、学生からの申請により、アントレプレナーシップ学部の活動にふさわしいと判断された場合は、活動内容に応じて単位を付与するもの。例えば、学外で起業して、成果が出てきたようなケース等。別途定められた付与基準に従い、教員審査を踏まえ単位付与が行われる。単位数は、活動内容の規模・影響力に応じて異なる。	
		プロジェクト発展Ｈ	３、４年次のプロジェクト（４単位） 予め決められたカリキュラムを実施する科目ではなく、海外での起業や非営利団体の継続的な自律的活動（活動期間６カ月以上）や国内での起業や非営利団体の自律的活動（活動期間１２カ月以上）に対して付与する。 対外的/学内の自主的な活動に対し、学生からの申請により、アントレプレナーシップ学部の活動にふさわしいと判断された場合は、活動内容に応じて単位を付与するもの。例えば、学外で起業して、成果が出てきたようなケース等。別途定められた付与基準に従い、教員審査を踏まえ単位付与が行われる。単位数は、活動内容の規模・影響力に応じて異なる。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）

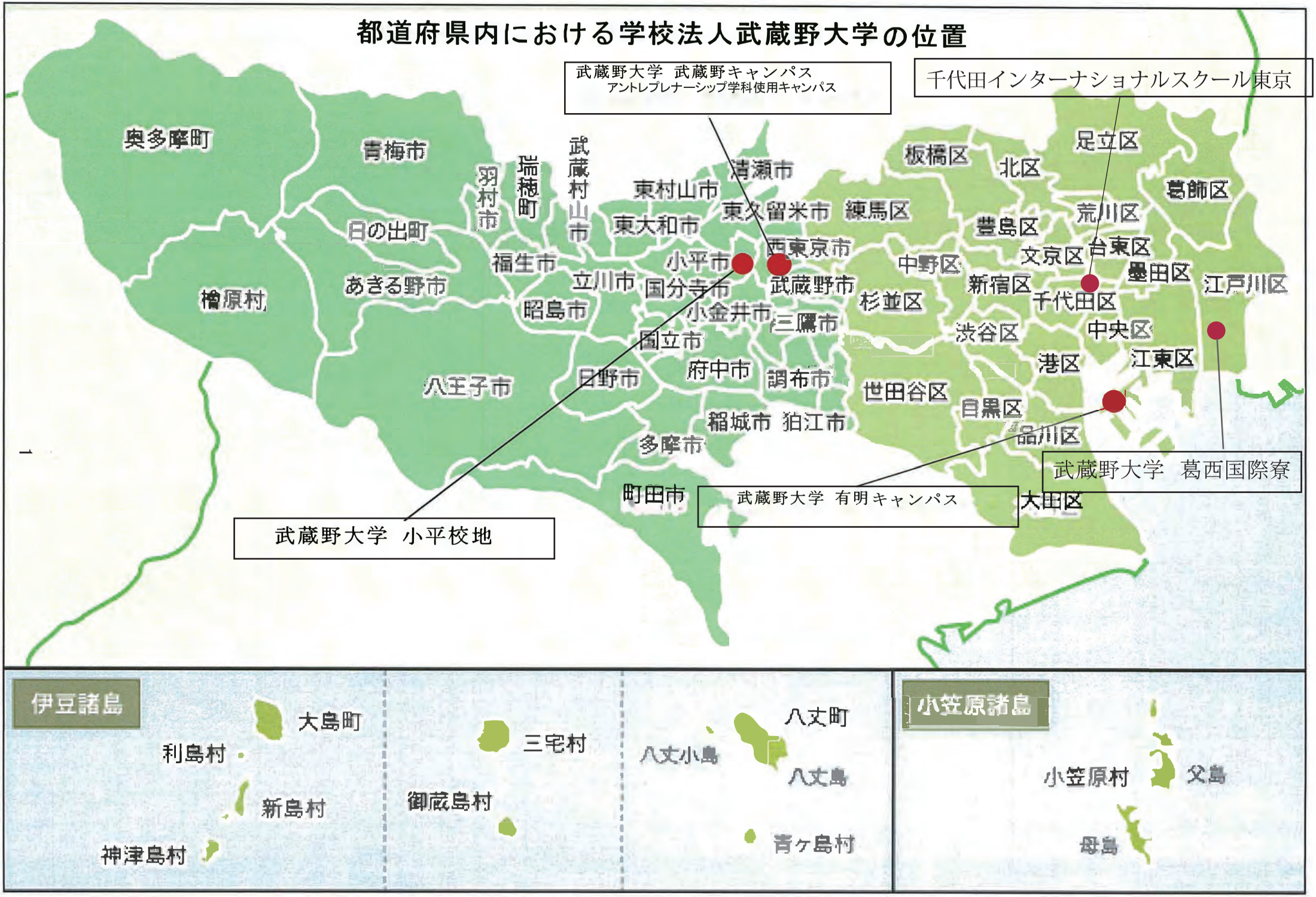
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	ゼミナール科目	ゼミナール１	２年次３～４学期必修。２年次前期までに学修した分野又は派生分野について、５つのテーマに分かれて学修を深化する。専門書誌やその他の文献資料の概説、事例研究などを通じ、議論や発表等を行う。内省と対話、実践と振り返りを繰り返すことで自身の学びの軸を深める。初めてのゼミを通じて、資料分析・調査方法、発表方法について、他学生と協力しながら学ぶ。 （７　柏谷　泰行）「ストレスフルな現代社会の“生きにくさ”とマインドセットの考察」 （９　五嶋　一人）「社会を変革するスタートアップの事業創出事例の研究と考察」 （１０　佐藤　大吾）「身近な社会課題の発見から解決までの事例研究とブラン立案」 （１２　篠田　真貴子）「社会・組織・人の関係性の変遷の歴史的考察と国際比較による未来構想」 （１６　津吹　達也）「国内スタートアップ企業のアジア市場参入戦略と考察」	
		ゼミナール２	３年次１～２学期必修。２年次までに学修した分野又は派生分野について、また、実践で起業していくテーマに連関した、５つの研究テーマで、各自の学びの方向を明確にする。自らが興味を持てる分野と結び付けて事例研究、討議、発表等を行う。クラスでは、研究テーマを通じて、内省と対話、実践と振り返りを繰り返すことで自身が取り組む領域の軸を深めていく。 （３　池本　修悟）「『サードプレイス』事業のケーススタディと企画立案」 （４　伊藤　羊一）「習慣化による人間の行動変容の研究と実践」 （１０　佐藤　大吾）「身近な社会課題の発見から解決までの事例研究とブラン立案、実践」 （１５　菅原　康之）「起業家と投資家の両面から見たスタートアップ企業の成長モデルの研究」 （５９　井上　浄）　「好奇的思考で捉える世界の課題研究調査」	
		ゼミナール３	３年次３～４学期必修。２年次までに学修した分野又は派生分野について、また、実践で起業しているテーマに連関した、５つの研究テーマで、専門性を高めていく。自らが興味を持てる分野と結び付けて事例研究、実習、討議、発表等を行う。クラスでは、研究テーマを通じて、内省と対話、実践と振り返りを繰り返すことで自身の専門性の軸を深めていく。 （１　栗生　万琴）「最新テクノロジー（AI,IoT,DX,ブロックチェーン等）によるデータ調査手法の研究と実践」 （２　秋元　祥治）「地域の課題とサステイナブルな地域創生実現の調査研究」 （８　金杉　朋子）「他者理解と自己表現に関する調査研究」 （１１　澤　円）　「サイバーセキュリティに関する事例研究と調査」 （１３　芝　哲也）「広告業界やデザイン業界におけるアイデア発想法の統計的調査研究」	

別記様式第２号（その３の１）

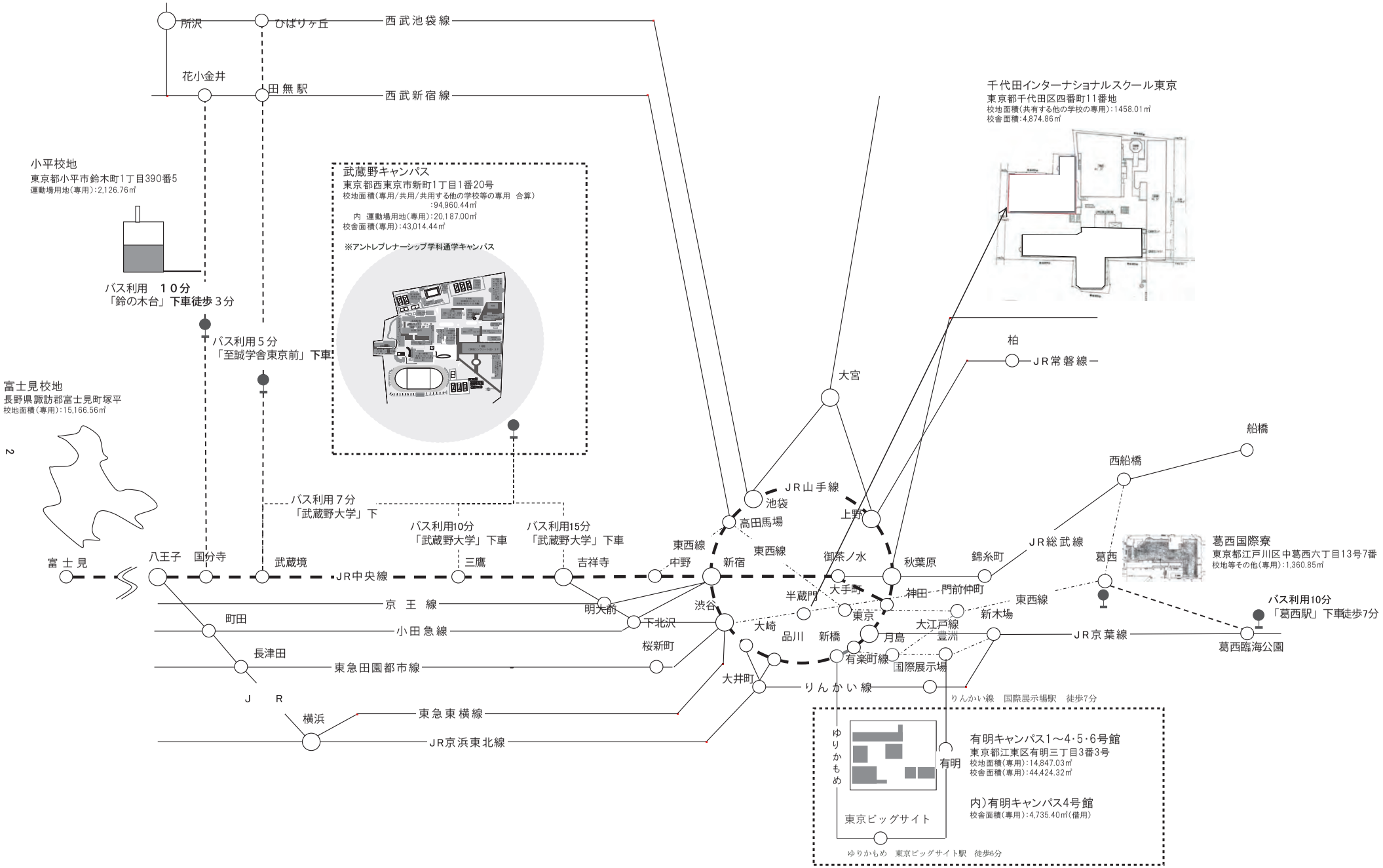
（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要 （アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科）				
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
学科科目	ゼミナール科目	ゼミナール４	４年次前期選択。自らの進路を見据えた専門性を高め、その領域で「ことを成す」人材となるために、その領域と関連した5つの研究テーマの事例研究や実習、討議などを通じて専門性を深め、「ことを成す」行動へとつなげていく。学会や学外のコンテストなどの社会的な場で発表し、社会還元を行うとともに社会的な評価を受ける機会を得て、自身の専門性をもって世の中の課題を解決し、未来を創造していくアントレプレナーシップ（起業家精神）を育む。 （５　岩佐　大輝）「現代社会におけるリアルビジネスの課題と可能性の調査と考察」 （８　金杉　朋子）「他者理解と自己表現に関する調査研究と実践」 （１１　澤　円）「当たり前を疑う思考スキルとマインド醸成の研究と実践」 （１２　篠田　真貴子）「洋書がもたらす感情変化と行動変容の考察と実践」 （１４　白木　夏子）「社会課題解決事業を創出する思考とマインドに関する研究と考察」	
		ゼミナール５	４年次後期選択。自らの進路に定める専門領域で、深い知見と課題に立ち向かう志を育むために、5つの研究テーマの教員の指導を受け、事例研究や実習、討議などを通じて、「ことを成す」マインド、アントレプレナーシップ（起業家精神）を育む。事例研究や実習、討議などを通じて専門性を深め、学会や学外のコンテストなどの社会的な場で発表し、社会還元を行うとともに社会的な評価を受ける機会を得る。4年間の集大成として、自身が想像する未来に想いを馳せる。 （５９　井上　浄）　「世界の課題を解決する技術の調査研究と企画立案」 （６　海野　慧）　「人材育成における認知科学・組織開発論の研究調査 （１５　菅原　康之）「起業家と投資家の両面から見たスタートアップ企業の成長と変革モデルの研究」 （１７　寺田　知太）「移民社会とAI社会の到来による社会構造変革の研究と考察」 （１９　平石　郁生）「スタートアップとイノベーションに関する事例研究と考察」	

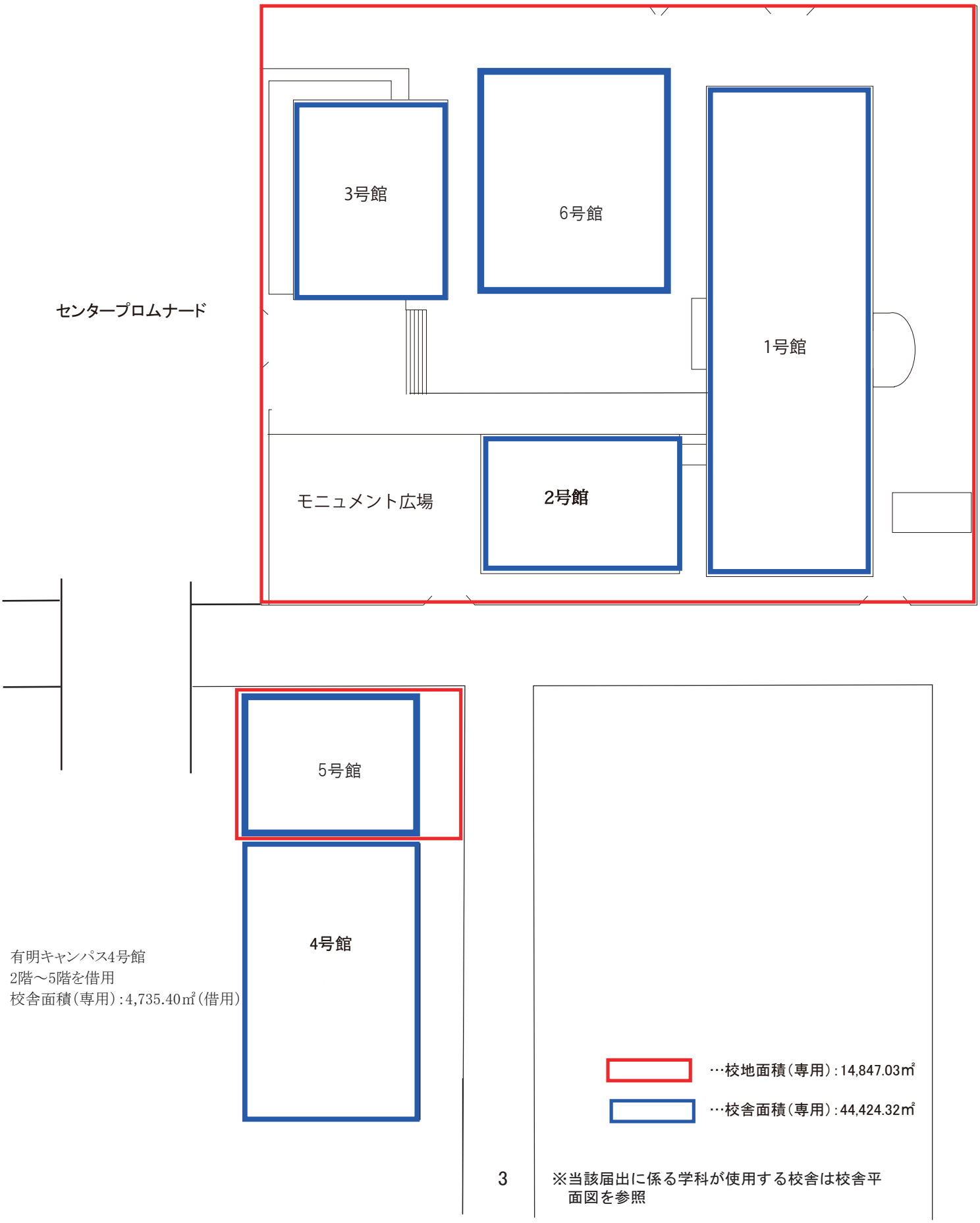
都道府県内における学校法人武蔵野大学の位置



最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



学校法人　武蔵野大学
有明キャンパス　建物配置図

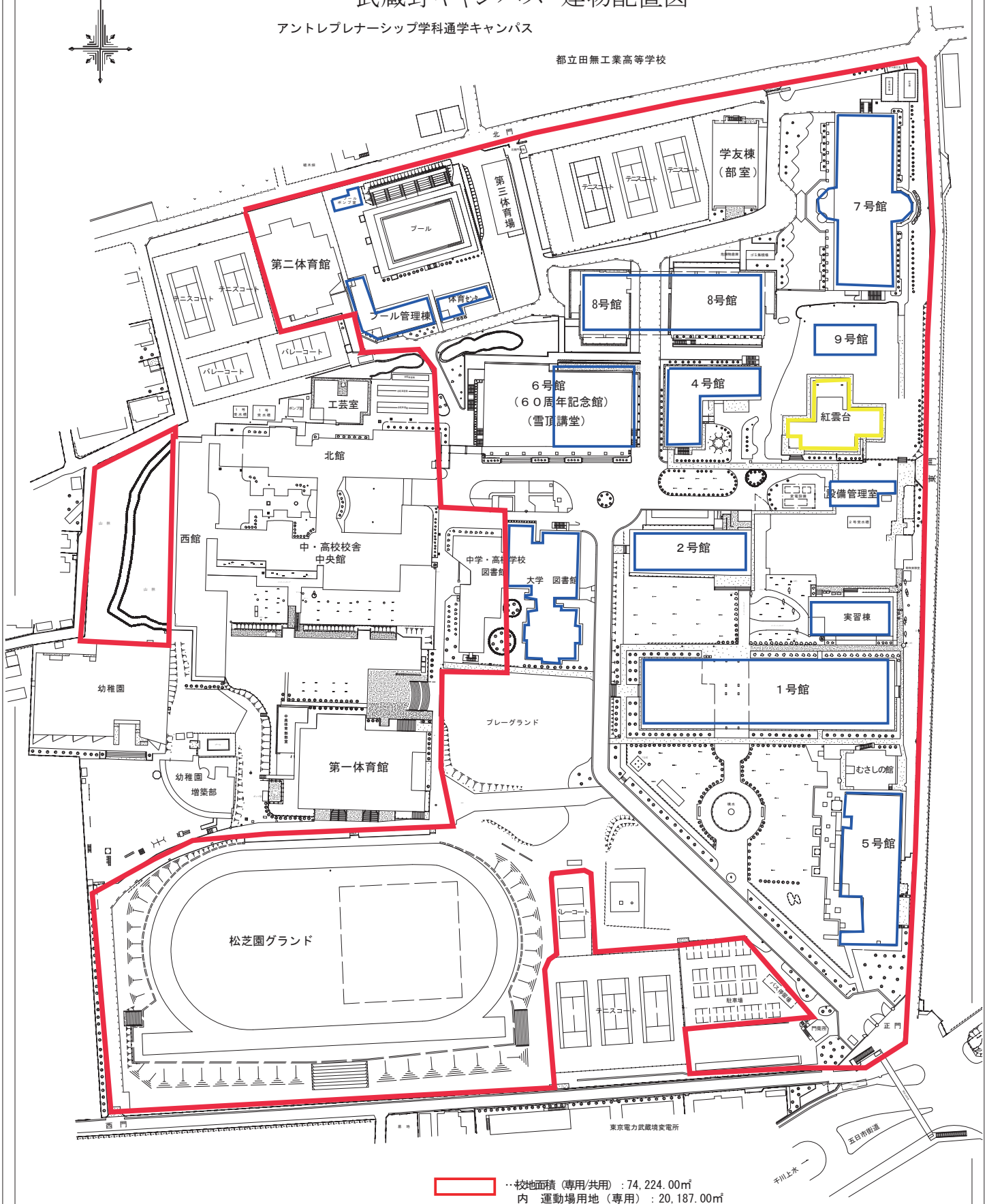


有明キャンパス4号館
2階～5階を借用
校舎面積（専用）：4,735.40㎡（借用）

※当該届出に係る学科が使用する校舎は校舎平面図を参照

学校法人　武蔵野大学
武蔵野キャンパス　建物配置図

アントレプレナーシップ学科通学キャンパス



‥校地面積（専用/共用）：74,224.00㎡
内　運動場用地（専用）：20,187.00㎡

‥校舎面積（専用）43,014.44㎡

‥校舎面積（共用）624.78㎡

平成１５年９月一部修正
平成１６年１２月一部修正　（８号館新築）
平成１８年５月一部修正　（学友棟新築）
平成２６年２月一部修正

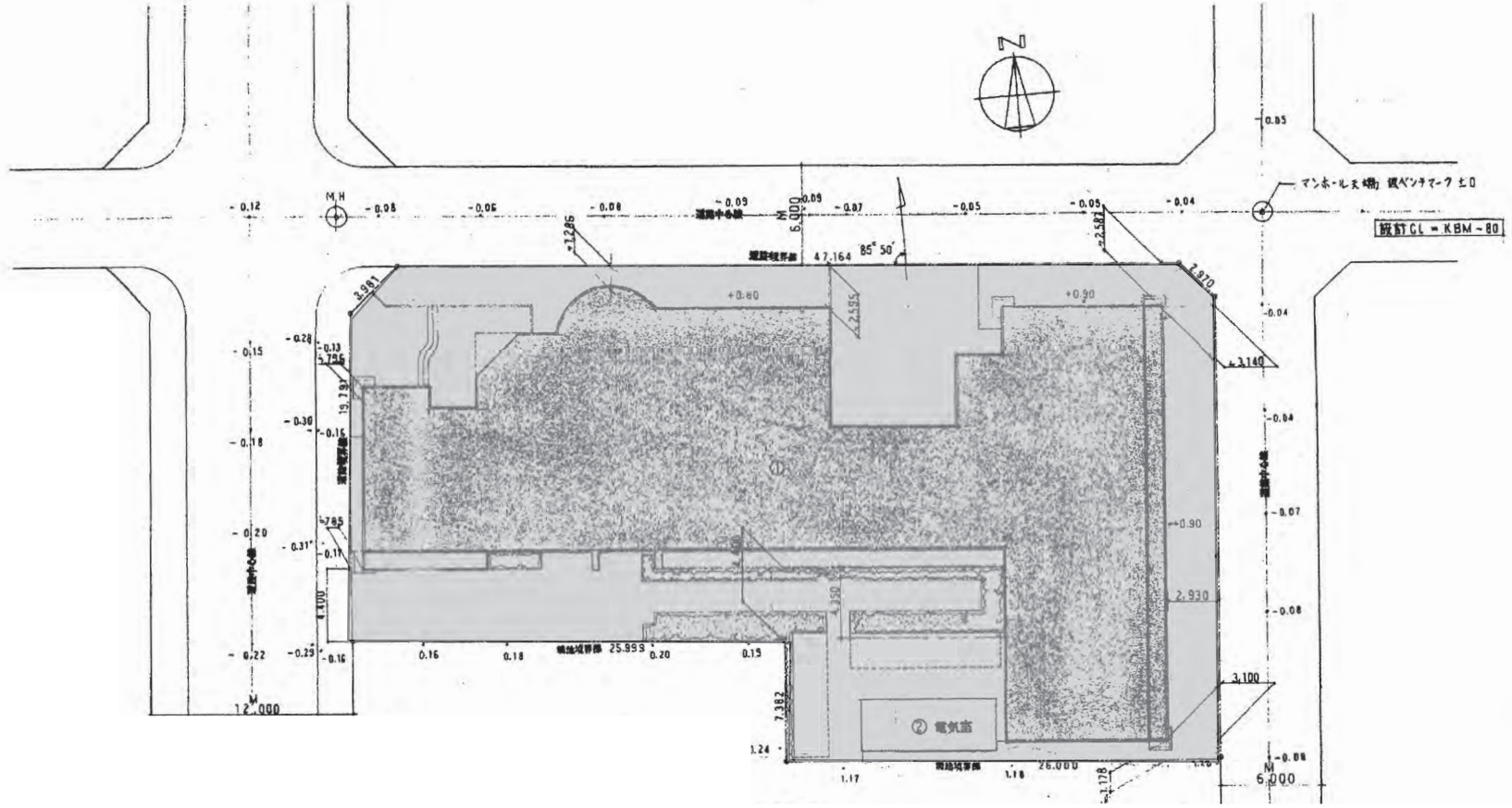
0m　10m　20m　30m　40m　50m

（この現況図は、１／２５０の縮少図である）

※当該届出に係る学科が使用する校舎は校舎平面図を参照

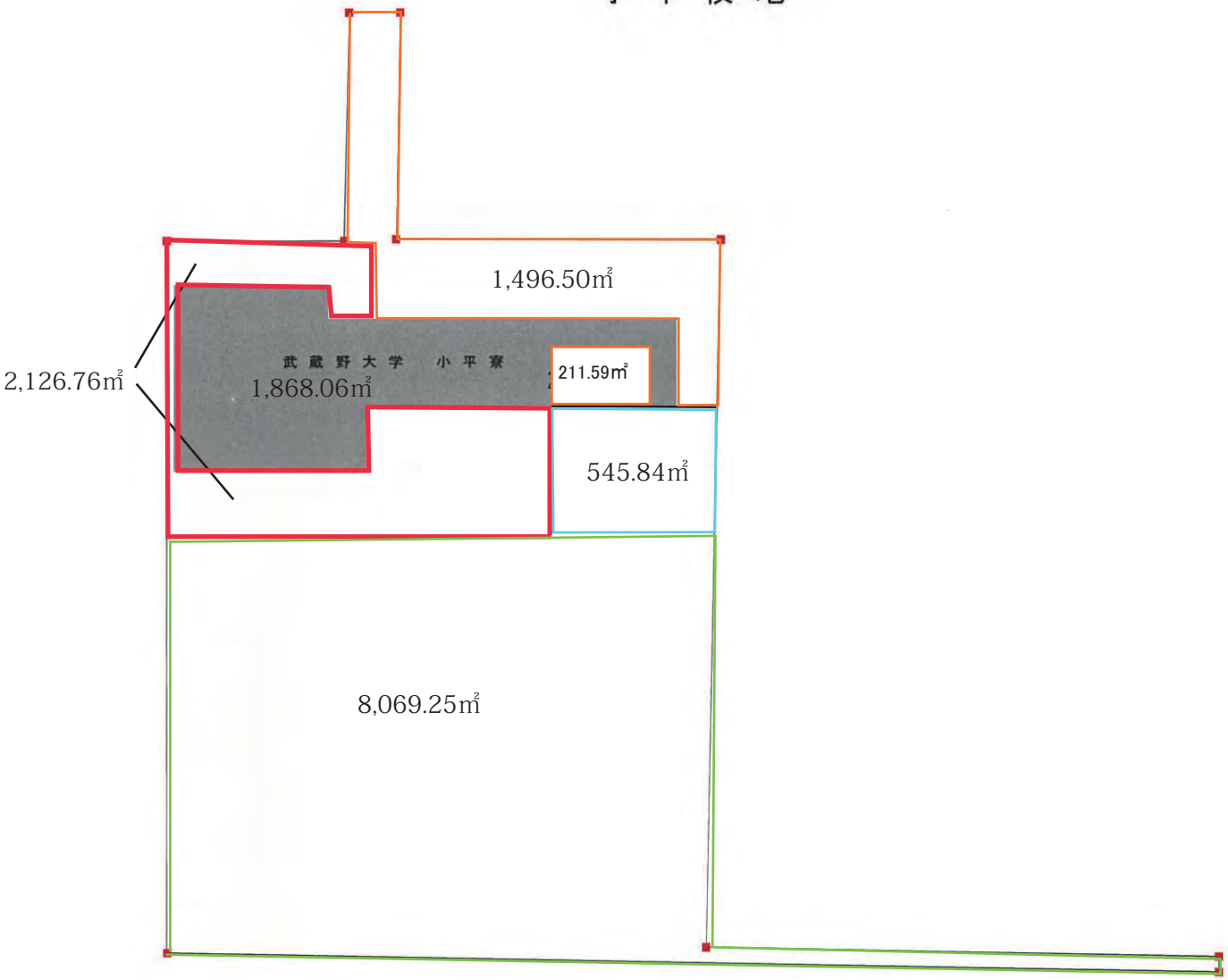
学校法人　武蔵野大学
葛西国際寮　敷地図

▭ ···· 基本計画書の「校地等」の「その他（専用）」：1360.85㎡



学校法人　武蔵野大学　　建物配置図

小　平　校　地

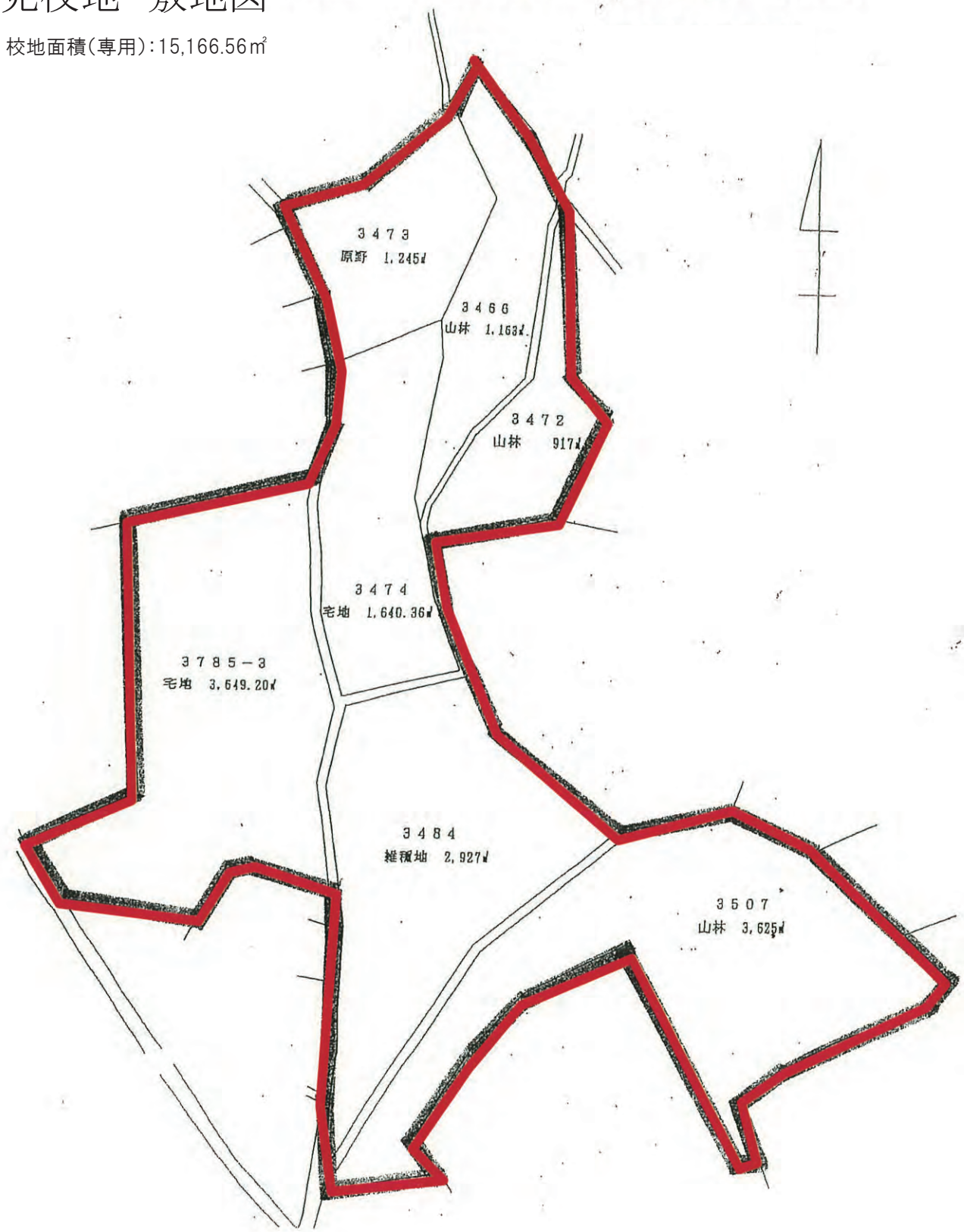


···· 運動場用地（専用）：2,126.76㎡
···· 運動場用地（共用する他の学校等の専用）：8,069.25㎡

···· 基本計画書の「校地等」の「その他（専用）」：1,868.06㎡
···· 基本計画書の「校地等」の「その他（共用）」：1,708.09㎡
···· 基本計画書の「校地等」の「その他（共用する他の学校等の専用）」：　545.84㎡

学校法人　武蔵野大学
富士見校地　敷地図

···· 校地面積(専用):15,166.56㎡



○武蔵野大学学則

（昭和４０年　１月２５日）

改正　昭和４２年　１月２８日　昭和４４年　４月　１日
昭和４５年　４月１０日　昭和４６年　４月　１日
昭和４７年　４月　１日　昭和４８年　４月　１日
昭和４９年　４月　１日　昭和５０年　４月　１日
昭和５１年　４月　１日　昭和５２年　４月　１日
昭和５３年　４月　１日　昭和５４年　４月　１日
昭和５５年　４月　１日　昭和５６年　４月　１日
昭和５７年　４月　１日　昭和５８年　４月　１日
昭和５９年　４月　１日　昭和６０年　４月　１日
昭和６１年　４月　１日　昭和６２年　４月　１日
昭和６３年　４月　１日　平成　元年　４月　１日
平成　２年　４月　１日　平成　３年　４月　１日
平成　３年　７月　１日　平成　３年１０月　１日
平成　４年　４月　１日　平成　５年　４月　１日
平成　６年　４月　１日　平成　７年　４月　１日
平成　８年　４月　１日　平成　９年　４月　１日
平成１０年　４月　１日　平成１１年　４月　１日
平成１２年　４月　１日　平成１３年　４月　１日
平成１４年　４月　１日　平成１５年　４月　１日
平成１６年　４月　１日　平成１７年　４月　１日
平成１８年　４月　１日　平成１９年　４月　１日
平成２０年　４月　１日　平成２１年　４月　１日
平成２２年　４月　１日　平成２３年　４月　１日
平成２４年　４月　１日　平成２５年　４月　１日
平成２６年　４月　１日　平成２７年　４月　１日
平成２８年　４月　１日　平成２９年　４月　１日
平成３０年　４月　１日　平成３１年　４月　１日
令和　２年　４月　１日　令和　３年　４月　１日

第１章　総則

（名称）

第１条　本学は、武蔵野大学（以下「本学」という。）と称する。

（目的）

第２条　本学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を育成するとともに、学問の研究を深め、世界の平和と人類の幸福に寄与することをもって目的とする。

２　各学部･学科の教育目的は次のとおりとする。

（１）　文学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、文学を学び、文化を理解し、社会で活躍できる表現・伝達能力を身につけた人材の育成を目的とする。

＜日本文学文化学科＞

日本文学及び日本文化を学ぶことを通じて豊かな感性を養い、読解力・表現力・創造力・批評力を身につけ、新しい文化を創造することのできる人材の育成を目的とする。

（２）　グローバル学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、複数の言語を駆使し、多様な学生や多文化との関わりの中で、広い視野をもってグローバルな視点から問題発見・課題解決ができる人材の育成を目的とする。

＜グローバルコミュニケーション学科＞

英語、中国語、日本語のうち、母語以外の２言語を駆使し、言語文化を中心とする知識を有し、グローバルな環境で活躍することのできる人材を育成する。

＜日本語コミュニケーション学科＞

日本語の高度なコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、国際社会に日本

語と日本文化を発信するなど、グローバルに活躍できる人材を育成する。

＜グローバルビジネス学科＞

英語を含む複数の言語を駆使し、ビジネス社会でグローバルに活躍できる人材を育成する。

（３）　法学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、法律学又は政治学の専門的な知識を養い、普遍的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

＜法律学科＞

幸福な生活の実現に役立つ実用的な法律知識と考え方を身につけることによって、共生の視点を持って持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

＜政治学科＞

自分を取り巻く社会環境を理解し、公共精神と共生の視点をもった市民としての能力・技能を身につけることによって、持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

（４）　経済学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、経済学の専門的な知識を養い、普遍的・科学的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

＜経済学科＞

国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現を目指して、経済学の方法と知見によって普遍的・科学的なものの見方・考え方を修得することで、問題発見・解決ができ、国内外の企業や官公庁など幅広い分野での活躍ができる人材を育成する。

（５）　経営学部

仏教精神を根幹として、世界の幸せの実現に向け高い倫理観と共生の視点を育成するとともに、経営学及び会計学における専門知識と技能を修得し、多様で複雑化するビジネス分野及び非営利・公共分野等において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

＜経営学科＞

変転著しい国際社会の中で、世界の幸せの実現に向け、高い倫理観と共生の視点を持ち、経営学を中心とした社会科学の知識と技能を修得し、組織人として、あるいは個人で、ビジネス分野を中心とした領域及びその他の様々な領域において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

＜会計ガバナンス学科＞

国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現を目指して、会計言語を駆使し、営利組織・非営利組織を問わず、組織を批判的見地で分析できる知識を養い、国内外の企業等のビジネス分野及び非営利・公共分野等で活躍できる有為な人材、中小企業の事業承継者や経営幹部、並びに公認会計士、税理士等の専門人材を育成する。

（６）　アントレプレナーシップ学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材の育成を目的とする。

＜アントレプレナーシップ学科＞

変革期を迎え、予測困難で多様性に富んだ現代社会の中で、高い倫理観と好奇心をもって、世界の幸せのために未知なるものに挑戦しようという志、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、多様な背景を持つ人を巻き込みながら、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

（７）　データサイエンス学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、データ、メディアコンテンツ及びそれらの分析・統合による「知の創造」を対象とする新しい学術を志向し、多くの応用の発展を実現できる人材を養成する。

＜データサイエンス学科＞

ビッグデータ、人工知能・機械学習等の新領域の経済的、技術的基礎と応用を学習し、データ、メディアコンテンツの分析・統合により、ビッグデータの戦略的活用と意思決定が行える人材を養成する。

（８）　人間科学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人間が直面する歴史的・社会的諸課題を、心理、生命、社会、福祉などの側面から科学的に理解し、実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

＜人間科学科＞

人間の心理、生命、社会行動を科学的方法論に基づいて研究し、人間が直面する諸課題を人間尊重の立場にたって実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

＜社会福祉学科＞

人と社会の共生を実現しようとする人格を育成するとともに、社会福祉又はこれに関連する実践的で専門的な知識と技術を持つ人材の育成を目的とする。

（９）　工学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、専門的な知識を養い、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画し、工学的手法により課題解決のできる人材を養成する。

＜環境システム学科＞

持続可能な社会構築に向けて、環境科学の専門能力、幅広い環境関連分野の知識を身につけ、システム的思考をもって主体的に社会参画し、一般社会を啓発できる人材を育成する。

＜数理工学科＞

自然現象や社会現象をモデル化して理解し、システム設計に応用することができる人材や、大規模データから問題の本質を見抜くデータサイエンティスト等、数理工学の専門能力を身につけ、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画する人材を育成する。

＜建築デザイン学科＞

建築の分野を中心に、持続可能な社会構築に向けてデザインできる専門的能力を活用して現代社会が直面する多様な課題を解決できる人材を育成する。

（１０）　教育学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、幅広い視野を持って教育及び教育支援に携わることのできる人材の育成を目的とする。

＜教育学科＞

児童生徒の成長・発達に関する知識を学習し、児童生徒を健やかに育むための技術と実践力を身につけ、教育とその支援活動を行える、高い人格と専門的な実践力・企画力をもった教育者の育成を目的とする。

＜幼児教育学科＞

人格教育に重きを置き、乳幼児期から児童期・青年期に至る発達全体を見通しながら、特に乳幼児期の子供の成長発達に関しての専門性の高い幼児教育者・保育者の育成を目的とする。

（１１）　薬学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、慈悲の心を持ち、多様な薬学関連分野で人々に貢献できる人材の育成を目的とする。

＜薬学科＞

６年一貫教育の趣旨を生かし、教養教育から基礎薬学教育、医療薬学教育へと系統的な教育を行うことで、医療人として高い倫理観と高度な専門知識を兼ね備えた

実践力のある薬剤師の育成を目的とする。

（１２）　看護学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人の「生老病死」と看護は密接に関係することを認識し、人々の健康及び福祉の向上に貢献できる人材の育成を目的とする。

＜看護学科＞

深い人間理解を基盤に、高い倫理観と看護の専門的な知識及び技術を有する看護職の育成を目的とする。

（学長）

第２条の２　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

２　教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについては、別に定める。

（自己点検・評価）

第３条　本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検し、評価を行う。

２　点検、評価に関しての事項・体制については、別に定める。

（認証評価）

第３条の２　本学は、学校教育法に則り、文部科学大臣の認証を受けた者（認証評価機関）による評価（認証評価）を受けるものとする。

２　認証評価に関しての事項・体制については、別に定める。

（学部・学科及び学生定員）

第４条　本学に次の学部、学科及び専修を置き、定員は次のとおりとする。人間科学科における精神保健福祉士の定員は（　　）内のとおり定める。

学部	学　科　・　専　攻	入学定員	編入学定員		収容定員
			２年次	３年次	
文学部	日本文学文化学科	２００名	５名	－	８１５名
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	１６５名	－	３名	６６６名
	日本語コミュニケーション学科	８０名	－	５名	３３０名
	グローバルビジネス学科	５５名	－	７名	２３４名
法学部	法律学科	１９０名	３名	－	７６９名
	政治学科	１００名	３名	－	４０９名
経済学部	経済学科	１７５名	３名	－	７０９名
経営学部	経営学科	２２０名	３名	－	８８９名
	会計ガバナンス学科	９０名	－	－	３６０名
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科	６０名	―	－	２４０名
データサイエンス学部	データサイエンス学科	９０名	－	－	３６０名
人間科学部	人間科学科	２１５名（２０名）	２名	－	８６６名（８０名）
	社会福祉学科	１４５名	４名	－	５９２名

工学部	環境システム学科		７０名	－	－	２８０名
	数理工学科		６０名	－	－	２４０名
	建築デザイン学科		７０名	－	－	２８０名
教育学部	教育学科	初等コース	１２０名	－	－	４８０名
		国語コース			－	
		英語コース			－	
		理科コース			－	
	幼児教育学科		１００名	－	－	４００名
薬学部	薬学科		１４５名	－	－	８７０名
看護学部	看護学科		１２５名	－	－	５００名

（大学院）

第４条の２　本学に大学院を置く。

２　大学院に関する事項は、武蔵野大学大学院学則に定める。

（通信教育課程）

第４条の３　本学に通信教育部を置く。

２　通信教育部に関する事項は、武蔵野大学通信教育部学則及び武蔵野大学大学院通信教育部学則に定める。

（別科）

第４条の４　本学に別科（日本語教育課程）及び別科（介護福祉士養成課程）を置く。

２　別科に関する規程は、別に定める。

（専攻科）

第４条の５　本学に専攻科（言語聴覚士養成課程）を置く。

２　専攻科に関する規程は、別に定める。

第５条　（削除）

（修業年限及び在学期間）

第６条　各学科の修業年限は４年とし、在学期間は８年を超えることができない。ただし、薬学部薬学科においては、修業年限は６年とし、在学期間は１２年を超えることができない。

第２章　学年、学期及び休業日

（学年）

第７条　学年は、４月１日に始まり翌年３月３１日に終る。

（学期）

第８条　学年を次の２学期又は４学期に分ける。

前後期制

学　期	期　間
前期	４月１日から９月３０日まで
後期	１０月１日から翌年３月３１日まで

４学期制

学　期	期　間
１学期	４月１日から９月３０日までの間で

２学期	別に定める。
３学期	１０月１日から翌年３月３１日までの間で別に定める。
４学期	

２　年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、３５週にわたることを原則とする。

（休業日）

第９条　休業日は、次のとおりとする。

（１）　日曜日

（２）　国民の祝日に関する法律に定めた日

（３）　本学創立記念日（５月２１日）

（４）　夏季休業、冬季休業、春季休業に関しては別に定める。

（５）　その他学長が必要と認めたときは、臨時に休業し、又は休業日に授業を行うことがある。

第３章　授業科目及び単位算定基準

（授業科目）

第１０条　本学には、次の授業科目を置く。

共通科目・学科科目

２　（削除）

３　前各項により開講する授業科目の種類及び単位数は、別表（１）及び教育学部教育学科履修内規のとおりとする。

（資格課程の授業科目）

第１１条　前条に定めるほか、教職、司書、司書教諭、日本語教員養成、建築士、保育士、社会福祉士及び精神保健福祉士に関する授業科目を置く。

２　前項により開講する授業科目の種類及び単位数は、別表（２）～（４）、（６）及び（８）（９）（１０）（１１）のとおりとする。

（単位）

第１２条　各授業科目の単位数は、４５時間の学修を必要とする内容をもって１単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

（１）　講義及び演習については、１５時間から３０時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。

（２）　実験、実習及び実技については、３０時間から４５時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって１単位とする。

（３）　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することができる。

２　学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が履修すべき単位数について、１年間に履修科目として登録できる単位数の上限を定める。

３　前項に定める単位数の上限は、別表（１）－３に定める。

４　所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

（メディアを利用して行う授業）

第１２条の２　本学において教育上有益と認めるときは、前条の授業を、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修させることができる。

２　前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち６０単位を超えないものとする。

３　メディアを利用して行う授業科目及び授業方法については別に定める。

第４章　試験及び単位の認定

（単位の認定）

第１３条　１つの授業科目を履修した者に対しては、試験の上単位を与える。

２　各授業科目について授業時数の３分の１以上欠席した者は、その授業科目の単位の認定を受けることができない。

（追、再試験）

第１３条の２　病気その他やむを得ない事情により定期試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことがある。

２　不合格の科目については、再試験を行うことがある。

３　追試験及び再試験の実施については別に定める。

（成績評価）

第１４条　試験の成績評価は、次のとおりとする。

Ｓ（１００点～９０点)、Ａ(８９点～８０点)、Ｂ（７９点～７０点)、
Ｃ（６９点～６０点)、Ｄ（５９点～０点)。
Ｃ以上を合格とし、Ｄは不合格とする。

第１５条　（削除）

第１６条　（削除）

第１７条　（削除）

第１８条　（削除）

（他大学等における学修）

第１９条　本学において教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

２　前項の規定により履修した授業科目については、合計６０単位を超えない範囲で卒業要件の単位として認めることができる。

３　前２項は、国内外の大学等へ留学した場合にも適用する。

（大学以外の教育施設における学修）

第１９条の２　本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。

２　前項により認めることができる単位数は、前条により本学において修得したものと認める単位数と合わせて６０単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位の認定）

第２０条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したとみなし単位を認めることができる。

２　前項により修得したものとみなして認めることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第１９条及び前条による単位数と合わせて６０単位を超えないものとする。

３　前２項の単位認定の取り扱いについては、別に定める。

第２１条　（削除）

第５章　卒業・学位授与及び資格の取得

（卒業の要件）

第２２条　卒業の要件は、文学部並びにグローバル学部、法学部、経済学部、経営学部、アントレプレナーシップ学部、データサイエンス学部、人間科学部、工学部、教育学部、看護学部は合計１２４単位以上、薬学部は合計２０５単位以上を修得していることとする。

（１）　文学部日本文学文化学科

日本文学文化学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修４６単位を含めて７６単位。自由選択単位は、３２単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（２）　グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科

グローバルコミュニケーション学科の共通科目は、必修１２単位。学科科目は、必修２４単位及び選択必修単位を含めて７５単位。自由選択単位は、３７単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

日本語コミュニケーション学科の共通科目は、必修１２単位。学科科目は、必修２３単位及び選択必修単位を含めて７９単位。自由選択単位は、３３単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

グローバルビジネス学科の共通科目は、必修１１単位。学科科目は、必修２８単位及び選択必修単位を含めて９２単位。自由選択単位は、２１単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（３）　法学部法律学科、政治学科

法律学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修３０単位を含めて８２単位。自由選択単位は、２６単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

政治学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修３０単位を含めて８３単位。自由選択単位は、２５単位以上。ただし、卒業論文を履修しない者は、うち６単位は隣接科目群を除く学科科目とする。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

（４）　経済学部経済学科

経済学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、８４単位。自由選択単位は、２４単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

（５）　経営学部経営学科、会計ガバナンス学科

経営学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修２２単位を含めて７８単位。自由選択科目は、３０単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

会計ガバナンス学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修２０単位を含めて７８単位。自由選択単位は、３０単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

（６）　アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

アントレプレナーシップ学科の共通科目は、必修１６単位を含めて１９単位。学科科目は、必修６６単位を含めて９７単位。自由選択単位は、８単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（７）　データサイエンス学部データサイエンス学科

データサイエンス学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は必修５４単位を含めて８７単位。自由選択単位は２１単位以上。自由選択単位は、共通科

目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。多様なメディアを利用して行うデータサイエンス社会実践学修は（短期）１単位、（中期）２単位、（長期）３単位、（海外）４単位とし、データサイエンス学部学科科目の選択科目として履修することができる。

（８）　人間科学部人間科学科、社会福祉学科

人間科学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修３８単位を含めて８６単位。自由選択単位は、２２単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

社会福祉学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は必修６４単位を含めて８８単位。自由選択単位は、２０単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（９）　工学部 環境システム学科、数理工学科、建築デザイン学科

環境システム学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修３２単位を含めて７２単位。自由選択単位は３６単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位、学校教育法施行規則第１４３条の２に定める教育関係共同利用拠点として認定された他大学の公開授業をあてることができる。

数理工学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修４０単位を含めて７８単位。自由選択単位は、３０単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

建築デザイン学科の共通科目は、必修１６単位。学科科目は、必修４６単位を含めて７８単位。自由選択単位は、３０単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（１０）　教育学部教育学科、幼児教育学科

教育学科の共通科目は、必修１５単位。ただし、理科コースの共通科目は、必修１５単位を含めて１７単位。学科科目は、初等コースが必修５４単位を含めて７８単位、国語コースが必修７０単位を含めて８４単位、英語コースが必修５８単位を含めて７７単位、理科コースが必修６８単位を含めて９２単位。自由選択単位は、初等コースが３１単位以上、国語コースが２５単位以上、英語コースが３２単位以上、理科コースが１５単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

幼児教育学科の共通科目は、必修１５単位。学科科目は、必修６１単位を含めて８４単位。自由選択単位は、２５単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、５大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（１１）　薬学部薬学科

薬学科の共通科目は、必修１４単位、学科科目は、必修１８５単位。自由選択単位は６単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

（１２）　看護学部看護学科

看護学科の共通科目は、必修１５単位、学科科目は、必修９５単位。自由選択単位は１４単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目、他学部・他学科履修許可科目、通信教育部人間科学部の認定心理士科目の単位をあてることができる。

２　（削除）

3　（削除）
4　（削除）
5　第１項の規定にかかわらず、成果に基づき単位認定する科目の単位を卒業要件に含むことができる。これについては別に定める。

（学位）

第２２条の２　本学に４年以上（薬学部薬学科は６年以上）在学し（ただし、全ての学年で１年以上在籍すること）、前条第１項各号に定める単位を修得した者には、学長が教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定し、次の学位を授与する。

文学部	日本文学文化学科	学士（文学）
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	学士（グローバルコミュニケーション）
グローバル学部	日本語コミュニケーション学科	学士（日本語コミュニケーション）
グローバル学部	グローバルビジネス学科	学士（グローバルビジネス）
法学部	法律学科	学士（法律学）
法学部	政治学科	学士（政治学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
経営学部	会計ガバナンス学科	学士（会計学）
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科	学士（ビジネス）
データサイエンス学部	データサイエンス学科	学士（データサイエンス学）
人間科学部	人間科学科	学士（人間学）
人間科学部	社会福祉学科	学士（社会福祉学）
工学部	環境システム学科	学士（環境システム学）
工学部	数理工学科	学士（工学）
工学部	建築デザイン学科	学士（工学）
教育学部	教育学科	学士（教育学）
教育学部	幼児教育学科	学士（幼児教育学）
薬学部	薬学科	学士（薬学）
看護学部	看護学科	学士（看護学）

2　前項の定めにかかわらず、３年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認める場合（薬学部薬学科を除く）には、前項を準用し、卒業させることができる。

（教員免許状の取得）

第２２条の３　教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に基づく本学所定の別表（２）の単位を修得しなければならない。ただし、教育学科及び幼児教育学科において教員免許状取得に要する単位の修得については、別表（１）の中に定める。

2　取得できる教員免許状の種類は、次のとおりとする。

文学部	日本文学文化学科	高等学校教諭１種免許状（国語・書道）
		中学校教諭１種免許状（国語）
工学部	環境システム学科	高等学校教諭１種免許状（理科）
		中学校教諭１種免許状（理科）
	数理工学科	高等学校教諭１種免許状（数学）
		中学校教諭１種免許状（数学）
教育学部	教育学科	高等学校教諭１種免許状（国語・書道）
		高等学校教諭１種免許状（英語）
		高等学校教諭１種免許状（理科）
		中学校教諭１種免許状（国語）

		中学校教諭１種免許状（英語）
		中学校教諭１種免許状（理科）
		小学校教諭１種免許状
	幼児教育学科	幼稚園教諭１種免許状
看護学部	看護学科	養護教諭１種免許状

（司書資格）

第２２条の４　司書の資格を得ようとする者は、図書館法施行規則に基づく本学所定の別表（３）の単位を修得しなければならない。

（司書教諭資格）

第２２条の５　司書教諭の資格を得ようとする者は、学校図書館司書教諭講習規程に基づく本学所定の別表（４）の単位を修得しなければならない。

（社会教育主事課程）

第２２条の６　（削除）

（日本語教員養成課程）

第２２条の７　日本語教員養成のための、課程の修了の認定を受けようとする者は、本学所定の別表（６）の単位を修得しなければならない。

（一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士）

第２２条の８　一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士の受験資格を得ようとする者は、建築士法に基づく本学所定の別表（８）建築デザイン学科の単位を修得しなければならない。

（保育士）

第２２条の９　保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行規則に基づく本学所定の別表（９）の単位を修得し、幼児教育学科を卒業しなければならない。ただし、幼児教育学科卒業までの間に別表（９）の単位を修得できなかった者は、幼児教育学科卒業後、科目等履修生として単位を修得すれば、保育士資格を取得することができる。

（社会福祉士）

第２２条の１０　社会福祉士の受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法に基づく本学所定の別表（１０）の単位を修得しなければならない。

（精神保健福祉士）

第２２条の１１　精神保健福祉士の受験資格を得ようとする者は、精神保健福祉士法に基づく本学所定の別表（１１）の単位を修得しなければならない。

第６章　入学、転入学、編入学、復学、再入学・復籍、休学、転部・転科・転専攻、留学、転学・退学及び除籍

（入学の時期）

第２３条　入学は原則として毎年１回、時期は学年の始めとする。ただし、必要とされる場合には、年に２回とし、時期は別に定める。

（入学資格）

第２４条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

（１）　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

（２）　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）

（３）　外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

（４）　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

（５）　文部科学大臣の指定した者

（６）　文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

（７）　本大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達した者

（出願）

第２５条　入学志願者は、本学所定の入学願書その他の書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに提出しなければならない。

（選考）

第２６条　入学志願者に対して選考を行う。選考の方法等については、別に定める。

（手続き）

第２７条　合格した者は、本学所定の書類に学費を添えて指定の期日までに入学の手続きをしなければならない。

２　正当な理由なく前項の手続きをしない者は、合格を取り消すことがある。

（許可）

第２８条　合格した者のうちから、前条の手続きを行った者について学長が教授会の意見を聴き、入学を許可する。

２　（削除）

（保証人・緊急対応者）

第２９条　保証人は、父母又はこれにかわる者とし、他に１名緊急時に対応できる者（以下「緊急対応者」という。）を必要とする。

２　保証人は、その学生の在学中に生じた事項について責任を負うものとする。

３　緊急対応者は、原則として東京都及びその近県に在住する者とし、緊急時に対応できる者とする。

（氏名・住所等の変更）

第３０条　学生、保証人、緊急対応者の氏名、住所等連絡先が変更になったときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

（保証人・緊急連絡先の変更）

第３１条　保証人、緊急対応者が変更になったときは、速やかに新たな保証人、緊急対応者を届け出なければならない。

（転入学）

第３１条の２　本学への転入学又は編入学を希望する者については、選考の上、学長が教授会の意見を聴き、これを許可することがある。

２　転入学に関する規程は、別に定める。

（編入学）

第３１条の３　編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

（１）　短期大学を卒業した者

（２）　大学の課程１年（３１単位以上）若しくは２年（６２単位以上）を修了した者

（３）　学士の学位を有する者

（４）　大学入学有資格者で、文部科学大臣の定めた基準（修業年限２年以上の課程修了に必要な総時間数 1700 時間以上）を満たす専修学校の専門課程を修了した者

（５）　旧専門学校（３年制）を卒業した者

（６）　高等専門学校（５年制）を卒業した者

（７）　国立大学養護教諭養成所（３年制課程）国立工業教員養成所を卒業した者

（８）　短期大学の課程１年（３１単位以上）を修了した者

（９）　３年以上の社会経験を有する者

（１０）　本学別科(日本語教育課程)において、科目等履修生として、所定の３５単位を修得し、かつ一定の成績を修めた者

（１１）　高等学校専攻科（修業年限２年以上で、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす）を修了した者

２　編入学に関する規程は別に定める。

（復学）

第３１条の４　休学期間が満了した場合は、復学となる。ただし、病気によって休学の許可を受けた者は、医師の診断書を添えて所定の「復学願」を提出しなければならない。
２　復学の時期は、原則として学年始めとする。ただし、修業にさしつかえない場合は、他の時期でも許可することがある。
３　休学期間中に休学の事由がやみ、復学しようとする者は所定の「復学願」を提出しなければならない。
（再入学・復籍）
第３１条の５　退学又は除籍した者が３年以内に保証人連署にて再入学又は復籍を願い出たときは、選考の上、学長が教授会の意見を聴き、これを許可することがある。この場合において退学又は除籍以前の在学期間及び修得単位は所定の在学年限及び卒業所要単位に算入する。
２　再入学及び復籍の時期は、原則として学年始めとする。ただし、修業にさしつかえない場合は、他の時期でも許可することがある。
３　再入学及び復籍に関する規程は別に定める。
（休学）
第３２条　病気又はやむを得ない理由により２カ月以上修学できない者は、医師の診断書又は詳細な理由を記載した保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。
２　学長は病気等のため、修学が困難と認められる場合休学を命ずることができる。
（休学期間）
第３３条　休学期間は、原則として当該年度内とする。ただし、やむを得ない場合には、その期間を６カ月ごとに延長することができる。
２　休学の期間は、通算して３年を超えることができない。
３　休学期間は、在学年限に算入しない。
（転部・転科・転専攻）
第３３条の２　本学の学生が、大学の学部間への転部・転科・転専攻を願い出た場合において、それが教育上有益と認められるときは、学長がこれを許可することがある。
２　転部・転科・転専攻に関する規程は別に定める。
（留学）
第３３条の３　本学の学生が、国内外の大学、又はこれに相当する高等教育機関への留学を願い出た場合において、それが教育上有益と認められるときは、学長がこれを許可することがある。
２　留学に関する規程は、別に定める。
第３４条　（削除）
（退学・転学）
第３５条　退学又は転学を希望する者は、保証人連署の上、その理由を記載した願いを提出して学長の許可を受けなければならない。
第３６条　（削除）
第３７条　（削除）
（除籍）
第３８条　次の各号の一に該当する者は、除籍する。
（１）　在学期間が所定の年数を超えた者
（２）　第３３条第２項に定める年数を超えた者
（３）　授業料その他学費を滞納し催告してもなお納付しない者
（４）　薬学部及び看護学部においては、卒業年次を除く同一学年に２年在籍し、なお進級できない者。ただし、休学期間を除く。
（５）　死亡の届け出があった者
（６）　外国人留学生で、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を喪失した者
第３９条　（削除）
第４０条　（削除）

第７章　学費

（納入方法及び時期）

第４１条　本学の学費は、別表（７）のとおりとする。

特別な事由のある場合は、別に定めるところにより学費の減免を行うことができる。

学費の納入時期及び納入期限、延納については、別に定める。

第４２条　（削除）

（納入金の返還）

第４３条　既納の学費は、原則として返還しない。ただし、入学手続完了後、定められた期日までに入学辞退を申し出た者に対しては、入学金以外の納入金を返還することがある。

（休学中の学費）

第４４条　休学中の学費については、別に定める。

（留学中の学費）

第４５条　第３３条の３における留学中の学費は別に定める。

（学期途中の退学・転学の学費）

第４６条　学期の途中において退学又は転学をしようとする者は、その期の学費を納入しなければならない。

第４７条　（削除）

（転入学・編入学・再入学の学費）

第４８条　転入学、編入学又は再入学の場合の学費については別に定める。

第８章　教職員組織

（教職員組織）

第４９条　本学に次の教職員を置く。

（１）　学長
（２）　副学長
（３）　教授
（４）　准教授
（５）　講師
（６）　助教
（７）　助手
（８）　事務職員
（９）　技術職員
（１０）　労務職員

（名誉教授）

第４９条の２　本学に名誉教授の称号を設ける。

２　名誉教授に関する規程は別に定める。

（職務）

第５０条　教職員の職務は、学校教育法及び本学で定める規程による。

第９章　教授会及び委員会

（教授会の設置及び構成）

第５１条　学部に教授会を置く。教授会は学部長、学科長及び教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認めたときは構成員以外の教職員の出席をもとめることができる。

（招集及び議長）

第５２条　教授会は、原則としてあらかじめ議案を通知して学部長がこれを招集し、その議長　となる。学部長に事故があるときはあらかじめ学部長の指名した者が代行する。

（審議事項）

第５３条　教授会は、次に掲げる事項を審議する。

（１）　学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
（２）　学位の授与に関する事項
（３）　前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
（４）　教育及び研究にかかわる規則及び組織に関する事項
（５）　教育課程及び履修方法に関する事項
（６）　学生の試験に関する事項
（７）　学生の休学、転学、退学に関する事項
（８）　学生の賞罰に関する事項
（９）　学生の厚生補導に関する事項
（１０）　その他教育及び研究に関する重要事項
（１１）　上記各号に関する諸規程の制定・改廃に関する事項
（１２）　学部運営上学部長が必要と認めた事項
２　前項第１号から第３号については、学長に意見を述べることとし、第４号以降については、学長の求めに応じ学長に意見を述べることができる。
３　教授会運営内規は別に定める。
（委員会）
第５４条　本学又は学部に教育、厚生補導、図書施設等に関して委員会を設けることができる。
２　委員会に関する規程は別に定める。

第１０章　付属施設

（付属施設）
第５５条　本学に付属の図書館を置く。
２　本学には、前項に定めるほか、付属の研究所、センター、その他必要な教育研究施設を置くことができる。
３　付属施設に関する規則は、別に定める。

第１１章　厚生、保健施設

（厚生・保健施設）
第５６条　本学の教職員、学生の保健医療及び厚生のため、医務室、休養室その他を設ける。

第１２章　学生寮

（学生寮）
第５７条　本学に学生寮を設ける。
２　学生寮に関する規程は別に定める。

第１３章　賞罰

（表彰）
第５８条　次の各号の一に該当する者に対し、学長は、これを賞することができる。
（１）　成績特に優秀なる者
（２）　品行方正にして他学生の模範となる者
２　前項以外にも、学長が特別に優秀と認めた者については、これを賞することができる。
（懲戒）
第５９条　本学の学則に背き又は本学の秩序を乱し、学生としての本分に反した行為のあるときは、学長はこれを懲戒する。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。
２　前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。
（１）　性行不良で改善の見込みがないと認められた者
（２）　学業を怠り成績不良で成業の見込みがないと認められた者

（３）　正当な理由なくして出席が常でない者
（４）　著しく学生の本分に反し、本学の秩序を乱した者
３　第１項の懲戒が正式に決定するまでの期間、学長は当該学生に対し、自宅謹慎を命じることができる。なお、停学の懲戒を受けた場合、自宅謹慎期間を停学期間に含めることができる。
４　懲戒に関しては、別に定める。
第６０条　（削除）

第１４章　公開講座、研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

（公開講座）
第６１条　本学は、社会人の教養と文化の向上に資するため、公開講座を開催することができる。
（研究生）
第６２条　本学において特定の専門事項に関する研究に従事することを願い出た者には、選考の上、研究生として受入れを許可することがある。
２　研究生に関する規程は、別に定める。
３　研究生の研究料は別に定める。
（科目等履修生）
第６３条　授業科目の履修を願い出た者には、本学の教育に支障のない限りにおいて科目等履修生として受入れを許可することがある。
２　科目等履修生が履修した授業科目については、第１３条及び第１４条の規定により所定の単位を与えることができる。
３　科目等履修生に関する規程は、別に定める。
４　科目等履修生の履修料は別に定める。
（特別聴講学生）
第６４条　他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目の履修を願い出た者には、当該他大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として受入れを許可することがある。
２　特別聴講学生に関する規程は、別に定める。
３　特別聴講学生の受講料は別に定める。
（外国人留学生）
第６５条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。
２　外国人留学生に関する規程は、別に定める。
（学則の準用）
第６６条　研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生には、別に規定するほか、本学則を準用する。ただし、研究生、科目等履修生及び特別聴講学生については、第６条、第２２条の２条第１項及び第２項を準用しない。
２　（削除）
３　（削除）

第１５章　育英奨学制度

（育英資金等）
第６７条　学業人格とも優秀で経済力に乏しい学生については選考の上、授業料免除及び本派本願寺育英資金制度その他の方法を講ずることがある。

附　則
昭和４０年１月２５日
昭和４２年１月２８日改正
昭和４４年４月　１日改正

昭和４５年４月１０日改正
昭和４６年４月１日改正。ただし、昭和４６年３月３１日以前から在学している者には、第１１条及び第３７条については、なお従前の例による。
昭和４７年４月１日改正。ただし、昭和４７年３月３１日以前から在学している者には、第３７条については、なお従前の例による。
昭和４８年４月１日改正。ただし、昭和４８年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。
昭和４９年４月１日改正。ただし、昭和４９年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。また、入学考査料については入学志願時から適用する。
昭和５０年４月１日改正。ただし、昭和５０年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。
昭和５１年４月１日改正。ただし、昭和５１年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。
昭和５２年４月１日改正。ただし、昭和５２年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。
昭和５３年４月１日改正。ただし、昭和５３年３月３１日以前から在学している者には、第３７条並びに第３８条については、なお従前の例による。
昭和５４年４月１日改正。ただし、昭和５４年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。
昭和５５年４月１日改正。ただし、昭和５５年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。
昭和５６年４月１日改正。ただし、昭和５６年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。
昭和５７年４月１日改正。ただし、昭和５７年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。
昭和５８年４月１日改正。ただし、昭和５８年３月３１日以前から在学している者には、第３６条並びに第３７条については、なお従前の例による。

附　則（第９条第２項、第１８条、第１９条、第３１条第２項追加、第５１条改正、第９条第３項、第３１条一部改正）

この学則は、昭和５９年４月１日から施行する。

昭和５９年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、なお従前の例による。

附　則（第３８条別表５一部改正）

この学則は、昭和６０年４月１日から施行する。

昭和６０年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、なお従前の例による。

附　則（第９条第３項別表(1)、別表(2)、第３８条別表(5)一部改正）

この学則は、昭和６１年４月１日から施行する。

昭和６１年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、なお従前の例による。

附　則（第９条第３項別表(1)、第３８条別表(5)一部改正）

この学則は、昭和６２年４月１日から施行する。

昭和６２年３月３１日以前から在学している者には、第３８条並びに第３９条については、なお従前の例による。

附　則（第１８条、第５９条、第６３条第３項追加、第６３条第３項一部追加、第９条第３項別表(1)、別表(2)、第２１条第１項第２号、第４号、第３９条別表(5)第６３条第１項一部改正）

この学則は、昭和６３年４月１日から施行する。

昭和６３年３月３１日以前から在学している者には、第３９条並びに第４０条につ

いては、なお従前の例による。

附　則（第８条、第９条第２項、第９条第３項別表(1) 及び別表(1)-2 、第１３条、第２０条、第３９条別表 (5)一部改正）

この学則は、平成元年４月１日から施行する。

平成元年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

第３９条並びに第４０条別表 (5)のうち、平成元年３月３１日までに入学を許可された者に係る入学金については、なお従前の例による。

附　則（第２１条の２第２項一部改正）

この学則は、平成２年４月１日から施行する。ただし、平成２年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

附　則（第９条第３項別表(1) 、第３９条別表(5) 一部改正）

この学則は、平成３年４月１日から施行する。ただし、平成３年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

附　則（第２１条第３項一部改正）

この学則は、平成３年７月１日から施行する。ただし、平成３年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項、第３９条並びに第４０条については、なお従前の例による。

附　則（第３９条・第４０条別表(5) 一部改正）

この学則は、平成３年１０月１日から施行する。ただし、平成３年９月３０日までに納付する入学金、施設設備資金については、なお従前の例による。また、平成３年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第２１条の２第２項についてはなお従前の例による。

附　則（第４条、第３９条・第４０条別表(5) 一部改正、第４１条）

この学則は、平成４年４月１日から施行する。

第４条の規定にかかわらず平成４年度から平成１１年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入　学　定　員
文　学　部	日　本　文　学　科	２００名
	英　米　文　学　科	２００名

平成４年３月３１日以前から在学している者には、第１３条、第３９条、第４０条第４１条については、なお従前の例による。

附　則（第３条追加、第５条、第８条第２項、第２４条、第４０条・第４１条別表(5)、第５９条、第６０条、第６１条、第６２条、第６３条、第６４条一部改正、第３９条・第４０条別表(5) 一部改正、第４１条）

この学則は、平成５年４月１日から施行する。平成５年３月３１日以前から在学している者には、第４０条、第４１条については、なお従前の例による。

附　則（第４０条・第４１条別表(5) 改正）

この学則は、平成６年４月１日から施行する。平成６年３月３１日以前から在学している者には、第４０条、第４１条については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第５条、第１０条第３項別表(1)及び別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4) 、第１９条第３項追加、第２０条、第２１条、第２２条、第４０条・第４１条別表(5) 改正）

この学則は、平成７年４月１日から施行する。

第５条の規定にかかわらず平成７年度から平成１１年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学　　部	学　　科	入　学　定　員

文　学　部	日　本　文　学　科	１５０名
	英　米　文　学　科	１５０名

また、平成７年３月３１日以前から在学している者には、第１０条第３項別表(1) 及び別表(1)-2 、第１１条第２項別表(2)(3)(4) 、第２０条、第２１条、第２２条については、なお従前の例による。

附　則（第１０条・第２２条の２別表(2) 一部追加、並びに第２項一部追加及び第２２条の５追加）

この学則は、平成８年４月１日から施行する。ただし、平成８年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条、第２２条の２別表(2)、第２２条の３別表(3) 、第２２条の４別表(4) 、第２２条の５別表(5) 、第４１・第４２条別表(7) 、第５１条、第５２条、第５４条一部改正、第２２条の６及び別表(6)追加）

この学則は平成９年４月１日から施行する。ただし、平成９年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則（第４条一部追加、第５条削除、第１０条第１項、第１０条第３項別表(1) 及び別表(1)-2 一部追加、第１２条改正、第２０条第２項、第２１条、第２２条第１及び３項、第２２条の２第２項、第４１条別表(7)、第５１条一部追加）

この学則は、平成１０年４月１日から施行する。ただし、平成１０年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第１項及び第３項別表(1)-2 備考、第２０条第２項、第２１条、第２２条第１項及び第３項、第２２条の２別表(2)及び第２項、第２２条の４別表(4)、第２２条の６別表(6)、第４１条別表(7)、第５１条一部改正）

この学則は、平成１１年４月１日から施行する。ただし、平成１１年３月３１日以前から在学している者には、第４１条、第４２条については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第１項及び第３項別表(1)、第２０条第２項、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２第２項一部改正）

この学則は、平成１２年４月１日から施行する。ただし、平成１２年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条、第４２条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　第４条の規定にかかわらず、平成１５年度までの入学定員は次のとおりとする。

年度等 / 学科	平成１２年度	平成１３年度	平成１４年度	平成１５年度
	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員
日本語・日本文学科	２５５名	２３５名	２１５名	１９５名
英語・英米文学科	２６０名	２４５名	２３０名	２１５名

３　第２０条第２項については平成１２年度入学生から適用する。平成１２年３月３１日以前から在学している者については、なお従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表（1)、第１１条第２項別表（2)、第２２条第４項、第２２条の２第２項一部改正）

この学則は、平成１３年４月１日から施行する。ただし、平成１３年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条、第４２条の規定にかかわらず、なお従前の例による。第２２条第３項については、平成１３年度入学生から適用し、平成１３年３月３１日以前から在学している者については、なお従前の例による。

附　則（第３章 授業科目及び履修方法並びに単位算定基準、第１０条第３項別表(1)、第７章 学費 、第４１条別表(7)一部改正及び各条文を整理し、簡潔な「項目」の追加 ）

この学則は、平成１４年４月１日から施行する。ただし、平成１４年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第１章第１条、第２条、第４条、第４条の２、第４条の３、第３章第１０条第３項別表(1)、第１１条、第１１条第２項、第５章第２２条、第２２条第(1)(2)(3)号、第２２条の２、第２２条の３、第２２条の３第２項一部改正、第２２条の８、第２２条の９追加　改正）

１　この学則は、平成１５年４月１日から施行する。ただし、平成１５年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　武蔵野女子大学は、平成１５年３月３１日現在、同大学（通信教育部を除く）に在学する者が、在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

３　前項の期間、武蔵野大学の学長、その他の教職員は武蔵野女子大学の学長その他の教職員を兼ねるものとする。

４　第４条の規定にかかわらず、平成１６年度までの入学定員は次のとおりとする。

学 科・専 攻		平成１５年度	平成１６年度
環境学科	環境アメニティ専攻	６０名	６０名
	住環境専攻	６０名	６０名

附　則（第１章第４条、第３章第１０条第３項別表(1)、第５章第２２条、第２２条第(4)号、第２２条の２、第７章第４１条別表(7)一部追加、第６章第２４条一部改正）

この学則は、平成１６年４月１日から施行する。ただし、平成１６年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による

附　則（第１章第４条、第３章第１０条第３項別表(1)、別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)～(6)及び(8)(9)、第１２条第２・３項別表(1)-3、別表(7)備考、第４章第２１条別表(1)-2 備考、第５章２２条、２２条第(1)(2)(3)(4)号、第２２条の２、第７章第４１条別表(7)、第９章第５３条一部追加及び改正）

この学則は、平成１６年４月１日から施行する。ただし、平成１６年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第１章第４条、第５章第２２条第(1)・(2)・(3)・(4)号、第６章第２４条一部改正）

この学則は、平成１７年４月１日から施行する。ただし、平成１７年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第４条、第６条、第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条、第２２条第(4)号、第２２条の２、第２２条の３　一部改正、　第２２条第(5)号、第４１条別表(7)一部追加）

１　この学則は、平成１８年４月１日から施行する。ただし、平成１８年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　薬学部薬学科において、平成１８年３月３１日以前から在学している者は、第６条、第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条、第２２条第(4)号については、なお従前の例による。

附　則（第４条、第９条、第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条、第２２条第(3)号、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、及び第２項、第２２条の９、及び別表(9)、第４１条別表(7)、第４９条、第５１条 一部改正、第３８条第(4)号追加）

１　この学則は、平成１９年４月１日から施行する。ただし、平成１９年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　第４９条第７号の助手の取扱については、当分の間(平成 22 年 3 月 31 日まで)従前の例による。

附　則（第２条第２項追加、第４条、第１０条第３項別表(1)・別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)(8)(9)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条の２、第２２条の３別表（2)、第２２条の３第２項、第２２条の４別表（3)、第２２条の５別表（4)、第２２条の７別表(6)、第２２条の８別表(8)、第２２条の９別表(9)、第４１条別表(7) 一部改正）

１　この学則は、平成２０年４月１日から施行する。ただし、平成２０年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
２　平成２０年３月３１日以前から、現代社会学部現代社会学科に在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)及び別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条第(2)号、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、第２２条の３第２項、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。ただし、第２条第２項の学科の教育目的については、次のとおりとする。
〈現代社会学科〉
さまざまな課題をかかえる現代社会で、社会科学の専門的な知識を理解するとともに、他の分野との関わり合いを総合的に学び、自己の確立をめざし、多様な課題発見・解決できる人材の育成を目的とする。

附　則（第２条の２、第４条、第１０条第３項別表(1)及び別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)（9）（10）、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、第２２条の３第２項、第２２条の４別表（3)、第２２条の５別表（4)、第２２条の７別表（6)、第２２条の８別表（8)、第２２条の９別表（9)、第３１条の３、第３１条の４、第４１条別表(7)一部改正、第２２条の１０別表(10)、第３１条の５追加）
１　この学則は、平成２１年４月１日から施行する。ただし、平成２１年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
２　第１２条（単位）人間関係学部児童学科については、講義１５時間、演習３０時間、学内実習３０時間、配属実習及び実技４５時間をもってそれぞれ１単位とする。

附　則（第２条第２項第（5）号、第４条、第１０条第３項別表(1)、別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)（8)(9)(10)、第１２条第３項別表１－（3)、第２２条、第２２条の３別表(2)、第２２条の４別表(3)、第２２条の５別表(4)、第２２条の７別表(6)、第２２条の８別表(8)、第２２条の９別表(9)、第２２条の１０別表(10)、第４１条別表(7)、第５９条第３項一部改正）
１　この学則は、平成２２年４月１日から施行する。ただし、平成２２年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
２　平成２２年３月３１日以前から、環境学部環境学科住環境専攻に在学している者については、第２条第２項第（5）号、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表１－（3)、第２２条、第２２条の３別表(2)、第２２条の8、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第４条の４　条文追加、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、別表(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)(8)(9)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条、第２２条の２、第２２条の３別表(2)、第２項、第２２条の４別表(3)、第２２条の５別表(4)、第２２条の７別表(6)、第２２条の８別表(8)、第２２条の９別表(9)、第４１条別表(7)一部改正）

この学則は、平成２３年４月１日から施行する。ただし、平成２３年３月３１日以前から在学している者の学費は、第４１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第１条、第２条第２項、第４条、第４条の３第２項、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第１項、第２項別表(2)(3)(4)(6)(5)(8)(11)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の４別表(3)、第２２条の８別表(8)、第２９条、第３０条、第３１条、第３１条の３第１０号、第４１条別表(7)　一部変更、第２２条の１１追加）

この学則は、平成２４年４月１日から施行する。ただし、平成２４年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第１項、第２項別表(2)(3)(4)（5)(6)(8)(11)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の４別表(3)、第２２条の８別表(8)、第３１条の３第１項第１０号、第４１条別表

(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(11)、第４１条別表(7)　一部変更）

この学則は、平成２５年４月１日から施行する。ただし、平成２５年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(11)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(11)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第４１条別表(7)一部変更、第５８条第２項　追加）

１　この学則は、平成２５年４月１日から施行する。ただし、平成２５年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１１条第２項別表(11)、第２２条の３第２項、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

２　薬学部の「一般用医薬品学実習」「生薬療法学実習」「病理学」「レギュラトリーサイエンス概論」「卒業研究１」「卒業研究２」「卒業研究３」「卒業研究４」を除き、平成２５年３月３１日以前から在学している者の授業科目については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

３　平成２５年３月３１日以前から在学している者の卒業の要件については、第２２条第１項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。ただし、薬学部については、下表のとおりとする。

入学年度(平成)	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
卒業所要単位数	204.5	238	238	237	235

附　則（第２条第２項、第４条、第４条の５、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第４１条別表(7)　一部変更、第４条の５　追加）

１　この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

２　政治経済学部政治経済学科及び政治経済学部経営学科は平成２６年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)-2、第１１条第２項別表(2)(6)(8)(9)(10)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項、第２２条の３第１項別表(2)　一部変更）

この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)-2、第１１条第２項別表(2)(6)(8)(9)(10)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項、第２２条の３第１項別表(2)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表(1)　一部変更）

この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条、第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)-2、第１２条第３項別表(1)―3、第２２条第１項、第２２条の３第２項、第４４条　一部変更）

１　この学則は、平成２６年４月１日から施行する。ただし、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第２条、第４条、第１０条第３項別表(1)-2、第１２条第３項別表(1)―3、第２２条第１項、第２２条の３第２項の規定にかかわらず、なお、

従前の例による。
2　薬学部の「卒業研究１」「卒業研究２」「卒業研究３」「卒業研究４」を除き、平成２６年３月３１日以前から在学している者の授業科目については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6) (8)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の８、第４１条別表(7)　一部変更）

1　この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(3)(4)(6) (8)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の８、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
2　環境学部環境学科は平成２７年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第２２条第１項　一部変更）

1　この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、薬学部薬学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)、第２２条第１項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
2　グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、法学部法律学科、政治学科、経済学部経済学科、経営学科、人間科学部人間科学科において、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第２条の２、第８条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第２項別表(2)(6)(8)(10)、第２２条、第２２条の２、第２８条、第３１条の２、第３１条の５、第３２条、第３３条、第３３条の２、第３３条の３、第４１条別表(7)、第５３条、第５８条、第５９条　一部変更）

1　この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１１条第２項別表(2) (8)(10)、第４１条別表(7)（科目等履修生の４学期制の取扱いを除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
2　平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)-2、第１１条第２項別表(6)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
3　文学部日本文学文化学科、法学部法律学科、政治学科、経済学部経済学科、経営学科、人間科学部人間科学科、社会福祉学科、教育学部児童教育学科、薬学部薬学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)（共通科目の「オリンピック文化論」を除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
4　グローバル･コミュニケーション学部グローバル･コミュニケーション学科において、平成２６年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)（共通科目の「オリンピック文化論」を除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
5　看護学部看護学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については、第１０条第３項別表(1)、第２２条第１項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。また、第２２条第５項は適用しないものとする。
6　文学部日本文学文化学科、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、法学部法律学科、政治学科、人間科学部人間科学科、社会福祉学科、教育学部児童教育学科、薬学部薬学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については第２２条第１項（成果に基づき単位認定する科目の取扱いを除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
7　経済学部経済学科、経営学科において、平成２７年３月３１日以前から在学している者については第２２条第１項（自由選択科目の他学部・他学科の学科科目の取扱い及び成果に基づき単位認定する科目の取扱いを除く）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)(1)-2、第１１条第１項、第２項別表(2)(3)(4)(5)(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)、第２項、第２２条の６、第３８条、第４１条別表(7)　一部変更

１　この学則は、平成２８年４月１日から施行する。ただし、平成２８年３月３１日以前から在学している者については、第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)-2、第１１条第２項別表(3)(4)（教育学部を除く）(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条、第２２条第１項、第２２条の２、第２２条の３第１項別表(2)（「教職特殊研究Ａ」「教職特殊研究Ｂ」を除く）、第２項、第３８条、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

２　グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科は平成２８年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

３　グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、経済学部経営学科、教育学部児童教育学科において、平成２８年３月３１日以前から在籍している者については、第１０条第３項別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

４　薬学部薬学科において、平成２７年４月１日以降に入学した者については、第１０条第３項別表(1)（学科科目の「微生物医薬品学２」を除く）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条第１項、第２項、第４条、第１０条第２項、第３項別表(1)、(1)-2、第１１条第２項別表(6)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項第２号、第５号、第６号、第７号、第２２条の２第１項、第２項、第２３条、第３１条の４第１項、第４１条別表(7)、第６３条第２項　一部変更、第１２条第４項、第３１条の４第３項　追加）

１　この学則は、平成２８年４月１日から施行する。ただし、平成２８年３月３１日以前から在籍している者については、第２条第２項、第４条、第１１条第２項別表(6)、第１２条第３項、第２２条第１項第５号、第２３条、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　教育学部児童教育学科において、平成２７年３月３１日以前から在籍している者については、第２２条第１項第７号の学校教育専修理科コース及び学校教育専修保健体育コースの必修単位数の規定にかかわらず、なお従前の例による。

３　平成２８年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については別に定める。

附　則（第４条、第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)　一部変更）

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在学している者については、第４条、第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(9)、第２２条第１項第１号、第３号、第４号、第５号、第６号、第７号、第８号、第９号　一部変更）

１　この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在籍している者については、第１１条第２項別表（9)、第２２条第１項第１号、第３号、第４号、第５号、第６号、第７号、第８号、第９号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２９年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項第５号、第７号　一部変更）

１　この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在籍している者については、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項第５号、第７号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２９年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の

適用については別に定める。

附　則（第２条第２項、第４条の３第２項、第８条第１項、第１０条第３項別表(1)、(1)―２、第１１条第２項別表(2)、(3)、(4)、(6)、(8)、(9)、(10)、(11)、第２２条第１項、第５項、第２２条の２第１項、第２２条の９、第２４条、第２５条、第２７条第１項、第２９条第１項、第３１条の２第１項、第３１条の３第１項、第３２条第１項、第３３条第１項、第３５条、第５５条第２項　一部変更）

１　この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日以前から在籍している者については、第１１条別表(4)、第２２条第１項、第２２条の７、第２２条の９、第２２条の１０、第２２条の１１の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成２９年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)　一部変更）

この学則は、平成３０年４月１日から施行する。ただし、平成３０年３月３１日以前から在籍している者については、第１０条第３項別表(1)、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(3)、第１２条第３項別表(1)―３、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第４１条別表(7)

この学則は、平成３０年４月１日から施行する。ただし、平成３０年３月３１日以前から在籍している者については、第２条第２項、第４条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、(1)－２、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第２２条の３、第２２条の９、第４１条別表(7)　一部改正）

１　この学則は、平成３０年４月１日から施行する。ただし、平成３０年３月３１日以前から在籍している者については第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)－２、第１１条第２項別表(9)、第２２条第１項、第２２条の３、第２２条の９の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成３０年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)、第１２条第３項別表(1)－３の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(9)、第２２条の２第１項　一部改正）

１　この学則は、平成３０年４月１日から施行する。

２　平成３０年３月３１日以前から在籍している者についての第２２条の２第１項の適用については別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(2)、(9)、第２２条の第１項一部改正)、第４１条別表(7)

この学則は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項、第１２条第３項別表(1)－３、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第２２条の３第１項、第２項、第４１条別表(7)　一部改正）

１　この学則は、平成３１年４月１日から施行する。ただし、平成３１年３月３１日以前から在学している者については、第４条（教育学部児童教育学科の名称変更を除く）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

２　平成３１年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については、別に定める。

３　第２２条の２第１項の在籍要件及び第２２条の３第２項の教育学科の取得免許状については、平成３０年４月１日に遡って適用する。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(2)、第１２条第３項別表(1)－３、第２１条、第２２条第１項、第２２条の３第２項）

１　この学則は平成３１年４月１日から施行する。
２　第２１条外国人留学生の単位の読み替え及び第２２条１項日本事情に関する科目の単位については、平成２７年４月１日に遡って適用する。

附　則（第１２条の２　追加、第３８条　一部変更）

この学則は平成３１年４月１日から施行する。

附　則（第３条の２追加、第４条、第４条の４、第１０条第３項別表(1)、(1)-2、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)－３、第２１条、第２２条第１項、第５１条　一部変更）

１　この学則は令和２年４月１日から施行する。
２　令和２年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については、別に定める。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(9)、第１２条第３項別表(1)-3、第２２条第１項、第２２条の２第１項、第２２条の３第１項第２項、第２２条の９、第４１条別表(7)　一部変更）

この学則は令和２年４月１日から施行する。ただし、令和２年３月３１日以前から在学している者については教育学部こども発達学科の名称変更を除き、第４条、第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(9)、第２２条第１項、第４１条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(6)、第２２条第１項一部変更）

１　この学則は令和２年４月１日から施行する。
２　令和２年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)、第１１条第２項別表(6)の適用については、別に定める。

附　則（第１０条第３項別表(1)、第２２条第１項一部変更）

１　この学則は令和２年４月１日から施行する。
２　令和２年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については、別に定める。

附　則（第２条第２項、第４条、第１０条第２項、第３項別表(1)及び別表(1)-2、第１２条第３項別表(1)-3 一部変更、第２１条削除、第２２条第１項、第２２条の２、第４１条別表(7)一部変更）

１　この学則は令和３年４月１日から施行する。
２　令和３年３月３１日以前から在籍している者についての第１０条第３項別表(1)の適用については、別に定める。
３　令和３年３月３１日以前から在籍している者については、第１０条第２項、第１０条第３項別表(1)-2、第１２条第３項別表(1)-3、第２１条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

文学部日本文学文化学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部	〔共通科目〕			
日本文学文化学科	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

文学部日本文学文化学科

別表（1）

学科＼区分	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

文学部日本文学文化学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連〕			
	日本国憲法		2	
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	古代文学	2		
	中古文学	2		
	中世文学	2		
	近世文学	2		
	近代・現代文学	2		
	日本語学概論Ⅰ	2		
	日本語学概論Ⅱ	2		
	入門ゼミA	2		
	入門ゼミB	2		
	漢文学	2		
	日本文学史Ⅰ（古典）	2		
	日本文学史Ⅱ（近現代）	2		
	小説の歴史		2	
	武蔵野学	2		
	【学科展開科目】			
	プレゼミ1A	2		
	プレゼミ1B	2		
	プレゼミ2A	2		
	プレゼミ2B	2		

文学部日本文学文化学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ゼミA	2		
	ゼミB	2		
	日本文学文化研究調査実習Ⅰ		1	
	日本文学文化研究調査実習Ⅱ		1	
	日本文学文化研究調査実習Ⅲ		1	
	日本文学文化研究（日本書誌学と文献資料講読）		2	
	【卒業論文・卒業制作】			
	卒論ゼミ	4		
	卒業論文	4		
	【文学・語学コース】			
	日本文学特講Ⅰ（奈良時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅱ（平安時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅲ（鎌倉・室町時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅳ（江戸時代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅴ（近代・現代の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅵ（戦前・戦後の作家と作品）		2	
	日本文学特講Ⅶ（児童文学の作家と作品）		2	
	日本文学研究Ⅰ（奈良時代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅱ（平安時代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅲ（鎌倉・室町時代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅳ（江戸時代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅴ（近代・現代の文学と文化）		2	
	日本文学研究Ⅵ（児童文学と詩の研究）		2	
	日本文学研究Ⅶ（近代・現代の文学と表現）		2	
	日本文学研究Ⅷ（近代・現代の文学と人生）		2	
	漢文学中国文学特講（漢文訓読学）		2	
	漢文学中国文学研究Ⅰ（和漢比較文学）		2	
	漢文学中国文学研究Ⅱ（日本漢文学）		2	
	日本語学特講（古代の日本語）		2	
	日本語学研究（近代の日本語）		2	
	【文化・創作・芸術コース】			
	創作入門Ⅰ		2	
	創作入門Ⅱ		2	
	日本の演劇（古典芸能）		2	
	書道基礎		2	
	日本文化特講Ⅰ（日本の祭りと民話）		2	
	日本文化特講Ⅱ（日本の生活文化）		2	
	日本文化研究Ⅰ（朗読・語りと舞台演出）		2	
	日本文化研究Ⅱ（演劇実践演習）		2	
	比較文学特講（外国文学）		2	
	創作基礎Ⅰ（小説Ⅰ）		2	
	創作基礎Ⅱ（小説Ⅱ）		2	
	創作基礎Ⅲ（俳句）		2	
	創作基礎Ⅳ（短歌）		2	

文学部日本文学文化学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	創作基礎Ⅴ（現代詩）		2	
	創作基礎Ⅵ（児童文学）		2	
	創作基礎Ⅶ（絵本）		2	
	創作研究Ⅰ（小説Ⅰ）		2	
	創作研究Ⅱ（小説Ⅱ）		2	
	創作研究Ⅲ（俳句）		2	
	創作研究Ⅳ（短歌）		2	
	創作研究Ⅴ（現代詩）		2	
	書道史		2	
	書道学特講Ⅰ（書道漢字）		2	
	書道学特講Ⅱ（書道仮名）		2	
	書道学研究（書道応用）		2	
	書論・鑑賞		2	
	日文キャリア演習Ⅰ（編集デザイン）		2	
	日文キャリア演習Ⅱ（編集デザイン）		2	
	【副専攻】			
	日文特別ゼミⅠ		4	
	日文特別ゼミⅡ		4	
	日文特別ゼミⅢ		4	
	日文特別ゼミⅣ		4	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部グローバルコミュニケーション学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〔学科科目〕			
	【言語演習科目】			
	〈日本語科目群〉			
	日本語１Ａ		1	８単位選択必修（留学生のみ）
	日本語１Ｂ		1	
	日本語１Ｃ		1	
	日本語１Ｄ		1	
	日本語２Ａ		1	
	日本語２Ｂ		1	
	日本語２Ｃ		1	
	日本語２Ｄ		1	
	〈中国語科目群〉			
	中国語１Ａ		1	１６単位選択必修（留学生は除く）
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	中国語資格試験演習（初級）１		1	
	中国語資格試験演習（初級）２		1	
	中国語資格試験演習（初級）３		1	
	中国語資格試験演習（中級）１		1	
	中国語資格試験演習（中級）２		1	
	中国語資格試験演習（中級）３		1	
	〈英語科目群〉			
	English for Qualifications A	1		
	English for Qualifications B	1		
	English for Qualifications C	1		
	English for Qualifications D	1		
	Practical Communication A	1		
	Practical Communication B	1		
	Practical Communication C	1		
	Practical Communication D	1		
	Integrated Skills for Qualifications A	1		
	Integrated Skills for Qualifications B	1		
	Integrated Skills for Qualifications C	1		
	Integrated Skills for Qualifications D	1		
	Integrated Skills for Communication A	1		
	Integrated Skills for Communication B	1		
	Integrated Skills for Communication C	1		
	Integrated Skills for Communication D	1		
	英語資格試験演習Ａ		2	
	英語資格試験演習Ｂ		2	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

学科＼区分	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	英語資格試験演習C		2	
	英語資格試験演習D		2	
	Advanced Skills for Communication A		2	
	Advanced Skills for Communication B		2	
	〈English Study Abroad Program〉			
	EAP Beginner 1		4	
	EAP Beginner 2		4	
	EAP Beginner 3		4	
	EAP Intermediate 1		4	
	EAP Intermediate 2		4	
	EAP Intermediate 3		4	
	EAP Advanced 1		4	16単位
	EAP Advanced 2		4	選択必修
	EAP Advanced 3		4	
	EAP Masters 1		4	
	EAP Masters 2		4	
	EAP Masters 3		4	
	EAP Masters 4		4	
	EAP Masters 5		4	
	EAP Masters 6		4	
	EAP Masters 7		4	
	Undergraduate Courses 1		2	
	Undergraduate Courses 2		2	
	Undergraduate Courses 3		3	
	Undergraduate Courses 4		4	
	Undergraduate Courses 5		5	
	Undergraduate Courses 6		10	
	Undergraduate Courses 7		10	
	【学科基礎科目】			
	基礎ゼミ	1		
	プレゼミ	1		
	【多文化共修科目】			
	グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
	キャリアデザイン入門	2		
	異文化コミュニケーション概論	2		
	【学科専門科目】			
	〈翻訳・通訳科目群〉			
	英語翻訳演習A		2	
	英語翻訳演習B		2	
	英語翻訳演習C		2	
	英語翻訳演習D		2	
	英語通訳演習A		2	
	英語通訳演習B		2	
	英語通訳演習C		2	
	英語通訳演習D		2	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	中国語翻訳演習A		2	
	中国語翻訳演習B		2	
	中国語翻訳演習C		2	
	中国語翻訳演習D		2	
	中国語通訳演習A		2	
	中国語通訳演習B		2	
	中国語通訳演習C		2	
	中国語通訳演習D		2	
	〈言語・文化科目群〉			
	中国研究（文化文学）初級A		2	
	中国研究（文化文学）初級B		2	
	中国研究（文化文学）中級A		2	
	中国研究（文化文学）中級B		2	
	中国研究（文化文学）中級C		2	
	中国研究（文化文学）中級D		2	
	中国研究（文化文学）上級A		2	
	中国研究（文化文学）上級B		2	
	中国研究（文化文学）上級C		2	
	中国研究（文化文学）上級D		2	
	Communication Studies A		2	
	Communication Studies B		2	
	Area Studies US A		2	
	Area Studies US B		2	
	Area Studies UK A		2	
	Area Studies UK B		2	
	Area Studies China A		2	
	Area Studies China B		2	
	Area Studies Ad Hoc A		2	
	Area Studies Ad Hoc B		2	
	Global Media Literacy A		2	
	Global Media Literacy B		2	
	Media English A		2	
	Media English B		2	
	EFL Reading A		2	
	EFL Reading B		2	
	EFL Reading C		2	
	EFL Reading D		2	
	Literary Texts, Critical Methods A		2	
	Literary Texts, Critical Methods B		2	
	English and Film Studies A		2	
	English and Film Studies B		2	
	Academic Reading A		2	
	Academic Reading B		2	
	Academic Reading C		2	
	Academic Reading D		2	
	Language Acquisition A		2	
	Language Acquisition B		2	
	Sociolinguistics A		2	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	Sociolinguistics B		2	
	World Englishes A		2	
	World Englishes B		2	
	Comparative Culture A		2	
	Comparative Culture B		2	
	Cultural Studies A		2	
	Cultural Studies B		2	
	〈学部隣接科目群〉			
	日本研究（政治・社会）A		2	
	日本研究（政治・社会）B		2	
	日本研究（政治・社会）C		2	
	日本研究（政治・社会）D		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）A		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）B		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）C		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）D		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）A		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）B		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）C		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）D		2	
	〈特別講義〉			
	特別講義 A		1	
	特別講義 B		1	
	特別講義 C		1	
	特別講義 D		1	
	〈ゼミ/Ｓｅｍｉｎａｒ〉			
	ゼミ/Seminar A		2	ゼミ/Seminar（計8単位）又は課題研究演習（計8単位）のいずれかを選択必修
	ゼミ/Seminar B		2	
	ゼミ/Seminar C		2	
	ゼミ/Seminar D		2	
	課題研究演習A		2	
	課題研究演習B		2	
	課題研究演習C		2	
	課題研究演習D		2	
	卒業論文/Research Project		4	

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部日本語コミュニケーション学科	〔共通科目〕			共通科目は、必修１２単位を修得する。
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〔学科科目〕			学科科目は、必修19単位及び選択必修単位を含めて75単位以上修得する。
	【言語演習科目】			
	〈日本語科目群〉			
	日本語１Ａ		1	日本語科目群及びビジネス日本語科目群から１６単位選択必修（留学生のみ）
	日本語１Ｂ		1	
	日本語１Ｃ		1	
	日本語１Ｄ		1	
	日本語２Ａ		1	
	日本語２Ｂ		1	
	日本語２Ｃ		1	
	日本語２Ｄ		1	
	〈英語科目群〉			
	English for Qualifications 1A		1	２４単位選択必修(留学生は除く)
	English for Qualifications 1B		1	
	English for Qualifications 1C		1	
	English for Qualifications 1D		1	
	English for Qualifications 2A		1	
	English for Qualifications 2B		1	
	English for Qualifications 2C		1	
	English for Qualifications 2D		1	
	English for Qualifications 3A		1	
	English for Qualifications 3B		1	
	English for Qualifications 3C		1	
	English for Qualifications 3D		1	
	Practical Communication 1A		1	
	Practical Communication 1B		1	
	Practical Communication 1C		1	
	Practical Communication 1D		1	
	Practical Communication 2A		1	
	Practical Communication 2B		1	
	Practical Communication 2C		1	
	Practical Communication 2D		1	
	Practical Communication 3A		1	
	Practical Communication 3B		1	
	Practical Communication 3C		1	
	Practical Communication 3D		1	
	Remedial English A		1	
	Remedial English B		1	
	英語資格試験演習Ａ		2	
	英語資格試験演習Ｂ		2	
	英語資格試験演習Ｃ		2	
	英語資格試験演習Ｄ		2	
	基礎英語 A		1	
	基礎英語 B		1	
	基礎英語 C		1	
	基礎英語 D		1	

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〈中国語科目群〉			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	
	中国語３Ｃ		1	
	中国語３Ｄ		1	
	中国語資格試験演習１Ａ		1	
	中国語資格試験演習１Ｂ		1	
	中国語資格試験演習２Ａ		1	
	中国語資格試験演習２Ｂ		1	
	【学科基礎科目】			
	基礎ゼミ	1		
	プレゼミＡ	1		
	プレゼミＢ	1		
	【多文化共修科目】			
	グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
	グローバルプロジェクト/Global Project	2		
	海外インターンシップ1（基礎）		2	
	海外インターンシップ2（基礎）		3	
	海外インターンシップ3（基礎）		4	
	海外インターンシップ4（発展）		2	
	海外インターンシップ5（発展）		3	
	海外インターンシップ6（発展）		4	
	【学科専門科目】			
	〈日本語教員養成科目群〉			
	異文化コミュニケーションＡ		2	
	異文化コミュニケーションＢ		2	
	日本語学概論	2		
	音声学基礎A		2	
	音声学基礎B		2	
	第二言語習得理論A		2	
	第二言語習得理論B		2	
	日本語教授法概論A		2	
	日本語教授法概論B		2	
	日本語教育実習		4	
	日本語実践教育A		2	
	日本語実践教育B		2	
	日本語教育文法A		2	
	日本語教育文法B		2	

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	日本語学各論A		2	
	日本語学各論B		2	
	日本語教育学各論A		2	
	日本語教育学各論B		2	
	〈観光・ビジネス日本語科目群〉			
	実用日本語1A		1	観光・ビジネス日本語科目群及び日本語科目群から１６単位選択必修（留学生のみ）
	実用日本語1B		1	
	実用日本語1C		1	
	実用日本語1D		1	
	実用日本語2A		1	
	実用日本語2B		1	
	実用日本語2C		1	
	実用日本語2D		1	
	観光学概論	2		
	日本研究（経済・経営）A		2	
	日本研究（経済・経営）B		2	
	日本研究（経済・経営）C		2	
	日本研究（経済・経営）D		2	
	日本研究（政治・社会）A		2	
	日本研究（政治・社会）B		2	
	日本研究（政治・社会）C		2	
	日本研究（政治・社会）D		2	
	日本研究（観光・ビジネス）A		2	
	日本研究（観光・ビジネス）B		2	
	日本研究（観光・ビジネス）C		2	
	日本研究（観光・ビジネス）D		2	
	〈サブカルチャー・メディア科目群〉			
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）A		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）B		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）C		2	
	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）D		2	
	日本研究（教育とサブカルチャー）A		2	
	日本研究（教育とサブカルチャー）B		2	
	日本研究（教育とサブカルチャー）C		2	
	日本研究（教育とサブカルチャー）D		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）A		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）B		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）C		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）D		2	
	〈特別講義〉			
	特別講義 A		1	
	特別講義 B		1	
	特別講義 C		1	
	特別講義 D		1	
	〈ゼミ/Ｓｅｍｉｎａｒ〉			

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	ゼミ/Seminar A	2		
	ゼミ/Seminar B	2		
	ゼミ/Seminar C	2		
	ゼミ/Seminar D	2		
	卒業論文/Research Project	4		

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部グローバルビジネス学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		共通科目は、１１単位を修得する。
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー		1	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〔学科科目〕			
	【言語演習科目】			
	〈中国語科目群〉			
	中国語１Ａ		1	
	中国語１Ｂ		1	
	中国語１Ｃ		1	
	中国語１Ｄ		1	
	中国語２Ａ		1	
	中国語２Ｂ		1	
	中国語２Ｃ		1	
	中国語２Ｄ		1	
	中国語３Ａ		1	
	中国語３Ｂ		1	１６単位選択必修（留学生は除く）
	中国語３Ｃ		1	
	中国語３Ｄ		1	
	中国語資格試験演習１Ａ		1	
	中国語資格試験演習１Ｂ		1	
	中国語資格試験演習２Ａ		1	
	中国語資格試験演習２Ｂ		1	
	ビジネス中国語Ａ		1	
	ビジネス中国語Ｂ		1	
	ビジネス中国語Ｃ		1	
	ビジネス中国語Ｄ		1	
	〈英語科目群〉			
	English for Qualifications 1A		1	
	English for Qualifications 1B		1	
	English for Qualifications 1C		1	
	English for Qualifications 1D		1	
	English for Qualifications 2A		1	
	English for Qualifications 2B		1	
	English for Qualifications 2C		1	
	English for Qualifications 2D		1	
	English for Qualifications 3A		1	
	English for Qualifications 3B		1	
	English for Qualifications 3C		1	
	English for Qualifications 3D		1	
	Practical Communication 1A		1	
	Practical Communication 1B		1	
	Practical Communication 1C		1	
	Practical Communication 1D		1	
	Practical Communication 2A		1	１６単位選択必修(学科の定める基準により、他の学科科目をもって代えることができる)
	Practical Communication 2B		1	
	Practical Communication 2C		1	
	Practical Communication 2D		1	
	Practical Communication 3A		1	
	Practical Communication 3B		1	
	Practical Communication 3C		1	
	Practical Communication 3D		1	

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	Reading for business studies		1	
	Business Writing		1	
	Business Presentation		1	
	Business Meeting		1	
	〈日本語科目群〉			
	基礎日本語１Ａ		1	
	基礎日本語１Ｂ		1	
	基礎日本語１Ｃ		1	
	基礎日本語１Ｄ		1	
	基礎日本語１Ｅ		1	
	基礎日本語１Ｆ		1	
	基礎日本語１Ｇ		1	
	基礎日本語１Ｈ		1	８単位選択必修
	日本語１Ａ		1	(留学生のみ)
	日本語１Ｂ		1	
	日本語１Ｃ		1	
	日本語１Ｄ		1	
	日本語２Ａ		1	
	日本語２Ｂ		1	
	日本語２Ｃ		1	
	日本語２Ｄ		1	
	実用日本語１Ａ		1	
	実用日本語１Ｂ		1	
	実用日本語１Ｃ		1	
	実用日本語１Ｄ		1	
	実用日本語２Ａ		1	
	実用日本語２Ｂ		1	
	実用日本語２Ｃ		1	
	実用日本語２Ｄ		1	
	日本語資格試験演習Ａ		1	
	日本語資格試験演習Ｂ		1	
	日本語資格試験演習Ｃ		1	
	日本語資格試験演習Ｄ		1	
	【学科基礎科目】			
	基礎ゼミ/Fundamental Seminar	1		
	プレゼミA/Pre-seminar A	1		
	プレゼミB/Pre-seminar B	1		
	Career Design	1		
	【多文化共修科目】			
	グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
	グローバルプロジェクト/Global Project	2		
	【ビジネス科目】			
	Introduction to Business Studies A	2		
	Introduction to Business Studies B	2		
	Management A	2		

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	Management B	2		
	Accounting A		2	
	Accounting B		2	
	Accounting Advanced A		2	
	Accounting Advanced B		2	
	Research Method for Business Studies		2	
	Problem-Solving and Decision-Making		2	
	Finance A		2	
	Finance B		2	
	Management in Japan		2	
	Digital Economy		2	
	Statistics for Business Studies A		2	
	Statistics for Business Studies B		2	
	Managerial Accounting A		2	
	Managerial Accounting B		2	
	Organizational Behavior A		2	
	Organizational Behavior B		2	
	Business Economics A		2	３２単位選択必修
	Business Economics B		2	
	Global Trading A		2	
	Global Trading B		2	
	Financial Services A		2	
	Financial Services B		2	
	Hospitality A		2	
	Hospitality B		2	
	Marketing in Global Business A		2	
	Marketing in Global Business B		2	
	Advanced Marketing in Global Business A		2	
	Advanced Marketing in Global Business B		2	
	Digital Marketing		2	
	Strategy in Global Business A		2	
	Strategy in Global Business B		2	
	China Business Studies A		2	
	China Business Studies B		2	
	Emerging Markets		2	
	International Business Law and Ethics		2	
	Internship A		1	
	Internship B		1	
	Internship C		2	
	Internship D		4	
	Entrepreneurship		2	
	International Lectures 1 (GB)		1	
	International Lectures 2 (GB)		1	
	International Lectures 3 (GB)		1	
	International Lectures 4 (GB)		1	
	【学科専門科目】			
	〈学部隣接科目群〉			
	英語資格試験演習A/Practical Exercises for English Qualifications A		2	

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	英語資格試験演習B/Practical Exercises for English Qualifications B		2	
	英語資格試験演習C/Practical Exercises for English Qualifications C		2	
	英語資格試験演習D/Practical Exercises for English Qualifications D		2	
	異文化コミュニケーションA/Cross-cultural Communication A		2	
	異文化コミュニケーションB/Cross-cultural Communication B		2	
	〈特別講義〉			
	特別講義/Special Lectures A		1	
	特別講義/Special Lectures B		1	
	特別講義/Special Lectures C		1	
	特別講義/Special Lectures D		1	
	〈ゼミ/Ｓｅｍｉｎａｒ〉			
	ゼミ/Seminar A	2		
	ゼミ/Seminar B	2		
	ゼミ/Seminar C	2		
	ゼミ/Seminar D	2		
	卒業論文/Research Project for Graduation Thesis	4		

法学部法律学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
法学部 法律学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

法学部法律学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

法学部法律学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	法学１（法学の基礎）	2		
	法学２（法学概論）	2		
	民法１Ａ（総則）	2		
	民法１Ｂ（総則）	2		
	憲法１（統治）	2		
	憲法２（人権）	2		
	刑法１（総論）	2		
	【基幹科目群】			
	民法２Ａ（物権）		2	
	民法２Ｂ（担保物権）		2	
	民法３Ａ（債権各論）		2	
	民法３Ｂ（債権各論）		2	
	民法４Ａ（債権総論）		2	
	民法４Ｂ（債権総論）		2	
	民法５Ａ（親族法）		2	
	民法５Ｂ（相続法）		2	
	民事訴訟法１		2	２０単位以上選択必修
	民事訴訟法２		2	
	刑法２（各論）		2	
	刑法３（各論）		2	
	刑事訴訟法１		2	
	刑事訴訟法２		2	

法学部法律学科

別表（1）

学科＼区分	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	会社法１		2	
	会社法２		2	
	企業法総論		2	
	【展開科目群】			
	＜行政法＞			
	行政法１（総論①）		2	
	行政法２（総論②）		2	
	行政救済法		2	
	租税法１		2	
	租税法２		2	
	地方自治法１（自治の法と制度）		2	
	地方自治法２（自治体政策法務論）		2	
	オリンピックと法律学Ａ		2	
	オリンピックと法律学Ｂ		2	
	＜国際関係法＞			
	国際法１		2	
	国際機構論		2	
	国際法２		2	１４単位以上選択必修
	国際私法		2	
	英米法		2	
	アジア法（中国法・韓国法）		2	
	アジア法（東南アジア法）		2	
	＜現代社会関係法＞			
	労働法１		2	
	労働法２		2	
	社会保障法		2	
	企業取引法		2	
	経済法（独禁法）		2	
	知的財産法		2	
	消費者法		2	
	金融法		2	
	ＩＴ関係法		2	
	情報法		2	
	マーケティング法		2	
	刑事政策		2	
	高齢化社会と法		2	
	執行・保全・倒産法		2	
	比較取引法		2	
	共生の法律学		2	
	不動産評価論（東京都不動産鑑定士協会寄付講座）		2	
	＜法曹養成関係法＞			
	民法演習		2	
	憲法演習		2	
	刑法演習		2	
	＜英語＞			
	法律学文献講読(英語)		2	
	ビジネス法律英語		2	
	International Lectures 1(Law)		1	

法学部法律学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	International Lectures 2(Law)		1	
	International Lectures 3(Law)		1	
	International Lectures 4(Law)		1	
	＜中国語＞			
	日本民事法１（法学の基礎、民法総則）		2	
	日本民事法２（物権法、契約法、不法行為法）		2	
	日本民事法３（担保物権法、債権総論）		2	
	日本民事法４（会社法、知財法）		2	
	【エクスターンシップ】			
	企業エクスターンシップ	2		
	【資格対策科目群】			
	資格ガイダンス	2		
	キャリア開発		2	
	地方公務員特殊研究１		4	
	地方公務員特殊研究２		4	
	地方公務員特殊研究３		4	
	地方公務員特殊研究４		4	
	【アカデミック・スキル科目】			
	プレゼミ	2		
	プレゼンゼミ		2	
	【最先端研究】			
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４	2		
	卒業論文	2		
	【隣接科目群】			
	＜政治学＞			
	政治学史１		2	
	政治学史２		2	
	現代政治理論１		2	
	現代政治理論２		2	
	日本政治論		2	
	立法過程論		2	
	政策過程論		2	
	計量政治学		2	
	行政学		2	
	公共政策論１		2	
	公共政策論２		2	
	公共選択論		2	
	地方自治		2	
	公共管理論		2	
	国際関係論		2	
	International Lectures 1(Politics)		1	

法学部法律学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	International Lectures 2(Politics)		1	
	International Lectures 3(Politics)		1	
	International Lectures 4(Politics)		1	
	＜経済学＞			
	ミクロ経済学１		2	平成２７年度以前入学生のみ
	ミクロ経済学２		2	
	マクロ経済学１		2	
	マクロ経済学２		2	
	財政学１		2	
	財政学２		2	
	経済政策論		2	
	経済学Ｓ１（経済学入門）		2	
	経済学Ｓ２（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ３（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ４（マクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ５（マクロ経済学）		2	
	＜経営学・会計学＞			
	経営学入門		2	
	会計学入門		2	
	企業と社会		2	
	経営学基礎		2	
	金融論１		2	
	金融論２		2	
	マーケティング１		2	
	マーケティング２		2	
	中小企業マネジメント		2	
	経営戦略１		2	
	経営戦略２		2	
	財務会計１		2	
	財務会計２		2	
	【育成プログラム】			
	国家公務員育成プログラム１		1	
	国家公務員育成プログラム２		1	
	国家公務員育成プログラム３		1	
	国家公務員育成プログラム４		1	
	育成プログラム１		1	
	育成プログラム２		2	
	育成プログラム３		3	
	育成プログラム４		4	
	育成プログラム５		5	
	育成プログラム６		6	
	育成プログラム７		8	

法学部政治学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
法学部 政治学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

法学部政治学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

法学部政治学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	政治学原論１	2		
	政治学原論２	2		
	日本政治論基礎	2		
	国際政治学基礎	2		
	憲法１（統治）	2		
	憲法２（人権）	2		
	地方政府研究１		1	
	地方政府研究２		1	
	International Lectures 1(Politics)		1	
	International Lectures 2(Politics)		1	
	International Lectures 3(Politics)		1	
	International Lectures 4(Politics)		1	
	【基幹科目群】			
	＜歴史･理論＞			
	政治学史１	2		
	政治学史２	2		
	日本政治外交史１		2	
	日本政治外交史２		2	
	西洋政治史１		2	
	西洋政治史２		2	
	政治学基礎文献講読１		2	
	政治学英語文献講読１		2	

法学部政治学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	＜日本政治・政治過程＞			
	日本政治論		2	
	行政学		2	
	公共政策論１		2	１２単位を選択必修。そのうち、政治学基礎文献講読１～３から１科目選択必修、政治学英語文献講読１～３から１科目選択必修。
	公共政策論２		2	
	計量政治学		2	
	政治学基礎文献講読２		2	
	政治学英語文献講読２		2	
	選挙特殊研究１		2	
	選挙特殊研究２		2	
	選挙特殊研究３		2	
	＜国際政治・地域研究＞			
	国際政治学１		2	
	国際政治学２		2	
	比較政治学		2	
	平和学		2	
	外交政策論		2	
	アメリカ政治論		2	
	ヨーロッパ政治論		2	
	政治学基礎文献講読３		2	
	政治学英語文献講読３		2	
	【展開科目群】			
	＜歴史･理論＞			
	日本政治思想史１		2	８単位選択必修
	日本政治思想史２		2	
	現代政治理論１		2	
	現代政治理論２		2	
	公共選択論		2	
	コミュニケーションの政治理論		2	
	政治史・政治理論演習１		2	
	政治史・政治理論演習２		2	
	＜日本政治・政治過程＞			
	公共管理論		2	
	政治心理学		2	
	政治社会学		2	
	立法過程論		2	
	政策過程論		2	
	選挙分析		2	
	地方自治		2	
	日本政治・政治過程演習１		2	
	日本政治・政治過程演習２		2	
	＜国際政治・地域研究＞			
	国際関係論		2	
	アジア政治論		2	
	中国政治論		2	
	中東政治論		2	
	アフリカ政治論		2	
	国際政治・地域研究演習１		2	

法学部政治学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	国際政治・地域研究演習２		2	
	＜政治学特殊研究＞			
	政治学特殊研究１		2	
	政治学特殊研究２		2	
	政治学特殊研究３		2	
	【資格対策科目群】			
	キャリア開発		2	
	地方公務員特殊研究１		4	
	地方公務員特殊研究２		4	
	地方公務員特殊研究３		4	
	地方公務員特殊研究４		4	
	【アカデミック・スキル科目】			
	初年次ゼミ	2		
	プレゼミ	2		
	プレゼンゼミ	2		
	【最先端研究】			
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４	2		
	卒業論文		6	
	【隣接科目群】			
	＜法律学＞			
	法学１（法学の基礎）		2	
	法学２（法学概論）		2	
	民法１Ａ（総則）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法１Ｂ（総則）		2	
	民法２Ａ（物権）		2	
	民法２Ｂ（担保物権）		2	
	民法３Ａ（債権各論）		2	
	民法３Ｂ（債権各論）		2	
	民法４Ａ（債権総論）		2	
	民法４Ｂ（債権総論）		2	
	民法５Ａ（親族法）		2	
	民法５Ｂ（相続法）		2	
	行政法１（総論①）		2	
	行政法２（総論②）		2	
	行政救済法		2	
	国際法１		2	
	国際法２		2	
	国際機構論		2	
	企業法総論		2	
	労働法１		2	
	労働法２		2	
	社会保障法		2	

法学部政治学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	刑法１（総論）		2	
	刑法２（各論）		2	
	会社法１		2	
	会社法２		2	
	刑法３（各論）		2	
	民法Ｓ１(総則)		2	
	民法Ｓ２(物権法・担保物権法)		2	
	民法Ｓ３(債権各論)		2	
	民法Ｓ４(債権総論)		2	
	International Lectures 1(Law)		1	
	International Lectures 2(Law)		1	
	International Lectures 3(Law)		1	
	International Lectures 4(Law)		1	
	＜経済学＞			
	ミクロ経済学１		2	平成２７年度以前入学生のみ
	ミクロ経済学２		2	
	マクロ経済学１		2	
	マクロ経済学２		2	
	財政学１		2	
	財政学２		2	
	経済政策論		2	
	経済学Ｓ１（経済学入門）		2	
	経済学Ｓ２（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ３（ミクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ４（マクロ経済学）		2	
	経済学Ｓ５（マクロ経済学）		2	
	【育成プログラム】			
	国家公務員育成プログラム１		1	
	国家公務員育成プログラム２		1	
	国家公務員育成プログラム３		1	
	国家公務員育成プログラム４		1	
	育成プログラム１		1	
	育成プログラム２		2	
	育成プログラム３		3	
	育成プログラム４		4	
	育成プログラム５		5	
	育成プログラム６		6	
	育成プログラム７		8	

経済学部経済学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
経済学部 経済学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

経済学部経済学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

経済学部経済学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	経済学基礎１		2	
	経済学基礎２		1	
	統計学２		2	
	初年次ゼミ		1	
	経済学入門		2	
	経済学と数学		1	
	経済学のための数学		2	
	統計学１		2	
	データ分析入門		2	
	大学での学び方を考える		1	
	ミクロ経済学入門1		2	
	ミクロ経済学入門2		2	
	マクロ経済学入門1		2	
	マクロ経済学入門2		2	
	【基幹科目群】			
	中級ミクロ経済学1		2	
	中級ミクロ経済学2		2	
	中級マクロ経済学1		2	
	中級マクロ経済学2		2	
	ゲーム理論１		2	
	ゲーム理論２		2	
	計量経済学１		2	

経済学部経済学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	計量経済学２		2	
	国際経済史１		2	
	国際経済史２		2	
	英語で学ぶ経済学１		2	
	英語で学ぶ経済学２		2	
	経済学プレゼミ		2	
	【展開科目群】			
	データで学ぶ世界経済		2	
	データで学ぶ日本経済史		2	
	現代経済史１		2	
	現代経済史２		2	
	経済思想史１		2	
	経済思想史２		2	
	財政学１		2	
	財政学２		2	
	日本経済論		2	
	公共経済学１		2	
	公共経済学２		2	
	経済政策論		2	
	産業組織論１		2	６０単位選択必修（うち３０単位は基礎科目群・基幹科目群より履修）
	産業組織論２		2	
	国際貿易論１		2	
	国際貿易論２		2	
	金融論１		2	
	金融論２		2	
	国際金融論１		2	
	国際金融論２		2	
	労働経済学１		2	
	労働経済学２		2	
	環境経済学１		2	
	環境経済学２		2	
	金融システム論		2	
	行動経済学		2	
	途上国の経済分析		2	
	都市経済学		2	
	【応用科目群】			
	経済学特殊研究Ａ		2	
	経済学特殊研究Ｂ		2	
	【最先端研究】			
	ゼミナール１		2	
	ゼミナール２		2	
	ゼミナール３		2	
	ゼミナール４		2	
	卒業論文		4	
	【経営・会計科目群】			

経済学部経済学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	経営学入門		2	
	経営学基礎		2	
	フィナンシャル・プランニング論１		2	
	フィナンシャル・プランニング論２		2	
	会計学入門		2	
	簿記１		2	
	簿記２		2	
	【資格対策科目群】			
	キャリア開発		2	
	地方公務員特殊研究１		4	
	地方公務員特殊研究２		4	
	地方公務員特殊研究３		4	
	地方公務員特殊研究４		4	
	【隣接科目群】			
	＜法律学＞			
	法学１（法学の基礎）		2	
	法学２（法学概論）		2	
	憲法１（統治）		2	
	憲法２（人権）		2	
	民法１Ａ（総則）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法１Ｂ（総則）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法２Ａ（物権）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法２Ｂ（担保物権）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法３Ａ（債権各論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法３Ｂ（債権各論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法４Ａ（債権総論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法４Ｂ（債権総論）		2	平成２７年度以前入学生のみ
	民法５Ａ（親族法）		2	
	民法５Ｂ（相続法）		2	
	行政法１（総論①）		2	
	行政法２（総論②）		2	
	民法Ｓ１（総則）		2	
	民法Ｓ２（物権法・担保物権法）		2	
	民法Ｓ３（債権各論）		2	
	民法Ｓ４（債権総論）		2	
	＜政治学＞			
	政治学原論１		2	
	政治学原論２		2	
	日本政治論		2	
	国際政治学１		2	
	国際政治学２		2	
	政治学史１		2	
	政治学史２		2	
	行政学		2	
	公共政策論１		2	
	公共政策論２		2	

経済学部経済学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	【育成プログラム】			
	国家公務員育成プログラム１		1	
	国家公務員育成プログラム２		1	
	国家公務員育成プログラム３		1	
	国家公務員育成プログラム４		1	
	育成プログラム１		1	
	育成プログラム２		2	
	育成プログラム３		3	
	育成プログラム４		4	
	育成プログラム５		5	
	育成プログラム６		6	
	育成プログラム７		8	

経営学部経営学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
経営学部 経営学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

経営学部経営学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

経営学部経営学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	経営学入門	2		
	経営学基礎	2		
	経営学への招待A	2		
	経営学への招待B	2		
	経営フィールドワーク入門	2		
	グループコミュニケーション１	2		
	ＩＣＴと研究調査		2	
	会計学入門		2	
	経済学入門		2	
	【基幹科目群】			
	経営研究入門Ａ	1		
	経営研究入門Ｂ	1		
	経営戦略１		2	
	経営戦略２		2	
	経営戦略分析		2	
	イノベーションマネジメント		2	
	マーケティング１		2	
	マーケティング２		2	
	流通経済		2	
	組織行動		2	
	経営組織		2	
	セルフマネジメント		2	

経営学部経営学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	経営のための会計入門		2	
	財務会計１		2	
	財務会計２		2	
	中小企業マネジメント		2	
	コーポレート・ガバナンス論１		2	３０単位以上選択必修
	企業倫理		2	
	企業と社会		2	
	経営史		2	
	質的研究調査		2	
	量的研究調査		2	
	アート＆テクノロジーＡ		2	
	アート＆テクノロジーＢ		2	
	グループコミュニケーション２Ａ		2	
	グループコミュニケーション２Ｂ		2	
	ワールドビジネス		2	
	第一次産業論		1	
	第二次産業論Ａ		1	
	第二次産業論Ｂ		1	
	第三次産業論		1	
	観光産業論		1	
	ＩＣＴ産業論		1	
	コンテンツ産業論		1	
	バイオ産業論		1	
	【展開科目群】			
	経営フィールドワークＡ		2	
	経営フィールドワークＢ		2	
	発展・経営戦略１		2	
	発展・経営戦略２		2	
	発展・イノベーションマネジメント		2	
	発展・マーケティング１		2	
	発展・マーケティング２		2	
	発展・流通経済		2	
	発展・組織行動		2	
	発展・中小企業マネジメント		2	
	発展・量的研究調査		2	
	ビジネスデザイン		2	８単位以上選択必修
	人材マネジメント		2	
	組織コミュニケーション		2	
	コンフリクトマネジメント		2	
	経営者と社会		2	
	コーポレート・ガバナンス論２		2	
	ＣＳＲ論		2	
	経営学と未来		2	
	フィナンシャル・プランニング論１		2	
	フィナンシャル・プランニング論２		2	
	経営管理と会計		2	
	企業経営とファイナンス		2	
	観光交通		2	

経営学部経営学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	エリアマネジメント		2	
	エリア産業		2	
	エリアガバナンス		2	
	グローバルマネジメント		2	
	ビジネスイングリッシュ		2	
	現代ビジネス１		2	
	現代ビジネス２		2	
	International Lectures 1[Biz]		1	
	International Lectures 2[Biz]		1	
	International Lectures 3[Biz]		1	
	International Lectures 4[Biz]		1	
	【応用科目群】			
	応用経営学Ａ		2	
	応用経営学Ｂ		2	
	応用経営学Ｃ		2	
	応用経営学Ｄ		2	
	【最先端研究】			
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	経営研究		2	
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４	2		
	卒業研究		4	

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ学部	〔共通科目〕			
ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ学科	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	1単位選択必修
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	1単位選択必修
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	1単位選択必修
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	〔学科科目〕			
	【マインド科目】			
	キャリアデザイン１	1		
	キャリアデザイン２	1		
	キャリアデザイン３		1	1単位以上選択必修
	幸福学		1	
	好奇心醸成		1	
	未来構想	1		
	事業と哲学	2		
	倫理観１	1		
	倫理観２	1		
	女性とアントレプレナーシップ		1	２単位選択必修
	政治と社会		1	
	地域課題と事業創造		1	
	デザインと事業創造		1	
	科学技術と事業創造		1	
	グローバルアントレプレナー（海外研修）	1		
	情報編集力	1		
	アントレプレナーシップ１Ａ	1		
	アントレプレナーシップ１Ｂ	1		
	アントレプレナーシップ２Ａ	1		
	アントレプレナーシップ２Ｂ	1		
	アントレプレナーシップ２Ｃ	1		
	アントレプレナーシップ２Ｄ	1		
	アントレプレナーシップ３Ａ	1		
	アントレプレナーシップ３Ｂ	1		
	アントレプレナーシップ３Ｃ	1		
	アントレプレナーシップ３Ｄ	1		
	アントレプレナーシップ４Ａ	1		
	アントレプレナーシップ４Ｂ	1		
	アントレプレナーシップ４Ｃ	1		
	アントレプレナーシップ４Ｄ	1		
	【事業推進科目】			
	クリティカルシンキング基礎	2		
	クリティカルシンキング１		2	２単位選択必修
	クリティカルシンキング２		2	
	課題解決プロセス１		1	１単位選択必修
	課題解決プロセス２		1	
	ビジネスモデル研究基礎	1		
	インターネットビジネス基礎	1		

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	領域別Ｔｅｃｈ研究Ａ		1	
	領域別Ｔｅｃｈ研究Ｂ		1	
	領域別Ｔｅｃｈ研究Ｃ		1	２単位選択必修
	領域別Ｔｅｃｈ研究Ｄ		1	
	アフターデジタルの課題解決	1		
	事業計画Ａ		2	２単位選択必修
	事業計画Ｂ		2	
	プロトタイピングＡ		1	１単位選択必修
	プロトタイピングＢ		1	
	コミュニケーション基礎		1	
	コーチング		1	
	プレゼンテーション		1	１単位選択必修
	チーム・プロジェクトマネジメント		1	
	ファイナンス・アカウンティング基礎		1	
	ファイナンスＡ		1	コミュニケーション基礎、ファイナンス・アカウンティング基礎、リーガル基礎、マーケティング基礎から２単位選択必修
	ファイナンスＢ		1	
	リーガル基礎		1	
	マーケティング基礎		1	
	マーケティングＡ		1	
	マーケティングＢ		1	１単位選択必修
	マーケティングＣ		1	
	グローバルマネジメント		1	
	リーダーシップとマネジメント		1	
	組織・人事マネジメント		1	
	【実践科目】			
	プロジェクト入門	1		
	インターンシップ（領域別Ｔｅｃｈ研究）	1		
	インターンシップＡ		2	
	インターンシップＢ		3	
	インターンシップＣ		4	
	プロジェクト基礎Ａ	2		
	プロジェクト基礎Ｂ	2		
	プロジェクト基礎Ｃ	2		
	プロジェクト応用Ａ	4		
	プロジェクト応用Ｂ	4		
	プロジェクト発展Ａ	4		
	プロジェクト発展Ｂ	4		
	プロジェクト発展Ｃ	4		
	プロジェクト発展Ｄ	4		
	プロジェクト発展Ｅ		1	

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	プロジェクト発展Ｆ		2	
	プロジェクト発展Ｇ		3	
	プロジェクト発展Ｈ		4	
	【ゼミナール科目】			
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４		2	
	ゼミナール５		2	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
経営学部 会計ガバナンス 学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		1	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【基礎科目群】			
	会計人と倫理	4		
	簿記１	2		
	簿記２	2		
	会計学入門	2		
	経営学入門		2	
	経済学入門		2	
	【基幹科目群】			
	簿記３		2	
	簿記４		2	
	工業簿記１		2	
	工業簿記２		2	
	原価計算１		2	
	原価計算２		2	
	財務会計１		2	
	財務会計２		2	
	管理会計１		2	
	管理会計２		2	
	コーポレート・ガバナンス論１		2	
	企業と社会		2	
	企業倫理		2	
	【展開科目群】			

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	共生原理		2	
	アドバンス簿記１		2	
	アドバンス簿記２		2	
	財務会計３		2	
	財務会計４		2	
	連結会計		2	
	管理会計３		2	
	管理会計４		2	
	コーポレート・ファイナンス論		2	
	国際財務報告論		2	
	監査論		2	
	非営利会計論１		2	
	非営利会計論２		2	
	公会計論１		2	
	公会計論２		2	
	租税法１		2	
	租税法２		2	
	税務会計１		2	
	税務会計２		2	
	コーポレート・ガバナンス論２		2	
	ＣＳＲ論		2	
	統合報告書論１		2	
	統合報告書論２		2	
	会計データ分析１		2	
	会計データ分析２		2	
	会計インターンシップ		2	
	金融論１		2	
	金融論２		2	
	フィナンシャル・プランニング論１		2	
	フィナンシャル・プランニング論２		2	
	【応用科目群】			
	会計学特殊研究Ａ		2	
	会計学特殊研究Ｂ		2	
	【課題研究】			
	プレゼミ１	2		
	プレゼミ２	2		
	ゼミナール１	2		
	ゼミナール２	2		
	ゼミナール３	2		
	ゼミナール４	2		
	卒業論文		4	
	【資格科目群】			
	地方公務員特殊研究１		4	
	地方公務員特殊研究２		4	
	地方公務員特殊研究３		4	
	地方公務員特殊研究４		4	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	民法Ｓ１(総則)		2	
	民法Ｓ２(物権法・担保物権法)		2	
	民法Ｓ３(債権各論)		2	
	民法Ｓ４(債権総論)		2	
	経済学Ｓ１（経済学入門)		2	
	経済学Ｓ２（ミクロ経済学)		2	
	経済学Ｓ３（ミクロ経済学)		2	
	経済学Ｓ４（マクロ経済学)		2	
	経済学Ｓ５（マクロ経済学)		2	
	キャリア開発		2	
	【育成プログラム】			
	公認会計士・税理士育成プログラム１		1	
	公認会計士・税理士育成プログラム２		4	
	公認会計士・税理士育成プログラム３		4	
	公認会計士・税理士育成プログラム４		4	

ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科
別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【専門共通科目】			
	データサイエンス学	2		
	人類と人工知能（AI）	2		
	メディアクリエーション・データデザイン演習Ⅰ	1		
	メディアクリエーション・データデザイン演習Ⅱ	1		
	データサイエンスプログラミング演習Ⅰ	1		
	データサイエンスプログラミング演習Ⅱ	1		
	データと数理Ⅰ	2		
	データと数理Ⅱ	2		
	データと経済統計	2		
	データと計量経済学	2		
	ソーシャルイノベーションの起こし方	2		
	グリーンエコノミー基礎	2		
	サイバーフィジカルシステム	2		
	機械学習と深層学習	2		
	Webテクノロジ	2		
	複合現実	2		
	マーケティングデータ分析	2		
	機械学習デザイン演習Ⅰ	1		
	機械学習デザイン演習Ⅱ	1		
	人工知能(AI)デザイン演習Ⅰ	1		
	人工知能(AI)デザイン演習Ⅱ	1		
	データサイエンス特論	2		オムニバス
	情報経済特論	2		

ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	データマイニング	2		
	【専門コース科目】			
	〈AIクリエーション・コース〉			
	人工知能(AI)テクノロジ		2	
	マルチメディア知識ベース		2	
	人工知能(AI)・人間協調進化システム		2	
	人工知能(AI)ゲームクリエーション		2	
	ロボティクス・IoT		2	
	サイバーセキュリティと人工知能(AI)		2	
	〈AIアルゴリズムデザイン・コース〉			
	機械学習アルゴリズムデザイン		2	
	データベースデザイン		2	
	画像・音声認識システム		2	
	テキストマイニング		2	
	時空間データベース		2	
	リアルワールド解析シミュレータ		2	
	〈ソーシャルイノベーション・コース〉			
	マーケティング・オートメーション		2	
	人工知能(AI)社会の情報倫理		2	
	社会・環境・ビジネスデザイン		2	
	グローバル・ビジネス・ガバナンス		2	
	ビジネスモデル創出		2	
	社会・環境・ビジネスフィールドワーク		2	
	〈演習〉			
	専門コース演習Ⅰ(人工知能（AI）クリエーション)	1		オムニバス
	専門コース演習Ⅱ(人工知能（AI）アルゴリズムデザイン)	1		オムニバス
	専門コース演習Ⅲ（ソーシャルイノベーション)	1		オムニバス
	【社会連携型教育】			
	社会連携活動概論	1		
	データサイエンス社会実践学習（短期）		1	メディア
	データサイエンス社会実践学習（中期）		2	メディア
	データサイエンス社会実践学習（長期）		3	メディア
	データサイエンス社会実践学習（海外）		4	メディア
	【プロジェクト型科目】			
	未来創造PJ-AⅠ		4	
	未来創造PJ-BⅠ		2	
	未来創造PJ-AⅡ		4	
	未来創造PJ-BⅡ		2	
	未来創造PJ-AⅢ		4	
	未来創造PJ-BⅢ		2	
	未来創造PJ-AⅣ		4	
	未来創造PJ-BⅣ		2	
	卒業論文創成課題	2		
	卒業論文Ⅰ	4		
	卒業論文Ⅱ	4		

人間科学部人間科学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
人間科学部 人間科学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

人間科学部人間科学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

人間科学部人間科学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	人間学入門	2		
	人間科学基礎	2		
	人間論基礎	2		
	基礎ゼミ１	1		
	基礎ゼミ２	1		
	心理学概論Ⅰ	2		
	心理学概論Ⅱ	2		
	心理学研究法		2	
	心理学統計法		2	
	メンタルヘルス論Ⅰ	2		
	メンタルヘルス論Ⅱ		2	
	対人コミュニケーション論		2	
	【人間学基幹科目群】			
	東洋思想論１		2	
	東洋思想論２		2	
	西洋思想論１		2	
	西洋思想論２		2	
	平和学		2	
	宗教学概論		2	
	仏教心理論		2	【人間学基幹科目群】の中から8単位選択必修
	死生学		2	
	【臨床心理科目群】			

人間科学部人間科学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	心理学実験１		2	
	心理学実験２		2	
	知覚・認知心理学	2		
	感情・人格心理学		2	
	学習・言語心理学		2	
	臨床心理学概論	2		
	発達心理学１	2		
	発達心理学２		2	
	人格心理学		2	
	司法・犯罪心理学１		2	
	司法・犯罪心理学２		2	
	教育・学校心理学		2	
	家族心理学		2	
	心理的アセスメント		2	
	心理療法論（心理学的支援法）		2	
	臨床心理学特殊演習		2	
	精神分析学		2	
	英語文献研究		2	
	カウンセリング演習		1	
	心理演習		1	
	公認心理師の職責		2	
	心理実習１		1	
	心理実習２		1	
	【産業・社会科目群】			
	社会学	2		
	地域社会学		2	
	家族社会学		2	
	社会調査法		2	
	社会調査実習		2	
	社会・集団・家族心理学	2		
	社会心理学		2	
	対人行動論１	2		
	対人行動論２		2	
	産業・組織心理学		2	
	集団心理学		2	
	産業カウンセリング論		2	
	コミュニティ心理学		2	
	オフィス環境心理学		2	
	文化心理学		2	
	マスコミュニケーション論		2	
	社会保障		4	
	公的扶助		2	
	地域福祉		2	
	コミュニティワーク		2	
	権利擁護と成年後見制度		2	
	現代社会と福祉		4	
	福祉行財政と福祉計画		2	
	関係行政論		2	

人間科学部人間科学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	【生命・健康科学科目群】			
	生命科学１	2		
	生命科学２		2	
	生命科学実験演習１		1	
	生命科学実験演習２		1	
	自然人類学１	2		
	自然人類学２		2	
	生理実験演習１		1	
	生理実験演習２		1	
	脳と心１		2	
	脳と心２		2	
	統計推計学		2	
	健康・医療心理学	2		
	健康科学		2	
	精神医学（精神疾患とその治療）		4	
	医学知識（人体の構造と機能及び疾病）		2	
	心身医学		2	
	障害者・障害児心理学		2	
	福祉心理学		2	
	神経・生理心理学		2	
	スポーツ心理学		2	
	生体適応論		2	
	【精神保健福祉科目群】			
	精神科リハビリテーション学		4	
	精神保健福祉論Ⅰ		2	
	精神保健福祉論Ⅱ		2	
	精神保健福祉論Ⅲ		2	
	ソーシャルワーク論		2	
	精神科ソーシャルワーク論		2	
	精神保健福祉援助技術各論		4	
	精神保健福祉援助演習Ⅰ		1	
	精神保健福祉援助演習Ⅱ		1	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ		1	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		2	
	精神保健福祉援助実習		4	
	保健医療サービス		2	
	障害者福祉サービス		2	
	【人間論演習】			
	人間論演習	2		
	【フィールド・スタディーズ発展（学科）】			
	フィールド・スタディーズ発展１（人間科学）		3	
	フィールド・スタディーズ発展２（人間科学）		3	
	【総合科目】			
	人間科学プロジェクト１		2	

人間科学部人間科学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	人間科学プロジェクト２		2	
	総合研究１		2	
	総合研究２		2	
	International Lectures(Human Sciences)1		1	
	International Lectures(Human Sciences)2		1	
	【卒業研究】			
	卒業論文	2		
	卒業論文演習１	1		
	卒業論文演習２	1		

人間科学部社会福祉学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
人間科学部 社会福祉学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

人間科学部社会福祉学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

人間科学部社会福祉学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【社会福祉基盤形成科目群】			
	ソーシャルワークの基盤と専門職１	2		
	ソーシャルワークの基盤と専門職２	2		
	ソーシャルワークの理論と方法１	2		
	ソーシャルワークの理論と方法２	2		
	地域福祉と包括的支援体制１	2		
	地域福祉と包括的支援体制２	2		
	コミュニティ・オーガナイジング論		2	
	ケースマネジメント論		2	
	ソーシャルワークの理論と方法３	2		
	ソーシャルワークの理論と方法４	2		
	社会福祉の原理と政策１	2		
	社会福祉の原理と政策２	2		
	【社会福祉実践領域科目群】			
	高齢者福祉	2		
	障害者福祉	2		
	児童・家庭福祉	2		
	貧困に対する支援	2		
	保健医療と福祉	2		
	ソーシャルアントレプレナー論		2	
	ファンドレイジング論		2	
	リハビリテーション論		2	
	刑事司法と福祉	2		

人間科学部社会福祉学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	家族福祉論		2	
	女性福祉論		2	
	スクールソーシャルワーク論		2	
	多文化共生ソーシャルワーク論１		2	
	多文化共生ソーシャルワーク論２		2	
	【社会福祉制度政策科目群】			
	福祉サービスの組織と経営	2		
	社会保障１	2		
	社会保障２	2		
	社会福祉発達史		2	
	【社会福祉関係科目群】			
	社会学	2		
	危機介入論		2	
	生と死を考える福祉論		2	
	心理学	2		
	社会調査の基礎	2		
	フィールド実習指導1		2	
	フィールド実習指導2		2	
	フィールド実習1		2	
	フィールド実習2		4	
	医学概論	2		
	権利擁護を支える法制度	2		
	発達心理学		2	
	児童精神医学		2	
	精神医学総論		2	
	犯罪・非行心理学		2	
	教育社会学		2	
	住環境論		2	
	学校の制度		2	
	生徒指導論		2	
	精神保健の課題と支援		2	
	【社会福祉実践研究力形成科目群】			
	社会福祉基礎ゼミナール	2		
	社会福祉発展ゼミナール	2		
	ソーシャルワーク演習1	2		
	ソーシャルワーク実習指導1		2	
	ソーシャルワーク演習2	2		
	ソーシャルワーク演習3	2		
	海外ソーシャルワーク実習		1	
	社会福祉専門ゼミナール１	2		
	ソーシャルワーク演習4	2		
	ソーシャルワーク実習指導2		2	
	ソーシャルワーク演習5		2	
	ソーシャルワーク実習指導3		2	
	ソーシャルワーク実習		5	
	社会福祉専門ゼミナール２	2		

人間科学部社会福祉学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	スクールソーシャルワーク演習		2	
	スクールソーシャルワーク実習指導		2	
	スクールソーシャルワーク実習		2	
	卒業研究		2	
	【社会福祉実践力統合科目群】			
	社会福祉職業論		1	
	社会福祉特講１		1	
	社会福祉特講２		1	
	社会福祉特講３		1	
	社会福祉特講４		1	

工学部環境システム学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
工学部 環境システム学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

工学部環境システム学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

工学部環境システム学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連〕			
	日本国憲法		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	環境システム学初年次ゼミナール	2		
	環境問題概論１	2		
	環境問題概論２	2		
	環境英語入門１	1		
	環境英語入門２	1		
	環境科学基礎Ａ	1		
	環境科学基礎Ｂ	1		
	環境科学基礎Ｃ	1		
	【学科基幹科目】			
	環境エネルギー概論	2		
	環境マネジメント論	2		
	生態系マネジメント	2		
	環境心理学		2	
	地球史		2	
	化学概論１		2	
	地学概論１		2	
	生物学概論１		2	
	環境英語１		2	
	調査統計法		2	

工学部環境システム学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	環境リサイクル論	2		
	環境システム学基礎ゼミナール	1		
	環境政策論		2	
	環境経済学		2	
	化学概論２		2	
	地学概論２		2	
	生物学概論２		2	
	環境英語２		2	
	食環境学		2	
	環境科学基礎実験		2	
	水環境学		2	
	環境システム学ゼミナール１	2		
	環境マネジメントシステム論		2	
	分子生態学		2	
	景観生態学		2	
	環境物理学		2	
	ライフサイクルアセスメント		2	
	環境思想		2	
	環境システム思考	2		
	環境教育論		2	
	環境倫理		2	
	エコプロダクツ		2	
	環境システム学ゼミナール２	2		
	持続可能社会論	2		
	社会技術論		2	
	エコマテリアル		2	
	資源エネルギー論		2	
	環境経営論		2	
	国際環境論		2	
	環境リスク論		2	
	環境地球化学		2	
	【学科展開科目】			
	環境プロジェクト入門		2	
	環境モニタリング１		2	
	環境システム学特殊授業１		2	
	環境システム学特殊授業２		2	
	環境システム学特殊授業３		2	
	環境システム学特殊授業４		1	
	環境システム学特殊授業５		1	
	環境プロジェクト１Ａ		2	
	環境プロジェクト１Ｂ		2	
	環境モニタリング２		2	
	化学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	環境分析化学		2	
	生物学特論１		2	
	環境英語３		2	
	環境モニタリング３		2	

工学部環境システム学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	環境材料化学		2	
	生物学特論２		2	
	環境英語４		2	
	環境アセスメント		2	
	ローカルガバナンス論		2	
	地学実験（コンピュータ活用を含む）		2	
	環境学総合演習		2	
	環境インターンシップ１		2	
	環境インターンシップ２		2	
	環境インターンシップ３		2	
	自然環境教育演習		2	
	環境プロジェクト２Ａ		2	
	環境プロジェクト２Ｂ		2	
	環境工学特講		2	
	【総合科目】			
	総合研究基礎１		1	
	総合研究基礎２		1	
	総合研究１		2	
	総合研究２		2	
	総合研究３		4	
	【卒業研究】			
	卒業研究	2		
	卒業論文		4	

工学部数理工学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
工学部 数理工学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

工学部数理工学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

工学部数理工学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連〕			
	日本国憲法		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	数理工学入門	2		
	線形代数１	2		
	微積分１	2		
	数学演習1		1	
	線形代数２	2		
	線形代数2演習		1	
	微積分２	2		
	微積分2演習		1	
	情報処理		2	
	プログラミング演習		1	
	基礎物理1	2		
	基礎物理2	2		
	線形代数３	2		
	微積分３	2		
	数学演習2		1	
	微分方程式１	2		
	数理工学概論1	2		
	ベクトル解析	2		
	複素解析	2		
	アルゴリズム		2	

工学部数理工学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	微分方程式２		2	
	【学科基幹科目】			
	数理工学実験1		2	
	確率・統計	2		
	応用代数		2	
	数理物理		2	
	数理工学実験2		2	
	数理統計学		2	
	応用幾何		2	
	情報理論		2	
	数理工学概論2	2		
	応用複素解析		2	
	グラフ理論入門		2	
	フーリエ解析		2	
	多変量解析		2	
	数値解析		2	
	環境・エネルギー工学		2	
	知的財産論		2	
	フーリエ解析		2	
	多変量解析		2	
	最適化理論		2	
	量子力学とナノ工学		2	
	機械学習		2	
	システム工学		2	
	応用微分方程式		2	
	計画工学		2	
	計算幾何学		2	
	信号処理		2	
	【学科展開科目】			
	プロジェクト１		4	
	保険数学		2	
	離散数理工学		2	
	確率数理工学		2	
	データベースと情報管理		2	
	プロジェクト２		4	
	連続体力学		2	
	生命情報学		2	
	トポロジーとその応用		2	
	金融工学		2	
	【卒業研究】			
	数理工学研究１	2		
	数理工学研究２	2		

工学部数理工学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	数理工学研究３	2		
	卒業研究	4		

工学部建築デザイン学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
工学部 建築デザイン学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

工学部建築デザイン学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語リテラシー	1		
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

工学部建築デザイン学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	基礎デザイン１	2		
	空間表現論	2		
	基礎ゼミ	2		
	基礎デザイン２	2		
	デザインテクノロジー1	2		
	デザインテクノロジー2	2		
	【学科基幹科目】			
	設計製図１	4		
	建築計画	2		
	デザインテクノロジー3	2		
	デザインテクノロジー4	2		
	設計製図２	4		
	日本の建築	2		
	設計方法論	2		
	建築構造	2		
	建築材料	2		
	建築施工法	2		
	建築法規	2		
	建築学演習	2		
	【学科展開科目】			
	住居論		2	

工学部建築デザイン学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	住居史		2	
	住宅衛生		2	
	プロジェクト１		2	
	西洋の建築		2	
	建築と環境		2	
	インテリアデザイン１		2	
	構造力学１		2	
	構造力学演習１		2	
	デザインテクノロジー発展１		2	
	デザインテクノロジー発展２		2	
	環境工学		2	
	建築環境行動		2	
	プロジェクト２		4	
	設計製図３		4	
	建築景観論		2	
	音環境		2	
	建築設備１		2	
	構造力学２		2	
	構造力学演習２		2	
	デザインテクノロジー発展３		2	
	デザインテクノロジー発展４		2	
	インテリアデザイン２		2	
	都市防災		2	
	都市環境		2	
	設計製図４		4	
	アジアの建築		2	
	光環境		2	
	建築設備２		2	
	構造力学３		2	
	建築構造デザイン		2	
	環境デザイン		2	
	空間とデザイン		2	
	ランドスケープデザイン		2	
	プロジェクト３		4	
	建築環境論		2	
	建築構造論		2	
	建築文化論		2	
	プロジェクト４		4	
	フィールド・スタディーズ発展1（建築）		1	
	フィールド・スタディーズ発展2（建築）		2	
	【卒業研究】			
	卒業研究	6		

教育学部教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
教育学部 教育学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	学校教育専修理科コースは２単位選択必修
	フィールド・スポーツ		1	
	体育講義		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	

教育学部教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎１		1	
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

教育学部教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連〕			
	日本国憲法		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			コースごとの必修科目は
	学科入門ゼミ		2	教育学部教育学科履修内
	発達心理学		2	規の定めによる
	教育原理		2	
	教育心理学		2	
	【学科基幹科目】			
	学科発展ゼミ		2	
	児童教育演習		2	
	教職論		2	
	教育の制度		2	
	教育課程論		2	
	学級経営論		2	
	【学科展開科目】			
	＜福祉関連科目＞			
	社会福祉		2	
	児童家庭福祉		2	
	＜初等・中等教育関連科目群＞			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	

教育学部教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	道徳教育の理論と方法		2	
	教育の方法と技術		2	
	生徒指導・進路指導論		2	
	教育相談		2	
	特別支援教育		2	
	＜指導法関連科目群＞			
	初等国語科指導法		2	
	初等社会科指導法		2	
	初等算数科指導法		2	
	初等理科指導法		2	
	初等生活科指導法		2	
	初等音楽科指導法		2	
	初等図画工作科指導法		2	
	初等家庭科指導法		2	
	初等体育科指導法		2	
	初等外国語（英語）指導法		2	
	国語科指導法Ａ		2	
	国語科指導法Ｂ		2	
	書道科指導法Ａ		2	
	書道科指導法Ｂ		2	
	英語科指導法Ａ		2	
	英語科指導法Ｂ		2	
	理科指導法Ⅰ		4	
	国語科教育法Ａ		2	
	国語科教育法Ｂ		2	
	書道科教育法		2	
	英語科教育法Ａ		2	
	英語科教育法Ｂ		2	
	理科指導法Ⅱ		4	
	＜教科・基礎技能関連科目群＞			
	国語（書写を含む。）		2	
	社会		2	
	算数		2	
	理科		2	
	生活		2	
	音楽Ａ		2	
	音楽Ｂ		2	
	図画工作Ａ		2	
	図画工作Ｂ		2	
	家庭		2	
	体育Ａ		2	
	体育Ｂ		2	
	初等外国語（英語）		2	
	日本語学概論Ａ		2	
	日本語学概論Ｂ		2	
	古代文学		2	
	中古文学		2	

教育学部教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	中世文学		2	
	近世文学		2	
	近代文学		2	
	現代文学		2	
	漢文学		2	
	書道		2	
	書道史		2	
	書論・鑑賞		2	
	書道学特講		2	
	英語学A		2	
	英語学B		2	
	英米文学・文化史A		2	
	英米文学・文化史B		2	
	Practical Communication A		2	
	Practical Communication B		2	
	現代英米事情A		2	
	現代英米事情B		2	
	Comprehensive English A		2	
	Comprehensive English B		2	
	Comprehensive English C		2	
	Comprehensive English D		2	
	異文化理解A		2	
	異文化理解B		2	
	物理学概論１		2	
	物理学概論２		2	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	化学概論１		2	
	化学概論２		2	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	生物学概論１		2	
	生物学概論２		2	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	地学概論１		2	
	地学概論２		2	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
	理科実験指導論		2	
	＜教科・応用科目群＞			
	ＩＣＴ活用論Ａ		2	
	ＩＣＴ活用論Ｂ		2	
	Reading/Writing		2	
	実用英語音声学		2	
	英語プレゼンテーション		2	
	科学基礎１		2	
	科学基礎２		2	
	物理学特論１		2	
	物理学特論２		2	
	化学特論１		2	
	化学特論２		2	

教育学部教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	生物学特論１		2	
	生物学特論２		2	
	地学特論１		2	
	地学特論２		2	
	環境教育学		2	
	自然環境教育演習１		2	
	自然環境教育演習２		2	
	＜国際教員養成科目群＞			
	国際バカロレア概説Ⅰ		2	
	国際バカロレア概説Ⅱ		2	
	国際バカロレア概説Ⅲ		2	
	異文化理解（国際教育）		2	
	２１世紀型スキルの基礎		1	
	２１世紀型スキルの育成		2	
	【実習関係】			
	教育インターンシップゼミ		2	
	教育インターンシップ		2	
	教育海外研修		4	
	教育プレ実習		1	
	教育実習指導【小学校】		1	
	教育実習【小学校】		4	
	教育実習【中学校・高等学校】		3	
	教育実習【中学校】		2	
	教職実践演習（小・中・高）		2	
	【卒業研究】			
	総合演習		2	

教育学部幼児教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
教育学部 幼児教育学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	体育講義		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	

教育学部幼児教育学科

別表（1）

区分／学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎１		1	
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【教養日本語】			
	日本語基礎Ａ		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
	日本語基礎Ｂ		1	
	日本語基礎Ｃ		1	
	日本語基礎Ｄ		1	
	日本語発展Ａ		1	
	日本語発展Ｂ		1	
	日本語発展Ｃ		1	
	日本語発展Ｄ		1	
	日本事情		2	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	

教育学部幼児教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	証券ビジネス論		2	
	未来型都市とメディア		2	
	〔教職関連〕			
	日本国憲法		2	教職必修
	〔学科科目〕			
	【学科基礎科目】			
	学科入門ゼミ	2		
	発達心理学１（保・幼）	2		
	保育原理	2		
	教育原理１（保・幼）	2		
	【学科基幹科目】			
	学科発展ゼミ	2		
	児童教育演習	2		
	教育心理学（幼）	2		
	教職論（保育者論）	2		
	教育課程論（保・幼）	2		
	発達心理学２（保・幼）		2	
	教育の制度（幼）	2		
	教育原理２		2	
	【学科展開科目】			
	＜保育・幼児教育関連科目群＞			
	社会福祉	2		
	子ども家庭福祉	2		
	社会的養護１	2		

教育学部幼児教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	子どもの保健	2		
	子どもの健康と安全	1		
	子どもの食と栄養	2		
	子ども家庭支援論	2		
	乳児保育１	2		
	乳児保育２	1		
	特別支援教育（保・幼）	2		
	社会的養護２	1		
	教育の方法と技術（幼）	2		
	幼児理解と教育相談（幼）	2		
	仏教保育論		2	
	＜発達・子育て支援科目群＞			
	地域子育てネットワーク論		2	
	音楽療法		2	
	保育インターンシップ		1	
	児童心理臨床		2	
	子育て支援	1		
	子どもの理解と援助	1		
	発達検査法		1	
	芸術療法		1	
	病児保育論		2	
	＜領域及び保育内容指導法関連科目群＞			
	保育内容指導法（健康）		2	
	保育内容指導法（人間関係）		2	
	保育内容指導法（環境）		2	
	保育内容指導法（言葉）		2	
	保育内容指導法（身体表現）１	1		
	保育内容指導法（身体表現）２		1	
	保育内容指導法（造形表現）１	1		
	保育内容指導法（造形表現）２		1	
	保育内容指導法（音楽表現）１	1		
	保育内容指導法（音楽表現）２		1	
	保育内容総論	1		
	保育内容（健康）	1		
	保育内容（人間関係）	1		
	保育内容（環境）	1		
	保育内容（言葉）	1		
	保育内容（表現）	1		
	＜領域関連専門科目群＞			
	国語（書写を含む。）（幼）		2	
	算数（幼）		2	
	生活（幼）		2	
	音楽基礎（保・幼）	2		
	声楽（保・幼）		2	
	器楽（保・幼）		2	
	造形１（保・幼）	1		

教育学部幼児教育学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	造形２（保・幼）		1	
	造形３（保・幼）		1	
	造形４（保・幼）		1	
	体育１（保・幼）	1		
	体育２（保・幼）		1	
	体育３（保・幼）		2	
	総合表現		1	
	児童文学		2	
	児童文化	1		
	＜国際教員養成科目群＞			
	国際バカロレア概説Ⅰ	2		
	国際バカロレア概説Ⅱ		2	
	国際バカロレア概説Ⅲ		2	
	異文化理解（国際教育）		2	
	２１世紀型スキルの基礎		1	
	２１世紀型スキルの育成		2	
	児童英語		1	
	国際保育論		2	
	【実習関係科目】			
	保育・教育海外研修		1	
	プレ実習（保育内容の理解と方法）		1	
	教育実習指導１－１		1	
	教育実習指導１－２		1	
	教育実習１－１		2	
	教育実習１－２		3	
	保育実習指導１（保育所）		1	
	保育実習指導１(施設)		1	
	保育実習指導２		1	
	保育実習指導３		1	
	保育実習１（保育所）		2	
	保育実習１(施設)		2	
	保育実習２		2	
	保育実習３		2	
	教職実践演習（幼）		2	
	保育実践演習		2	
	【卒業研究】			
	卒業研究		2	

薬学部薬学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
薬学部 薬学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

薬学部薬学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ		1	
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【全学教養ゼミナール】			

薬学部薬学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	【学科科目】			
	＜薬学準備教育科目＞			
	基礎物理学	2		
	薬学物理化学	2		
	薬学数学１	2		
	薬学数学２	2		
	薬学統計学	2		
	基礎化学	2		
	薬学化学１	2		
	薬学化学２	2		
	基礎生物学	2		
	薬学生物学	2		
	医療統計学･生物学的試験法		2	
	生命倫理・医療倫理学	2		
	死生学	2		
	＜薬学基幹科目＞			
	薬学概論・レギュラトリーサイエンス概論	1		
	早期体験実習	1		
	薬学総合演習１	3		
	薬学総合演習２	2		
	薬学総合演習３	4		
	卒業研究１	8		
	卒業研究２	8		
	研究者養成コース薬学研究		2	
	＜物理系薬学を学ぶ＞			
	医薬品分析化学１	2		
	医薬品分析化学２	2		
	医薬品物理化学	2		
	放射性医薬品学	1		
	物理系実験実習１	1		
	物理系実験実習２	1		
	＜化学系薬学を学ぶ＞			
	有機化学１	2		
	有機化学２	2		
	有機化学３	2		
	有機化学４	2		
	生薬化学１	1		
	生薬化学２	2		
	化学系実験実習１	1		
	化学系実験実習２	1		

薬学部薬学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	＜生物系薬学を学ぶ＞			
	解剖学１	2		
	解剖学２	2		
	生理学１	2		
	生理学２	2		
	生化学１	2		
	生化学２	2		
	分子生物学	2		
	微生物医薬品学１	2		
	微生物医薬品学２	2		
	生物系実験実習１	1		
	生物系実験実習２	1		
	生物系実験実習３	1		
	＜衛生薬学を学ぶ＞			
	栄養代謝化学	2		
	食品衛生学	2		
	環境衛生学１	2		
	環境衛生学２	2		
	公衆衛生学	2		
	衛生薬学実験実習	1		
	＜医療薬学を学ぶ＞			
	薬理学１	2		
	薬理学２	2		
	薬理学３	2		
	薬効安全性学	1		
	薬物療法学１	2		
	薬物療法学２	2		
	薬物動態学１	2		
	薬物動態学２	2		
	物理薬剤学	2		
	製剤学	2		
	天然薬物学	1		
	一般用医薬品学	2		
	医薬品情報学	1		
	薬業経済学	1		
	病態学１	2		
	病態学２	2		
	医薬品開発学	2		
	臨床生化学・臨床検査学	2		
	医療薬学実験実習１	1		
	医療薬学実験実習２	1		
	医療薬学実験実習３	1		
	医療薬学実験実習４	1		
	漢方治療学		1	

薬学部薬学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	薬局経営論		1	
	＜薬学臨床を学ぶ＞			
	臨床薬剤学１	2		
	臨床薬剤学２	2		
	薬剤疫学	1		
	臨床薬学	2		
	臨床調剤学	2		
	臨床薬物治療学	2		
	基礎調剤実習	1		
	臨床調剤学実習	1		
	事前実習	4		
	病院薬局実務実習	12		
	保険薬局実務実習	12		
	＜法規・制度を学ぶ＞			
	薬事行政(制度)・関係法規	2		
	＜香粧薬学系科目を学ぶ＞			
	香粧品学概論		1	
	香粧品学１		2	
	香粧品学２		2	
	＜製薬産業系科目を学ぶ＞			
	製薬産業論		1	
	化粧品産業論		1	
	臨床開発各論		1	
	＜キャリア開発科目＞			
	キャリアデザイン１	1		
	キャリアデザイン２		1	
	インターンシップ１（企業）		1	
	インターンシップ２（病院・薬局）		1	
	＜グローバル薬学科目＞			
	薬学英語１		1	
	薬学英語２		1	
	薬学英語３		1	
	International Lectures 1(pharm)		1	
	International Lectures 2(pharm)		1	

看護学部看護学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
看護学部 看護学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展Ａ		1	
	情報技法発展Ｂ		1	
	情報技法発展Ｃ		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展Ａ		1	
	プログラミング発展Ｂ		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用１		1	
	機械学習活用２		1	
	データサイエンス活用１		1	
	データサイエンス活用２		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎Ａ	2		
	英語基礎Ｂ		1	
	英語基礎Ｃ	2		
	英語基礎Ｄ		1	
	英語発展Ａ		1	
	英語発展Ｂ		1	
	英語発展Ｃ		1	
	英語発展Ｄ		1	
	英語綜合Ａ		1	
	英語綜合Ｂ		1	
	中国語基礎１		1	
	中国語基礎２		1	
	中国語発展１		1	
	中国語発展２		1	
	フランス語基礎１		1	
	フランス語基礎２		1	
	フランス語発展１		1	
	フランス語発展２		1	
	ドイツ語基礎１		1	

看護学部看護学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	ドイツ語基礎２		1	
	ドイツ語発展１		1	
	ドイツ語発展２		1	
	スペイン語基礎１		1	
	スペイン語基礎２		1	
	スペイン語発展１		1	
	スペイン語発展２		1	
	韓国語基礎１		1	
	韓国語基礎２		1	
	韓国語発展１		1	
	韓国語発展２		1	
	留学準備１		1	
	留学準備２		1	
	英語資格・検定試験対策１		1	
	英語資格・検定試験対策２		1	
	【ＣＨＰ】			
	ＳＤＧｓ基礎	1		
	ＳＤＧｓ発展１	1		
	ＳＤＧｓ発展２	1		
	ＳＤＧｓ発展３	1		
	ＳＤＧｓ特講		2	
	【フィールド・スタディーズ】			
	フィールド・スタディーズ	1		
	フィールド・スタディーズ１		1	
	フィールド・スタディーズ２		2	
	フィールド・スタディーズ３		3	
	フィールド・スタディーズ４		4	
	フィールド・スタディーズ発展１Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展１Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展２Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展３Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｄ		4	
	フィールド・スタディーズ発展３Ｅ		5	
	フィールド・スタディーズ発展４Ａ		1	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｂ		2	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｃ		3	
	フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
	【インターンシップ】			

看護学部看護学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	インターンシップ		1	
	企業協働プロジェクト		2	
	【全学教養ゼミナール】			
	全学教養ゼミナール１		2	
	全学教養ゼミナール２		2	
	【寄付講座】			
	武蔵野市自由講座		2	
	【学科教養科目】			
	日本国憲法		2	教職必修
	社会学		2	
	基礎生物		2	
	基礎化学		2	
	心理学の基礎１		2	
	心理学の基礎２		2	
	人間工学		2	
	ケアマネジメント論		2	
	家族関係論		2	
	死生学		2	
	フィールド・スタディーズ発展（看護）		4	
	〔学科科目〕			
	【専門基礎科目】			
	体の働き１（形態）	1		
	体の働き２（機能）	1		
	病理学	2		
	疾病治療論１（急性期）	2		
	疾病治療論２（慢性期）	2		
	疾病治療論３（母子）	2		
	疾病治療論４（感染と免疫）	1		
	疾病治療論５（精神）	1		
	栄養学	1		
	薬理学	2		
	公衆衛生学	2		
	疫学総論	2		
	保健統計学	2		
	保健医療福祉行政論	2		
	生命倫理・医療倫理学	2		
	健康保健学		2	
	健康環境論		2	
	臨床栄養学		1	養護教諭は必修
	精神保健論		1	
	セクシュアリティ論		1	
	【看護学・看護実践の基本】			
	看護学概論	2		
	基礎看護実習	3		

看護学部看護学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	基礎看護実践論１(看護実践の基礎)	1		
	基礎看護実践論２(ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ技術)	2		
	基礎看護実践論３(生活行動援助技術)	2		
	基礎看護実践論４(看護実践基礎技術)	2		
	看護倫理	1		
	【健康的な個人･家族を対象とした看護】			
	地域看護論１	2		
	成人看護論１	1		
	老年看護論１	2		
	精神看護論１	1		
	母性看護論１	2		
	小児看護論１	1		
	家族看護論	1		
	看護実践統合演習１	1		
	ヘルスプロモーション実習	2		
	【疾患をもつ個人・家族の看護】			
	成人看護論２Ａ(急性期看護)	2		
	成人看護論２Ｂ(慢性期看護)	2		
	老年看護論２	1		
	在宅看護論	2		
	看護実践統合演習２－１(看護過程展開)	1		
	看護実践統合演習２－２(援助技術)	2		
	精神看護論２	2		
	終末期看護論	1		
	母性看護論２	1		
	小児看護論２	2		
	老年看護論実習	2		
	精神看護論実習	2		
	母性看護論実習	2		
	小児看護論実習	2		
	成人看護論実習Ａ(急性期)	2		
	成人看護論実習Ｂ(慢性期)	2		
	在宅看護論実習	3		
	【集団・地域の健康問題に関わる看護】			
	地域看護論２	2		
	看護実践統合演習(地域)	1		
	看護管理・政策論	1		
	看護ゼミ	1		
	公衆衛生看護管理論		1	保健師は必修
	公衆衛生看護診断論演習		1	保健師は必修
	公衆衛生看護論実習		2	保健師は必修
	【看護統合】			
	看護教育論		1	
	看護研究１	1		
	看護研究２(論文)	3		

看護学部看護学科

別表（1）

区分 / 学科	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	備考
	総合看護演習	1		
	統合実習	3		
	【自由選択科目】			
	［心理コース］			
	認知心理学１		2	認定心理士は必修
	認知心理学２		2	
	カウンセリング論		2	
	心理療法論		2	
	［医薬コース］			
	薬物療法学		1	
	臨床医薬品概説		2	
	医療美粧論		1	
	生薬療法（漢方）		1	
	一般用医薬品学		1	
	［養護教諭コース］			
	養護概説		2	養護教諭は必修
	学校保健		2	

別表(1)－2　　（削除）

別表(1)－3　　（第12条関係）

上限単位数

文 学 部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
日本文学文化学科	40	44	44	32	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

グローバル学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
グローバルコミュニケーション学科	40	40	40	40	160単位
日本語コミュニケーション学科	40	40	40	40	160単位
グローバルビジネス学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

備考　4月以外に入学した者の履修上限単位数については別に定める。

法学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
法律学科	40	44	44	32	160単位
政治学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

経済学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
経済学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

経営学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
経営学科	40	40	40	40	160単位
会計ガバナンス学科	40	40	40	40	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

アントレプレナーシップ学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
アントレプレナーシップ学科	40	40	40	40	160単位

データサイエンス学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
データサイエンス学科	40	42	44	34	160単位

人間科学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
人間科学科	40	42	42	36	160単位
社会福祉学科	44	42	39	35	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

工学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
環境システム学科	40	40	40	40	160単位
数理工学科	40	40	40	40	160単位
建築デザイン学科	36	46	46	32	160単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

教育学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合　計
教育学科	50	58	54	32	194単位
幼児教育学科	47	44	44	32	167単位
編入生(同系)			40	40	
編入生(異系)			40	40	

備考　上限単位数に含めない科目は別に定める。

薬学部薬学科(6年制)及び看護学部看護学科は履修科目の上限を各学年50単位以内とする。
ただし、薬学部薬学科(6年制)の1年生については履修上限を56単位以内とする。

文学部日本文学文化学科及び法学部法律学科に平成30年3月31日以前から在籍している者については、別に定める。

別表（２）

教職に関する科目

区分／学科	授業科目	授業年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部 工学部 (建築デザイン学科を除く) 看護学部	**〔教職に関する科目〕**				
	教師論	1	2		
	教職特殊研究A	2		2	
	教職特殊研究B	3		4	
	教育原理	1	2		
	発達と学習	1	2		
	学校の制度	2	2		
	特別支援教育		2		
	教育課程論	2	2		
	国語科指導法A	2		2	必修（免許状取得科目を履修）
	国語科指導法B	2		2	
	書道科指導法A	2		2	
	書道科指導法B	2		2	
	英語科指導法A	2		2	
	英語科指導法B	2		2	
	理科指導法	2		4	
	数学科指導法A	2		2	
	数学科指導法B	2		2	
	国語科教育法A	3		2	一部必修（免許状取得科目を履修）
	国語科教育法B	3		2	
	書道科教育法	3		2	
	英語科教育法A	3		2	
	英語科教育法B	3		2	
	理科教育法	3		4	
	数学科教育法A	3		2	
	数学科教育法B	3		2	
	道徳教育の理論と方法	3		2	必修（中1種免）
	道徳教育の理論と方法（総合的な学習の時間及び特別活動を含む）	3		2	必修（看護学部）
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3		2	必修（看護学部を除く）
	教育方法論	3	2		
	生徒指導・進路指導論	2	2		
	教育相談（カウンセリングを含む）	1	2		
	教育実習 Ⅰ	4		3	必修（中1種免・高1種免）
	教育実習 Ⅱ	4		2	必修（中1種免）
	養護実習	4		5	必修（看護学部）
	教職実践演習（中・高）	4		2	必修（中1種免・高1種免）
	教職実践演習（養護教諭）	4		2	必修（看護学部）

別表（３）

司書に関する科目

区分 / 学部	授業科目	授業年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部	〔司書に関する科目〕				
グローバル学部	生涯学習概論	3	2		
(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科のみ)	図書館概論	3	2		
法学部	図書館情報技術論	3	2		
経済学部	図書館制度・経営論	4	2		
人間科学部	図書館サービス概論	4	2		
	情報サービス論	3	2		
	情報サービス演習Ⅰ	3	1		
	情報サービス演習Ⅱ	4	1		
	図書館情報資源概論	3	2		
	情報資源組織論	3	2		
	情報資源組織演習Ⅰ	3	1		
	情報資源組織演習Ⅱ	4	1		
	児童サービス論	4	2		
	図書館情報資源特論	4		2	2科目(4単位) 選択必修
	図書・図書館史	4		2	
	図書館基礎特論	4		2	

別表(4)

司書教諭に関する科目

区分 / 学部	授業科目	授業年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
文学部	〔司書教諭に関する科目〕				
教育学部	学校経営と学校図書館	3	2		
	学校図書館メディアの構成	3	2		
	学習指導と学校図書館	4	2		
	読書と豊かな人間性	3	2		
	情報メディアの活用	4	2		

別表（６）

区分 / 学科	授業科目	授業年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
グローバル学部（日本語コミュニケーション学科のみ）	〔日本語教員養成に関する科目〕				
	【社会・文化・地域】				
	日本研究（歴史・地域・メディア）A	3		2	2単位選択必修
	日本研究（歴史・地域・メディア）B	3		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）C	3		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）D	3		2	
	【言語と社会】				
	異文化コミュニケーションA	1	2		
	異文化コミュニケーションB	1	2		
	【言語と心理】				
	第二言語習得理論A	2	2		
	第二言語習得理論B	2	2		
	【言語と教育】				
	日本語教授法概論A	2	2		
	日本語教授法概論B	2	2		
	日本語実践教育A	3		2	2単位選択必修
	日本語実践教育B	3		2	
	日本語教育学各論A	4		2	
	日本語教育学各論B	4		2	
	日本語教育実習	3	4		
	【言語一般】				
	日本語学概論	1	2		
	日本語学各論A	4		2	4単位選択必修
	日本語学各論B	4		2	
	音声学基礎A	2		2	
	音声学基礎B	2		2	
	日本語教育文法A	3		2	
	日本語教育文法B	3		2	

別表 (7)学費

〔文学部日本文学文化学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教育充実費	178,000　円

〔グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教育充実費	250,000　円

〔法学部法律学科、政治学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教育充実費	178,000　円

〔経済学部経済学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教育充実費	178,000　円

〔経営学部経営学科、会計ガバナンス学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教育充実費	178,000　円

〔アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教育充実費	210,000　円

〔データサイエンス学部データサイエンス学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	970,000　円
教育充実費	260,000　円

〔人間科学部人間科学科、社会福祉学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	770,000　円
教育充実費	178,000　円

〔工学部環境システム学科、数理工学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	950,000　円
教育充実費	275,000　円

〔工学部建築デザイン学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	990,000　円
教育充実費	330,000　円

別表 (7)学費

〔教育学部教育学科、幼児教育学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	820,000　円
教育充実費	222,000　円

〔薬学部薬学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	1,400,000　円
教育充実費	400,000　円

〔看護学部看護学科〕

学　　費	金　　額
入　学　金	180,000　円
授　業　料	1,170,000　円
教育充実費	300,000　円

1. 授業料は2年次以降据え置きとし、前期分、後期分の2期に分納する。
2. 教育充実費については、2年次以降 日本文学文化学科、法律学科、政治学科、経済学科、経営学科、会計ガバナンス学科は年額278,000円、グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科は年額350,000円、アントレプレナーシップ学科は年額310,000円、データサイエンス学科は年額360,000円、社会福祉学科は年額278,000円、人間科学科は年額278,000円、環境システム学科、数理工学科は年額275,000円、教育学科、幼児教育学科は年額312,000円、薬学科は年額460,000円、看護学科は400,000円、建築デザイン学科は、2年次に年額380,000円、3年次以降に年額450,000円を前期分、後期分の2期に分納する。
3. 実費弁償分の実験実習料については、別に定める。
4. (削除)
5. 科目等履修生の履修料は、通年1科目について30,000円(半期及び4学期制の科目は半額)とする。
   単位(資格)取得の場合は通年1科目について70,000円(半期及び4学期制の科目は半額)とする。
6. 同一法人卒業生の入学金については別に定める。

別表(8)

一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士受験資格取得に係る科目

専門分野	授業科目	授業年次	単位数 必修	単位数 選択	備考
建築設計製図	基礎デザイン2	1	2		一級建築士指定科目として7単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として5単位以上修得
	設計製図1	2	4		
	設計製図2	2	4		
	設計製図3	3		4	
	設計製図4	3		4	
建築計画	住居史	1		2	一級建築士指定科目として7単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として7単位以上修得
	住居論	1		2	
	西洋の建築	2		2	
	アジアの建築	3		2	
	日本の建築	2	2		
	建築景観論	3		2	
	設計方法論	2	2		
	建築計画	2	2		
建築環境工学	光環境	3		2	一級建築士指定科目として2単位以上修得
	音環境	3		2	
	建築と環境	2		2	
建築設備	建築設備1	3		2	一級建築士指定科目として2単位以上修得
	建築設備2	3		2	
	建築環境論	4		2	
構造力学	構造力学1	2		2	一級建築士指定科目として4単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として6単位以上修得
	構造力学演習1	2		2	
	構造力学2	3		2	
	構造力学演習2	3		2	
	構造力学3	3		2	
建築一般構造	建築構造	2	2		一級建築士指定科として3単位以上修得
	建築構造デザイン	3		2	
	建築構造論	4		2	
建築材料	建築材料	3	2		一級建築士指定科目として2単位以上修得
建築生産	建築施工法	3	2		一級建築士指定科目として2単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として1単位以上修得
建築法規	建築法規	3	2		一級建築士指定科目として1単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として1単位以上修得
その他	デザインテクノロジー発展1	2		2	一級建築士指定科目として、上記区分ごとの単位を含め、実務経験2年は60単位以上、3年は50～59単位、4年は40～49単位修得 二級・木造建築士指定科目として、上記区分ごとの単位を含め、実務経験0年は40単位以上、1年が30～39単位、2年は20～20単位修得
	デザインテクノロジー発展2			2	
	デザインテクノロジー発展3	3		2	
	デザインテクノロジー発展4			2	
	住宅衛生	1		2	
	インテリアデザイン1	2		2	
	インテリアデザイン2	3		2	
	都市防災	3		2	
	都市環境	3		2	
	建築文化論	4		2	

別表（９）

保　育　士　資　格　課　程　科　目

告示※による教科目					授業科目名	配当年次	単位数		授業時間数（時間）	開講学年	授業形態	備考
系列		教科目	単位数				必修	選択				
教養科目		外国語、体育以外の科目	10以上	6以上	仏教（生き方を考える）基礎	1	2		30	1	講義	
					仏教（生き方を考える）発展		2		30	3	講義	
					データサイエンス基礎	1	1		30	1	演習	
					人工知能基礎	1	1		30	1	演習	
		外国語（演習）		2以上	英語基礎Ａ	1	2		30	1	演習	
					英語基礎Ｃ	1	2		30	1	演習	
		体育（講義）		1	体育講義	1	1		15	1	講義	
		体育（実技）		1	スポーツと身体科学	1	1		30	1	実技	
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理（講義）	2		保育原理	1	2		30	1	講義	
		教育原理（講義）	2		教育原理１（保・幼）	1	2		30	1	講義	
		子ども家庭福祉（講義）	2		子ども家庭福祉	2	2		30	2	講義	
		社会福祉（講義）	2		社会福祉	2	2		30	2	講義	
		子ども家庭支援論（講義）	2		子ども家庭支援論	3	2		30	3	講義	
		社会的養護1（講義）	2		社会的養護1	2	2		30	2	講義	
		保育者論（講義）	2		教職論（保育者論）	3	2		30	1	講義	
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学（講義）	2		発達心理学１（保・幼）	1	2		30	1	講義	
		子ども家庭支援の心理学（講義）	2		発達心理学２（保・幼）	2	2		30	2	講義	
		子どもの理解と援助（演習）	1		子どもの理解と援助	3	1		30	3	演習	
		子どもの保健（講義）	2		子どもの保健	2	2		30	2	講義	
		子どもの食と栄養（演習）	2		子どもの食と栄養	3	2		60	3	演習	
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価（講義）	2		教育課程論（保・幼）	3	2		30	3	講義	
		保育内容総論（演習）	1		保育内容総論	2	1		30	1	演習	
		保育内容演習（演習）	5		保育内容（健康）	2	1		30	2	演習	
					保育内容（人間関係）	2	1		30	1	演習	
					保育内容（環境）	2	1		30	1	演習	
					保育内容（言葉）	2	1		30	1	演習	
					保育内容（表現）	1	1		30	1	演習	
		保育内容の理解と方法（演習）	4		プレ実習（保育内容の理解と方法）	1	1		30	1	演習	
					保育内容指導法（身体表現）1	2	1		30	2	演習	
					保育内容指導法（造形表現）1	2	1		30	2	演習	
					保育内容指導法（音楽表現）1	2	1		30	2	演習	
					児童文化	1	1		30	1	演習	
	保育の内容・方法に関する科目	乳児保育Ⅰ（講義）	2		乳児保育１	2	2		30	2	講義	
		乳児保育Ⅱ（演習）	1		乳児保育２	3	1		30	3	演習	
		子どもの健康と安全（演習）	1		子どもの健康と安全	3	1		30	3	演習	
		障害児保育（演習）	2		特別支援教育（保・幼）	3	2		60	3	演習	
		社会的養護Ⅱ（演習）	1		社会的養護２	3	1		30	3	演習	
		子育て支援（演習）	1		子育て支援	3	1		30	3	演習	
	保育実習	保育実習Ⅰ（実習）	4		保育実習１（保育所）	3	2		90	3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
					保育実習１（施設）	2	2		90	2	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
		保育実習指導Ⅰ（演習）	2		保育実習指導１（保育所）	3	1		30	3	演習	
					保育実習指導１（施設）	2	1		30	2	演習	
	総合演習	保育実践演習（演習）	2		保育実践演習	4	2		60	4	演習	
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目				仏教保育論	4		2	30	4	講義	
	保育の対象の理解に関する科目				地域子育てネットワーク論	2		2	30	4	講義	
	保育の内容・方法に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	18以上		児童文学	3		2	30	3	講義	保育実習２・保育実習指導２（３単位）又は保育実習３・保育実習指導３（３単位）を含め、９単位以上
					保育内容指導法（健康）	3		2	30	3	講義	
					保育内容指導法（人間関係）	2		2	30	3	講義	
					保育内容指導法（環境）	3		2	30	3	講義	
					保育内容指導法（言葉）	2		2	30	2	講義	
					保育内容指導法（身体表現）2	3		1	30	2	演習	
					保育内容指導法（造形表現）2	2		1	30	2	演習	
					保育内容指導法（音楽表現）2	2		1	30	2	演習	
					音楽基礎（保・幼）	1		2	60	1	演習	
					声楽（保・幼）	2		2	60	2	演習	
					器楽（保・幼）	3		2	60	3	演習	
					造形１（保・幼）	1		1	30	1	演習	
					造形２（保・幼）	1		1	30	1	演習	
					造形３（保・幼）	3		1	30	3	演習	
					造形４（保・幼）	3		1	30	3	演習	
					体育１（保・幼）	2		1	30	1	演習	
					体育２（保・幼）	2		1	30	2	演習	
					体育３（保・幼）	3		2	30	3	講義	
	保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ		2以上	保育実習２	3		2	90	3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
					保育実習３	3		2	90	3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
		保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ		1以上	保育実習指導２	3		1	30	3	演習	
					保育実習指導３	3		1	30	3	演習	

別表(10)

社 会 福 祉 士 受 験 資 格 取 得 に 係 る 科 目

指定科目名	開講科目名	授業形態	単位		必要時間数(h)	備考
			必修	選択		
人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法						
医学概論	医学概論	講義	2		30	
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	講義	2		30	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	講義	2		30	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策1	講義	2		30	
	社会福祉の原理と政策2	講義	2		30	
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	講義	2		30	
総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術						
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職1	講義	2		30	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職2	講義	2		30	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法1	講義	2		30	
	ソーシャルワークの理論と方法2	講義	2		30	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法3	講義	2		30	
	ソーシャルワークの理論と方法4	講義	2		30	
地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術						
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制1	講義	2		30	
	地域福祉と包括的支援体制2	講義	2		30	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	講義	2		30	
サービスに関する知識						
社会保障	社会保障1	講義	2		30	
	社会保障2	講義	2		30	
高齢者福祉	高齢者福祉	講義	2		30	
障害者福祉	障害者福祉	講義	2		30	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	講義	2		30	
貧困に対する支援	貧困に対する支援	講義	2		30	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	講義	2		30	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2		30	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2		30	
実習・演習						
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習1	演習	2		30	
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習2	演習	2		30	
	ソーシャルワーク演習3	演習	2		30	
	ソーシャルワーク演習4	演習	2		30	
	ソーシャルワーク演習5	演習		2	30	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導1	実習		2	30	
	ソーシャルワーク実習指導2	実習		2	30	
	ソーシャルワーク実習指導3	実習		2	30	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習	実習		5	240	

別表(11)

精 神 保 健 福 祉 士 受 験 資 格 取 得 に 係 る 科 目

指定科目名	開講科目名	授業形態	配当年次	単位 必修	単位 選択	必要時間数(h)	備考
共通科目							
人体の構造と機能及び疾病	医学知識(人体の構造と機能及び疾病)	講義	3		2	30	3科目のうち1科目ただし、「心理学概論Ⅰ」「心理学概論Ⅱ」については両方履修することで1科目とみなす ※「心理学概論Ⅰ」「心理学概論Ⅱ」は学科指定科目
心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ	講義	1		2	30	
	心理学概論Ⅱ	講義	1		2		
社会理論と社会システム	社会学	講義	2		2	30	
現代社会と福祉	現代社会と福祉	講義	2	4		60	
地域福祉の理論と方法	地域福祉	講義	2	2		30	
	コミュニティワーク	講義	3	2		30	
社会保障	社会保障	講義	3	4		60	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助	講義	3	2		30	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	講義	3	2		30	
保健医療サービス	保健医療サービス	講義	4	2		30	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	講義	3	2		30	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉サービス	講義	4	2		30	
専門科目							
精神疾患とその治療	精神医学(精神疾患とその治療)	講義	2	4		60	
精神保健の課題と支援	メンタルヘルス論Ⅰ	講義	1	2		30	
	メンタルヘルス論Ⅱ	講義	2	2		30	
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	ソーシャルワーク論	講義	2	2		30	
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	精神科ソーシャルワーク論	講義	2	2		30	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神科リハビリテーション学	講義	3	4		60	
	精神保健福祉援助技術各論	講義	3	4		60	
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論Ⅱ	講義	2	2		30	
	精神保健福祉論Ⅲ	講義	3	2		30	
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉論Ⅰ	講義	2	2		30	
実習・演習							
精神保健福祉援助演習(基礎)	精神保健福祉援助演習Ⅰ	演習	3	1		30	
精神保健福祉援助演習(専門)	精神保健福祉援助演習Ⅱ	演習	3	1		30	
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	演習	4	1		30	
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	実習	3	1		30	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	実習	4	2		60	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習	実習	4	4		210	

○アントレプレナーシップ学部教授会運営内規（案）

（令和　３年　４月　１日）

第１条　この内規は、武蔵野大学学則（以下「学則」という。）第５３条第３項に基づき、アントレプレナーシップ学部の教授会運営に必要な事項について定める。

第２条　教授会は、原則として毎月１回開催する。ただし、学部長が必要と認めたときは、臨時に教授会を開催することができる。

２　学部長は、構成員の３分の１以上の請求があったときは、教授会を招集しなければならない。

第３条　教授会は構成員の２分の１以上の出席がなければ議事を開き議決することができない。この場合、海外留学、国内研究及び休職中の者は、構成員の定数には加えないものとする。

第４条　教授会開催にあたっては、あらかじめ議案を通知し、円滑な審議を図るものとする。

第５条　教授会は充分な審議のすえ、その総意を得られず可否いずれとも決し難いときに限り、無記名投票をもって議決するものとする。この場合の議決は出席者の過半数をもって行い、可否同数のときは議長の決するところによる。

第６条　学校教育法施行規則（以下「施行規則」という。）第１４３条第２項に基づき、学則第５３条第１項第３号に含まれる教員の資格認定に関する事項については、教員資格審査委員会（以下「委員会」という。）をもって行う。なお、教養教育担当教員に関しては教養教育部会で行う。

２　委員会は、次の者をもって構成する。

（１）　学部長

（２）　学科長

（３）　教授会の推薦による教授２名

（４）　教員資格認定対象者の専攻分野における他学部又は学外の学識経験者複数名、この委員は、理事長・学部長と協議して学長が委嘱する。

３　委員会の運営内規は、別に定める。

第７条　教授会は学則第５３条第１項に定める審議事項のうち次の事項に限って、以下の者を教授会に出席させるものとする。

（１）　同項第６号の学業評価に関する事項については、准教授及び専任講師

（２）　同項第８号及び第９号の学生生活に関する事項については、准教授及び専任講師

第８条　施行規則第１４３条第２項に基づき、学則第５３条第１項に定める審議事項のうち、同項第４号及び第１０号の事項は代議員会の議決をもって教授会の議決に代えることができる。

２　代議員会は、次の者をもって構成する。

（１）　学部長

（２）　学科長

（３）　教授会の推薦による教授２名、この代議員の任期は２年とする。

３　代議員会の運営内規は別に定める。

第９条　学則第５３条第１項第１号に定める学生の入学に関する事項については、入学者選考委員会の議決をもって教授会の議決に代えることができる。

２　入学者選考委員会は、次の者をもって構成する。

（１）　学部長

（２）　学科長

（３）　入試実務委員

３　入学者選考委員会の運営内規は別に定める。

第１０条　議事録は、武蔵野学部事務室が保管し、構成員から請求があったときは、これ

を閲覧させるものとする。
第１１条　委員会の庶務は、武蔵野学部事務室が行う。
第１２条　この内規の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

附　則
この内規は、令和３年４月１日から施行する。

○アントレプレナーシップ学部代議員会運営内規（案）

（令和　３年　４月　１日）

第１条　この内規は、アントレプレナーシップ学部教授会運営内規第７条第３項に基づき、アントレプレナーシップ学部の代議員会の運営に必要な事項について定める。

第２条　代議員会は、必要に応じて開催する。

第３条　代議員会は、学部長が招集し議長となる。学部長に事故あるときは、あらかじめ学部長が指名した者がその職務を代行する。

第４条　代議員会は、次の事項について審議決定する。

（１）　教授会並びに教員資格審査委員会に付議する議案に関する事項
（２）　教授会から審議を付託された事項
（３）　理事長及び学長から諮問された事項
（４）　学部長から提案された事項
（５）　その他学部の運営に必要な事項

第５条　代議員会は、代議員会の審議の結果について、教授会に報告しなければならない。

第６条　議事録は、武蔵野学部事務室が保管し、構成員から請求があったときは、これを閲覧させるものとする。

第７条　代議員会の庶務は、武蔵野学部事務室が行う。

第８条　この内規の改廃は、代議員会の議を経て学部長が行う。

附　則

この内規は、令和３年４月１日から施行する。

○アントレプレナーシップ学部教員資格審査委員会内規（案）

（令和　３年　４月　１日）

第１条　この内規は、アントレプレナーシップ学部教授会運営内規第６条第３項に基づき、アントレプレナーシップ学部の教員資格認定に必要な事項について定める。

第２条　教員資格審査委員会（以下「委員会」という。）は、武蔵野大学教員の任用に関する規程（以下「規程」という。）第８条第２項に定める理事長の了承を得て開催する。

第３条　委員会は、学部長が招集し議長となる。学部長に事故あるときは、あらかじめ学部長が指名した者がその職務を代行する。

第４条　委員会は、委員の３分の２以上の出席をもって成立し、無記名投票の多数決をもって審査を決する。

第５条　教員資格は、規程第４条から第７条に定めるほか、次の各号全てに該当する者とする。

（１）概ね５年以上の実務の経験を有する者

（２）高度の実務の能力を有する者

（３）別表１から別表３までに定める基準点を満たす者

第６条　教員資格審査は、教員資格認定対象者の教育研究業績、実務実績及び担当予定科目の教育方法の内容により審査するものとする。

２　担当予定科目の教育方法の内容の審査は、委員会における教員資格認定対象者の発表によるものとする。この場合において、理事長・学長は委員会に出席することができる。

第７条　教員資格は、３年ごとに又は必要があるときは再審査をうけるものとする。

２　再審査の基準及び方法については、学長が別に定める。

第８条　委員会は、教員資格審査の結果について、教授会に報告しなければならない。

第９条　議事録は、武蔵野学部事務室が保管し、構成員から請求があったときは、これを閲覧させるものとする。

第１０条　委員会の庶務は、武蔵野学部事務室が行う。

第１１条　この内規の改廃は、代議員会の議を経て学部長が行う。

附　則

この内規は、令和３年４月１日から施行する。

別表１

a）採用時の基準点　（通算期間）

	教育点	研究業績点又は実務実績点	計
教授（通算期間）	10点まで	40点以上	50点以上
准教授（通算期間）	5点まで	25点以上	30点以上
専任講師（通算期間）	—	20点以上	20点以上
助教（通算期間）	—	15点以上	15点以上
非常勤講師（通算期間）	—	10点以上	10点以上

b）昇任時の基準点

	教育点	研究業績点又は実務実績点	計
教授（准教授在任期間）	10点まで	10点以上	20点以上
准教授（講師在任期間）	5点まで	5点以上	10点以上
専任講師（助教在任期間）	3点まで	3点以上	5点以上

注）基準点は、別表２の「教育点」、別表３「研究業績点及び実務実績点」によるものとする。

別表２

a）採用時の教育点

大学等の教育機関	常勤	2点
大学等の教育機関	非常勤	1点
その他の教育機関	常勤・非常勤	0.5点

注）採用時の教育点は１年についての標準点とし、同一期間に複数の教育機関が重なる場合は、得点上位のものをカウントする。

b）昇任時の教育点（社会活動を含む）

項目	点数
教学管理職	2
学科長	1
委員会委員長（相当するものを含む）	1
委員会委員　（相当するものを含む）	0.5
学内外の講座等の担当	0.5～1
アドバイザー	0.5
基準超過授業（1コマについて） （大学院の授業担当）	0.5
学会理事等（１学会について）	1
大学が有益と認めた社会活動・教育活動	0.5～1

注）昇任時の教育点は１年についての標準点とする。

別表３　研究業績点及び実務実績点

項目		点数
学術研究図書（単著）	１件	2～5
〃　（共著）	※１件	1～3
教育啓蒙図書（単著）	１件	1～2
〃　（共著）	※１件	0.5～1
大学・学会・研究機関などの発行する学術雑誌等に掲載した論文	※１件	1～3
学術研究調査の報告論文	※１件	0.5～1
研究紀要	※１件	1～2
準学術誌の論文	※１件	0.5～2
雑誌の論文（啓蒙論文含む）	※１件	0.5～2
学会発表（オリジナルな資料・文献等に基づいた科学性がチェックされる権威ある学会）	※１件	1～2
権威ある学会賞又は出版文化賞	１件	2～3
当該専門分野における学術・研究図書の翻訳刊行物	※１件	0.2～1
博士学位の取得		2～5
事業会社設立経験（子会社含む）	１社	20
ＮＰＯ法人等設立経験	１団体	20
事業会社等における５年以上の役員又は役員に準じる役職経験	１社	20～25
事業会社等における３年以上の役員又は役員に準じる役職経験	１社	15～19
事業企業等における１年以上の役員又は役員に準じる役職経験	１社	10～14
事業会社等における５年以上の部長職又は部長職に準じる役職経験	１社	10～14
事業会社等における３年以上の部長職又は部長職に準じる役職経験	１社	5～9
事業会社等におけるＭ＆Ａ経験	１件	15
役員又は役員に準じる役職就任時点での事業会社上場経験	１社	20

一般図書（単著）	１件	1～2
一般図書（共著）	※１件	0.5～1
外部団体からの受賞	１件	2～5
会社内での受賞	１件	0.1～2
雑誌等記事執筆	１件	0.1～0.3
経営学修士（ＭＢＡ）の取得		1～3
自治体における議員	１期	10～15
自治体における長	１期	20～25

注）主たる研究者でないものは上記点数の半分とする。
特に秀れていると認められた論文、著書、作品、技能に対しては、別途１～５点を加えることができる。

設置の趣旨を記載した書類　目次

① 設置の趣旨及び必要性 p．1
１．本学の教育理念及び沿革 p．1
２．アントレプレナーシップ学部の設置の必要性について p．1
３．育成する人材・教育研究上の目的・学位授与の方針（ディプロマポリシー） p．2
４．組織として研究対象とする中心的な学問分野 p．4
５．教育研究上の具体的な到達目標等 p．4
② 学部・学科等の特色 p．4
③ 学部・学科等の名称及び学位の名称 p．6
１．学部・学科・学位名・英語名称 p．6
２．当該名称とする理由 p．7
④ 教育課程の編成の考え方及び特色 p．7
１．教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー） p．7
２．共通科目の編成 p．9
３．学科科目の編成 p．10
⑤ 教員組織の編成の考え方及び特色 p．12
⑥ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 p．13
⑦ 施設、設備等の整備計画 p．14
１．校地・運動場の整備計画 p．14
２．校舎等施設の整備計画 p．14
３．図書等の資料及び図書館の整備計画 p．15
⑧ 入学者選抜の概要 p．17
１．基本的な考え方（アドミッションポリシー） p．17
２．入試内容 p．18
⑨ 企業実習や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画 p．20
⑩ 管理運営 p．22
⑪ 自己点検・評価 p．23
⑫ 情報の公表 p．25
⑬ 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等 p．26
⑭ 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 p．28
１．教育課程内の取組について p．28
２．教育課程外の取組について p．28
３．適切な体制の整備について p．29

①設置の趣旨及び必要性

１．本学の教育理念及び沿革

本学は、大正 13 年に創設された武蔵野女子学院を母体としており、創設者高楠順次郎博士の「仏教主義により、未来の母性たるべき女子の智能を啓き、以てその徳を涵養する」という建学の精神に基づき昭和 40 年度に文学部を設置して以来、時代とともに変遷する多様な社会ニーズに対応しながら、専門的知識・能力を有する人材を養成し、社会貢献を行ってきた。また、その間、平成 15 年度には校名を武蔵野女子大学から武蔵野大学に変更し、平成 16 年４月からは男女共同参画社会の実現に向けて、全学部を男女共学とした。平成 24 年４月１日には法人名を学校法人武蔵野大学に変更し、東京都江東区有明の臨海副都心に有明キャンパスを開設し、立地を活かして企業や官公庁との産官学連携や国内外の教育研究機関との交流等を推進している。現在、通学制 11 学部 12 研究科、通信制２学部３研究科を擁する総合大学であり、更なる教育研究の充実に向けて努力している。

また、平成 28 年度より「世界の幸せをカタチにする。」を本学のブランドステートメントとし、世界の幸せをカタチにするために、学生、教職員、本学に関わりのあるすべての人々が感性、知恵、響創力を高め合うことを推進している。また、この宣言は、教育研究を通じて、世界へ広め響き合わせる精神でもある。

２．アントレプレナーシップ学部の設置の必要性について

社会や経済の変化が激しく科学技術の発展が著しい現代において、未知なるものに挑戦し、自らが動いて様々な人を巻き込みながら、ゼロから価値を作り出せる実践者としてアントレプレナーシップ（起業家精神）を持った人材が強く求められている。特に我が国においては、先進各国に先立ち、人口減少が加速しつつある中、既存の会社や産業等のパラダイムを維持継続するだけでは経済は衰退するが、一方で日本の起業率（企業数に占める開業企業数の割合）は、米国/英国/ドイツ等諸外国と比較して低く、結果として新しい産業も生まれにくく、経済成長を妨げる要因のひとつとなっていると思料される。そして調査統計を見ると日本における起業率の低さには、他国に比し起業無関心者が多いという特徴がある。つまり、自らの意志に従い新しく「業を興す」選択肢を持たず、安定した職に就こうとする人が多いことが、結果的に起業率が低い大きな原因になっていると考えられる。まずは、この「起業無関心者」の割合を減らし、起業率を高めることが日本経済を再び成長させるためには急務であり、そのために、アントレプレナーシップをもって行動できる人材を増やすことが重要である。

そうしたアントレプレナーシップを持った人材の育成は、これまで我が国の大学教育の中では、体系的に行われてこなかった。また、体系的に教育できるものではない、と思われてきた。国内の有力起業家たちの起業の経緯を探ると、大学とは別の場所で、

個々人の興味関心や経験に基づき、偶然、起業という選択肢にたどりつき、起業した人が多い。しかしながら、ビジネス領域においては、起業家育成は相応に成果が生まれてきており、これを大学教育にも展開し適切な指導を行うことで、アントレプレナーシップをもち、実践し、「ことを成す」人材を輩出することは可能であると考えられる。具体的には、①起業家や投資家、経営者等の実務家が、自らの経験に基づき、実践的な教育を行うこと、②理論を知識として伝えるのではなく、実際にビジネスをつくる活動等を通じて、実践すること、③内省と対話と通じて、自らの意志に従い、「ことを成す」志を育成すること、④インターネット、ＡＩ＆データ等のテクノロジー、ＳＤＧｓ等の社会課題等、学生が好奇心をもちやすく、かつ未来を創造するうえで重要なテーマをタイムリーに提供すること、といった点を意識し指導していくことにより、自分が起業したり、またリスクをとり新しい価値を生み出す仕事を選択したりする等、自らの意志に基づき、価値を出すために踏み出し、グローバルに活躍できる人材を育成していく。

社会課題が先鋭化し、深刻化する現代社会においては、社会の変革を可能とする人材の育成が求められている。こうした社会的状況を踏まえると、経営学をはじめとした既存の学問分野が育成してきたジェネラリスト（幅広い知識を持つ人材）に加えて、ビジネスを通した社会課題の解決を実践することができるスペシャリスト（専門家）の育成が必要である。

これからの日本や世界の未来を創出するために、かかる人材を育成することが重要であり、そのために武蔵野大学にてアントレプレナーシップ学部を設置するものである。

３．育成する人材・教育研究上の目的・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

１）育成する人材

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、起業家精神（アントレプレナーシップ）をもって、新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を養成する。

２）教育研究上の目的

変革期を機会と捉え、社会に対して傍観者でとどまることなく高い倫理観と志を抱いて自ら課題を設定、事業構想し自立自走することで「ことを成す」実践的な能力を身につける。

３）学位授与の方針（ディプロマポリシー）

本学全体のディプロマポリシーは、『「アクティブな知」を獲得し、創造的に思考・表現する力を備えて、世界の課題に立ち向かう』としている。理論と実践を有機的に組み合わせ基礎課程と専門課程で構成される教育課程及び課題研究やＰＢＬ（Problem based learning）、ディスカッション、ケーススタディ、プレゼンテーション等、学生の能動的な学習を取り入れたアクティブラーニング等を通じ、「学びの基礎力を基盤とした専門能力」「他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力」「課題

を多角的に捉え、創造的に考える力」「多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力」の４つの力を身につけ、「アクティブな知」を獲得していく。

本学部では、本学のディプロマポリシーに則り、また、高い倫理観と専門知識を兼ね備えた有為な人材を輩出するという教育目標に基づき、学士課程教育を通じて以下の基準を満たす者に学位を授与する。

Ⅰ．知識・専門性【学びの基礎力を基盤とした専門能力】
① 自ら知識や情報、教養を習得する意欲を持ち、自立的・主体的に学ぶことができる。【教養】 ② 事業化の質の向上やスピードを加速させるために、データ分析/ＡＩ活用や、プログラミングの基礎を身につけ、課題解決に活用することができる。【データ/ＡＩ活用、プログラミング】 ③ 事業化するうえで必要な、ファイナンス・アカウンティング・マーケティング・経営戦略・法務に関する知識・技能を体系的に習得している。【事業推進スキル（基礎）】 ④ 事業化の対象となる社会課題を、解決手段となりうるテクノロジーでの切り口とあわせ、代表的な分野につき専門知識を習得している。【領域別専門知識】
Ⅱ．関心・態度・人格【他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力】
① 常に問題意識や関心を持って世界を眺め、社会の未来を想像し、取り組むべき課題を見つけることができる。【好奇心】 ② 自他の価値観や文化背景の違いを理解・尊重・共感することで、フラットでグローバルな視点で物事に向きあうことができる。【多様性・フラットな感性】 ③ 高い倫理観をベースに、使命感と信念を持って社会の未来像を描き、強い意志をもって最後まで諦めずにやり抜くことができる。【志と当事者意識】 ④ 未知なるものに挑戦し、事業を創造する（ことを成す）想いに満ちている。【アントレプレナーシップ（起業家精神）】
Ⅲ．思考・判断【課題を多角的に捉え、考え、決めていく力＝情報編集力】
① 健全な批判的精神をもって必要な情報を収集し、事象を構造化し、仮説を立てて検証・分析していくことができる。【思考力】 ② クリティカルシンキングに基づき得た思考結果と志とを繋げ、我がこととして意思決定をすることができる。【意思決定力】 ③ 自ら問いを立て、過去・現在・未来の軸で物事を捉え、未来思考で取り組むべき課題を発見し、解決することができる。【課題解決力】
Ⅳ．実践的スキル・表現　【事業を形にする力と、チームで動かしていくためにコミュニケーションする力】
① 志と起業家精神（マインド）、事業推進スキル（基礎）をベースとして、実際に会社や団体をつくり、その中で自らの想いを形にし、成長させていくことができる。【事業推進スキル（応用）】 ② 構想・企画（plan）、行動（do）、振り返り（check）、実行（action）を繰り返しながら、自立自走することができる推進力。【ＰＤＣＡ力】 ③ 自らの志をストーリーに載せて語るプレゼンテーション力と、議論と対話を軸として相互理解を進めるコミュニケーション力やマネジメント力をもって、チームを動かすことができる。【コミュニケーション力/マネジメント力】

本学部のディプロマポリシーは、以下３点を特徴とする。

ｉ）社会の課題を発見するための問いを立てる力を養い、未知なるものに挑戦するというマインドを修得すること

ⅱ）データ/ＡＩ活用、プログラミングの基礎知識と活用能力を修得していること
ⅲ）既存の価値にとらわれずに未来志向で新たな価値を生みだすビジネスを創造する能力を修得すること

４．組織として研究対象とする中心的な学問分野

本学部が研究対象とする中心的な研究分野は、経営学、商学及び経済学の分野である。経営学では、特に中核的な領域である経営戦略、経営組織及びマーケティング等の分野である。

５．教育研究上の具体的な到達目標等

本学部では、教育研究上の具体的な到達目標として、卒業後の具体的な進路を以下のとおり想定している。

・起業（スタートアップ・ＮＰＯ・ＮＧＯ）
・ベンチャー企業、大企業（特に事業創造、事業開発等）への就職
・行政機関（特に地方公共団体における地域創生等）　　等

主に企業等を対象とした学問を学ぶ経営学部に対して、本学部では、ビジネスに関わる活動の総体を対象とする。そのため、事業を起こす人の「マインド」、既存の社会に対して「問いを立てる力」、ＡＩ／データを活用し「テクノロジーを前提とした実践的な解決策」にフォーカスしたビジネス創造のメカニズムを理解したうえで、「既存の社会やビジネスを変革し、新たな価値を創造していくこと」を到達目標としている。

②　学部・学科等の特色

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」を踏まえ、本学部では仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。本学部の主な特色は、以下の４点である。

１．実践中心３本柱のカリキュラム

『マインド』『事業推進』『実践』をカリキュラムの３本柱として、社会の現状や課題・可能性を学び、自分の価値観や譲れない想いと向き合い、仲間や教員と対話や議論を重ねながら、自分の未来と、社会への働きかけのあり方を考え、アントレプレナーシップ（起業家精神）を育んでいく。１年次から『実践科目』で、様々なテーマでの活動の経験を積み、３年次以降、授業の中で実際に起業する。全科目共通で座学だけの授業は行わず、グループ学習、事例研究、対話、ゲスト起業家との対話等、双方向に学ぶアクティブラーニングスタイルで学んでいく。

1）マインド
1～2年次必修の「キャリアデザイン1・2」「未来構想」を通じて自分自身を内省と対話で客観視しながら、2年次以降「倫理観1・2」等の科目を通じて起業家、事業家としての基本スタンスを定める。自分自身の倫理観や判断の軸を持ち、「ことを成す」ための自らの志や当事者意識を磨いていく。全学年を通じて「アントレプレナーシップ1・2・3・4」を必修とし、第一線で活躍する事業家・起業家を招いた対話や議論を通じて、新たなビジネスを創造するマインドに触れ、諦めない当事者意識を学び、アントレプレナーシップ（起業家精神）を育んでいく。
2）事業推進
1年次に 「クリティカルシンキング基礎」を通じて問いを立て事象を構造化する技術を学び、2年次以降はロジカルシンキングや分解思考・飛躍思考等、多様な思考方法、事象を動的に構造化するシステム思考も身につける。1、2年次の選択必修「コミュニケーション基礎」「ファイナンス・アカウンティング基礎」「リーガル基礎」「マーケティング基礎」で、ビジネスに起こすために必要な基礎スキルを養成する。 2年次から「課題解決プロセス1・2」や「プロトタイピングA・B」で方法論を学び、実践に取り組みながら課題解決力を高める。また、「ビジネスモデル研究基礎」を1年次の必修とし、1年次3・4学期～2年次1・2学期に「領域別Ｔｅｃｈ研究A・B・C・D」でＳＤＧｓの課題に即したテクノロジーを活用した課題解決可能性と手法を学び、その後「ファイナンスA・B」「マーケティングA・B・C」等、より幅広いビジネス領域や社会に汎用できる専門知識を学んでいく。
3）実践
『実践科目』の中心は、1～4年次を通じて必修の「プロジェクト基礎A～発展D」である。担当教員が最初から最後までプロジェクトに伴走し、メンタリングをしながら、実践的な経験を積んでいく。1年次は与えられた課題のプロジェクトを成し遂げるためのスキルを身に付け、2年次には挑戦の数・失敗の数を増やし、その経験を振り返り修正しながら自らの強みや軸を発見し、行動していく力を養成する。3年次には、授業の中で実際に会社や団体を立ち上げ、現実社会で会社を運営することを通じて、一歩踏み出して「ことを成す」人材を育成する。 本学部が取り組むアクティブラーニングは、人文社会科学系の学部が取り組みつつある、企業への「参加」や社会課題への「提案」に加えて、起業やＮＰＯ・ＮＧＯの立ち上げといった「実装」を通じた実践までを射程とする。具体的には、インターンシップやビジネスコンテスト等への「応募」に留まらず、自分の手で事業を「創造」することに重きを置く。こうした学生が社会とのつながりを強く感じ得る実践を行うことで、ビジネスに関する知識や専門性のメタ認知を育むことを目的とする。

2．教員は現役の実務家が中心

ベンチャー企業経営者やＮＰＯ創業者ほか、現役の実務家が専任教員に就任し、全学年必修の「プロジェクト基礎A～発展D」や「女性とアントレプレナーシップ」「政治と社会」「地域課題と事業創造」「デザインと事業創造」「科学技術と事業創造」等の

選択必修授業、「ゼミナール１～５」等を通じて、バラエティに富む専門性や実務経験をフルに活かしながら、学生の成長に伴走する。

３．スタートアップ企業を中心とした国内外の企業や起業家と連携したカリキュラム

『実践科目』の「プロジェクト基礎Ａ～発展Ｈ」や「インターンシップＡ・Ｂ・Ｃ」及び『マインド科目』の「アントレプレナーシップ１・２・３・４」を中心に、スタートアップ企業を中心とした国内外の起業家と連携したプログラムを構成。インターンシップ先は、現役実務家である教員が関与する組織を選定する。また、「グローバルアントレプレナー（海外研修）」を必修とし、全員が１～２週間の海外短期留学を経験。現地のスタートアップを複数社訪問し、現地の学生とも交流を行う。自身の事業アイディアを英語でプレゼンし、起業家からフィードバックを得、帰国後は成果発表会を行う。なお、１年次は専用の学生寮に全員が入寮し、寮の共用スペースには日常から起業家たちが来訪する場づくりをし、学生・教員・起業家等、訪れる人すべてが切磋琢磨しながら共に学ぶ環境を用意する。

４．共通科目「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」の情報科目の副専攻コースの履修推奨

共通科目の全学共通基礎課程「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」では、令和３年度から副専攻（サブメジャー）として、情報科目のコースを設定する。本学部では、１年次の全学必修科目「データサイエンス基礎」「人工知能基礎」の２科目に加え、本学部独自に２年次は「情報技法発展Ａ・Ｂ・Ｃ」や「プログラミング発展Ａ・Ｂ」「機械学習活用１・２」「データサイエンス活用１・２」の発展科目を選択必修としている。２年次以降は副専攻コースの履修を推奨し、３年次には「人工知能実践プロジェクト」で専門性と実践での活用力を高める。コース修了者には認定を行う。

③　学部・学科等の名称及び学位の名称

１．学部・学科・学位名・英語名称

学部名：アントレプレナーシップ学部　　[Faculty of Entrepreneurship]
学科名：アントレプレナーシップ学科　　[Department of Entrepreneurship]
学位名：学士（ビジネス）　　[Bachelor of Business]

２．当該名称とする理由

本学部では、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材の育成を目的とする。新しく事業を興す人材すなわち起業家（アントレプレナー）のみを育成するのではなく、新しい事業分野を切り開くための精神すなわち起業家精神（アントレプレナーシップ）を身に付け、世の中の様々な場面で活躍する人材を育成することを目的とする。そのため、学部

名称及び学科名称をアントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科とする。

主に企業等を対象とした学問を学ぶ経営学部に対して、本学部では、ビジネスに関わる活動の総体を対象とする。すなわち、営利や非営利を問わず、多様な組織形態に基づく主体を対象に、ビジネスに関わる様々な主体とその活動について学ぶことができる教育課程となっている。修得する能力に合わせ、学位に付記する専攻分野の名称をビジネスとする。同様の名称の学位を授与する大学は国内でも存在するため、社会の使用状況を踏まえても通用性を持つと考える。

英訳名称については、世界的かつ一般的に用いられるEntrepreneurship及びBusinessを採用し学部名称を Faculty of Entrepreneurship、学科名称を Department of Entrepreneurship、学位名称を Bachelor of Business とする。なお、「Bachelor of Business」は主にオーストラリアやニュージーランド、アイルランド等においてメジャーな学位として存在する。例えば、オーストラリアのロイヤルメルボルン工科大学等では、「Bachelor of Business」の専攻として「Entrepreneurship(起業家精神)」が用意されている。これらの大学のカリキュラムは、ベンチャー企業との共同プログラム等、実践的な内容となっており、本学部の教育課程と類似していることから、本学部の学位名称Bachelor of Businessは国際通用性があると考える。

④ 教育課程の編成の考え方及び特色

１．学部の教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）は以下のように体系的に編成している。

知識・専門性　　【学びの基礎力を基盤とした専門能力】
まずは、全学共通の教養教育プログラムである全学共通基礎課程「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」を履修します。「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、『建学』、『情報』及び『外国語』を学びます。また、同プログラムの『ＣＨＰ』を学ぶことで近未来の社会を展望する力を養い、『フィールド・スタディーズ』『キャリア』を経験することにより、広い視野を備え、主体的に情報を収集できる行動力を備えた人格の形成を目指します。【教養】 今後、全ビジネスパーソンに不可欠なスキルである、データ分析/ＡＩ活用、プログラミングの基礎を修得します。「データサイエンス基礎」「人工知能基礎」を１年次の必修科目として学び、データ／ＡＩ活用を前提としたビジネスを創造する力を身につけます。２年次は「情報技法発展Ａ・Ｂ・Ｃ」や「プログラミング発展Ａ・Ｂ」「機械学習活用１・２、データサイエンス活用１・２」の発展科目を選択必修とし、２年次以降は情報副専攻コースの履修を推奨します。３年次には「人工知能実践プロジェクト」で専門性と実践での活用力を高めます。【データ/ＡＩ活用、プログラミング】 学科科目では、主に１～２年次に「ビジネスモデル研究基礎」で事業とは何かを学び、また「コミュニケーション基礎」「ファイナンス・アカウンティング基礎」「リーガル基礎」「マーケティング基礎」を通じて事業推進に必要な基礎知識・スキルを養成します。その後、特に専門スキルとして重要となるマーケティングは「マーケティングＡ・Ｂ・Ｃ」で、またファイナンスは「ファイナンスＡ・Ｂ」で網羅的にカバーし、事業推進するうえで必要となるスキルを深く学びます。【事業推進スキル（基礎）】 また、事業化していく対象となる社会課題と、解決手段となりうるテクノロジーにつ

いて、重点的に学びます。まず社会課題は、全学共通科目である「ＳＤＧｓ基礎」「ＳＤＧｓ発展１～３」にて、ＳＤＧｓ17 領域を網羅的にカバーします。
その上で、こうした社会課題を解決しうるテクノロジーとセットで学ぶべく、「インターネットビジネス基礎」でインターネットによる課題解決を概観し、その後 12 の主要領域を定め、「領域別Ｔｅｃｈ研究Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」の４科目を通じ、テクノロジーでの課題解決可能性を学んでいきます。
その上で、「アフターデジタルの課題解決」で、データ、ＡＩ活用による将来の課題解決の可能性を学び、上記の【データ/ＡＩ活用、プログラミング】で学んだ知識との融合をはかります。そして「領域別Ｔｅｃｈ研究Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」の４科目では、17 領域に対応するスタートアップやＮＰＯ、大企業へのインターンシップを用意し、実務上の専門知識を合わせて学んでいきます。【領域別専門知識】

関心・態度・人格　【他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力】

会社における目的やあるべき姿を考える「事業と哲学」を通じて、事業を自分ごととして課題意識を持つ認識を深めます。また「女性とアントレプレナーシップ」「政治と社会」「地域課題と事業創造」「デザインと事業創造」「科学技術と事業創造」「グローバルアントレプレナー（海外研修）」等の必修及び選択必修授業を通じて、広範な領域（社会、環境、科学技術、経営、医療、経済、政治政策、国際関係）の知識、情報、当事者と接する中で、自他の価値観や文化背景の違いを理解、尊重する視点を磨いていきます。【好奇心】【多様性・フラットな感性】
１～２年次は、「キャリアデザイン１・２」で自分自身の過去/現在/未来を、内省と対話で見つめたうえで、自身の興味関心に基づき選択必修で学ぶ「キャリアデザイン３」「幸福学」「好奇心醸成」を通じて、志と当事者意識を高めていきます。さらに、社会との関係性を考えるうえで、「倫理観１・２」を通じて、何が正しいのか、という倫理観を学びます。これらを通じて、起業家、事業家としての基本スタンスを定め、「未来構想」にて、自身の判断基準をもって言語化することで、自身が向き合うべきテーマを醸成したうえで、３～４年次で、「ゼミナール２・３・４・５」を通じて、自分自身の判断の軸を持ち、実践の質と専門性を高めて、「ことを成す」ための自らの志や当事者意識を磨いていきます。【志と当事者意識】
全学年を通じて「アントレプレナーシップ１・２・３・４」を必須とし、第一線で活躍する事業家・起業家をオムニバス形式で招き、第一人者との対話や議論を通じて、失敗を恐れず、途中で諦めない当事者意識を学んでいきます。ロールモデルとなる先人の行動や意思決定、歴史や成り立ちについてその価値観や背景に触れ、ケーススタディやロールプレイングを通じて、自分ごととして思考していく中で、「ことを成す」アントレプレナーシップを育みます。【起業家精神】

思考・判断　【課題を多角的に捉え、創造的に考える力】

事象を構造化する技術がまず、必要となります。１年次には 「クリティカルシンキング基礎」を通じ、問いを立て、論理的に考える基礎的な技術を学び、２年次からは「クリティカルシンキング１」を通じて主張と根拠のピラミッド構造など、様々な静的な構造化手法を学びます。「クリティカルシンキング２」では、事象を動的に構造化するシステム思考を学びます。【思考力】
事象を構造化したら、意思決定する必要があります。１年次から４年次まで「アントレプレナーシップ１・２・３・４」科目の中で、実際に起業家たちの決定プロセスをロールモデルとして学びます。２年次以降、現実の様々なケースに触れてビジネスモデルを学ぶことのできる「インターンシップ（領域別Ｔｅｃｈ研究）・Ａ・Ｂ・Ｃ」等の学外学修を行う科目により学んでいきます。また、４年間を通じて、実際にモノやサービスをつくる実践科目である「プロジェクト入門～発展」にて、実践における意思決定力を学んでいきます。【意思決定力】
課題を解決する力を養うために、２年次から「課題解決プロセス１・２」でその方法

論を学びつつ、実際の課題に取り組んで「事業計画Ａ・Ｂ」で課題解決策を策定し「プロトタイピングＡ・Ｂ」で実際のソリューションを目に見える形に作り出すプロセスを通じて、より実践的な課題解決力を高めます。【課題解決力】 １年次の最初に「情報編集力」の授業で、様々なテーマをインタラクティブに考え、決め、コミュニケートしていくことで、これら思考力、意思決定力、課題解決力と、下記コミュニケーション力を含めたスキルを統合した「情報編集力」を養い、「アントレプレナーシップ１・２・３・４」につなげていきます。また、２年次の後半からゼミナール科目群においてもこれらの力が涵養できるよう、課題やクラス・ディスカッションなどの工夫を多くの専門科目で実施します。 これらの思考・判断スキルを学び、身につけることで、「志と当事者意識」と両輪で「ことを成す」アントレプレナーシップを育んでいきます。
実践的スキル・表現【事業を形にする力と、チームで動かしていくためにコミュニケーションする力】
１年次から４年次まで必修となる「プロジェクト基礎Ａ～発展Ｄ」を通じて担当教員が最初から最後までプロジェクトに伴走し、メンタリングしながら、実践的な事業推進スキルを身につけていきます。「未来構想」を経て固まってきた志をベースに、３年次以降は、実際に会社や団体をつくり、１～２年次で学んできた様々なスキルやマインドを形にし、自らの想いを形にし、成長することを学んでいきます。【事業推進スキル（応用）】 １年次は好奇心と自己効力感を高めることに重点を置き、新しいことに挑戦しようという意欲と与えられた課題であるプロジェクトを成し遂げるためのスキルを身に付け、経験を積んでいきます。併せて、事業創造に必要な知識・専門性として「コミュニケーション基礎」「ファイナンス・アカウンティング基礎」「リーガル基礎」「マーケティング基礎」で基本的な実践スキルを養います。 ２年次ではプロジェクトを数多く経験し、挑戦の数・失敗の数を増やし、その経験を振り返り、修正しながら自らの強みや軸を発見し、行動していく力を養成します。【ＰＤＣＡ力】 また、「コーチング」「プレゼンテーション」「チーム・プロジェクトマネジメント」を通じて、表現する力や対立を乗り越え相互理解に導くコミュニケーション力を磨きます。４年次には、周囲へ影響を与えるリーダーシップを磨くために、「グローバルマネジメント」「リーダーシップとマネジメント」「組織・人事マネジメント」を通じて、チーム全体のことを考え、チームをゴールに導くためのスキル、コミュニケーション力を高め、自分の軸を踏まえて周囲に影響を与え、一人では成し遂げられない「ことを成す」力を養います。【コミュニケーション力/マネジメント力】

２．共通科目の編成

共通科目の全学共通基礎課程「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」は、令和３年度から導入予定で、本学部も他学部と同様に「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」を導入する。

「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」は、平成 20 年 12 月 24 日の中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」において、教育課程の体系化・構造化、バランスのとれたコミュニケーション能力の養成等、一方的な知識・技能を教え込むのではなく、豊かな人間性や課題探求能力の養成に配慮することが学士課程教育の質の維持・向上に向けた改革の方策として挙げられていることに鑑み、大学初年次の教育の質の向上を目指したものである。

具体的には、『建学』『スポーツ・身体』『情報』『外国語』『教養日本語』『ＣＨＰ』『フィールド・スタディーズ』『キャリア』『全学教養ゼミナール』『寄付講座』の 10 の科目群から構成される。心とからだ、学修の基礎、外国語、自己理解・他者理解の４つの分野をバランスよく配置し、少人数制のゼミナールや授業を通じてグループワークやプレゼンテーション等の訓練を重ね、アクティブラーニングを積極的に導入することで、より実践的なコミュニケーション力やチームワーク形成力等を養う。

『建学』科目群では、「仏教（生き方を考える）基礎」「仏教（生き方を考える）発展」を必修科目として開講し、本学の建学の精神である仏教精神を学び、人と人との関係、人と社会との関係を大局的に捉え、健全にして品性のある人格の養成を行う。

『スポーツ・身体』科目群では、身体運動の実践的学習を通じて、健康・体力の維持増進等の自己の身体及び身体運動のもつ意義を考えると同時に、社会的適応能力や社会発展のメカニズムに積極的に関わりうる能力の獲得を企図し実現する。

『情報』科目群では、副専攻コースを新設し、データ／ＡＩやツールを活かせる、データ活用教育の強化をはかる。全学１年次必修科目「データサイエンス基礎」「人工知能基礎」に加え、２年次は「情報技法発展Ａ・Ｂ・Ｃ」や「プログラミング発展Ａ・Ｂ」「機械学習活用１・２、データサイエンス活用１・２」の発展科目を選択必修とする。２年次以降は情報副専攻コースの履修を推奨し、３年次には「人工知能実践プロジェクト」で専門性と実践での活用力を高める。

『外国語』『教養日本語』科目群では、バランスのとれたコミュニケーション能力の養成を目指し、人工言語であるコンピュータの活用能力及び自然言語である外国語の運用能力、アカデミックスキルとしての日本語能力の修得等コミュニケーションスキルの向上を目的とした教育を行う。

『ＣＨＰ』科目群では、2015 年９月の国連サミットで採択された Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）について学ぶ。「ＳＤＧｓ基礎」で、世界の課題と 17 の目標の関連性について学び、「ＳＤＧｓ発展１・２・３」で、分野ごとに深く掘り下げ、いかに実現できるかを考え、近未来の社会を展望する力を養う。

『フィールド・スタディーズ』科目群は入学直後の２学期から夏休み期間を中心に学外で学ぶ長期学外学修プログラムで、国内、海外あわせて約 90 のプログラムから希望するプログラムを選択し実践する。

『キャリア』科目群は社会で“働く”ことの意義や、就業に必要な心構え・知識・能力を理解するとともに、就業体験において最低限必要な基礎的能力を身につけ就業体験に必要な知識・技術等を総合的に学ぶ。

３．学科科目の編成

ディプロマポリシーを達成するためのカリキュラムポリシーに基づき、学科科目は、『マインド科目』『事業推進科目』『実践科目』『ゼミナール科目』の４つの科目群に

分類し、体系的に編成する。

『マインド科目』は本学部で修得する起業家精神（アントレプレナーシップ）の考え方のコア部分を学ぶことを目的としている。１～２年次は、「キャリアデザイン１・２・３」「未来構想」を通じて自分自身を客観視し社会の様々な事象について、過去・現在・未来の軸で、他者との対話や議論を重ね、「事業と哲学」の授業等を通じて自分ごととして課題意識を持つ訓練を行う。また「グローバルアントレプレナー（海外研修）」「女性とアントレプレナーシップ」「政治と社会」「地域課題と事業創造」「デザインと事業創造」「科学技術と事業創造」等の科目を通じて広範な領域（社会、環境、科学技術、経営、医療、経済、政治政策、国際関係）の知識、情報、当事者と接する中で自他の価値観や文化背景の違いを理解尊重する視点を磨く。同時に「倫理観１」「好奇心醸成」「幸福学」等の科目を通じてその対象や事象へのスタンスを定め、自身の判断基準をもって言語化することで好奇心を醸成し、向き合うべき課題認識・発見力を養う。３年次では、「倫理観２」を通じて、自分自身の倫理観や判断の軸を持ち、起業家精神に実践の質と専門性を高めて、「ことを成す」ための自らの志を磨く。そして、１～４年次の「アントレプレナーシップ１Ａ～４Ｄ」を必修とし、第一線で活躍する事業家・起業家をオムニバス形式で招き、第一人者との対話や協業を通じて、失敗を恐れず、途中で諦めない起業家精神を磨く。ロールモデルとなる先人の行動や意思決定、歴史や成り立ちについてその価値観や背景に触れ、ケーススタディやロールプレイングを通じて、自分ごととして思考していく中で、価値観や当事者意識を育む。

『事業推進科目』は、自ら事業を起こすために必要なビジネス、経営の知識・スキル、専門知識を修得することを目的としている。ディプロマポリシーにおける事業推進スキル（基礎）、思考力、課題解決力、コミュニケーション力/マネジメント力を養うための科目を中心に配置している。１年次必修科目の「ビジネスモデル研究基礎」で事業とは何かを学んだ後、事業化していく対象となる社会課題と解決手段となりうるテクノロジーについて、「インターネットビジネス基礎」で概観し、その後「領域別Ｔｅｃｈ研究Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」でＳＤＧｓの課題に即して領域別にテクノロジーでの課題解決可能性を学び、実際に「インターンシップ（領域別Ｔｅｃｈ研究）」における企業でのインターンシップで理解を深める。その後「アフターデジタルの課題解決」で、データ、ＡＩ活用による将来の課題解決の可能性を学ぶ。また「コミュニケーション基礎」「ファイナンス・アカウンティング基礎」「リーガル基礎」「マーケティング基礎」を通じて事業推進に必要な基礎知識・スキルを身につけた上で、特に専門スキルとして重要となるマーケティングは「マーケティングＡ・Ｂ・Ｃ」で、ファイナンスは「ファイナンスＡ・Ｂ」で網羅的にカバーし、事業推進する上で必要となる専門スキルを深く学び、事業推進スキル（基礎）を身につける。思考力は、まず１年次必修科目の「クリティカルシンキング基礎」、２年次選択必修科目の「クリティカルシンキング１・２」にて問いを立てる技術や分解思考・飛躍思考、システム思考を学ぶ。並行して「課題解決

プロセス１・２」で方法論を学び、「事業計画Ａ・Ｂ」で課題解決策を策定、「プロトタイピングＡ・Ｂ」を通じて実際のソリューションを目に見える形に作り出し、実践的な「課題解決力」を身に付ける。また、２～４年次に、「コーチング」「プレゼンテーション」「チーム・プロジェクトマネジメント」を通じて、表現する力や対立を乗り越え相互理解に導くコミュニケーション力を磨き、３～４年次には、周囲へ影響を与えるリーダーシップを磨くために、「グローバルマネジメント」「リーダーシップとマネジメント」「組織・人事マネジメント」を通じて、チーム全体のことを考え、チームをゴールに導くための真マネジメント力を高める。

『実践科目』では、とにかく新しいことに繰り返しチャレンジし実践することで、起業家的な考え方や行動法則を身に付けることを目的としている。４年間を通じて「プロジェクト入門～発展Ｄ」までを必修科目とする。１年次１・２学期の「プロジェクト入門」「プロジェクト基礎Ａ」では、まず一人で企画を考えて、実践することを重視する。学生自ら題材を決定し、振り返りや気づきをシェアしあう。１年次３・４学期の「プロジェクト基礎Ｂ・Ｃ」では、チームで実践することに挑戦する。具体的には、少人数のチームを組み、仮想の会社運営に例えて、マーケティング戦略とオペレーションを検討して商品化／販売の実践を学ぶ。２年次の「プロジェクト応用Ａ・Ｂ」では実際に利益を出すところまでを目標にして商売を行い、３年次の「プロジェクト発展Ａ・Ｂ」では実際に起業する。３年次の起業では、社会に対して影響力をもたらすもの、世界初の取組と言えるものをテーマとする。４年次の「プロジェクト発展Ｃ・Ｄ」では、自身の進路を見据えた事業や研究を行う。全学年を通じて、教員が最初から最後まで伴走し、メンタリングを行う。また、選択科目「インターンシップＡ・Ｂ・Ｃ」にてスタートアップ、ＮＰＯ、大企業、地方自治体等での幅広い受け入れ先による就業体験を通じて、実際の現場でのビジネスの経験を養う。

『ゼミナール科目』は、２～４年次に開講されるゼミナールに関わる 10 単位で構成される。２年次３・４学期～３年次に開講する「ゼミナール１・２・３」は、本学部が推進する少人数教育の要であり、必修科目に設定する。ゼミナールでは、各教員の指導の下、育成する人材像の一要素である、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を養う。

なお、開設後も経営学の基礎的な専門知識の教育課程の充実に努めていく。具体的には本学経営学部の学科科目について履修を推奨することや、共同授業の開講を検討する。

⑤　教員組織の編成の考え方及び特色

専任教員は 19 人の教授から構成されている。教員数における設置基準を満たしたうえで、年齢構成にも配慮しながら、教育研究上の優れた業績を有する者をそれぞれ適切に配置して、きめ細やかな専門教育・指導を行っていく。なお、生きたビジネスを指導するた

め、教員は現役のビジネスパーソンを中心として構成する。

本学部は実務経験の豊富な教員を積極的に活用する。学科科目を担当する教員のうち、専任教員 17 名及び非常勤教員 10 名が実務家教員である。本学部の教育課程のうち学科科目は全て、起業において求められる実践的な考え方やビジネススキルを身につけるための授業科目であるため、これらの実務家教員を活用することは教育課程の体系や当該科目の特質を踏まえて効果的である。なお、専任教員 19 名のうち 17 名（89%）が当該教員であるが、博士の学位を有する専任教員が１名、経営学修士（専門職）の学位を有する専任教員が４名、そして本学又は他大学にて研究業績を蓄積してきた専任教員が３名いる。非常勤教員にも他大学にて研究業績を蓄積してきた教員が２名いる。学部としての一定の研究機能を果たす教員は最低限確保されている。

教員の中心的な研究分野は経営学及び商学の分野、そして隣接する研究分野として社会学の分野である。経営学では、特に、その中核的な領域である経営戦略、経営組織及びマーケティング等の分野を中心とする。隣接する研究分野の社会学では、コミュニケーション、地域研究及びジェンダー等の分野である。教育課程における学科科目の中核的な科目については、十分な実務経験を有する専任教員が担当し、本学部の養成する人材像を意識した責任ある教育研究を行っていく。

なお、学位の専攻分野に係る博士の学位を有する専任教員の新たな募集や、就任済みの専任教員について博士号取得の支援等を行う。

教員組織の年齢構成について、完成年度の年齢で 60 代２名、50 代９名、40 代７名、30 代１名の計 19 名であり、教育研究水準の維持向上及び活性化に支障がない構成になっている。定年に関する学内規程（**資料１**）では、大学教員の定年は 65 歳となっており、本学部の専任教員において定年を延長する教員はいない。

⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件

本学部の教育、履修指導として、カリキュラムポリシーに従って、以下の履修モデルを設定する（**資料２**）。

履修モデル１	起業（スタートアップ）
自ら起業を目指す学生に提案する履修モデル。実践プロジェクトで多くの挑戦と失敗を繰り返すことで、スタートアップのビジネスモデルや事業アイディアを形にしていく基礎スキル、思考法、方法論を中心に学ぶと共に、自分自身との内省と対話、第一線で活躍する起業家・事業家との交流、実践プロジェクトを通じた挑戦と失敗を通じてアントレプレナーシップ（起業家精神）を養う。	
履修モデル２	社会起業、ＮＰＯやＮＧＯの立ち上げ
社会課題の解決を目的として、社会起業やＮＰＯやＮＧＯの立ち上げを目指す学生に提案する履修モデル。社会課題について学び理解を深め、その解決手段や方法論について実を中心に学ぶ。実践プロジェクトやインターンシップで多くの現場を経験し、自分自身との内省と対話を深めることで、社会起業家としてのアントレプレナーシップ（起業家精神）を養う。	

全ての履修モデルにおいて、共通科目は必修 16 単位を含めて 19 単位、学科科目は必修66単位を含めて97単位、自由選択単位８単位以上の合計124単位を卒業要件とする。

卒業要件に関連する事項としては、本学では各学年で年間に取得できる単位数に上限を定めた「ＣＡＰ制」を全学的に導入している。本学部での履修科目の登録の上限は、１年次 40 単位、２年次 40 単位、３年次 40 単位、４年次 40 単位とする。この制度は、学生各人が自身の適性や希望する進路に従って厳選した科目一つひとつの学修に充分なコミットメントをもって取組むことにより、高度な専門能力を修得することを目的とするものである。この方針に従い、アドバイザーは各学生に対し履修すべき科目・単位についてきめ細かな履修指導を行う。

また、在学期間における成績平均値（「ＧＰＡ」）が 2.00 以上であることを、卒業要件として適用する。本学では、既に全学的に学習到達目標（ミニマム・リクワイアメント）が設定されており、上述のＣＡＰ制と合わせて、学生個々人の学修目標の明確化を促すものである。なお、ＧＰＡは各科目で得た評価をポイントに置き換えたものであり、計算式は以下のとおりである。

ＧＰＡ計算式

$$\frac{\text{科目単位数}\times\text{成績ポイント（S=4.0、A=3.0、B=2.0、C=1.0、D=0.0、X=0.0）}}{\text{総履修単位数}}$$

※合格（S、A、B、C）、不合格（D、X）

※D は合格と認められる最低限の成績（60 点）に未到達。
X は出席不良、評価不能。

⑦ 施設、設備等の整備計画

１．校地・運動場の整備計画

本学部は４年間を通じて武蔵野キャンパスで学修する。敷地内には学習施設の他、図書館やコンピュータ室等の情報サービス施設や食堂、売店等の福利厚生施設も全て同敷地内にあり、本学部の学生は現在の教育環境をそのまま利用する。

学生の休息その他の利用のため、開放的な中庭やベンチといった休息の場を整備しており、武蔵野キャンパス１号館２階、７号館１階、８号館２階には開放的な学生ホールを設け、多くの学生が余裕をもって休息、交流その他に利用している。

校地・運動場について、武蔵野キャンパスは運動場等を利用する１年次開講の「スポーツと身体科学」を含め、授業を行う上での支障はない。

２．校舎等施設の整備計画

本学部の教育課程、授業形態、学生人数等を実施するためには、専任教員の研究室、

授業を実施するための教室が必要であり、校舎等施設については、４年間を通じて武蔵野キャンパス（東京都西東京市）を利用する。また、本学部は１年次に全員が武蔵野キャンパス内に位置する教育寮に入寮を予定している。

必要な教員研究室について、２人１室の共同研究室を７号館３階に 10 室用意する。専任教員 19 名のうち 18 名が入居し（学部長・学科長各１室、他 16 名は２名で１室）、各研究室で個別研究や学生の個別面談を行う。他、専任教員１名は学長を兼務しているため、６号館２階の学長室１室を研究室と兼ねる。

必要な教室について、授業は最大１学年 60 名が同時に学ぶ教室から、１学年を３クラスに分けた最小 20 名が学ぶ教室の規模が必要である。武蔵野キャンパスの教室 87 室における令和２年度教室稼動率は、通年平均が 41.4%である（**資料３**）。計算上空いている教室数は１時限当たりにすると平均約 51.0 室となる。本学部の時間割案は**資料４**のとおりであり、１時限当たりの使用教室数は最大 11 室（４学期火曜日６限、２年３クラス、３年３クラス、４年５クラス）を予定しているため、本学部設置後も教育を行うに十分な余裕がある。

また、教育寮について、武蔵野キャンパス２号館を教育寮に改修して１年次 60 名全員が入寮する。本学部では、少人数のチームを組み、仮想の会社を運営したり特定のテーマに関する課題に取り組んだりと、プロジェクトやグループワークの授業が多いことが特徴である。プロジェクト型の授業では、授業時間以外にも調査やディスカッション等の学習をする必要が多くあるため、教育寮の中に共用スペースを設け、一番広い空間で 144 ㎡の広さを確保し、グループワークに取り組みやすい環境を整える。共用スペースでは、第一線で活躍する起業家らをゲストに呼んで行う授業なども行う。２号館は令和元年度までは看護学部専用の演習室及び教員研究室として利用していたが、看護学部が令和２年度に有明キャンパス（東京都江東区）に移転したため、改修工事を行い令和３年度の本学部開設時から教育寮として活用する。なお、入寮は１年次のみとなるが、共用スペースは 2 年次以降も利用可能であり、学年を超えた学びと交流を活性化させる場として活用する。また、５号館１階・２階の「クリエイティブ・ラーニング・スクエア」（９時 00 分～19 時 30 分開室）や、図書館３階の「ラーニング・コモンズ」（８時 30 分～20 時 00 分開室）も利用可能であり、これらの施設は、学生の主体的な自学自習及びグループ学習を支援する施設として全学生が自由に使うことができる施設である。

３．図書等の資料及び図書館の整備計画

本学は、総合大学として、既に文学部、グローバル学部、法学部、経済学部、経営学部、データサイエンス学部、人間科学部、工学部、教育学部、薬学部、看護学部の１１学部及び大学院文学研究科、言語文化研究科、法学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、人間社会研究科、仏教学研究科、環境学研究科、工学研究科、教育学研究科、薬科学研究科、看護学研究科の 12 研究科、更には各学部に研究所を設置している。教育

研究に必要な図書・文献については既に十分所蔵しており、これらの図書等を有効に活用する。また、必要に応じて更なる充実を図っていく予定である。

本学では、約 2,800 タイトルの学術雑誌(そのうち、Elsevier、Springer、Wiley-Blackwell、Nature、Oxford University Press 等主な出版社の電子ジャーナル約 1,300 タイトル）の閲覧が可能である。また、本学部の学生が教育研究に必要と考えられる「厚生労働」「国際金融」「企業会計」「損害保険研究」「国際税務」「Economist」等 111 種のジャーナルを整備している（**資料５**）。

データベースにおいては、国内の経済関係のデータベース「日経 BP」「日経テレコン 21」等をそろえ、海外の新聞データベース「EBSCOhost Newspaper SourcePLUS」「ProQuest New York Times」等とともに各種学習・研究のサポートをしている。さらに、雑誌記事検索・全文データベース・書籍情報として、「JSTOR Business Collection」「JDreamⅢ」「EBSCOhost Business Source Elite」、「EconLit」「東洋経済 DCL」等の利用が可能である。また、電子書籍の導入も積極的に進めており国内の学術系電子書籍約 1,400 タイトル、海外の学術系電子書籍 5,900 タイトル以上が閲覧可能である。

本学図書館では、学生が来館時に閲覧・借用できることに加え、以下のサービスを提供することで、自宅での学習・研究にも配慮する。

（ｉ）インターネットによる蔵書検索
インターネットに接続していれば、本学の図書館WEBから、本学図書館の蔵書（約41万冊）を検索することが可能である。また、該当の図書が貸出中であるかどうかも同時に確認することができる。
（ⅱ）貸出予約
希望する図書が貸出中の場合、当該図書が返却された後に優先的に利用できる制度を設け、学生は、貸出窓口あるいは図書館のホームページ上から予約申込をし、当該図書が返却された後、来館により貸出を可能にする。
（ⅲ）２キャンパス間のシャトル便サービス
両キャンパスに所蔵する図書資料についても、相互に予約・貸出ができる図書館システム機能を導入し、キャンパス間の定期便等で相互に資料の転送を行い利用者サービスの向上を行っている。
（ⅳ）文献複写
既に本学所蔵の図書・雑誌については、著作権法に反しない範囲で文献複写サービスを行っているが、学生が検索した結果、本学に所蔵していない図書資料については、他大学図書館等に文献複写・資料貸借の依頼をすることを可能にする。平成２９年度からは海外の雑誌資料の文献複写サービスであるReprintDeskを導入した。
（ⅴ）他大学等の図書館の閲覧案内
本学図書館では、他大学図書館のほか、国立国会図書館をはじめとした全国の公共図書館の情報も学生に提供する。学生が検索した結果、本学に所蔵していない図書資料については、レファレンスカウンターでの申込により、当該大学図書館を検索し、閲覧の依頼を可能とする。 また、国立国会図書館でデジタル化した図書や雑誌のうち、絶版等で現在手に入らない約150万点について、国立国会図書館館の承認を受け平成26年６月から両キャ

ンパス図書館で「デジタル化資料送信サービス」（閲覧・複写）の運用を開始した。
（vi）文献調査、事項調査
学生が希望する研究分野・テーマに関する文献調査、事項調査に対応する。
（vii）全資料の開架化
有明キャンパスの図書館は貴重書以外のすべての図書資料を開架図書として自由に閲覧、貸出が可能である。大学院の学生については、学術雑誌バックナンバーの貸出にも対応している。これは、研究、調査の内容が高度かつ広範囲である学生の特性を考慮し、必要文献を即座に閲覧、貸出ができるようにするためである。 武蔵野キャンパスの図書館は、一般図書、基本文献等については、開架図書として自由に閲覧、貸出が可能であるが、大学院の学生についてのみ、閉架書庫（学術雑誌バックナンバー、外国書等）への入室を可能とする。これは、研究、調査の内容が高度かつ広範囲である学生の特性を考慮し、必要文献を即座に閲覧、貸出ができるようにするためである。
（viii）研究閲覧室の設置
有明キャンパスの図書館には、296席の閲覧室があり、このうち大学院生に対応した12席の「研究閲覧室」を設置している。また、館内には34台のパソコン（うち12台は館内貸出用ノートパソコン）を有する。これにより、学生がインターネットを利用し、研究に必要な情報の収集及び論文作成を行うことを可能にする。 武蔵野キャンパスの図書館には、796席を有する閲覧室があり、館内には50台のパソコン（うち10台は館内貸出用ノートパソコン）を有する。また、両キャンパス図書館とも館内には無線ＬＡＮの環境が整備されており、学生が持ち込んだノートパソコン、タブレット端末等で、インターネットを利用して、研究に必要な情報の収集及び論文作成を行うことを可能にする。
（ix）電子リソースの遠隔地利用
本学では図書館の電子化を積極的に推進しており、自宅からのデータベース利用を実現すべく、EzProxyというソフトを導入し、教職員及び大学院の学生を対象に平成21年５月から運用を開始した。更に、平成25年４月からは、一部のデータベースを除き、学部生にも遠隔地利用を可能とした。

⑧ 入学者選抜の概要

１．基本的な考え方（アドミッションポリシー）

本学部では、仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。したがって、入学者には以下のような者を求める。

志向性： 将来の進路	具体的な進路として以下の将来像を描く者 起業、ベンチャー企業、社会起業、ＮＰＯ、ＮＧＯ、大企業の新規事業担当、行政の改革担当等

期待する能力：知識・専門性	【高等学校で履修するのが望ましい教科・科目】 英語、国語、数学、地理歴史・公民（日本史、世界史、政治・経済）。特に『国語（現代文）』又は／かつ『数学』において十分かつ深く学習していること 【高等学校で取得するのが望ましい資格等】 英語アセスメントテスト（ＴＯＥＩＣ、ＴＯＥＦＬ、ＩＥＬＴＳ、実用英語検定試験等） 【スキル】 ・標準的なＩＣＴリテラシー ・数字やデータをみて論理的に物事を考えようという意識を持つ者
期待する能力：関心・態度・人格	・自らの可能性を信じ、何者かになりたい/社会に働きかけたいと思っている者 ・人々との関わり合いや多様性を認め、協働を楽しめる者 ・あきらめずに考え抜き、やり抜こうとする意思のある者 ・未知のものに好奇心を抱き、挑戦しようと行動できるバイタリティのある者
期待する能力：思考・判断	・社会現象や人間の営みを観察し、事実を把握するために必要な情報を収集することのできる力 ・文脈的（国語的）または論理的（数学的）に自分の頭で思考する力 ・社会現象や人間の営みの背景にある価値観を理解する力
期待する能力：実践的スキル・表現	・インターネットを利用したり、人に尋ねたりする情報探索能力 ・人と協力してなにかをやり遂げようとするコミュニケーション力 ・自分の考えや意見を表現するためにＩＣＴを活用できるスキル ・日本語による対話能力と論述能力 ・英語による最低限の対話能力と論述能力

２．入試内容

アドミッションポリシーに基づき、学修を積み上げていくのに必要な学力及び教育課程に積極的に取組む姿勢を有しているかを重視し、以下の通りの入学者選抜を計画している。

【出願資格】（共通）※外国人を対象とした入試を除く。

・高等学校（特別支援学校の高等部含む、以下同じ。）若しくは中等教育学校を卒業した者及び入学予定前年度３月卒業見込みの者
・通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び入学予定前年度３月修了見込みの者
・高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、入学予定前年度３月 31 日までにこれに該当する見込みのある者

１）一般選抜

募集人員	10 名
時期	２月を中心に数回実施
試験内容	学力検査：英語、国語、選択科目（数学、世界史、日本史、政治・経済）

2）大学入学共通テスト利用選抜

募集人員	10 名
時期	12 月から３月にかけて出願期間を設けている。学力検査は１月の大学入学共通テストのみ
出願基準	共通テストの定められた科目を受験していること
試験内容	・共通テスト結果を利用し、特に書類審査や面接等は行わない ・英語（必須）に加え、国語、地理歴史・公民、数学、理科のうち２科目～５科目を選択

3）総合型選抜

募集人員	25 名
時期	10 月～３月の間に数回実施
出願基準	・定められた課題等を提出できる者 ・定められた資格等を有する者
試験内容	書類審査、面接、プレゼンテーション、能力・適性、基礎学力等に関する検査

4）推薦選抜

【募集人員】12 名

ⅰ）公募制学校推薦型選抜

時期	11 月実施
出願基準	高等学校の成績指定
試験内容	書類審査、面接

ⅱ）系列校学校推薦型選抜

時期	11 月実施
出願基準	高等学校の成績指定
試験内容	書類審査

ⅲ）指定校学校推薦型選抜

時期	11 月実施
出願基準	高等学校の成績指定
試験内容	書類審査

5）特別選抜

【募集人員】若干名

ⅰ）帰国生選抜

時期	10 月実施
出願基準	・外国の高等学校に最終学年を含め２年以上継続して在籍し、卒業（修了）した者。又は、入学予定前年度３月 31 日までに卒業（修了）見込みの者 ・外国の中学・高等学校で継続して２年以上教育を受け、入学予定前年度３月 31 日までに日本の高等学校を卒業見込みの者で、卒業時点で帰国後

	原則として２年以内の者 ・文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程又はそれに相当する課程を有すると認定した在外教育施設に２年以上在籍した者 ・国際バカロレア資格取得者等本学が適当と認めた者
試験内容	書類審査、面接

ⅱ）社会人選抜

時期	10 月実施
出願基準	入学予定年度４月１日現在満 22 歳以上の者で次の各項のいずれかに該当する者 Ａ．入学予定前年度の４年前の３月以前に高等学校を卒業した者 Ｂ．通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 Ｃ．学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
試験内容	書類審査、面接

６）外国人を対象とした選抜

募集人員	若干名
時期	11 月、12 月、２月、３月実施
出願基準	（外国人共通） ・日本国以外の国籍を有し、入学予定前年度３月 31 日までに 18 歳に達する者 ・外国において学校教育における 12 年の課程を修了し、その国において大学入学資格を有する者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ・本学の授業を受けるに充分な日本語能力又は英語能力を有する者 ・本学の在学中の学費・生活費を支弁する能力を有する者
試験内容	学力検査、面接、書類審査

⑨　企業実習や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

学外学修については、以下のとおり実施する。

No	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修/選択/自由
1	共通科目	フィールド・スタディーズ	フィールド・スタディーズ	1①～④	必修
			フィールド・スタディーズ１～４	1①～④	選択
2			フィールド・スタディーズ発展１Ａ～４Ｄ	1･2･3･4 ①～④	選択
3		インターンシップ	インターンシップ	2①～④	選択
4	学科科目	マインド科　目	グローバルアントレプレナー（海外研修）	2①～④	必修
5		実践科目	インターンシップ（領域別Ｔｅｃｈ研究）	2①～④	選択
			インターンシップＡ～Ｃ	2･3･4 ①～④	選択

１．「フィールド・スタディーズ」「フィールド・スタディーズ１～４」

ア　実習先の確保の状況
「Summer Study at the University of Texas at Austin」「はばたけ秋田県上小阿仁村！」「小金井市　地域の寄り合い所　また明日」等のプログラムで構成する（**資料６**）。他学科含め１千２百名弱の受入枠を確保している。
イ　実習先との連携体制
各受入団体と連携し、本学の担当教職員が実習中に同行、巡回するとともに、実習前や実習後に実習内容についてヒアリング及び振り返りを行うことで連携を図っている。
ウ　成績評価体制及び単位認定方法
実習ノート及びプログラムの求める到達度目標、実習期間等を踏まえ、総合的に評価する。
エ　その他特記事項
プログラム期間により、「フィールド・スタディーズ１～４」に分かれている。

２．「フィールド・スタディーズ発展１Ａ～４Ｄ」

ア　実習先の確保の状況
「宮城県石巻市牡鹿半島ローカルリンクカレッジ体験プログラム」「長野県長野市 JA ながの農業経済・流通体験インターン」「山梨県西桂町地域福祉推進プロジェクト」等のプログラムで構成する（**資料７**）。他学科含め９百名強の受入枠を確保している。
イ　実習先との連携体制
本学の担当教職員が実習中に同行するとともに、実習前や実習後に実習内容についてヒアリング及び振り返りを行うことで連携を図っている。
ウ　成績評価体制及び単位認定方法
プログラムの求める到達度目標、実習期間等を踏まえ、総合的に評価する。
エ　その他特記事項
プログラム期間により、「フィールド・スタディーズ発展１Ａ～４Ｄ」に分かれている。

３．「インターンシップ」

ア　実習先の確保の状況
ホテル、旅行会社、官公庁、小売等の国内 49 社と連携している。他学科含め 130 名強を確保している（**資料８**）。
イ　実習先との連携体制
実習中の記録となる実習ノートに実習先の担当者からコメント・評価をいただくとともに、本学の担当教員が実習後訪問し、実習内容についてヒアリングを行うことで連携を図っている。状況に応じて担当教員が新規の実習先を中心に視察を行うことで、次年度以降の提携等に向けて連携を図っている。
ウ　成績評価体制及び単位認定方法
実習ノート及び実習先での評価・目標の達成度、フォローアップ授業により、国内インターンシップ専門委員会で総合的に評価する。

４．「グローバルアントレプレナー（海外研修）」

ア　実習先の確保の状況
研修先は**資料９**のとおりで、８カ所に分かれて訪問する。約 70 名前後を確保している。
イ　実習先との連携体制
海外で活躍するアーリーステージ（社員 10 名～）のスタートアップ企業複数社を訪問し、

グローバル市場におけるスタートアップの現状及び海外市場の重要性を体感し、自身の持つスタートアッププランを磨き上げる。また現地の大学で同様にスタートアッププログラムを履修する学生らと、互いの志を共有し、将来切磋琢磨できるネットワーキングの機会を設ける。研修には教員が帯同する。
ウ　成績評価体制及び単位認定方法
現地で行うビジネスプランの英語プレゼンテーション及び帰国後に学部全体で実施する成果報告会の内容を元に、担当教員が総合的に評価する。

５．「インターンシップ（領域別Ｔｅｃｈ研究）」「インターンシップＡ・Ｂ・Ｃ」

ア　実習先の確保の状況
インターンシップ受入れ予定先は**資料１０**のとおりで、国内 21 社と連携する。必修科目「インターンシップ（領域別Ｔｅｃｈ研究）」で64名、選択科目「インターンシップＡ」で18名、「インターンシップＢ」で24名、そして「インターンシップＣ」で38名を確保している。
イ　実習先との連携体制
インターンシップ中の記録となるインターンシップノートに、インターンシップ先の担当者からコメント・評価をいただくとともに、本学の担当教員がインターンシップ後に内容や成果についてヒアリングを行うことで連携を図る予定である。
ウ　成績評価体制及び単位認定方法
成績評価及び単位認定については、事前に教員と面談にて策定した目標設定に対して、インターンシップノート及びインターンシップ先での評価、目標の達成度、フォローアップ授業やインターンシップ後の教員との面談を経て、担当教員が総合的に評価する。

⑩　管理運営

本学部に教授会及び代議員会を設け、学部学科に関する運営を行う。教授会は教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認めたときは構成員以外の教職員の出席を求めることができる。また、原則としてあらかじめ議案を通知して、学部長がこれを招集しその議長となる。なお、学部長に事故があるときは、あらかじめ学部長の指名した者が代行する。

月１回を目安に教授会を開催し、アントレプレナーシップ学部に関する次の各号に掲げる事項を審議する。

（１）学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
（２）学位の授与に関する事項
（３）前２号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項
（４）教育及び研究にかかわる規則及び組織に関する事項
（５）教育課程及び履修方法に関する事項
（６）学生の試験に関する事項
（７）学生の休学、転学、退学に関する事項
（８）学生の賞罰に関する事項

（９）学生の厚生補導に関する事項
（１０）その他教育及び研究に関する重要事項
（１１）上記各号に関する諸規程の制定・改廃に関する事項
（１２）学部運営上学部長が必要と認めた事項

上記の（４）及び（１０）の事項は代議員会の議決をもって、また、（１）の学生の入学に関する事項は入学者選考委員会の議決をもって、教授会の議決に代えることができるものとする。

代議員会は、学部長、学科長、教授会の推薦による教授２名（この代議員の任期は２年とする）をもって構成する。代議員会は、必要に応じて月１回を目安に開催し、学部長が招集し議長となる。学部長に事故があるときは、あらかじめ学部長が指名したものがその職務を代行する。代議員会は、次の事項について審議し、その決定について教授会に報告するものとする。

（１）教授会並びに教員資格審査委員会に付議する議案に関する事項
（２）教授会から審議を付託された事項
（３）学院長及び学長から諮問された事項
（４）学部長から提案された事項
（５）その他学部の運営に必要な事項

⑪　自己点検・評価

１．実施方法

本学の自己点検・評価は、教育改革推進会議で定めた方針に従い、武蔵野大学自己点検・評価委員会（以下「自己点検・評価委員会」という。）が主体となって全学的に点検・評価を行っている。また、平成 24 年度から各学部・研究科及び事務局等に自己点検・評価小委員会を置き、各学部・研究科・部局内の点検・評価を行っている。

直近では、平成 30 年度において、平成 28 年度～平成 30 年度の本学の取組について自己点検・評価を実施し、自己点検・評価報告書を作成した。さらに、令和元年には武蔵野大学外部評価委員会（以下「外部評価委員会」という。）を立ち上げ、この自己点検・評価報告書に基づいた外部評価を行って、客観的な評価による教育水準の向上に取り組んでいる。

また、自己点検・評価の一環として学生による授業評価を平成 10 年に開始し、以降、原則的に毎年実施している。結果については教員に通知し、授業の改善・水準向上に役立てている。平成 27 年度からは、授業評価に対する授業改善の取組を実質化させるべく、全学科・全科目(実習・実技・少人数授業を除く)を対象とした教員アンケートを実施し、自己評価と授業改善案を提出させている。平成 28 年度からは授業評価の対象を大学院科目にも拡大し、これを継続して実施している。

２．実施体制

平成４年に学則を改正し、自己点検・評価に関する規程を設けた。これに基づき、自己点検・評価委員会を設置し、その下に専門事項を点検・評価するための専門委員会として、複数の自己点検・評価小委員会を設けている。平成 30 年度には自己点検諸規程の見直しを行い、「武蔵野大学自己点検・評価規程」、「武蔵野大学自己点検・評価委員会規程」「武蔵野大学外部評価委員会規程」の制定・改正を行うとともに、自己点検・評価の方針を定める責任主体を教育改革推進会議と定めて「武蔵野大学教育改革推進会議規程」を改正した。

なお、自己点検・評価委員会は、毎年度１～３回程度の頻度で開催している。

３．点検・評価の進め方

【教育改革推進会議】 点検・評価の方針を定める。
【自己点検・評価委員会】 点検・評価の実施方法を策定し大学全体の点検・評価を行うと共に、各学部・研究科等の自己点検・評価小委員会が行う点検・評価を統括し報告書を作成する。
【自己点検・評価小委員会】 点検方針、基準、実施方法に基づき、各学部・研究科における点検・評価を実施する。
【外部評価委員会】 自己点検・評価委員会が行う自己点検・評価について検証及び評価を行い、評価結果を教育改革推進会議に報告する。

４．評価項目

「武蔵野大学自己点検・評価規程」において、評価項目を次のように定めている。

１）建学の精神、教育理念・目的、２）内部質保証、３）教育研究組織、４）教育課程・学習成果、５）学生の受け入れ、６）教員・教員組織、７）学生支援、８）教育研究等環境、９）社会連携・社会貢献、１０）大学運営・財務、１１）その他

５．結果の活用

自己点検・評価報告書は大学ホームページで公開している（https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/inspection.html）。自己点検・評価委員会及び外部評価委員会からの報告を受けて教育改革推進会議で改善が必要と認めた事項については、その事項を所管する部局・事務局に対し、改善を要請する。また、自己点検・評価小委員会において改善が必要と認められた事項については、各学部長・研究科長を中心に改善を図っている。

６．第三者評価への取組

平成18年７月に（公財）日本高等教育評価機構による認証評価の実施を受け、平成19

年３月に同機構が定める大学評価基準を満たしていると認定された。また、平成24年度と令和元年度には（公財）大学基準協会による認証評価を受審し、それぞれ平成25年３月、令和２年３月に同協会が定める大学基準に適合していると認定された。なお、いずれの認証評価においても是正勧告は受けていない。また、これらの評価結果並びに自己点検・評価報告書は大学のホームページで公開している。

⑫　情報の公表

仏教主義による人格教育という明確な建学の精神を掲げ、その精神のもとに独自の特色ある教育を展開し、社会の各方面で活躍する実践的な人材を育成している本学においては、社会から信頼・支持され、期待される大学になることを何より重要かつ必要不可欠とし、高等教育機関としての社会的役割を堅実に果たしていくことが最も重要であると考えている。

そのために、教育力の向上、その裏付けとなる研究水準の維持・向上、社会貢献力の強化に、不断の努力を傾注することはもちろんのこと、本学の現状を示す情報を積極的に公開し、社会からの批判的意見や評価を真摯に受け止め、日々、改革・前進に努めることとしている。

本学では、前述の方針及び社会に対する説明責任を果たし、教育と研究の質の維持向上を図るため、学校教育法第 113 条及び学校教育法施行規則第 172 条の２に基づき、教育研究活動等の情報を公表している。

公表している情報については、本学ホームページ上に「公開情報一覧」としてまとめて掲載している（https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/）。なお、公開情報の項目及びその掲載箇所については、**資料１１**のとおりである。

また、ホームページの他、以下の冊子等を作成し、学内教職員をはじめ全国の大学・研究機関、官公庁等に配布し、教員の教育研究についての情報公開を行っている。

・「大学紀要」
・「学内学会誌」
・「センター報」、「研究所報」、「年報」（附置機関の教育研究活動状況）
・「自己点検・評価報告書」：平成 23 年度刊行

更に、授業評価の結果についてもホームページ上で公開している。評価のための設問項目は各年度により改訂を加えているが、令和元年度については以下に示すとおりで公開している。

授業評価の実施概要	実施時期／対象科目／回収総数
調査内容	【教学機能】履修目的とシラバスの機能について 【教授行動】授業の内容について 【学修行動】授業への態度・準備 【成長実感】授業で成長したこと 【総　　合】総合的な評価／自由記述

⑬　教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

本学では、平成10年12月に全学一斉による授業評価を実施し、調査結果を各教員に報告した。この全学調査を契機に、個々の教員が授業内容・授業手法の研究、開発に着手し、シラバス作成や授業運営への反映とともに、学部・学科単位でＦＤ活動が拡大していった。平成16年の全学部男女共学化並びに薬学部設置を契機に、大学改革をより積極的に推進させ、新設学部着任の教員中心に綿密な学部・学科の授業構成が練られ、それに伴う授業改善の回路が定着していった。並行して学内では新設学部に対して原則、学部完成年度に至るまで、専務理事が関わる「運営委員会」が開催され、学部・学科の自律的な授業改善の試みに対する進捗確認と同時に、新設学部における教育の質保証、更に教職員連携、関わる職員の能力開発の在り方が議論された。

令和２年４月現在で11学部19学科、12大学院研究科、通信教育部、24研究所・センターに本学は拡大したが、これは全学的なＦＤ活動と教職協働、職員の能力開発により、その実効性が担保されてきた。

１．ＦＤ研修

令和元年度は、本学の抱える教育課題を解決するための全学ＦＤ研修を年３回開催した。いずれの回も教職員ともに理解度の高い研修機会になっている（事後アンケート：「とても」「まあ」理解の割合は全て 80％以上）。

令和元年度武蔵野大学全学ＦＤ研修実施一覧

第１回	各学科の授業改善に向けたGood Practiceの共有～学修者本位の教育の転換に向けて～	令和元年５月21日
第２回	トランジションに向けた学生の学びと成長－社会で活躍するために－	令和元年９月18日
第３回	建学の精神に基づくブランドステートメントの実現に向けて	令和２年３月24日

今後も複数回の全学ＦＤ研修及び目的別ＦＤ、そして各学科・教科グループ、研究科ＦＤの開催を計画している。教職員ともに同一の課題を同じ視点で考え、実務に反映する機会を安定的に設けている。

また、2024 年に本法人が創立 100 周年を迎えるにあたり、教職協働で 100 周年構想、教育改革のビジョン、企画案等を検討している。その教育改革では、カリキュラム改革、全学部４学期制への移行、３つのポリシー（ディプロマ・カリキュラム・アドミッション）の明確化、全学共通基礎課程等の改革にスピーディーに着手し、ＰＤＣＡサイクル構築を目指した自己点検評価への基盤作りが教職協働で進行中である。こうした多面的な学内の教育改革の展開においても、職員による企画策定が為され、ビジョンと戦略案に基づき、課題を多角的に捉え、創造的に職能開発が行われてきた。また、令和元年度に至るまで過去６回開催された「ＦＤシンポジウム」では、長期学外学修の成果報

告やアクティブラーニングのあり方を協議する機会として学内外の関係者を招聘する場となった。同シンポジウムの企画立案は教職協働で進めている。このように、積み重ねたＦＤ研修や全学課題を考えぬく場を通じ、鍛錬された本学教職員が十分に能力を発揮する機会が準備されている。

２．ＳＤ研修

大学職員のＳＤについては、事務局の運営方針として「改革を進める組織力の向上」を示した上で、運営事業の方向性として「帰属意識の向上と各種研修の推進による人材能力開発と組織の活性化」を掲げ、ＳＤの重要性を方針としても掲げている。

ＳＤの実施については、平成 21 年度に定めた「事務職員中期研修計画」に基づき実施している。この計画は、平成 24 年度の有明キャンパス開設に伴う２キャンパス体制による分散型勤務の管理体制を視野に入れて決定したものである。更に平成 24 年度には「学校法人武蔵野大学の未来を創る職員の能力開発施策」を定め、2024 年の本法人創立 100 周年に向け、より評価の高い学校として安定的な経営を行えるようにするため、職員が必要な施策を企画・立案、実施できるようになることを目的とし、そのために本法人の課題と本法人が求める人材像を確認している。本法人の課題は、中長期的視点として 18 歳人口の減少及びグローバル化とし、短期的視点として２キャンパス体制の安定化及び事務遂行能力の向上とし、本法人が求める人材は平成 16 年度に定めた「本学事務職員の人事理念体系における求める人材」として能力開発の方向性を見出し、ＳＤを実施している。

令和元年度の研修区分としては「建学の精神の涵養」、「職種・職位別の職務研修の充実」、「国際化に対応する語学力の向上」、「コンプライアンスの強化」、「実務能力スキルアップ研修」であった。

研修区分	研修内容
建学の精神の涵養	主に新入事務職員を対象に、学内行事に参加して学内講師の講話を聞きグループディスカッション等を行い、建学の精神について理解を深める
職種・職位別の職務研修の充実	職位ごとに必要とされる能力の育成を図るもので、管理職を対象とした人事評価者研修及び一般職を対象とした若手職員のプランニング研修と中堅職員のモチベーション研修を実施
国際化に対応する語学力の向上	グローバル化への対応に資するため、語学講座受講料補助と語学検定試験受験料補助を実施
コンプライアンスの強化	ソーシャルメディアの適切な利用に資するためのリスク対策研修と役職者を対象にハラスメントへの理解とトラブルを未然に防止するためのハラスメント防止研修を実施
実務能力スキルアップ	経常費補助金実務研修と学校会計実務研修等を実施

それ以外に平成 27 年度から他大学との合同ＳＤを実施している。大学職員共通の課題について大学の枠を超えて研修を行うことで、他大学の例を参考に学ぶ機会を設けている。

⑭　社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

１．教育課程内の取組について

本学では、令和３年度から初年次を中心とした全学共通基礎課程「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」を導入する。「武蔵野ＩＮＩＴＩＡＬ」は、『(知識・体系等の)基礎・共通基盤』を意味し、専門的な分野を学ぶ前にまず自己基礎力を養う。その上で、少人数制のゼミナールや授業を通じてグループワークやプレゼンテーション等のアカデミックスキルの修得訓練を重ね、より実践的なコミュニケーション力やチームワーク形成力、思考力等を養う。また、学士課程の質の維持・向上を目指すものとして、一方的な知識・技能を教え込むのではなく、学生に自ら成長させる「場」を提供することで、社会で活躍するための汎用的な力を身に付け、豊かな人間性や課題探求能力等の養成を目的としている。

社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う教育課程について、共通科目において該当する授業科目は『建学』科目の「仏教（生き方を考える）基礎」「仏教（生き方を考える）発展」及び『インターンシップ』科目の「インターンシップ」「企業協働プロジェクト」である（**資料１２**）。１年次では、「仏教（生き方を考える）基礎」において自らの生き方を見つめ、大学生活や学習をしていく中で自身のキャリアについて考える授業を行う。また、２年次では「インターンシップ」「企業協働プロジェクト」を軸に体験活動を通じ、職業に必要な知識・技能を修得し、自らの適性等に応じ主体的に進路を選択する能力を養成している。これらの科目では、学生の能動性を引き出し、自己成長していくための“自己発見”“社会と他者への気付き”“再定義”等のプロセスを経て、“学修姿勢”を形成させる契機としている。さらに、３年次では「仏教（生き方を考える）発展」にて、１年次に考えた生き方を改めて見つめなおし、その確立をはかる。

学科科目は学科の目的に応じて起業家精神や事業創造スキルを身に付けるための教育課程を全体として組んでいるため、社会的・職業的自立を図ることと結びつく。特に『マインド科目』の「キャリアデザイン」や「未来構想」では、自分自身と向き合い、他者との対話や議論を通じて客観視することで、自身と社会のつながりを見出していく。また、「女性とアントレプレナーシップ」にて性別に拠らないキャリア形成をも考え、「アントレプレナーシップ１Ａ～４Ｄ」では１年次から４年次の４年間にかけて、第一線で活躍する起業家らをゲストに呼び、高い志や情熱、スピード感等の知的刺激のシャワーを浴び、自身の起業家精神を醸成していく（**資料１２**）。

２．教育課程外の取組について

全学生を対象に、進路ガイダンス及び就職支援、資格取得支援を行っている。就職支援においては求人票の公開や就職支援ガイダンスの実施、キャリアアドバイザー（就職相談員）による学生相談対応をはじめ、学内合同企業説明会、模擬面接対策講座、

ＳＰＩ試験対策講座等も開講している。資格取得に関しては資格取得対策講座を開講している（令和元年度）。また、ＴＯＥＩＣ試験や各種外国語検定試験を学内で実施し、学生の資格・検定試験の受験機会の促進に努めている。加えて外国語検定試験合格者、ＴＯＥＩＣ高得点取得者等に対しては奨励金を授与する制度や大学が指定する合格難易度の高い資格に関しては奨学金を給付する制度を設けている。

学科独自の取り組みとしては、武蔵野キャンパス内に学科生専用の学生寮を用意し、１年次は全員が入寮して共同生活を行う。１フロアを共用スペースとして確保し、日常から社会で活躍している起業家やビジネスパーソン等が来訪する環境を作り、授業外でもさまざまな刺激を受けられるプログラムを用意する。また、現役実務家の教員による起業アドバイスや事業運営に関する相談を頻繁に受けることができる環境である。

３．適切な体制の整備について

オンラインシステム「ＭＵＳＣＡＴ」上に、学生ポートフォリオシステム「学生カルテ」を構築し、学生と教職員が相互に目標の確認をしながら、学修成果・行動実績・志向の変化を蓄積しつつ、キャリア記録を作成する。加えて、各クラスのアドバイザーは、定期的に担当する学生と個人面談を行い、学生一人ひとりに対し、より適切な指導・助言できる体制を整えている。

授業外での学生のサポート体制として、オンラインチャットツールでの学生の個別フォローを行い、また、海外等の遠隔地からのゲストスピーカー出講をオンラインで行う等、オンラインツールを活用することで、学生サポートやカリキュラムの充実を図っていく。

以　上

資料目次

資料１　学校法人武蔵野大学定年規程……………………………………　p．１

資料２　アントレプレナーシップ学部履修モデル…………………………　p．５

資料３　武蔵野キャンパス教室稼働率（令和２年度）……………………　p．７

資料４　アントレプレナーシップ学部　時間割（案）……………………　p．８

資料５　アントレプレナーシップ学部設置に係る学術雑誌整備一覧…………　p．12

資料６　実習先一覧（共通科目「フィールド・スタディーズ」「フィールド・スタディーズ1～4」）‥　p．13

資料７　実習先一覧（共通科目「フィールド・スタディーズ発展１Ａ～４Ｄ」）‥　p．15

資料８　インターンシップ先一覧（共通科目「インターンシップ」）…………　p．17

資料９　研修先一覧（学科科目「グローバルアントレプレナー（海外研修）」）‥　p．18

資料 10　インターンシップ先一覧（学科科目「インターンシップ 領域別Tech研究・Ａ・Ｂ・Ｃ」）‥　p．19

資料 11　公開情報及び掲載先一覧…………………………………………　p．20

資料 12　社会的・職業的自立に関係する授業科目一覧……………………　p．21

本文１３ページ参照

○学校法人武蔵野大学定年規程

（昭和５０年　４月　１日）

改正　平成　元年　４月　１日　　平成　２年　３月　１日
平成　８年　９月１３日　　平成　９年　７月　１日
平成１２年　５月２９日　　平成１４年　３月１５日
平成１５年　５月２８日　　平成１７年　５月２７日
平成１９年１１月１９日　　平成２１年　３月２５日
平成２３年　５月２４日　　平成２５年　４月　１日
平成２６年　４月　１日　　平成２６年１１月２７日
平成２７年　３月２６日　　平成２９年　４月　１日
平成３０年　４月　１日　　平成３０年　５月２５日
平成３１年　４月　１日　　令和　２年　４月　１日

第１条　専任教職員の定年を次のとおり定める。

（１）　大学
　　教員　　満６５歳

（２）　高等学校、中学校
　　教員　　満６５歳

（３）　幼稚園
　　教員　　満６０歳
　　ただし、管理職については、満６５歳とする。

（４）　こども園
　　職員　　満６０歳
　　ただし、管理職については、満６５歳とする。

（５）　事務
　　職員　　満６５歳

（６）　保育園
　　職員　　満６０歳
　　ただし、管理職については、満６５歳とする。

２　前項第１号の規定にかかわらず、大学院担当教員、大学の教員管理職及び付属施設の長にあっては、特に必要ある者について、学内理事者会の了承を得て、１年毎に最長満７０歳まで定年を延長することができる。

３　幼稚園の教員で定年に達した者が継続して雇用を希望した場合は、幼稚園非常勤講師として雇用することができる。

４　こども園の職員で定年に達した者が継続して雇用を希望した場合は、非常勤嘱託職員として雇用することができる。

５　保育園の職員で定年に達した者が継続して雇用を希望した場合は、非常勤嘱託職員として雇用することができる。

第２条　定年により退職する時期は、定年に達した日の属する学年度の末日とする。

第３条　この規程の改廃は、理事会が行う。

附　則

１　この規程は、昭和５０年４月１日から施行する。

２　平成８年度設置認可申請にかかる新学部設置のため、理事会が特に必要と認めた教職

員については、新学部の完成年度末までの間第１条の規定を適用しないことができる。

３　平成１２年度設置認可申請にかかる大学院人間社会・文化研究科の新専攻設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、新専攻の完成年度末までの間第１条の規定を適用しないことができる。

４　平成１５年度設置認可申請にかかる薬学部設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、薬学部の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

５　平成１７年度設置認可申請にかかる看護学部設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、看護学部の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

６　平成２１年度設置認可申請にかかる大学院看護学研究科設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、大学院看護学研究科の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

７　平成２３年度課程変更認可申請にかかる大学院看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

８　平成２５年度設置届出にかかる法学部及び経済学部設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、法学部及び経済学部の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

９　平成２６年度設置届出にかかる工学部設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、工学部の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

１０　平成２７年度設置届出にかかるグローバル学部設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、グローバル学部の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

１１　平成３０年度設置届出にかかる教育学部こども発達学科設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、教育学部こども発達学科の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

１２　平成３１年度設置届出にかかるデータサイエンス学部データサイエンス学科設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、データサイエンス学部データサイエンス学科の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

１３　平成３１年度設置届出にかかる経営学部設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、経営学部の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

１４　令和３年度設置届出にかかる法学研究科ビジネス法務専攻(博士後期課程)設置のため、理事会が特に必要と認めた教員については、法学研究科ビジネス法務専攻(博士後期課程)の完成年度末までの間、第１条の規定を適用しないことができる。

１５　附則第２項から第１４項に規定する教職員の任期、給与等の勤務条件については、理事会が別に定める。

附　則　（第１条、第２条、第３条、附則改正、附帯議決削除）

この規程は、平成元年４月１日から施行する。

附　則　（第１条、附則改正）

１　この規程は、平成２年３月１日から施行する。

２　第１条において大学・短期大学部教授等（定年年齢満７０歳の者）が幼稚園の園長又は副園長を兼務する場合の定年年齢は、同条の定めにかかわらず満７０歳とする。

３　この規程施行の日に、第１条（２）に定める定年を超えている校長、副校長、主事、教頭がいる場合、それらの者の定年年齢は、同条の定めにかかわらずなお従前の例による。

附　則

１　この規程は、平成８年９月１３日から施行する。

２　この規程による改正後の定年規程附則第２項は、新学部設置に伴う新規採用の人事に限り適用するものとする。

附　則（附則改正）

この規程は、平成９年７月１日から施行する。

附　則（附則改正）

１　この規程は、平成１２年５月２９日から施行する。

２　学校法人武蔵野女子学院定年規程（就業規則第２３条）改正規程（平成８年９月１３日施行）の一部を次のように改正する。附則第２項中「及び第３項」及び「し、新学部の完成年度をもって削除」を削る。

３　定年規程附則第２項適用者の勤務条件に関する内規の一部を次のように改正する。第１条中「附則第３項」を「附則第４項」に改める。

附　則（第１条改正）

１　この規程は、平成１４年４月１日から施行する。

２　この規程施行の日の前日に在職し、改正前の第１条第１号の規定の適用を受けていた者については、改正後の第１条第１項第１号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（附則改正）

この規程は、平成１５年５月２８日から施行する。

附　則（附則改正）

この規程は、平成１７年５月２７日から施行する

附　則（第１条改正）

１　この規程は、平成１９年１１月１９日から施行する。

２　この規程施行の日の前日に在職し、改正前の第１条第２項の規定の適用を受けていた者については、改正後の第１条第２項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（附則改正）

この規程は、平成２１年３月２５日から施行する。

附　則（附則改正）

この規程は、平成２３年５月２４日から施行する。

附　則

この規程は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則（附則改正）

この規程は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則（附則改正）

この規程は、平成２６年１１月２７日から施行する。

附　則（附則改正）

この規程は、平成２７年3月２６日から施行する。

附　則（第１条改正）

この規程は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則（第１条、附則改正）

この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

附　則（附則改正）

この規程は、平成３０年5月２５日から施行する。

附　則（第１条改正）

この規程は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則（附則改正）

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

アントレプレナーシップ学部　履修モデル

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数（CAP）、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

モデル1 【進路イメージ】起業、ベンチャー企業、大企業の新規事業担当

科目区分				1年	2年	3年	4年
共通科目（19）	必修（16）	建学（4）		★ 仏教（生き方を考える）基礎 2		★ 仏教（生き方を考える）発展 2	
		情報（2）		★ データサイエンス基礎 1 ★ 人工知能基礎 1			
		外国語（4）		★ 英語基礎A 2 ★ 英語基礎C 2			
		教養日本語（1）		★ 日本語リテラシー 1			
		CHP（4）		★ SDGs基礎 1 ★ SDGs発展1 1 ★ SDGs発展2 1 ★ SDGs発展3 1			
		フィールド・スタディーズ科目（1）		★ フィールド・スタディーズ 1			
	選択必修（3）	情報（3）	○ 情報技法発展A～Cから1単位 ○ プログラミング発展A～Bから1単位 ○ 機械学習活用1、機械学習活用2、データサイエンス活用1、データサイエンス活用2から1単位		情報技法発展A 1 プログラミング発展A 1 データサイエンス活用1 1		
学科科目（81）	必修（66）	マインド科目（23）		★ キャリアデザイン1 1 ★ キャリアデザイン2 1 ★ 情報編集力 1 ★ アントレプレナーシップ1A 1 ★ アントレプレナーシップ1B 1	★ 未来構想 1 ★ 事業と哲学 2 ★ 倫理観1 1 ★ グローバルアントレプレナー（海外研修） 1 ★ アントレプレナーシップ2A 1 ★ アントレプレナーシップ2B 1 ★ アントレプレナーシップ2C 1 ★ アントレプレナーシップ2D 1	★ 倫理観2 1 ★ アントレプレナーシップ3A 1 ★ アントレプレナーシップ3B 1 ★ アントレプレナーシップ3C 1 ★ アントレプレナーシップ3D 1	★ アントレプレナーシップ4A 1 ★ アントレプレナーシップ4B 1 ★ アントレプレナーシップ4C 1 ★ アントレプレナーシップ4D 1
		事業推進科目（5）		★ クリティカルシンキング基礎 2 ★ ビジネスモデル研究基礎 1 ★ インターネットビジネス基礎 1	★ アフターデジタルの課題解決 1		
		実践科目（32）		★ プロジェクト入門 1 ★ プロジェクト基礎A 2 ★ プロジェクト基礎B 2 ★ プロジェクト基礎C 2	★ インターンシップ（領域別Tech研究） 1 ★ プロジェクト応用A 4 ★ プロジェクト応用B 4	★ プロジェクト発展A 4 ★ プロジェクト発展B 4	★ プロジェクト発展C 4 ★ プロジェクト発展D 4
		ゼミナール科目（6）			★ ゼミナール1 2	★ ゼミナール2 2 ★ ゼミナール3 2	
	選択必修（15）	マインド科目（3）	○ キャリアデザイン3、幸福学、好奇心醸成から1単位 ○ 女性とアントレプレナーシップ、政治と社会、地域課題と事業創造、デザインと事業創造、科学技術と事業創造から2単位		好奇心醸成 1 科学技術と事業創造 ※1 1	女性とアントレプレナーシップ 1	
		事業推進科目（12）	○ クリティカルシンキング1～2から2単位 ○ 課題解決プロセス1～2から1単位 ○ 領域別Tech研究A～D研究から2単位 ○ 事業計画A～Bから2単位 ○ プロトタイピングA～Bから1単位 ○ コミュニケーション基礎、ファイナンス・アカウンティング基礎、リーガル基礎、マーケティング基礎から2単位 ○ コーチング、プレゼンテーション、チーム・プロジェクトマネジメントから1単位 ○ マーケティングA～Cから1単位	リーガル基礎 1 マーケティング基礎 1	クリティカルシンキング1 2 課題解決プロセス1 1 領域別Tech研究B ※2 1 領域別Tech研究D ※3 1 事業計画A ※4 2 プロトタイピングA 1 プレゼンテーション 1 マーケティングA 1		
自由選択科目（24）				情報技法基礎 1 プログラミング基礎 1 外国語（英語以外）基礎1 1 外国語（英語以外）基礎2 1 ファイナンス・アカウンティング基礎 1 領域別Tech研究A 1 スポーツと身体科学 1	外国語（英語以外）発展1 1 外国語（英語以外）発展2 1 幸福学 1 チーム・プロジェクトマネジメント 1	デザインと事業創造 1 ファイナンスA ※5 1 グローバルマネジメント 1 マーケティングC 1 インターンシップC ※6 4	組織・人事マネジメント 1 ゼミナール4 2 ゼミナール5 2
備考							
履修モデル　計				39	40	28	17
CAP（履修上限単位数）				40	40	40	40
卒業所要単位数				合計124単位以上			

注意）卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いようにしてください。

【授業例】

※1　科学技術と事業創造　「科学技術」「研究」にフォーカスして、学ぶ。
※2　領域別Tech研究B　金融、不動産、モビリティ・物流の領域、「事業インフラ」を学ぶ。
※3　領域別Tech研究D　政治・法律、マーケティング・広告・小売・営業、製造・建設・ファッションの領域、「事業推進実現の仕組み」を学ぶ。
※4　事業計画A　既存のスタートアップ事業のビジネスモデルを理解した上で、実際に事業プランを作成する練習を行う。
※5　ファイナンスA　スタートアップの成長に必要なエクイティファイナンス、デットファイナンス等、起業や事業運営において必要となる資金調達について学ぶ。
※6　インターンシップB　主にスタートアップへ訪問する。

学生が自ら志向する専門分野については、必修科目であるプロジェクト基礎A～発展D、ゼミナール1～3にて、各専門分野の教員が指導を行うことで修得する。

資料2
本文13ページ参考

モデル2 【進路イメージ】社会起業、NPO、NGO

科目区分				1年	2年	3年	4年
共通科目（19）	必修（16）	建学（4）		★ 仏教（生き方を考える）基礎 2		★ 仏教（生き方を考える）発展 2	
		情報（2）		★ データサイエンス基礎 1 ★ 人工知能基礎 1			
		外国語（4）		★ 英語基礎A 2 ★ 英語基礎C 2			
		教養日本語（1）		★ 日本語リテラシー 1			
		CHP（4）		★ SDGs基礎 1 ★ SDGs発展1 1 ★ SDGs発展2 1 ★ SDGs発展3 1			
		フィールド・スタディーズ科目（1）		★ フィールド・スタディーズ 1			
	選択必修（3）	情報（3）	○ 情報技法発展A～Cから1単位 ○ プログラミング発展A～Bから1単位 ○ 機械学習活用1、機械学習活用2、データサイエンス活用1、データサイエンス活用2から1単位		情報技法発展A 1 プログラミング発展A 1 データサイエンス活用1 1		
学科科目（81）	必修（66）	マインド科目（23）		★ キャリアデザイン1 1 ★ キャリアデザイン2 1 ★ 情報編集力 1 ★ アントレプレナーシップ1A 1 ★ アントレプレナーシップ1B 1	★ 未来構想 1 ★ 事業と哲学 2 ★ 倫理観1 1 ★ グローバルアントレプレナー（海外研修） 1 ★ アントレプレナーシップ2A 1 ★ アントレプレナーシップ2B 1 ★ アントレプレナーシップ2C 1 ★ アントレプレナーシップ2D 1	★ 倫理観2 1 ★ アントレプレナーシップ3A 1 ★ アントレプレナーシップ3B 1 ★ アントレプレナーシップ3C 1 ★ アントレプレナーシップ3D 1	★ アントレプレナーシップ4A 1 ★ アントレプレナーシップ4B 1 ★ アントレプレナーシップ4C 1 ★ アントレプレナーシップ4D 1
		事業推進科目（5）		★ クリティカルシンキング基礎 2 ★ ビジネスモデル研究基礎 1 ★ インターネットビジネス基礎 1	★ アフターデジタルの課題解決 1		
		実践科目（32）		★ プロジェクト入門 1 ★ プロジェクト基礎A 2 ★ プロジェクト基礎B 2 ★ プロジェクト基礎C 2	★ インターンシップ（領域別Tech研究） 1 ★ プロジェクト応用A 4 ★ プロジェクト応用B 4	★ プロジェクト発展A 4 ★ プロジェクト発展B 4	★ プロジェクト発展C 4 ★ プロジェクト発展D 4
		ゼミナール科目（6）			★ ゼミナール1 2	★ ゼミナール2 2 ★ ゼミナール3 2	
	選択必修（15）	マインド科目（3）	○ キャリアデザイン3、幸福学、好奇心醸成から1単位 ○ 女性とアントレプレナーシップ、政治と社会、地域課題と事業創造、デザインと事業創造、科学技術と事業創造から2単位		キャリアデザイン3 1 地域課題と事業創造 ※1 1	政治と社会 ※2 1	
		事業推進科目（12）	○ クリティカルシンキング1～2から2単位 ○ 課題解決プロセス1～2から1単位 ○ 領域別Tech研究A～D研究から2単位 ○ 事業計画A～Bから2単位 ○ プロトタイピングA～Bから1単位 ○ コミュニケーション基礎、ファイナンス・アカウンティング基礎、リーガル基礎、マーケティング基礎から2単位 ○ コーチング、プレゼンテーション、チーム・プロジェクトマネジメントから1単位 ○ マーケティングA～Cから1単位	領域別Tech研究C ※3 1 コミュニケーション基礎 1 マーケティング基礎 1	クリティカルシンキング2 2 課題解決プロセス2 1 領域別Tech研究A 1 事業計画B ※4 2 プロトタイピングB 1 コーチング 1	マーケティングB 1	
自由選択科目（24）				情報技法基礎 1 プログラミング基礎 1 外国語（英語以外）基礎1 1 外国語（英語以外）基礎2 1 スポーツと身体科学 1 ファイナンス・アカウンティング基 1	外国語（英語以外）発展1 1 外国語（英語以外）発展2 1 幸福学 1 チーム・プロジェクトマネジメント 1 女性とアントレプレナーシップ 1 マーケティングC 1	デザインと事業創造 1 ファイナンスB ※5 1 インターンシップC ※6 4 組織・人事マネジメント 1	リーダーシップとマネジメント 1 ゼミナール4 2 ゼミナール5 2
備考							
履修モデル 計				39	40	28	17
CAP（履修上限単位数）				40	40	40	40
卒業所要単位数				合計124単位以上			

注意）卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いようにしてください。

【授業例】

※1 政治と社会　「政治」という糸口から学ぶ。
※2 地域課題と事業創造　「地域課題」にフォーカスして学ぶ。
※3 領域別Tech研究C　健康・医療、農業・食料、環境・エネルギー、すなわち「健康・環境」を学ぶ。
※4 事業計画B　NPO・NGO団体として取り組む事業計画の立て方を学ぶ。
※5 ファイナンスB　NPO・NGOが事業推進していく上で必要な手法について学ぶ。
※6 インターンシップC　主にNPO・NGO組織に訪問する。

学生が自ら志向する専門分野については、必修科目であるプロジェクト基礎A～発展D、ゼミナール1～3にて、各専門分野の教員が指導を行うことで修得する。

資料３

本文１５ページ参照

武蔵野キャンパス教室稼働率（令和2年度）

1学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	259	609	42.5%
火	327	609	53.7%
水	259	609	42.5%
木	261	609	42.9%
金	245	609	40.2%
全体	1,351	3,045	44.4%

2学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	243	609	39.9%
火	264	609	43.3%
水	200	609	32.8%
木	258	609	42.4%
金	234	609	38.4%
全体	1,199	3,045	39.4%

3学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	231	609	37.9%
火	316	609	51.9%
水	233	609	38.3%
木	256	609	42.0%
金	218	609	35.8%
全体	1,254	3,045	41.2%

4学期

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	244	609	40.1%
火	309	609	50.7%
水	227	609	37.3%
木	252	609	41.4%
金	209	609	34.3%
全体	1,241	3,045	40.8%

学期平均

曜日	使用教室延数	教室延数	稼働率
月	244.3	609	40.1%
火	304.0	609	49.9%
水	229.8	609	37.7%
木	256.8	609	42.2%
金	226.5	609	37.2%
全体	1261.3	3,045	41.4%

アントレプレナーシップ学部　時間割（案）

1年生　武蔵野キャンパス

【1学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1					選択	日本事情	1310	90	必修	データサイエンス基礎	1202	226	選択	英語基礎B	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70								
2	選択	マーケティング基礎	1206	90	必修	キャリアデザイン1	1108,1110,1111	60～70					必修	英語基礎A	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70								
3	必修	SDGS基礎	1304	132									必修	ビジネスモデル研究基礎	1108、1110、1111	60～70								
4	必修	クリティカルシンキング基礎	1108、1110、1111	60～70					選択	スポーツと身体科学	グラウンド等	—	選択	ファイナンス・アカウンティング基礎	1206	90	選択	外国語（中国語基礎A,フランス語基礎A,ドイツ語基礎A,スペイン語基礎A、韓国語基礎A）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
5	選択	日本語基礎A	1110	60													選択	全学教養ゼミナール1	1202	226				
	選択	英語資格・検定試験対策1	1205	60																				
	選択	留学準備1	1211	60																				
6	選択	日本語基礎B	1110	60																				
	選択	英語資格・検定試験対策1	1205	60																				
	選択	留学準備2	1211	60																				

【2学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1					選択	日本事情	1310	90	必修	人工知能基礎	1202	226	選択	英語基礎B	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70								
2	必修	SDGS発展1	1304	132	必修	キャリアデザイン1	1108,1110,1111	60～70					必修	英語基礎A	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	必修	プロジェクト基礎A	1311、1312、1313	70				
3	選択	マーケティング基礎	1206	90													必修	プロジェクト基礎A	1311、1312、1313	70				
4	必修	クリティカルシンキング基礎	1108、1110、1111	60					選択	スポーツと身体科学	グラウンド等	—	選択	ファイナンス・アカウンティング基礎	1206	90	選択	外国語（中国語基礎B,フランス語基礎B,ドイツ語基礎B,スペイン語基礎B、韓国語基礎B）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
5	選択	日本語基礎A	1110	60	必修	情報編集力	1206	90	必修	インターネットビジネス基礎	6501	103	必修	フィールド・スタディーズ	1103～1111、1204～1212、1308～1313、7202、7203、7205、7208、7209	60～132	選択	全学教養ゼミナール1	1202	226				
	選択	英語資格・検定試験対策1	1205	60																				
	選択	留学準備1	1211	60																				
6	選択	日本語基礎B	1110	60									必修	フィールド・スタディーズ	1103～1111、1204～1212、1308～1313、7202、7203、7205、7208、7209	60～132								
	選択	英語資格・検定試験対策1	1205	60																				
	選択	留学準備2	1211	60																				

【3学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1													選択	英語基礎D	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70					必修	フィールド・スタディーズ	1103～1111、1204～1212、1308～1313、7202、7203、7205、7208、7209	60～132
2	必修	SDGS発展2	1304	132	必修	キャリアデザイン2	1108,1110,1111	60～70					必修	英語基礎C	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	必修	プロジェクト基礎B	1311、1312、1313	70				
3					選択	リーガル基礎	1206	90	必修	日本語リテラシー	1304	132	選択	領域別Tech研究A	6501	103	必修	プロジェクト基礎B	1311、1312、1313	70				
													選択	領域別Tech研究B	6504	123								
4	選択	コミュニケーション基礎	1206	90	選択	情報技法基礎	7101	110					必修	仏教（生き方を考える）基礎	1304	132	選択	外国語（中国語基礎C,フランス語基礎C、ドイツ語基礎C,スペイン語基礎C、韓国語基礎C）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
5	選択	日本語基礎C	1110	60					必修	アントレプレナーシップ1A	1202	226	必修	フィールド・スタディーズ	1103～1111、1204～1212、1308～1313、7202、7203、7205、7208、7209	60～132	選択	全学教養ゼミナール2	1310	90				
6	選択	日本語基礎D	1110	60									必修	フィールド・スタディーズ	1103～1111、1204～1212、1308～1313、7202、7203、7205、7208、7209	60～132								

【4学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1													選択	英語基礎D	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70								
2	必修	SDGS発展3	1304	132	必修	キャリアデザイン2	1108,1110,1111	60～70					必修	英語基礎C	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	必修	プロジェクト基礎C	1311、1312、1313	70				
3					選択	リーガル基礎	1206	90					選択	領域別Tech研究C	6501	103	必修	プロジェクト基礎C	1311、1312、1313	70				
													選択	領域別Tech研究D	6504	123								
4	選択	コミュニケーション基礎	1206	90	選択	プログラミング基礎	7101	110	選択	メディアリテラシー	1304	132	必修	仏教（生き方を考える）基礎	1304	132	選択	外国語（中国語基礎D,フランス語基礎D、ドイツ語基礎D,スペイン語基礎D、韓国語基礎D）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
5	選択	日本語基礎C	1110	60													選択	全学教養ゼミナール2	1310	90				
6	選択	日本語基礎D	1110	60					必修	アントレプレナーシップ1B	1202	226												

資料4
本文15ページ参照

アントレプレナーシップ学部　時間割（案）

2年生 武蔵野キャンパス

【1学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1	選択	英語発展A	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	英語発展B	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	情報技法発展A	7101	110												
									選択	情報技法発展B	7102	82	選択	プログラミング発展A	7101	110	選択	プログラミング発展B	7101	110				
									選択	情報技法発展C	7103	36												
2	選択	マーケティング基礎	1206	90	必修	事業と哲学	1204、1205	60					選択	プレゼンテーション	1205	90	選択	外国語（中国語発展A,フランス語発展A、ドイツ語発展A,スペイン語発展A、韓国語発展A）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
3					選択	マーケティングB	1205	90	選択	事業計画A	1205	90	選択	領域別Tech研究A	6501	103								
					選択	マーケティングC	1206	90	選択	事業計画B	1206	90	選択	領域別Tech研究B	6504	123								
4	選択	日本語発展A	1105	68	選択	キャリアデザイン3	1110	60					選択	ファイナンス・アカウンティング基礎	1206	90	必修	プロジェクト応用A	1311、1312、1313	70				
5	選択	クリティカルシンキング1	1107	70	選択	課題解決プロセス1	6501	103	選択	女性とアントレプレナーシップ	6407	109												
	選択	クリティカルシンキング2	1108	70					選択	政治と社会	6408	109					必修	プロジェクト応用A	1311、1312、1313	70				
6					選択	好奇心醸成	1206	90	必修	アントレプレナーシップ2A	1202	226	選択	プロトタイピングB	1205	90								

【2学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1	選択	英語発展A	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	英語発展B	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	情報技法発展A	7101	110												
									選択	情報技法発展B	7102	82	選択	プログラミング発展A	7101	110	選択	プログラミング発展B	7101	110				
									選択	情報技法発展C	7103	36												
2	選択	マーケティング基礎	1206	90	必修	事業と哲学	1204、1205	60					選択	プレゼンテーション	1205	90	選択	外国語（中国語発展B,フランス語発展B、ドイツ語発展B,スペイン語発展B、韓国語発展B）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
3					選択	マーケティングA	1205	90	選択	事業計画A	1205	90	選択	領域別Tech研究C	6501	103	選択	チーム・プロジェクトマネジメント	1311、1312、1313	70				
									選択	事業計画B	1206	90	選択	領域別Tech研究D	6504	123								
4	選択	日本語発展B	1105	68	選択	キャリアデザイン3	1110	60					選択	ファイナンス・アカウンティング基礎	1206	90	必修	プロジェクト応用A	1311、1312、1313	70				
5	選択	クリティカルシンキング1	1107	70	選択	課題解決プロセス2	6501	103	選択	デザインと事業創造	6407	109	選択	地域課題と事業創造	6407	109	必修	プロジェクト応用A	1311、1312、1313	70				
	選択	クリティカルシンキング2	1108	70					選択	科学技術と事業創造	6408	109												
6									必修	アントレプレナーシップ2B	1202	226	選択	プロトタイピングB	1205	90								

【3学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1	選択	英語発展C	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	英語発展D	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	人工知能技術と社会	7101	110	選択	機械学習活用2	7101	110								
									選択	機械学習活用1	7102	82	選択	データサイエンス活用1	7102	82								
									選択	データサイエンス活用2	7103	36												
2	選択	メディアデザイン	6501	103	必修	倫理観1	1204、1205	60									選択	外国語（中国語発展C,フランス語発展C、ドイツ語発展C,スペイン語発展C、韓国語発展C）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
	選択	サービスデザイン	6504	123																				
3	選択	コミュニケーション基礎	1206	90	選択	リーガル基礎	1206	90	選択	事業計画A	1205	90	選択	領域別Tech研究A	6501	103	選択	チーム・プロジェクトマネジメント	1311、1312、1313	70				
									選択	事業計画B	1206	90	選択	領域別Tech研究B	6504	123								
4	選択	日本語発展C	1105	68	選択	マーケティングB	1205	90					選択	コーチング	1205	90	必修	プロジェクト応用B	1311、1312、1313	70				
					選択	マーケティングC	1206	90																
5	必修	ゼミナール1	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	必修	アフターデジタルの課題解決	6504	123	選択	女性とアントレプレナーシップ	6407	109												
									選択	政治と社会	6408	109					必修	プロジェクト応用B	1311、1312、1313	70				
6	必修	ゼミナール1	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	選択	幸福学	6504	123	必修	アントレプレナーシップ2C	1202	226												

【4学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1	選択	英語発展C	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	英語発展D	1104、1105、1108、1110、1111、1204	60～70	選択	人工知能技術と社会	7101	110	選択	機械学習活用2	7101	110								
									選択	機械学習活用1	7102	82	選択	データサイエンス活用1	7102	82								
									選択	データサイエンス活用2	7103	36												
2	選択	メディアデザイン	6501	103													選択	外国語（中国語発展D,フランス語発展D、ドイツ語発展D,スペイン語発展D、韓国語発展D）	1206、1209、1310、1311、6308	70～90				
	選択	サービスデザイン	6504	123																				
3	選択	コミュニケーション基礎	1206	90	選択	リーガル基礎	1206	90	選択	事業計画A	1205	90	選択	領域別Tech研究C	6501	103	選択	チーム・プロジェクトマネジメント	1311、1312、1313	70				
									選択	事業計画B	1206	90	選択	領域別Tech研究D	6504	123								
4	選択	日本語発展D	1105	68	選択	マーケティングA	1205	90					選択	コーチング	1205	90	必修	プロジェクト応用B	1311、1312、1313	70				
5	必修	ゼミナール1	6302、6303、6304、6401、6402	31～49					選択	デザインと事業創造	6407	109	選択	地域課題と事業創造	6407	109	必修	プロジェクト応用B	1311、1312、1313	70				
									選択	科学技術と事業創造	6408	109												
6	必修	ゼミナール1	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	必修	未来構想	1108,1110,1111	60～70	必修	アントレプレナーシップ2D	1202	226												

アントレプレナーシップ学部　時間割（案）

3年生　武蔵野キャンパス

【1学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1					選択	人工知能実践プロジェクト	7101	110																
2	選択	SDGs特講	1103	132					必修	仏教（生き方を考える）発展	1304	132	選択	プレゼンテーション	1205	90	選択	リーダーシップとマネジメント	1206	90				
3	選択	英語総合A	1104、1105、	68～70	選択	マーケティングB	1205	90																
					選択	マーケティングC	1206	90																
4	必修	ゼミナール2	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	必修	倫理観2	1204、1205	60	選択	ファイナンスA	1205	90												
									選択	ファイナンスB	1206	90												
5	必修	ゼミナール2	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	必修	プロジェクト発展A	1311、1312、1313	70	選択	女性とアントレプレナーシップ	6407	109												
									選択	政治と社会	6408	109												
6					必修	プロジェクト発展A	1311、1312、1313	70	必修	アントレプレナーシップ3A	1202	226												

【2学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1					選択	人工知能実践プロジェクト	7101	110																
2	選択	SDGs特講	1103	132					必修	仏教（生き方を考える）発展	1304	132	選択	プレゼンテーション	1205	90	選択	グローバルマネジメント	1206	90				
3	選択	英語総合A	1104、1105、	68～70	選択	マーケティングA	1205	90									選択	組織・人事マネジメント	1206	90				
4	必修	ゼミナール2	6302、6303、6304、6401、6402	31～49																				
5	必修	ゼミナール2	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	必修	プロジェクト発展A	1311、1312、1313	70	選択	デザインと事業創造	6407	109	選択	地域課題と事業創造	6407	109								
									選択	科学技術と事業創造	6408	109												
6					必修	プロジェクト発展A	1311、1312、1313	70	必修	アントレプレナーシップ3B	1202	226												

【3学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1					選択	人工知能実践プロジェクト	7101	110																
2																	選択	リーダーシップとマネジメント	1206	90				
3	選択	英語総合B	1104、1105、	68～70									選択	コーチング	1205	90								
4	必修	ゼミナール3	6403、6404、7301、7302、7303、	31～56	選択	マーケティングB	1205	90	選択	ファイナンスA	1205	90												
					選択	マーケティングC	1206	90	選択	ファイナンスB	1206	90												
5	必修	ゼミナール3	6403、6404、7301、7302、7303、	31～56	必修	プロジェクト発展B	1311、1312、1313	70	選択	女性とアントレプレナーシップ	6407	109												
									選択	政治と社会	6408	109												
6					必修	プロジェクト発展B	1311、1312、1313	70	必修	アントレプレナーシップ3C	1202	226												

【4学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1					選択	人工知能実践プロジェクト	7101	110																
2																	選択	グローバルマネジメント	1206	90				
3	選択	英語総合B	1104、1105、	68～70									選択	コーチング	1205	90	選択	組織・人事マネジメント	1206	90				
4	必修	ゼミナール3	6403、6404、7301、7302、7303、	31～56	選択	マーケティングA	1205	90																
5	必修	ゼミナール3	6403、6404、7301、7302、7303、	31～56	必修	プロジェクト発展B	1311、1312、1313	70	選択	デザインと事業創造	6407	109	選択	地域課題と事業創造	6407	109								
									選択	科学技術と事業創造	6408	109												
6					必修	プロジェクト発展B	1311、1312、1313	70	必修	アントレプレナーシップ3D	1202	226												

アントレプレナーシップ学部　時間割（案）

4年生 **武蔵野キャンパス**

【1学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1																								
2													選択	プレゼンテーション	1205	90	選択	リーダーシップとマネジメント	1206	90				
3					選択	マーケティングB	1205	90																
					選択	マーケティングC	1206	90																
4					選択	ゼミナール4	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	選択	ファイナンスA	1205	90					必修	プロジェクト発展C	1204、1205、1207	60				
									選択	ファイナンスB	1206	90												
5					選択	ゼミナール4	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	選択	女性とアントレプレナーシップ	6407	109					必修	プロジェクト発展C	1204、1205、1207	60				
									選択	政治と社会	6408	109												
6									必修	アントレプレナーシップ4A	1202	226												

【2学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1																								
2													選択	プレゼンテーション	1205	90	選択	グローバルマネジメント	1206	90				
3					選択	マーケティングA	1205	90									選択	組織・人事マネジメント	1206	90				
4					選択	ゼミナール4	6302、6303、6304、6401、6402	31～49									必修	プロジェクト発展C	1204、1205、1207	60				
5					選択	ゼミナール4	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	選択	デザインと事業創造	6407	109	選択	地域課題と事業創造	6407	109	必修	プロジェクト発展C	1204、1205、1207	60				
									選択	科学技術と事業創造	6408	109												
6									必修	アントレプレナーシップ4B	1202	226												

【3学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1																								
2																	選択	リーダーシップとマネジメント	1206	90				
3													選択	コーチング	1205	90								
4					選択	マーケティングB	1205	90	選択	ファイナンスA	1205	90					必修	プロジェクト発展D	1204、1205、1207	60				
					選択	マーケティングC	1206	90	選択	ファイナンスB	1206	90												
5					選択	ゼミナール5	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	選択	女性とアントレプレナーシップ	6407	109					必修	プロジェクト発展D	1204、1205、1207	60				
									選択	政治と社会	6408	109												
6					選択	ゼミナール5	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	必修	アントレプレナーシップ4C	1202	226												

【4学期】

曜日	月				火				水				木				金				土			
時限	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員	必・選	科目名	教室	収容定員
1																								
2																	選択	グローバルマネジメント	1206	90				
3													選択	コーチング	1205	90	選択	組織・人事マネジメント	1206	90				
4					選択	マーケティングA	1205	90									必修	プロジェクト発展D	1204、1205、1207	60				
5					選択	ゼミナール5	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	選択	デザインと事業創造	6407	109	選択	地域課題と事業創造	6407	109	必修	プロジェクト発展D	1204、1205、1207	60				
									選択	科学技術と事業創造	6408	109												
6					選択	ゼミナール5	6302、6303、6304、6401、6402	31～49	必修	アントレプレナーシップ4D	1202	226												

アントレプレナーシップ学部設置に係る学術雑誌整備一覧

No.	タイトル	電子ジャーナル	外国書
1	へちまの花　(復刻版)		
2	月刊新社会　(復刻版)		
3	新社會評論 : The shin-shakai hyoron : The socialist review　(復刻版)		
4	社會主義 : 社會問題批判雑誌　(復刻版)		
5	厚生　(継続後誌：厚生労働)		
6	厚生労働　(継続前誌：厚生)		
7	社会学評論　(復製版)		
8	社会学評論		
9	ビジネス法務		
10	銀行法務21		
11	金融法務事情		
12	金融・商事判例		
13	国際商事法務		
14	民商法雑誌		
15	民事訴訟雑誌		
16	NBL = エヌ・ビー・エル		
17	季刊労働法		
18	労働法律旬報		
19	旬刊商事法務		
20	アジア経済資料月報		
21	アジア経済		
22	国際金融		
23	企業会計		
24	経済セミナー		
25	損害保険研究		
26	国際税務		
27	国際税制研究		
28	租税研究		
29	総合税制研究		
30	税		
31	税經通信		
32	税研		
33	税務弘報		
34	税理		
35	月刊税務事例		
36	日本統計月報		
37	文化生活　(復刻版) (継続後誌：経済生活)		
38	経済生活　(復刻版)　(継続前誌：文化生活)		
39	現代消費者法		
40	国民生活研究		
41	救済研究　(復刻版)		
42	月刊介護保険		
43	労働の科学		
44	サラリーマン　(復刻版)		
45	産業福利　(復刻版)		
46	週刊社会保障		
47	放送文化		
48	Aera＝アエラ (派生後誌: Aera English)		
49	週刊ダイヤモンド		
50	(週刊) エコノミスト		
51	Harvard business review = ハーバード・ビジネス・レビュー		
52	公益法人		
53	日本労働研究雑誌		
54	プレジデント		
55	労働科学		
56	産業・組織心理学研究		
57	Aff		
58	American scholar		○
59	Contemporary sociology : a journal of reviews		○
60	Foreign affairs : an American quarterly review		○
61	Uniform commercial code law journal		○
62	The Economist		○
63	Far Eastern economic review		○
64	Harvard business review		○
65	The Listener		○
66	Journal of economic history (OJ)	○	○
67	African Studies Review	○	○
68	Annals of Actuarial Science	○	○
69	Asian Journal of Law and Society	○	○
70	ASTIN Bulletin	○	○
71	Bulletin of the School of Oriental and African Studies	○	○
72	Business and Politics	○	○
73	Business Ethics Quarterly	○	○
74	Business History Review	○	○
75	Cambridge Law Journal	○	○
76	Comparative Studies in Society and History	○	○
77	Econometric Theory	○	○
78	Economics and Philosophy	○	○
79	Enterprise & Society	○	○
80	Environment and Development Economics	○	○
81	European Review	○	○
82	Financial History Review	○	○
83	Industrial and Organizational Psychology	○	○
84	International Journal of Asian Studies	○	○
85	International Journal of Middle East Studies	○	○
86	International Labor and Working-Class History	○	○
87	Journal of Benefit-Cost Analysis	○	○
88	Journal of Biosocial Science	○	○
89	Journal of British Studies	○	○
90	Journal of Demographic Economics	○	○
91	Journal of East Asian Studies	○	○
92	Journal of Financial and Quantitative Analysis	○	○
93	Journal of Institutional Economics	○	○
94	Journal of Management & Organization	○	○
95	Journal of Pension Economics and Finance	○	○
96	Journal of the History of Economic Thought	○	○
97	Journal of Wine Economics	○	○
98	Legal Information Management	○	○
99	Macroeconomic Dynamics	○	○
100	Management and Organization Review	○	○
101	Modern Italy	○	○
102	Nationalities papers	○	○
103	Queensland Review	○	○
104	Revista de Historia Economica	○	○
105	Social Policy and Society	○	○
106	Social Science History	○	○
107	Studies in American Political Development	○	○
108	TRaNS	○	○
109	World Trade Review	○	○
110	Journal of agricultural and food chemistry (OJ)	○	○
111	Quantitative Finance	○	○
	計	46	54

実習先一覧（共通科目「フィールド・スタディーズ」「フィールド・スタディーズ1～4」）

No	プログラム名	概要	所在地	受入可能人数(人)	日程	科目
1	Summer Study at the University of Texas at Austin	2018年THE世界大学ランキング49位のテキサス大学オースティン校。語学研修、大学での実習、現地学生とのディスカッション、専門的な授業の聴講、サンアントニオ市内見学等盛りだくさんの内容を提供します。	アメリカ・テキサス州	10	4週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
2	Summer Study at Concordia University Irvine	語学研修だけでなく、大学での実習や現地学生とのディスカッション、専門的な授業の聴講、シアトル市内見学等、盛りだくさんの内容を提供します。	アメリカ・オレゴン州	10	4週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
3	ブッダ慈悲の道 （インド【コルカタ、ヴァラナシ、ラージギル、ダージリン】ミャンマー、タイ）	インド・ミャンマー・タイ（候補先）の仏蹟をめぐり、ブッダの思想のひろがりと人々の信仰を感得します。	インド・ミャンマー・タイ	10	2週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ2
4	はばたけ秋田県上小阿仁村！人口2,300人の小さな村が発信するアートプロジェクト	少子高齢化の進む上小阿仁村で、今年8年目を迎える芸術祭「かみこあにプロジェクト」の運営補助やこの土地で生活する高齢者介護のお手伝いをメインに活動します。人がコントロールできない自然や、その土地に根付いた伝統など、様々な角度から村を知り、住民と協働の村づくりを学ぶことで、上小阿仁村の魅力を発信できるような地域活性化の提言を行います。	秋田県上小阿仁村	8	4週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
5	秋田県鹿角市 商店街元気UP＆かづの版DMO体験プロジェクト ―かづの暮らしで学ぶ地方活性化―	北東北の中心に位置する十和田八幡平国立公園に抱かれ、2つのユネスコ無形文化遺産を有する歴史と伝統の息づく鹿角市において、主力産業の一つである観光業を中心に、地域の魅力を発信しながら観光誘客に結びつけるための戦略や、市の顔である商店街の振興を一体的にとらえた鹿角産業の活性化策について学びます。	秋田県鹿角市	10	4週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
6	山形県大石田町　そば街道体験（そば打ちと販売補助）と夏祭り体験	大石田町観光のメインである「そば街道」でのそば打ちや販売について体験し、地域産業に提言します（10日）。町最大のイベントである「夏祭り」で役場職員の補助を行い、町の活性化について新たな提案をします（10日）。	山形県大石田町	6	4週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
7	福島県猪苗代町　レイクサイドホテルみなとや・グリーンハウス	ホテル等でのインターンシップを通し地域活性化を目指します。ホテルのフロント業務などスタッフ業務、売店においての商品販売業務、施設清掃業務や猪苗代湖湖畔のレンタル遊具の貸出業務、更に隣接するカフェの運営業務などホテル業全般の業務を通して、サービスを提供する側からの観光業を体験します。その他、地域の団体や住民との交流や農業体験等も行う。	福島県猪苗代町	8	3．5週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ3
8	八丈島で就労・生活体験	島内の保育所2箇所でのインターンシップ、および観光協会（加盟事業所含む）などでの業務補助を行います。八丈島の環境・観光・教育について学びます。	東京都八丈町	6	4週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
9	江東区役所（江東区文化コミュニティ財団） 文化事業インターンシップ（江東区深川江戸資料館）	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団の江東区深川江戸資料館での業務補助、接客等を行います。また、開催イベント・講座等の準備作業、イベント開催時・終了時における業務等、配布物準備、アンケート集計等の事務作業、その他、窓口・電話での接客など、イベント・講座等の運営補助を行います。	東京都江東区	2	3．5週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ3
10	江東区役所（江東区文化コミュニティ財団） 文化事業インターンシップ（中川船番所資料館）	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団の中川船番所資料館での業務補助、接客等を行います。また、開催イベント・講座等の準備作業、イベント開催時・終了時における業務等、配布物準備、アンケート集計等の事務作業、その他、窓口・電話での接客など、イベント・講座等の運営補助を行います。	東京都江東区	1	3週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ3
11	小金井市貫井北センター （NPO法人市民の図書館・公民館こがねい）インターンシップ	図書館・公民館でのインターンシップです。日常業務やイベントの運営補助を行います。 NPOだからこそできる運営を体験します。	東京都小金井市	2	5週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
12	小金井市　地域の寄り合い所 また明日	赤ちゃんからお年寄りまで、小中高生や地域の人も立ち寄る「また明日」にて地域の人々と交流します。乳幼児のお世話や、小中学生の話し相手、勉強の見守り、高齢者に寄り添いながらサポート業務を行います。	東京都小金井市	4	3週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ3
13	西東京市役所　インターンシップ （児童館キャンプ、児童館ランチタイム）	①長期休暇の夏休み、家庭で孤食になる子どもたちのための、児童館ランチタイム事業。知らないお友達とも楽しく、美味しくランチが取れるように参加者同士のコミュニケーションを図ります。また、ランチだけでなく、児童館事業にも関わり、児童指導も学びます。 ②2泊3日の児童館キャンプに指導員として同行し、子どもの集団をまとめ、生活体験・野外体験の補助を行います。	東京都西東京市	8	6週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
14	東京特別区人事厚生事務組合 ／ 特別区協議会 （東京23区特別区を知ってもらうプログラム）	特別区協議会でのインターンシップを行います。特別区協議会（事業部）では、「情報」「研究」「教育」をキーワードに特別区の自治の発展につくす事業を行っています。三つの分野を全て体験することを前提に、東京大都市地域の歴史的な資料、古地図の目録の作成、行政資料を検索するための簡単なガイドの作成、研究成果書（特別区制度の紹介）の整理、中高校生向けの特別区制度の紹介教材の作成、一般市民向け特別区の自治に関する講座・講演会・自治体間連携シンポジウムの運営等の補助業務を行います。 東京23区施設（国会、都庁、各区関連施設）見学も行います。	東京都23区	2	9週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
15	NPO法人　居場所コム （みんなの居場所づくり-コミュニティの醸成）	地域の高齢者コミュニティーや育児コミュニティーの支援を行う団体での活動です。開設5周年の記念誌発行に携わり、活動資料の整理、まとめ、資料作成等を行います。カフェ、布雑巾づくり、昔あそび、ビーズ教室、キッチン教室などの様々な講座の準備、受付などのお手伝いをし、地域に暮らす子供からおじいちゃん、おばあちゃんとの交流活動の補助を行います。みんなの居場所「こまじいのうち」と「こまびよのおうち」は地域の人たち、高齢者から赤ちゃんまでが、楽しい時間を過ごす場所になっています。地域の人間関係が希薄化していく中で、地域の人たちの顔が見える居場所として様々な仕掛けがしてあります。学生の皆さんもどんな仕掛けがあるのかFSで学びに来てください。	東京都文京区	3	4週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ4
16	エリアプロモーション入門プログラム	【経営学科優先】 東京近郊のエリアの魅力を紹介するwebサイトの作成を念頭に、どういったターゲットにどのような形で「戦略的に」アピールすべきか、実際に現地にどっぷりとつかりながら学んでいきます。	東京23区	20	2週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ2
17	作陶における伝統の創造	陶芸家 伊藤麻沙人先生の工房で、直接指導を受けながら、陶器を製作します。 また、伊藤先生の案内により美術館で歴史的名品の鑑賞を行います。陶芸の化学についての講義も受講します。この体験と学修を通して、自らの手でものを作り出す喜びを知るとともに、本物を見分ける力を養います。	東京23区	20	2週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ2
18	小金井市役所　インターンシップ	ほどよく都会・ほどよく田舎の小金井市で、市役所の仕事を体験してみませんか？地方公務員を志望している方をお待ちしています。	東京都小金井市	2	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
19	USA Los Angeles （グローバル・ビジネス研修） （アメリカ）	ビジネス講演会、企業見学、エスニックタウン訪問、国際学生フォーラム、南カリフォルニア大学見学、アメリカ在住ビジネスパーソンの講演、ロス在住日本人ビジネスパーソンとともに就職を考えるセミナーなどを実施します。	アメリカ・カリフォルニア州	25	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1

No	プログラム名	概要	所在地	受入可能人数(人)	日程	科目
20	オリンピックのスペシャリストと行く古代ギリシャ4大祭典競技の遺跡巡り	オリンピック研究のスペシャリストと一緒に古代ギリシャの4大祭典競技の遺跡を巡り、古代から近代オリンピックの歴史の流れを視察する旅です。古代オリンピアやデルフィなどの遺跡の他、アテネの第1回近代オリンピック会場「パナシナイコ・スタディアム」や世界遺産「パルテノン神殿」、古代ギリシャの文化に粋を集めた「アテネ考古学博物館」なども訪れます。古代オリンピックと近代オリンピックの思想や歴史を学び、東京2020大会に向けてオリンピックの根本を学ぶプログラムです。	ギリシャ・アテネ	20	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
21	台湾入門編　台湾を楽しみ、台湾を学ぶ	近くて近い台湾。その素顔に触れ、見聞を広めます。台湾という土地の個性に触れることを主軸に据え、外国の文化に触れる中で自分たちが日本人としてどのように振舞っていくか、そして、何を学んでいくかを考え、国際性と国際感覚を磨きます。行程内には、現地事情、台湾の歴史、日本との関わり、現地講師による中国語基本会話など、複数の切り口から台湾を体験します。また、市内散策や史跡探訪、夜市（ナイトマーケット）巡りなど、見知らぬ土地を訪ね歩くことで、見聞を広めていくことをサポートします。	台湾・台北市	70	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
22	しっかり学ぼう台湾と日本	台湾について学び、同時に日本について考えるためのコース。魅力あふれる台湾の現地事情や歴史、日台の絆、日台関係論、東アジア論など、様々な視点から台湾を学びます。冷静でかつ客観的な国際感覚を培養し、見聞を広めることを目的とします。現地在住邦人による講演や日本語世代と呼ばれる台湾のお年寄りとの交流、戦争体験者の体験談を聞くほか、講師による中華料理解説や台湾社会事情、歴史建築巡り、故宮博物院案内など、盛りだくさんの内容を想定しています。	台湾・台北市	35	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
23	韓国：奈良からナラへ	古代海上の道であった玄界灘をこえて新羅・百済の古跡を訪れ、日本文化の形成期における大陸からの文化流入について学ぶ。	韓国	45	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
24	イギリスロンドン（歴史と文学を学ぶ旅）	北イングランドのヨークは中世の雰囲気を色濃く残し、イギリスの中でも最も美しい田園風景を持つ地方です。またハワースはイギリスを代表する作家ブロンテ姉妹の作品、『嵐が丘』や『ジェイン・エア』の舞台にもなった町です。この場所を訪れ、舞台となった地を散策することで、作品の成り立ちや背景を知るだけでなく、イギリスの田園地方の美しさと壮大な風景を堪能し、更に歴史や文化、風土を深く実感することになります。またリーズ大学では同じ年頃の学生と英語を用いて交流することで英語を使って意思疎通をすることの楽しさを味わいます。	イギリス・ロンドン市	10	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
25	バンコク・きらめく仏塔の都	近代都市でありながら、数多くの世界有数の寺院を抱える、タイの首都バンコクを中心に、きらめく仏塔をめぐります。世界遺産であるアユタヤ遺跡なども巡りながら、仏教思想について学びます。	タイ・バンコク	40	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
26	北海道東川町役場 地方行政フィールドワーク	35年前から写真文化を核とした町づくりを進め全国的にも珍しく人口が増加し、全国の自治体から注目されて元気のある町で、数多くのユニークな施策に取り組んでいる行政の仕事を体験します。	北海道東川町	175	4日間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
27	宮城県石巻市 にじいろクレヨン子どもの居場所づくり	石巻市の民設の児童館、移動児童館で子どもの居場所づくり、遊び場作りのサポートをしていただきます。0歳児から中学生までで特に小学生が多く集います。子どもたちと共に思いっきり遊んだり、話を聴いて寄り添ったり、子どもたちが伸び伸び過ごせる居場所をつくります。 (未来サポート館)防災研修	宮城県石巻市	36	1週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
28	宮城県名取市 閖上(ゆりあげ)～3.11を忘れない～自分で考える防災プログラム	東日本大震災から学び、今後の防災・減災・復興のあり方を検討するプログラムです。津波の被害を受けた宮城県名取市閖上にて語り部さんの話を聞き、天災への対策を学び、共同生活を行い、自分の五感と心で感じて、防災・減災・復興について考えを深めていただきます。 【自転車移動があります】	宮城県名取市	48	4日間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ1
29	長野県信濃町 都市部と地方がつながる関係構築プロジェクト	ふるさと納税トップページ画像の提案：ふるさと納税制度とその活用方法について学び、信濃町の魅力が伝わる写真を作成、ふるさと納税サイトを通じて町の魅力を発信します。「道の駅しなの」特産品の販売企画研修：道の駅しなのでの販売企画及び商品の販売、実習を通じて、町の特産品の魅力を知り、観光振興や地域づくりについて学びます。	長野県信濃町	5	2週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ2
30	八丈島　高齢者施設ボランティア・観光モニター活動	八丈島内老人ホームでのボランティア活動と、観光モニター（ルート決めから皆さんで考えて巡る）を通じて、島での生活を体感し、観光モニターで発見した島の魅力を発表します。	東京都八丈町	48	2週間	[事前事後学習]フィールド・スタディーズ [学外学習]フィールド・スタディーズ2
31	京都・歴史文化フィールド・スタディーズ	京都は長く日本の政治・文化の中心となった都市であり、平安期から幕末までの史跡が数多く現存します。本FSでは歴史的背景を学び、分野別に分けられた班ごとにその時代の史跡を実際に見学します。	京都府京都市	48	3日間	フィールド・スタディーズ
32	京都・西本願寺を中心とした仏教フィールド・スタディーズ　～仏教思想・仏教文化の源流を探る～	京都・西本願寺の宿泊施設に滞在し、通常では経験することの少ないお寺の活動や、茶道・坐禅などの体験を通して、仏教が日本の日常生活や伝統文化に深く浸透していることを感じてもらうプログラムです。	京都府京都市	40	3日間	フィールド・スタディーズ
33	徳島県阿南市 加茂谷地区 田舎暮らし丸ごと体験実習	阿南市の市街地近くにありながら、自然が豊かで人情味の厚い、秘境の雰囲気も味わえる静かな地域です。徳島県特産のスダチの収穫や野菜の種蒔き、定植、収穫等のを体験していただきます。併せて田舎暮らし体験、地元の小中学生との交流やスポーツ大会への参加もしていただきます。	徳島県阿南市	80	1週間	フィールド・スタディーズ
34	鎌倉・仏像・東大FS	鎌倉の古寺巡拝や博物館や美術館の仏教関係の展示を通して仏教についての知識を深めます。また、築地本願寺の参拝や武蔵野大学の学祖である高楠順次郎が長く教鞭をとった東京大学訪問を通し、建学の精神を学びます。武蔵野大学の基盤となる建学・仏教の精神への理解を深めるプログラムです。	神奈川県鎌倉市 東京都文京区	20	3日間	フィールド・スタディーズ
35	日本の「神様」めぐり	国内の宗教関連施設を回りながら、以下について学びます。 ①日本人と山：山岳信仰（高尾山）、②ご利益を求めて：庶民の信仰（七福神、お不動さん、お地蔵さん、お稲荷さん、観音さん）、③人を祭る：神社（明治神宮、亀戸天神、乃木神社、神田明神、靖国神社）	東京都	30	3日間	フィールド・スタディーズ
36	江戸東京　都市史の試み	国内の関連施設を回りながら、以下について学びます。 ①江戸の建設（江戸城、月島、泉岳寺、日本橋）、②江戸から東京へ（浦賀、品川、上野、丸の内）、③東京の建設（大震災関連、東京タワー、新宿、米軍基地、64年オリンピック）	東京23区	30	3日間	フィールド・スタディーズ
37	Field Study in English (FSiE)	Explore career development opportunities by attending more than three events such as a public seminar、forum、symposium、job fair and so forth to be offered in English. A student selects one from periodical announcement on Mascut or one finding themselves and need to approval of a teacher prior to attending. A reflection report needs to be turned in within two weeks after the event.	東京23区	59	3日間	フィールド・スタディーズ
38	ホストタウンハウス	本学有明キャンパスで開催するホストタウンハウスにおける自治体・イベント等のお手伝いを行うことで、オリンピック・パラリンピックに参加するとともに、地方創生事業への体験を通じて、日本の文化および自治体の行政を学びます。	東京都江東区（武蔵野大学有明キャンパス）	200	4日間	フィールド・スタディーズ

実習先一覧（共通科目「フィールド・スタディーズ発展1A～4D」）

No	プログラム名	概要	所在地	受入可能人数(人)	日程	科目
1	宮城県石巻市牡鹿半島 ローカルリンクカレッジ体験プログラム	・地域資源を活用した地域づくりの体験 ・地域と繋がり、地域資源利活用や地域課題解決等に学生自身の専門性を活かして挑戦して経験を得る「ローカルリンクカレッジ」を体験 ・体験できること：空き家改修などの場づくり、モノづくり、環境保全活動 など、様々な選択肢の中から自ら考えて期間中の達成目標を定め、実行します。	宮城県石巻市	24	2週間	フィールド・スタディーズ発展 1D・2D・3D・4D
2	長野県長野市 JAながの農業経済・流通体験インターン	ながの農花では小菊の栽培・収穫・出荷を行います。アグリながぬま農産物直売所では農産物の販売(製品管理・販売)をします。ながの平フルーツセンターでは農産物の集出荷をします。農作業・収穫・出荷・販売までの流れを体験しながら、日本の農業の置かれている現状や、今後について考えます。	長野県長野市	6	4週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
3	山梨県西桂町 地域福祉推進プロジェクト	少子高齢化が進む人口約4,000人の小さな町で、ヒアリング調査などの手法によって地域に住む住民のニーズを把握し、地域の課題解決に向けて住民の力が発揮されるように働きかけます。ヒアリング調査では、アクションリサーチ（フォトボイス等）の手法を活用して取り組み、地域の夏まつりの運営協力や織物体験などの伝統工芸体験を通じて、人と人とのつながりを構築し、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指します。	山梨県西桂町	10	3．5週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
4	福岡県大川市 モノ作りの魅力発信プロジェクト	木工・家具のまち福岡県大川市にて、社会課題（環境・福祉等）を考慮したプロダクツ（椅子や家具など）をデザインしモノ作りを実践したインターンシップを行います。大川市は、伝統技術だけでなく「ねこ家具」など新たな試みもあり、魅力ある地域資源が溢れています。そんな大川市で、モノ作りと地方都市の魅力を学びます。	福岡県大川市	6	3週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
5	鹿児島県徳之島　食を支える現場を学ぶ「畜産」インターンシップ	鹿児島から南に約400km離れた奄美群島の一つ、徳之島。2020年の世界自然遺産登録を目指す魅力あふれる島をフィールドに、島を代表する畜産農家・永吉ファーム様での畜産インターンシップを行います。牛肉がどのような過程で私たちの食卓に来ているのか、食を支える産業の現場を体験的に学び、「いただく」ということの意味を身をもって理解してください。体験するだけではなく、そこで働く方々の想いをインタビュー取材し、永吉ファームのブランドメッセージとしてまとめる活動も行います。 綺麗な海と、心温かい島の人たちに囲まれ、思い出深い実習ができます。	鹿児島県徳之島	6	3週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
6	鹿児島県徳之島　SDGs未来都市「徳之島」海と山と生きるシマの文化取材フィールドワーク	さあ、シマの宝を見つける学びの旅へ。2020年、世界自然遺産登録を目指している鹿児島県の徳之島。徳之島町は内閣府の「SDGs未来都市」にも選定されており、持続可能な島を目指し、様々な取り組みを推進中です。この島にある山（さん）という歴史ある集落をフィールドに、人と自然が共生してきた集落の知恵や生活文化を掘り起こし、次世代につなぐため、長年暮らしてきた住民の方々へのインタビュー取材を行い、記録、発信するフィールドワークを行います。	鹿児島県徳之島	6	2週間	フィールド・スタディーズ発展 1D・2D・3D・4D
7	江東区児童館インターンシップ （5児童館：亀戸児童館・亀戸第二児童館・亀戸第三児童館・千田児童館・大島児童館）	江東区内にある児童館（亀戸児童館・亀戸第二児童館・亀戸第三児童館・千田児童館・大島児童館）で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があればこども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行います。	東京都江東区	10	4週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
8	江東区児童館インターンシップ （3児童館：東陽児童館・森下児童館・南砂児童館）	江東区内にある児童館（東陽児童館・森下児童館・南砂児童館）で保護者や一般の方の来館者対応や児童館に遊びに来た児童と遊んだり、遊具の片付け、掃除などの日常業務補助、機会があればこども達の手作りお化け屋敷などのイベント運営補助等を行います。	東京都江東区	7	3週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
9	小金井市観光まちおこし協会インターンシップ （まちと遊びまちから学ぶインターンシップ）	商店街事業の運営補助を行います。商店街の夏まつりイベントの運営に参加し、商店主やボランティアとの交流でまちの今を体験します。協会HPやSNSによる地域情報受発信の運営補助を行います。協会のHPは地域情報の発信基地です。現場取材やネットラジオでまちの面白楽しい人々と交流をします。	東京都小金井市	2	4週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
10	西東京市役所　インターンシップ （サマー子ども教室）	定員を超過した学童クラブエリアの小学校にて、昨年に引き続き小学校内の特別教室にて、サマー子ども教室を実施します。対象は実施小学校全児童を対象に、夏の長期休業期間中の居場所づくりを目的としてカリキュラムを組み、体験学習を中心に1クール約30名で教室形式で実施します。 事業運営に関しては、当該小学校、地域団体、放課後子供教室運営団体、協力企業、市の出前講座、商工会、市内高校とのボランティア、社会教育課、児童青少年課等の連携を図って運営します。	東京都西東京市	5	6週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
11	武蔵野市福祉公社 高齢者福祉支援インターンシップ	社会活動センターの各種講座の運営を中心に、在宅介護・地域包括支援センター、住宅改修・福祉用具相談支援センター、デイサービスセンター、権利擁護センター、法人本部等の実務補助を行う。	東京都武蔵野市	2	4週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
12	千川福祉会　社会福祉施設サポートインターンシップ	社会福祉法人　武蔵野千川福祉会 （千川作業所/八幡作業所/ワークイン関前/千川さくらんぼクラブ） 主に知的障害のある成人の方への就労継続支援B型事業（八幡作業所、ワークイン関前）、または生活介護事業（千川作業所）における作業活動支援（補助）を行います。知的障害のある児童・生徒の放課後等デイサービス事業所（千川さくらんぼクラブ）での活動支援（補助）。A・Bとも、その他周辺業務補助があります。	東京都武蔵野市	8	4週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
13	はばたけ秋田県上小阿仁村！ 小さな村から学ぶ自然とアートのマリアージュ	この地域でのみ栽培されている「フルーツほおずき」の収穫体験をしながら加工品などのアイデアを考えます。滞在中は、高齢者福祉施設で支援活動を行ったり、アートイベントのボランティアをしながら、さまざまな人と出会い地域を学びます。日常知り合わないアーティストと感覚を共有したり、伝統芸能など日本のルーツを掘り起こす非日常体験を通じ、過疎の進む村の現状を感じてもらい、自分たちの考える地域活性化策の提案を行います。 ※現地集合・現地解散（各自手配）。	秋田県上小阿仁村	16	2週間	フィールド・スタディーズ発展 1C・2C・3C・4C
14	ボランティアを通じて考える社会保障・福祉(江東区)	4つのプログラムを通じて社会保障・福祉を体系的に学びます。本プログラムのメインは下記2の現場での体験を通じて、社会保障・福祉制度を考えるプログラムです。1.事前授業:関心がある社会保障・福祉制度をグループワークで学びます。制度だけではなく、実際の政策に焦点を置き、グループワークでまとめた論点のレポートを提出します。 2.江東区社会福祉協議会主催の夏季ボランティア体験に参加:社会保障・福祉の現場を実際に体験します。子どもに関する施設、障害者施設、高齢者施設等、参加者自身が選んで8日以上のボランティアを体験します。なお、事前説明会への参加は必須とし、ボランティア先については複数施設を選ぶことも可能です。 3.JICA地球ひろばにて、発展途上国支援などを学ぶ「体験ゾーン探検＋JICA海外協力隊体験談」プログラムに参加し、グローバルな視点での社会保障・福祉制度及び政策を学び、SDGsとの関連を学びます。 4.事後授業では、自身のボランティア体験・その中で見つけた社会保障・福祉制度及び政策の課題などを発表します。最終レポートを提出します。	東京都江東区	20	2週間	フィールド・スタディーズ発展 1C・2C・3C・4C

No	プログラム名	概要	所在地	受入可能人数(人)	日程	科目
15	ボランティアを通じて考える社会保障・福祉（国分寺市）	4つのプログラムを通じて社会保障・福祉を体系的に学びます。本プログラムのメインは下記2の現場での体験を通じて、社会保障・福祉制度を考えるプログラムです。 1.事前授業:関心がある社会保障・福祉制度をグループワークで学びます。制度だけではなく、実際の政策に焦点を置き、グループワークでまとめた論点のレポートを提出します。 2.国分寺市社会福祉協議会主催の夏季ボランティア体験:。子どもに関する施設、障害者施設、高齢者施設等、参加者自身が選んで8日以上のボランティアに参加し、社会保障・福祉の現場を実際に体験をします。事前説明会への参加は必須となっており、ボランティア先については複数施設を選ぶことも可能です。 3.JICA地球ひろばにて、発展途上国支援などを学ぶ「体験ゾーン探検＋JICA海外協力隊体験談」プログラムに参加:グローバルな視点での社会保障・福祉制度及び政策を学び、SDGsとの関連を学びます。 4.事後授業:自身のボランティア体験・その中で見つけた社会保障・福祉制度及び政策の課題などを発表、最終レポートを提出します。	東京都国分寺市	20	2週間	フィールド・スタディーズ発展 1C・2C・3C・4C
16	USA Los Angeles （医療・福祉・薬学施設視察研修） （アメリカ）	医療施設見学、高齢者施設見学と施設利用者との交流、アメリカ在住の日本人看護師と日本人心理カウンセラーの講演、アメリカで活躍している日本人医療従事者からの業界最前線のお話、アメリカの学生と交流などを実施します。	アメリカ・カリフォルニア州	30	1週間	フィールド・スタディーズ発展 1B・2B・3B・4B
17	USA Los Angeles （教育研修） （アメリカ）	公立小学校、アフタースクール、NPOこどもセンター、小児総合病院、幼稚園、カリフォルニア・サイエンスセンター訪問、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校での学生交流、キャンパスツアー、日本人教育学部教授からの講演などを実施します。	アメリカ・カリフォルニア州	38	1週間	フィールド・スタディーズ発展 1B・2B・3B・4B
18	CANADA・EDMONTON（オーロラ）（環境保護森林再生とサスティナブル・ディベロップメント） （カナダ）	カナダの環境施設訪問、国立自然公園の野外実習、オイルサンド（油砂）精製施設見学、オーロラ鑑賞などを実施します。	カナダ	25	1週間	フィールド・スタディーズ発展 1B・2B・3B・4B
19	世界を牽引するIT産業都市上海の今	中国の経済を牽引する都市・上海は、古くから西欧の資本が入りその賑やか振りで魔都上海と呼ばれ、常に中国の窓口となってきました。本研修では、普通語（北京語）以外に英語や上海語など多言語が飛び交う独特な文化を織り成す上海を肌で触れていただきます。西洋と中華の異文化融合、新旧の共存、グローバルとローカルが結びついた上海最新ビジネスについて学びます。大学・企業を訪問し、グローバル化が進む中で、新しいビジネスになっていくエネルギーや国際人としての在り方、自国の文化をどのように発信していくかを学ぶきっかけにしていただきたいと考えています。	中国・上海市	25	1週間	フィールド・スタディーズ発展 1B・2B・3B・4B
20	マレーシア・ボルネオ島で自然保全を学ぶ	マレーシアのサバ州において、現地の大学での実習やファームステイなどを通じて自然保全・管理や資源利用について学びます。また世界自然遺産のキナバル公園を管理するサバ公園局を訪れ、スタッフに保全活動について伺います。	マレーシア・サバ州	15	1週間	フィールド・スタディーズ発展 1B・2B・3B・4B
21	宮城県石巻市 放課後デイサービス(障がい児) あっぷるじゃんぷ石巻	障がい児（中高生）が利用し、様々な体験を通し社会で必要な基本を学び、生活面の自立の向上また就労体験を行う場所です。活動の支援、スタッフ補助、活動の企画をし実施も行います。 子ども達は、とっても笑顔でフレンドリーです。心のふれあいがあります。 (未来サポート館)防災研修	宮城県石巻市	4	1週間	フィールド・スタディーズ発展 1B・2B・3B・4B
22	長野県信濃町 地域産業の体験と課題発掘プログラム	実際に農業を体験し、地方産業やこれからの農業ビジネス、6次産業化などについて考えます。また、信濃町の産業、観光、環境などを調査し、課題や利用可能な町の資産を発掘して信濃町の地域活性化のための企画をチームで作り発表します。	長野県信濃町	48	1週間	フィールド・スタディーズ発展 1B・2B・3B・4B
23	長野県飯綱町　農業体験実習 （りんご、トマト）	JAながの ながの北部アグリサポートセンター様の協力により、地元のりんご農家、トマト農家さんでの実際の農作業や、果物の集荷センターでの作業などを体験し、農作物が商品として出荷されるまでの流れを学びます。	長野県飯綱町	64	3週間	フィールド・スタディーズ発展 2E・3E
24	身近なバリアを探る in 共生社会ホストタウン 山口県宇部市	障害の有無にかかわらず全ての人が共に生きる社会（インクルーシブ社会）の推進にむけて、先端的な取り組みをされている山口県宇部市に足を運び、私たちの身近にあるバリアを理解し、そのバリアを克服するために必要とされる視点や行動を学ぶと共に、具体的な活動を通じて共生社会に対する理解を深めます。	山口県宇部市	20	4日間	フィールド・スタディーズ発展 1A・2A・3A・4A
25	【経済学科優先】 江東区の過去と現在 ー身近な経済問題を学ぶー	【経済学科優先】江東区は江戸文化が息づく下町と開発が進む未来都市の二つの側面をもつ地域です。さらに古くからゴミ問題という都市の課題とたたかってきた地域でもあります。このプログラムでは、江東区の富岡八幡宮や豊洲市場などをフィールドワークし、地域の歴史、経済の仕組み、都市の課題という三つのテーマについて学んでいきます。	東京都江東区	15	3日間	フィールド・スタディーズ発展 1A・2A・3A・4A
26	TOKYO GLOBAL GATEWAY （東京都英語村）運営補助	【GB学科優先】東京都英語村は東京都教育委員会と株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが、お台場近くの青海地区に2018年9月に開設した小学生から高校までを主な対象にした体験型英語学習施設です。毎日約300人を超す利用者が　日常生活の色々な場面を想定した施設で 総勢100人以上の英語話者のティーチングスタッフから体験を通じて英語を学びます。FSプログラム参加者は、約20人いる運営スタッフのアシスタントとして運営のノウハウを学習します。	東京都江東区	60	3日間	フィールド・スタディーズ発展 1A・2A・3A・4A
27	東京グリーン・キャンパス・プログラム （東京に残された緑地での保全活動）	自然観察や竹林管理などの活動を通し、身近な武蔵野地域の自然を学び、里山保全の意義を理解するプログラムです。	東京都下	30	3日間	フィールド・スタディーズ発展 1A・2A・3A・4A
28	東京臨海副都心　まちの景観づくり活動 （花壇管理・球根植栽・クリーン活動）	2020年の東京五輪会場に隣接する都立公園で実施されている「花と緑のおもてなしプロジェクト」に参加し、ガーデン制作や維持管理活動をとおして、まちの景観づくりに貢献するとともに社会人との交流体験により個々のキャリア向上を図ります。	東京都江東区	420	3日間	フィールド・スタディーズ発展 1A・2A・3A・4A

資料8

本文21ページ参照

インターンシップ先一覧（共通科目「インターンシップ」）

No.	業種	所在地	受入可能人数（人）
1	ホテル業	東京都港区	2
2	ホテル業	東京都新宿区	1
3	ホテル業	神奈川県足柄下郡箱根町	5
4	ホテル業	静岡県御殿場市	7
5	ホテル業	東京都港区	4
6	ホテル業	東京都中央区	1
7	ホテル業	三重県鳥羽市	3
8	ホテル業	東京都渋谷区	3
9	旅行業	東京都豊島区	14
10	広告代理業、出版業	東京都中央区	8
11	製造業	東京都港区	1
12	出版業	東京都中央区	3
13	印刷業	東京都三鷹市	4
14	ソフトウェア	東京都新宿区	2
15	総合物流サービス業	東京都江東区	1
16	建設業	東京都新宿区	1
17	サービス業	東京都港区	3
18	清酒製造業	東京都青梅市	2
19	外食産業	東京都品川区	2
20	教育・サービス業	東京都武蔵野市	2
21	鋼材卸売業	埼玉県川口市	2
22	情報処理サービス	東京都目黒区	2
23	製造業	神奈川県川崎市	2
24	建設業	東京都千代田区	1
25	官公庁	東京都江東区	1

No.	業種	所在地	受入可能人数（人）
26	官公庁	東京都江東区	2
27	官公庁	東京都江東区	1
28	官公庁	東京都墨田区	2
29	官公庁	東京都西東京市	2
30	官公庁	東京都武蔵野市	1
31	医療福祉	東京都武蔵野市	1
32	公益法人	東京都千代田区	2
33	就労支援	神奈川県川崎市川崎区	5
34	公益法人	東京都武蔵野市	2
35	小売業、卸売業	東京都港区	5
36	製造業、小売業	東京都目黒区	4
37	小売業	東京都千代田区	2
38	流通・小売業	東京都新宿区	4
39	小売業	東京都中央区	2
40	小売業	東京都千代田区	1
41	卸、小売業	東京都武蔵野市	4
42	国際交流NGO	東京都新宿区	3
43	放送業	静岡県浜松市	1
44	サービス業	東京都港区	4
45	情報通信業	東京都江東区	2
46	教育	東京都新宿区	1
47	不動産管理業	東京都西東京市	1
48	官公庁	東京都墨田区	1
49	製造卸売業	東京都千代田区	1
		合計	131

資料9

本文21ページ参照

研修先一覧(学科科目「グローバルアントレプレナー(海外研修)」)

No.	企業名	所在地	受入可能人数（人）
1	AnyRoad		8～10
2	Miles (Connect IQ inc.)		8～10
3	Velo Labs		8～10
4	Material World		8～10
5	Infarm		8～10
6	Quno Medical		8～10
7	Accelerated Digital Ventures		8～10
8	Isomer Capital		8～10

インターンシップ先一覧（学科科目「インターンシップ　領域別Tech研究・A・B・C」）

No.	企業名	所在地	受入可能人数（人）			
			インターンシップ（領域別Tech研究）	インターンシップA	インターンシップB	インターンシップC
			必修	選択	選択	選択
1	株式会社ZIG					4
2	株式会社SmartHR		4			2
3	株式会社Kaizen Platform		4			2
4	ワンメディア株式会社		4			2
5	株式会社ネットプロテクションズ		4	2	2	
6	Retty株式会社		4			2
7	フォースタートアップス株式会社		4	2	2	
8	認定特定非営利活動法人かものはしプロジェクト					4
9	株式会社ヤッホーブルーイング		4			4
10	株式会社CRAZY		4	2	2	
11	ヤフー株式会社		4	2	2	
12	長野県塩尻市企画政策部					4
13	ソフトバンク株式会社		4		4	
14	株式会社マネーフォワード		4		4	
15	株式会社空				2	2
16	株式会社GRA		4			4
17	アソビュー株式会社		4	2	2	
18	カフェ・カンパニー株式会社			4		4
19	株式会社ココナラ		4	2	2	
20	Fringe81株式会社		4	2	2	
21	株式会社オプト		4			4
		合計	64	18	24	38

公開情報及び掲載先一覧

ア	大学の教育研究上の目的に関すること	https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/purpose.html
イ	教育研究上の基本組織に関すること	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/figure.html
ウ	教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/professor_profile.html
エ	入学者に関する受入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること	
	アドミッション・ポリシー	https://www.musashino-u.ac.jp/admission/faculty/policies.html
	学生数	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/students.html
	就職状況	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/career/employment_support/category_business.html
オ	授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること	
	カリキュラム・ポリシー	https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/curriculumpolicy.html
	シラバス	https://muscat.musashino-u.ac.jp/portal/slbssrch.do
	履修要覧	http://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/yoran/
カ	学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること	
	ディプロマ・ポリシー	https://www.musashino-u.ac.jp/academics/basic/policies/policies.html
	履修要覧	http://risyuyouran.musashino-u.ac.jp/yoran/
キ	校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	
	キャンパスマップ	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/campus/musashino_campus.html https://www.musashino-u.ac.jp/guide/campus/ariake_campus.html
	図書館	https://www.musashino-u.ac.jp/library/
	研究所・センター等	https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/
	クラブ情報	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/campus_life/club/
	休息を行う環境	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/campus_life/faq/
	学生支援（生活面）	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/campus_life/faq/
	交通アクセス	https://www.musashino-u.ac.jp/musashino/ https://www.musashino-u.ac.jp/ariake/
ク	授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること	
	学費等納入金	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/fees/fees/
	学生寮費	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/life/dormitory/
ケ	大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	
	修学・生活情報	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/learning/ https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/life/
	キャリア教育	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/career/
	就職支援プログラム	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/career/employment_support/employment_support.html
	心身健康支援	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/facility/healthcare.html
	奨学金	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/fees/scholarship/
	資格取得支援	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/career/qualification.html
	留学生支援	https://www.musashino-u.ac.jp/international/international-students/
	障がいをもつ学生への支援	https://www.musashino-u.ac.jp/student-life/campus_life/faq/
コ	その他	
	大学の財務情報に関すること	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/finance.html https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/
	学則等各種規程	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/
	設置計画履行状況等報告書	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/situation.html
	自己点検・評価報告書	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/inspection.html
	認証評価の結果	https://www.musashino-u.ac.jp/guide/information/accredited.html

社会的・職業的自立に関係する授業科目一覧

科目区分		授業科目の名称	目的
共通科目	建学	仏教（生き方を考える）基礎	キャリアを考える
		仏教（生き方を考える）発展	キャリアを考える
	インターンシップ	インターンシップ	就業体験
		企業協働プロジェクト	就業体験
学科科目	実践科目	インターンシップ（領域別Tech研究）	就業体験
		インターンシップA	就業体験
		インターンシップB	就業体験
		インターンシップC	就業体験
	マインド科目	女性とアントレプレナーシップ	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ１A	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ１B	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ１C	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ１D	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ２A	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ２B	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ２C	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ２D	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ３A	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ３B	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ３C	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ３D	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ４A	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ４B	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ４C	キャリアを考える
		アントレプレナーシップ４D	キャリアを考える

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
① 学生の確保の見通し‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．１
ア　定員充足の見込み‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．１
イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要
（ｉ）既設の学科と新設のアントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科との関連性及び既設学科の志願状況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．２
（ii）公的機関等による地域の人口動態調査及び志願動向調査等‥‥‥‥‥‥ ｐ．３
（iii）近隣の競合大学との比較検証‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．３
（iv）受験対象者等へのアンケート調査‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．４
ウ　学生納付金の設定の考え方‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．５
② 学生確保に向けた具体的な取組状況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．５

（２）人材需要の動向等社会の要請
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．６
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ｐ．６

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

令和３年度、武蔵野キャンパス（東京都西東京市）にアントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科を設置する。変革期を迎え、予測困難で多様性に富んだ現代社会の中で、高い倫理観と好奇心をもって、世界の幸せのために未知なるものに挑戦しようという志、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、多様な背景を持つ人を巻き込みながら、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。本学部は入学定員 60 人、収容定員 240 人とし、以下の考え方により設定した。

入学定員の設定の考え方は以下のとおりである。本学部では、少人数のチームを組み、仮想の会社を運営したり特定のテーマに関する課題に取り組んだりと、プロジェクトやグループワークの授業が多いことが特徴であるため、専任教員を 19 名置き、きめ細かく指導や相談に乗る体制を取る。そこで、入学定員 60 名、収容定員 240 名とすることで、専任教員１人あたり 12 名の学生を担当することになり、きめ細やかな指導や相談を実施することができると考えた。また、学科科目のうち必修科目や１～２年次が履修する基礎的な科目を１クラス 20 名の少人数クラスに３分割し、少人数で学習効果の高い授業を実施する。なお、本学部では１年次全員がキャンパス内に令和３年度に開設する教育寮に入寮する。プロジェクト型の授業では、授業時間以外にも調査やディスカッション等の学習をする必要が多くあるため、教育寮の中に共用スペースを設け、グループワークに取り組みやすい環境を整える。この教育寮は既存の建物を改修して利用予定で、約 70 名が入居できる設計であるが、教育効果や学生の原級留年等に鑑み、60 名を入寮定員とする。これらのことから、入学定員を 60 名とした。

この定員を充足する見込みは、後述のとおり、（ｉ）既設の学部等の定員充足状況が過去５年において十分であること、(ii) 地域の人口動態調査及び志願動向が安定的であること、(iii) 同分野を有する近隣大学への志願動向調査、そして（iv）受験対象者等へのアンケート調査から立っている。

（ｉ）既設学部の経営学科の過去５年間の入学定員充足率は平均 1.00 と、安定的に学生を確保している。また、(ii) 地域の人口動態調査では、東京近郊については令和３年度、令和７年度及び令和 11 年度の 18 歳人口が増えており、「経済・経営・商学・経営情報系」の学問分野への受験生の志願動向も安定している。そして、(iii) 近隣競合校４校について、志願者倍率で４～17 倍と安定的な志願者を集めている。さらに、(iv) 高校２年生及び高校進路指導教員へのアンケート調査において、志望する生徒及び本学部開設を評価する教員が多いことがわかった。

これらの客観的なデータから、長期的かつ安定的に本学部の学生の確保を図るこ

とができる見通しがあるといえる。

基本計画書に記載した平均入学定員超過率が 0.69 であった通信教育部人間科学部人間科学科は、平成 14 年度の開設以来、通信制による教育を行い、特に社会人の向学意欲に応えてきた。しかし、近年の通信教育全体の学生数の減少傾向の影響もあり（**表１**）、本学の入学定員も満たなくなった。このため適正な定員管理とさらなる入学者の確保を目標に、平成 26 年度から秋入学制度を整えた。秋入学制度の整備、学生確保に向けた取組の強化に取組んできたが、定員充足には至らなかったため、平成 29 年度に入学定員を 300 人から 250 人、収容定員を 2,700 人から 2,400 人に減じ、入学定員超過率は改善傾向にある。そして、過去４年度の秋入学者数を含めた入学定員超過率を年度ごとに見ると（**表２**）の通り、平成 29 年以降は 0.70 以上を推移している。令和２年度も同様に秋入学を実施し、学生確保に向けた取組を更に充実させることにより、入学定員超過率は改善される見込みである。

表１　通信教育を行う私立大学数及び学生数（令和元年度学校基本調査より抜粋）

年度	学校数（校）	学生数（人）
平成 27 年度	46	213,331
平成 28 年度	44	211,175
平成 29 年度	44	208,322
平成 30 年度	44	208,549
令和元年度	44	207,796

表２　通信教育部人間科学部人間科学科の平均入学定員超過率

	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平均入学定員超過率
入学定員超過率	0.52	0.70	0.80	0.77	0.69
入学者数	131	175	200	193	
入学定員	250	250	250	250	

イ　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

（ｉ）既設の学科と新設のアントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科との関連性及び既設学科の志願状況

本学部の学位の分野は経済学関係となっており、同じく経済学関係である本学経営学部経営学科への実志願者数は、平成 28 年度に 1,201 人、平成 29 年度に 1,157 人、平成 30 年度に 1,707 人、令和元年度に 2,645 人、令和２年度に 2,543 人と、直近５年間の平均は 1,851 人である（**資料１**）。実質倍率についても平成 28 年度

6.0 倍、平成 29 年度 5.8 倍、平成 30 年度 7.4 倍、そして令和元年度 12.0 倍、令和２年度 11.6 倍と直近５年間平均は 8.6 倍である。そして、入学定員超過率は平成 28 年度 1.15、平成 29 年度 1.06、平成 30 年度 0.90、令和元年度 0.96、令和２年度 0.97 で、直近５年間の平均は 1.00 と安定的に入学者を確保できている。これらから、過去５年の入学志願状況等を鑑みるに、本学部についても安定的に志願者数を確保できると考えられる。

（ii）公的機関等による地域の人口動態調査及び志願動向調査等

本学の学生の出身高校の都道府県をみると（**資料２**）、平成 30 年度から令和２年度の直近３年間の新入生の平均 64.9%が１都３県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の出身であり、割合が高い。さらに、令和元年度学校基本調査（**資料３**）によると、本学部を開設する令和３年度の大学入学予定者である高校２年生の生徒数は、１都３県計 276,093 人である。また、本学部開設４年後の令和７年度大学入学予定者である現中学１年生の生徒数は１都３県計 292,440 人であり、令和３年度比約 106%となっている。さらに、本学部開設８年後となる令和 11 年度大学入学予定者である現小学３年生の児童数は１都３県計 293,303 人である。これらのデータから、少子化の中でも１都３県については 18 歳人口が減らないことが予想されている。以上のことから、大学進学率が現状維持であっても、現在と同様の受験者数が見込まれる。

加えて、株式会社リクルートマーケティングパートナーズが関東７０大学を対象に行った調査によると（**資料４**）、令和２年度一般入試・センター利用入試における各学問分野の志願者数は、本学部に該当する「経済・経営・商学・経営情報系」では 404,701 人で、前年度比 41,629 人減、9.3%減となっている。しかし、平成 27 年度から令和元年度の志願者数を見てみると、近年は 40 万人程度の志願者で安定的に推移している（**資料５**）。従って、本学部の学問分野への受験生の志願動向も良い傾向であり、定員充足の見込みは十分である。

（iii）近隣の競合大学との比較検証

近隣の競合大学を設定し、志願状況を調べた。

近隣競合校は「偏差値」「キャンパスの場所」を考慮し以下の方法で抽出した。まず、偏差値について、「私立大　2020 年度入試難易予想一覧表」（令和２年１月 22 日付河合塾発表）において、本学部の基礎となる経営学部経営学科の偏差値は 52.5 と予想されている。したがって、本学の近隣競合校としては、偏差値 47.5～55.0 と予想されている大学を抽出した。次に、キャンパスの場所について、本学部は東京都西東京市にある武蔵野キャンパスで学ぶ。武蔵野キャンパスは新宿駅を起点とする沿線上にあり、新宿駅から１時間程度でキャンパスに通学できるこ

とから、本学と同様に新宿駅から１時間程度で通学できるキャンパスで教育研究を行う大学を、近隣競合校候補として絞り込みを行った。そしてその中から、教育の特徴が類似する大学を「近隣競合校」として３大学抽出した。また、本学の目指すところとなる偏差値 60.0 以上で、新宿から１時間程度で通学でき、教育の特徴が類似する大学を「偏差値上位校」として１大学抽出した。

「近隣競合校」の志願状況を見てみると（**資料６**）、安定的に４～17 倍程度の志願者倍率があった。また、「偏差値上位校」においても、15～22 倍程度の志願者を集めていた。

（iv）受験対象者等へのアンケート調査

加えて、本学部への受験生の志願動向を調査するため、令和２年２～３月にアンケート調査を実施した。

アンケート調査対象校の抽出にあたっては、次の観点から行った。まず、本学への入学者は過去５年間にわたり、公立高校からの入学者が約５割となっており、その中でも都立高校からの入学者が５年間平均 15.3%と最も多い（**資料７**）。入学者数が上位を占める１都３県の公立高校の中でも、都立高校出身者は、過去３年間平均で 44.6%を占めている。２番目に入学者が多い千葉県でも 25.4%程度であり、今後も都立高校からの入学者が公立高校の中でも一番多いことが予想される。このことから、アンケートは都立高校の生徒を対象に実施することとした。

そこで、東京都立高校のうち、大学及び短期大学の進学率が 80%以上の高校を抽出したところ、41 校が挙がった（**資料８**）。41 校に個別にアンケート調査実施の依頼を行い、そのうち９校（22.0%）から回答を得ることができた。

アンケート内容は、本学部についての説明を読んだ上で、進学意向を選択するものとした（**資料９**）。

このアンケートの結果によると、「ぜひ入学したい」と「入学したい」と回答した生徒を合わせると９校 2,088 人のうち 210 人（10.1%）（**資料 10**）であった。本学への国公私立高校等を含めた全入学者のうち、都立高校出身者は、過去５年間平均で 15.3%であった（**資料７**）。したがって、今回アンケートを行った都立高校９校からの結果を、都立高校からの進学意向数とみなし、国公私立高校等を含めた志願者数を割り返して推計すると、1,373 人となる。この結果から入学定員 60 人は十分充足されるものと考える。

また、同様の都立高校の進路指導担当教員を対象にアンケート調査を実施した（**資料１１**）。こちらのアンケートは 41 校中 10 校（24.3%）、計 55 名から回答を得ることができた。回答集計結果（**資料１２**）によると、進学を「大いに薦める」「薦める」と回答した教員が 55 人中 10 人（18.2%）だったものの、本学部に受験生の進学ニーズが「大いにある」「ある」と回答した教員は 55 人中 28 人（50.9%）で、

高校生の進学ニーズがある見込みが立った。

以上（ｉ）～（iv）から、本学部において定員充足の見込みは十分であると考えられる。

ウ　学生納付金の設定の考え方

本学の学費設定に当たっては、学部の収容定員による学納金収入の見込みに対する教育研究費や施設設備費、教員人件費、図書費などの支出の見込みを踏まえ、学部としての採算性及び永続性を考慮している。更に、他大学の学費の状況も参考にして、受験生や保護者に無理のない設定を行っている。

本学部は初年次納入金を 1,160,000 円と設定しており、前述の「近隣競合校」の 1,112,000～1,301,000 円（**資料６**）に並び低く、経済的側面からも配慮している。そのため、学費の観点からも受験生及び保護者への訴求力は高いものと考える。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

本学部の学生募集は、主に大学ＷＥＢサイトでの告知及び入試パンフレット等の配布並びに、各種受験情報誌やＷＥＢサイト、ＳＮＳサイトへ大学情報や入試情報を掲載することにより行う予定である。

入試パンフレットには、学部・学科の概要やカリキュラムをはじめ、就職情報、担当教員、担当教員、在学生・卒業生の情報等を掲載し、入学後から卒業までの具体的なイメージが湧くように工夫している。

学内においては年５回程度のオープンキャンパスのほか、令和元年度からは新たに授業体験 day を実施している。授業体験 day は学部学科並びに全学共通基礎課程の授業を用意し、参加者が興味のある授業を選択して体験できるイベントである。

このほか、主に１都３県の高等学校を対象に、本学教員による出張授業や教職員による高校訪問、高校内進学相談会等も積極的に実施している。出張授業や高校内進学相談会は、高校生の視野を広げ、学びへの動機づけや進路に対する意識を高める機会として活用されている。さらに、本学の卒業生を進学アドバイザーとして採用し、高等学校や予備校等での進学相談業務にあたらせることで、本学の実態について親身かつきめ細かく説明できるような体制を取っている。

加えて、学部情報や入試情報を掲載したダイレクトメールを発送するなど、多様な広報媒体を複合的に組み合わせたクロスメディア方式の効果もあり、資料請求者やオープンキャンパスへの参加者、志願者数は年々増加傾向にある（**資料１３**）。特に総志願者数は大学全体で２万人以上を安定的に確保し、平成 30 年度実施の入試では過去最高である 42,799 人を記録、令和元年度入試でも 41,158 人となり、２年連続で４万人を超えた。今後も同様の方針で学生募集を行う予定である。

基本計画書に記載した平均入学定員超過率が 0.69 であった通信教育部人間科学部人間科学科において、学生確保に向けた以下３点の取組を行っている。

１点目は入試制度及び定員設定の見直しである。平成 26 年度から４月入学以外に９月入学制度（秋入学制度）を整えた。更に、平成 29 年度には定員設定を変更し、入学定員を 300 人から 250 人に、収容定員を 2,700 人から 2,400 人に減じた。

２点目は募集広報の見直しである。平成 29 年度には大学全体のホームページを大幅リニューアルし、大学全体の発信力を強めることで通信教育部についても訴求力を高めた。具体的には、卒業生への本学の学びに関するインタビューや、本学学生同士の勉強会を取材し発信することで、本学での学びをよりリアリティを持ってイメージできるようにした。また、科目担当教員へのインタビューを掲載し、本学の学びの特長をより具体的に発信している。加えて、通信制高等学校へ訪問し出張授業の実施等を行うことで連携を深め、年々増加している通信制高等学校出身者へのアプローチを行っている。以上のように、社会的ニーズに対して通信教育部で叶えられることを具体的に示しながら募集広報を行っている。また、伝達方法として、入学案内の見直しをするとともに、令和元年度から受験生に対して情報を分かりやすく伝える事ができる動画広報を導入している。さらに、令和２年度からはＡＩ（人工知能）を活用し、自動で回答を表示する 24 時間応答のチャットサポート（チャットボット）を導入するなど、受験希望者へのサービス向上に努めている。

３点目は通信教育システムのリニューアルである。平成 29 年度後期に通信教育の運営基盤である本学独自の通信教育システムをリニューアルした。それにより履修登録やレポート提出・添削、ＷＥＢ試験等の機能を充実させた。更に平成 30 年度にはスマートフォンアプリに対応することにより学生の利便性を向上させた。

これらの取組を行っていくことで通信教育部人間科学部人間科学科の入学定員超過率は改善される見込みである。

（２）人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学部では、変革期を迎え、予測困難で多様性に富んだ現代社会の中で、高い倫理観と好奇心をもって、世界の幸せのために未知なるものに挑戦しようという志、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、多様な背景を持つ人を巻き込みながら、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材の育成を目的とする。また、現代社会の課題や近未来の事業機会に対して、高い感度をもって接し、社会に影響を与えた過去・現在のアントレプレナーの志に共感をもって接することで、その特性やスキルを理解し、ビジネス分野及びその他の様々な領域で「ことを成す」ために必要な実践的な能力を身につける。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア　各種統計調査

わが国の経済成長の基本戦略である日本再興戦略 2016、未来投資戦略 2017 においては、産業の新陳代謝を促進する観点から「開業率が廃業率を上回る状態にし、米国・英国レベルの開業率・廃業率 10%台（現状約 4.5%）を目指す」ことが KPI（成果目標）として掲げられた（**資料１４**）。成長戦略実行計画においても継続して掲げられているが、新規創業や新事業創造の担い手となる起業家の教育が大きな課題となっている。

わが国は、諸外国と比較して創業に無関心な層の割合が高いことが課題として挙げられており、開業率向上のためには、起業家に必要とされるマインド（チャレンジ精神、探求心等）と起業家的資質・能力（情報収集・分析力、リーダーシップ等）の向上を通じて、将来の創業者の育成に取り組むことが必要とされている。

毎年総合起業活動指数（Total Early-Stage Entrepreneurial Activity：以下ＴＥＡ）の国際比較が、「グローバル・アントレプレナーシップ・モニター（Global Entrepreneurship Monitor：以下ＧＥＭ）調査」で取り上げられるが、日本の起業活動の活発度に関する数値は低レベルを推移している（**資料１５**）。また、イプソス・グローバルアドバイザー調査　Entrepreneurialism－Global report－November 2018（**資料１６**）においても起業家精神のある人々の割合が最も低い国は日本で有る旨が示されている。

本学部の教育課程は、①に挙げたとおり、「高い倫理観と好奇心をもって、世界の幸せのために未知なるものに挑戦しようという志、起業家精神（アントレプレナーシップ）」を抱く人物の育成を目的としている。こういった教育課程により、起業家に必要とされるマインドと資質・能力を身につけ、起業家精神を持った人材を輩出する学部であるため、人材需要はあると考える。

イ　企業・関係機関等への採用意向調査

本学部生の卒業後の進路は、主に起業や社会起業を想定しているが、大企業へ就職し新規事業を担当したりスタートアップ企業へ入社したり等も想定している。そこで、本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業の企業人事担当者向けにアンケートを実施した（**資料１７**）。新規事業開発に積極的な企業や、スタートアップ企業を中心に 24 社にアンケートを行い、20 社（83.3%）から回答を得られた。回答結果によると、本学部に社会的ニーズが「大いにある」と回答した人事担当者が 15 社、「ある」が５社であり、全社が肯定的な回答であった。さらに、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者が９社、「採用しても良い」が９社であり、回答の９割が育成する人材に対して期待が大きい回答を得ることができた。（**資料１８**）。

以上のことから、本学部において育成する人材は社会的経済的人材需要があるといえる。

以　上

資料目次

資料１　既設学科の志願者数等推移･･･ p．1
資料２　平成 30～令和２年度 出身高校都道府県別新入生数･･･････････････････ p．2
資料３　人口動態（令和元年度学校基本調査より抜粋）･･････････････････････ p．3
資料４　首都圏大学分野別志願者数･･･ p．4
資料５　首都圏大学分野別志願者数　経済・経営・商学・経営情報系 平成 27 年度～令和元年度･･ p．5
資料６　近隣競合校及び偏差値上位校について･･･････････････････････････････ p．6
資料７　設立属性別地域別高校からの本学入学者推移･････････････････････････ p．7
資料８　アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科 志願動向調査アンケート対象校･･ p．8
資料９　武蔵野大学アントレプレナーシップ学部についてのアンケートのお願い（高校２年生向け）･･ p．9
資料 10　都立高校 高校２年生向けアンケートの結果について････････････････ p.11
資料 11　武蔵野大学アントレプレナーシップ学部についてのアンケートのお願い（進路指導教員向け）･･ p.12
資料 12　都立高校 進路指導教員向けアンケートの結果について･･････････････ p.14
資料 13　オープンキャンパス参加者数､資料請求者数､志願者数の推移･･････････ p.15
資料 14　これまでの成長戦略等･･･ p.16
資料 15　平成 28 年度産業経済研究委託事業　（起業家精神に関する調査事業）報告書平成 29 年 3 月　みずほ情報総研株式会社･･････････････ p.17
資料 16　イプソス・グローバルアドバイザー調査　Entrepreneurialism – Global report – November 2018　････････････････････････････････････ p.18
資料 17　武蔵野大学アントレプレナーシップ学部についてのアンケートのお願い（企業等採用責任者･担当者向け）･･････････････････････････････････ p.19
資料 18　企業等採用責任者･担当者向けアンケートの結果について･････････････ p.23

資料１
本文２ページ参照

既設学科の志願者数等推移

□経営学部経営学科（令和元年度経済学部経営学科より改組）

年度	入学定員	志願者数	志願者倍率	実志願者数	実質倍率	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員超過率	偏差値※
平成28	200	1,832	9.2	1,201	6.0	1,687	477	229	1.15	50.0
平成29	200	1,867	9.3	1,157	5.8	1,747	499	212	1.06	50.0
平成30	230	2,571	11.2	1,707	7.4	2,373	565	208	0.90	50.0
令和元	220	4,925	22.4	2,645	12.0	4,667	722	213	0.96	47.5
令和2	220	4,370	19.9	2,543	11.6	4,079	831	214	0.97	52.5
平均	－	3,113	14.4	1,851	8.6	2,911	619	215	1.00	－

※偏差値は当該年度の全学部統一入試の偏差値（河合塾）

資料2

本文3ページ参照

平成30～令和2年度　出身高校都道府県別新入生数

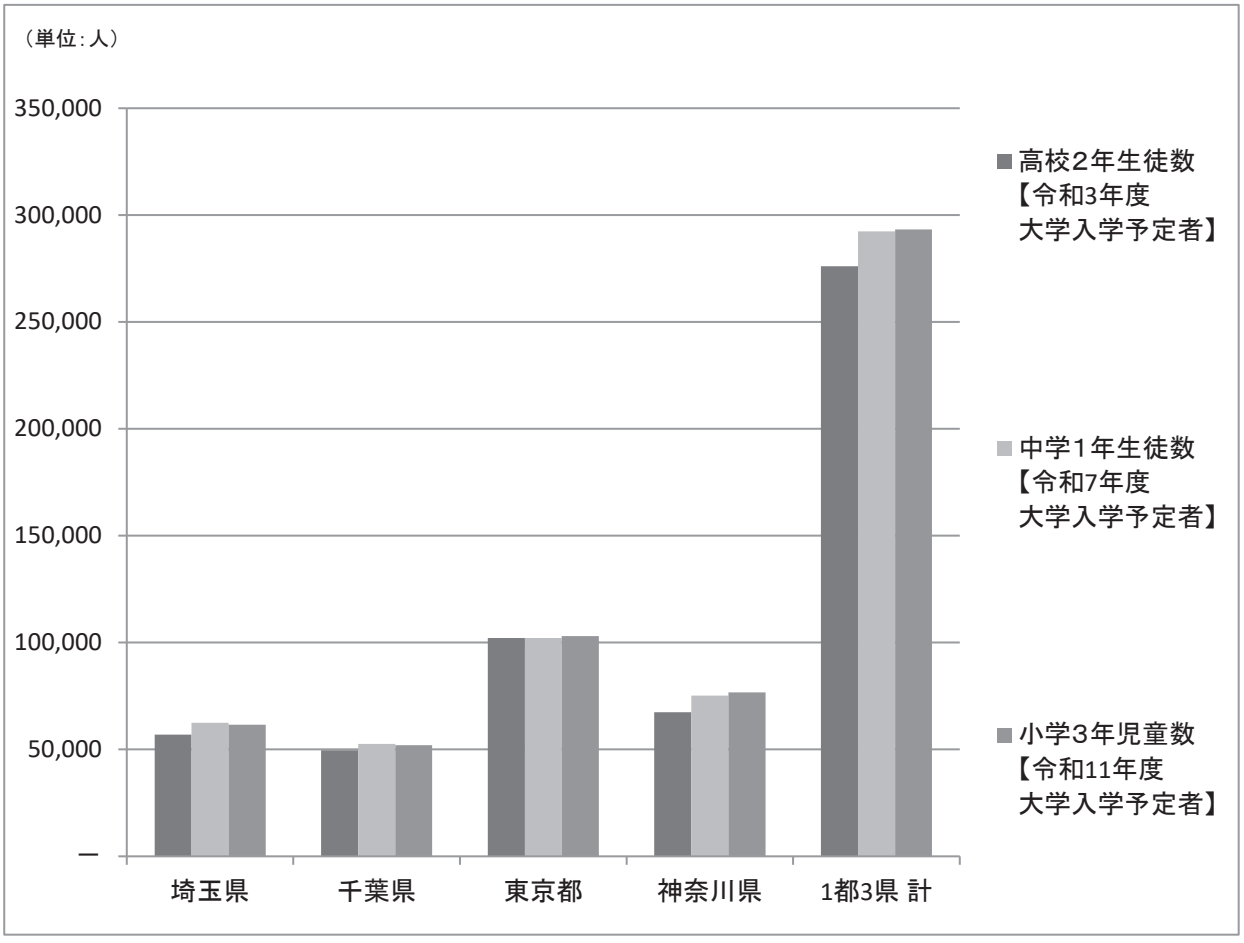
No	都道府県	平成30年度新入生		平成31年度新入生		令和2年度新入生		3年間平均	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
01	北海道	25	1.1%	24	1.0%	24	1.0%	24.3	1.1%
02	青森県	16	0.7%	4	0.2%	13	0.6%	11.0	0.5%
03	岩手県	6	0.3%	6	0.3%	6	0.3%	6.0	0.3%
04	宮城県	20	0.9%	13	0.6%	15	0.6%	16.0	0.7%
05	秋田県	8	0.4%	5	0.2%	7	0.3%	6.7	0.3%
06	山形県	5	0.2%	4	0.2%	8	0.3%	5.7	0.2%
07	福島県	45	2.0%	51	2.2%	36	1.5%	44.0	1.9%
08	茨城県	89	3.9%	72	3.1%	89	3.8%	83.3	3.6%
09	栃木県	47	2.1%	46	2.0%	53	2.2%	48.7	2.1%
10	群馬県	32	1.4%	42	1.8%	33	1.4%	35.7	1.5%
11	埼玉県	193	8.5%	210	9.1%	199	8.4%	200.7	8.7%
12	千葉県	328	14.4%	307	13.3%	313	13.2%	316.0	13.6%
13	東京都	792	34.8%	794	34.4%	795	33.6%	793.7	34.3%
14	神奈川県	158	6.9%	220	9.5%	197	8.3%	191.7	8.3%
15	新潟県	32	1.4%	37	1.6%	49	2.1%	39.3	1.7%
16	富山県	8	0.4%	8	0.3%	4	0.2%	6.7	0.3%
17	石川県	2	0.1%	5	0.2%	4	0.2%	3.7	0.2%
18	福井県	6	0.3%	7	0.3%	7	0.3%	6.7	0.3%
19	山梨県	49	2.2%	46	2.0%	47	2.0%	47.3	2.0%
20	長野県	49	2.2%	48	2.1%	53	2.2%	50.0	2.2%
21	岐阜県	6	0.3%	7	0.3%	9	0.4%	7.3	0.3%
22	静岡県	59	2.6%	51	2.2%	75	3.2%	61.7	2.7%
23	愛知県	9	0.4%	20	0.9%	13	0.6%	14.0	0.6%
24	三重県	3	0.1%	4	0.2%	2	0.1%	3.0	0.1%
25	滋賀県	1	0.0%	3	0.1%	0	0.0%	1.3	0.1%
26	京都府	4	0.2%	2	0.1%	4	0.2%	3.3	0.1%
27	大阪府	13	0.6%	12	0.5%	4	0.2%	9.7	0.4%
28	兵庫県	8	0.4%	5	0.2%	3	0.1%	5.3	0.2%
29	奈良県	3	0.1%	4	0.2%	0	0.0%	2.3	0.1%
30	和歌山県	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0.3	0.0%
31	鳥取県	0	0.0%	1	0.0%	3	0.1%	1.3	0.1%
32	島根県	4	0.2%	3	0.1%	2	0.1%	3.0	0.1%
33	岡山県	2	0.1%	5	0.2%	12	0.5%	6.3	0.3%
34	広島県	12	0.5%	4	0.2%	6	0.3%	7.3	0.3%
35	山口県	4	0.2%	4	0.2%	4	0.2%	4.0	0.2%
36	徳島県	3	0.1%	1	0.0%	0	0.0%	1.3	0.1%
37	香川県	4	0.2%	5	0.2%	2	0.1%	3.7	0.2%
38	愛媛県	1	0.0%	7	0.3%	5	0.2%	4.3	0.2%
39	高知県	6	0.3%	8	0.3%	9	0.4%	7.7	0.3%
40	福岡県	13	0.6%	5	0.2%	11	0.5%	9.7	0.4%
41	佐賀県	0	0.0%	4	0.2%	3	0.1%	2.3	0.1%
42	長崎県	2	0.1%	10	0.4%	3	0.1%	5.0	0.2%
43	熊本県	8	0.4%	2	0.1%	2	0.1%	4.0	0.2%
44	大分県	5	0.2%	0	0.0%	3	0.1%	2.7	0.1%
45	宮崎県	2	0.1%	4	0.2%	2	0.1%	2.7	0.1%
46	鹿児島県	9	0.4%	8	0.3%	5	0.2%	7.3	0.3%
47	沖縄県	10	0.4%	13	0.6%	14	0.6%	12.3	0.5%
48	その他	174	7.6%	169	7.3%	214	9.1%	185.7	8.0%
合計		2,275	100.0%	2,310	100.0%	2,363	100.0%	2,316.0	100.0%
1都3県 計		1,471	64.7%	1,531	66.3%	1,504	63.6%	1,502	64.9%

注）割合は小数点第2位で四捨五入しているため割合の合計が合わないことがある

資料3
本文3ページ参照

人口動態（令和元年度学校基本調査より抜粋）

都県名	高校2年生徒数 【令和3年度 大学入学予定者】	中学1年生徒数 【令和7年度 大学入学予定者】	小学3年児童数 【令和11年度 大学入学予定者】
埼玉県	56,933	62,528	61,628
千葉県	49,579	52,616	51,962
東京都	102,184	102,111	103,043
神奈川県	67,397	75,185	76,670
1都3県 計	276,093	292,440	293,303



著作権者の許諾が得られない書類

①書類等の題名

首都圏大学分野別志願者数（【資料４】）

②出典（著者名等の著作権者）

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

③書類等の利用範囲

「２０２０年度一般入試・センター利用入試の傾向と分析【全体】」

分野系統別志願動向

第２章　分野系統別志願動向

④その他、著作物について加工している場合には、その加工に関する説明

アントレプレナーシップ学科に該当する学問分野の各年度の志願者数と志願者数増減数・増減率を引用し記載した。

著作権者の許諾が得られない書類

①書類等の題名

首都圏大学　分野別志願者数（【資料５】）

②出典（著者名等の著作権者）

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

③書類等の利用範囲

・「２０１９年度一般入試・センター利用入試の傾向と分析【全体】」
分野系統別志願動向
第２章　分野系統別志願動向

・「２０２０年度一般入試・センター利用入試の傾向と分析【全体】」
分野系統別志願動向
第２章　分野系統別志願動向

④その他、著作物について加工している場合には、その加工に関する説明

アントレプレナーシップ学科に該当する学問分野の各年度の志願者数を引用し記載した。

近隣競合校 及び 偏差値上位校について

□近隣競合校

大学名/学部名/学科名	入学定員	志願者数※1 平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	偏差値※2	学費（円）※3	通学ｷｬﾝﾊﾟｽ	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
駒澤大学 経営学部 市場戦略学科	185						55.0	1,112,000	駒沢キャンパス（東京都世田谷区）	約30分 山手線7分 乗り換え4分 田園都市線7分 徒歩10分	実社会で役立つ知力と多岐にわたる企業経営の知識の習得、および理論をもとに様々なデータを使いこなすことで実証的に説明・予測する力を身につけ、現代社会が求める知識を創造する人材を育成する。
志願者倍率											
明星大学 経営学部 経営学科	200						52.5	1,200,000	日野キャンパス（東京都日野市）	約40分 京王線30分 多摩モノレール線10分 駅直結	経営管理・マーケティング・会計分野を横断する専門教育と、学生が自らビジネスを企画して運営することでリアルな経営学を実践する体験教育、さらに就きたい職業や仕事に応じて、必要な専門的な知識や技能を重点的に身につけることで、教養豊かで実践力をもった人材を育成する。
志願者倍率											
千葉商科大学 商経学部 経営学科	180						47.5	1,125,000	市川キャンパス（千葉県市川市）	約60分 総武線40分 徒歩20分 ※市川駅からバス10分、下車後徒歩3分	簿記、語学、ITを基礎に、商学、経済学、経営学の実践的な学習を通して、会社を存続させるため経営を強化し、マネジメント、人事、総務、会計など企業のさまざまなセクションで何をすべきかを学習し、幅広い教養を身につけたスペシャリストや専門的な強みを持つゼネラリストを育成する。
志願者倍率											

□偏差値上位校

大学名/学部名/学科名	入学定員	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	偏差値※2	学費（円）※3	通学ｷｬﾝﾊﾟｽ	新宿駅からの交通アクセス	育成する人材等
立教大学 経営学部 経営学科	230						62.5	1,301,000	池袋キャンパス（東京都豊島区）	約20分 山手線10分 徒歩7分	少人数で行う体験・実践的カリキュラムで一人ひとりのリーダーシップやコミュニケーション力を段階的に養い、専門知識を幅広くかつ深く身につけることで創造力のあるビジネスリーダーを育成する。
志願者倍率											

※1 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べ（一般入試、センター入試の計）
※2 偏差値は令和2年1月22日付河合塾発表「2020年度入試難易予想ランキング表（私立大）」から抜粋
※3 入学金、授業料等含む初年時納入金（各大学の2020年入試情報ウェブサイトより転記）

著作権者の許諾が得られない書類

①書類等の題名

首都圏大学　分野別志願者数（【資料６】）

②出典（著者名等の著作権者）

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

③書類等の利用範囲

「２０２０年度一般入試・センター利用入試の傾向と分析【全体】」

分野系統別志願動向

第２章　分野系統別志願動向

④その他、著作物について加工している場合には、その加工に関する説明

アントレプレナーシップ学科の近隣競合校及び偏差値上位校の各年度の志願者数を引用し記載して、志願者数を基に志願者倍率を計算し記載した。

資料7
本文4ページ参照

設立属性別地域別高校からの本学入学者推移

設立属性別入学者数の推移

設立属性	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		5年間平均
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
国立	5	0.2%	6	0.3%	8	0.4%	5	0.2%	6	0.3%	0.3%
公立	1,083	53.2%	1,115	52.1%	1,088	51.1%	1,133	49.8%	1,101	47.7%	50.8%
（内、都立高校）	355	17.5%	332	15.5%	317	14.9%	336	14.8%	317	13.7%	15.3%
私立	885	43.5%	894	41.8%	889	41.8%	964	42.4%	1,034	44.8%	42.8%
その他	61	3.0%	124	5.8%	144	6.8%	173	7.6%	169	7.3%	6.1%
計	2,034	100.0%	2,139	100.0%	2,129	100.0%	2,275	100.0%	2,310	100.0%	100.0%

都道府県別公立高校からの入学者推移

高校所在地	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		5年間平均
	入学者数	首都圏公立に占める率	入学者数	首都圏公立に占める率	入学者数	首都圏公立に占める率	入学者数	首都圏公立に占める率	入学者数	首都圏公立に占める率	
埼玉県	94	12.6%	120	15.7%	100	14.1%	107	14.0%	96	13.1%	13.9%
千葉県	174	23.3%	195	25.5%	166	23.4%	216	28.3%	193	26.4%	25.4%
東京都	355	47.6%	332	43.5%	317	44.7%	336	44.1%	317	43.3%	44.6%
神奈川県	123	16.5%	117	15.3%	126	17.8%	103	13.5%	126	17.2%	16.1%
1都3県　計	746	100.0%	764	100.0%	709	100.0%	762	100.0%	732	100.0%	
その他	337		351		379		371		369		
統計	1,083		1,115		1,088		1,133		1,101		

資料８
本文４ページ

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科
志願動向調査アンケート対象校

【抽出条件】
・「みんなの高校情報」（https://www.minkou.jp/hischool/）掲載の
東京都立高校普通科　大学＋短期大学進学率80%以上

No.	高校名	No.	高校名
1	東京都立青山高等学校	21	東京都立西高等学校
2	東京都立上野高等学校	22	東京都立白鴎高等学校
3	東京都立大泉高等学校	23	東京都立八王子東高等学校
4	東京都立北園高等学校	24	東京都立日野台高等学校
5	東京都立国立高等学校	25	東京都立日比谷高等学校
6	東京都立小金井北高等学校	26	東京都立富士高等学校
7	東京都立国分寺高等学校	27	東京都立文京高等学校
8	東京都立狛江高等学校	28	東京都立町田高等学校
9	東京都立小松川高等学校	29	東京都立三田高等学校
10	東京都立駒場高等学校	30	東京都立南平高等学校
11	東京都立小山台高等学校	31	東京都立武蔵高等学校
12	東京都立昭和高等学校	32	東京都立武蔵野北高等学校
13	東京都立新宿高等学校	33	東京都立両国高等学校
14	東京都立城東高等学校	34	東京都立国際高等学校
15	東京都立墨田川高等学校	35	東京都立小石川中等教育学校
16	東京都立竹早高等学校	36	東京都立桜修館中等教育学校
17	東京都立立川高等学校	37	千代田区立九段中等教育学校
18	東京都立調布北高等学校	38	東京都立立川国際中等教育学校
19	東京都立戸山高等学校	39	東京都立多摩科学技術高等学校
20	東京都立豊多摩高等学校	40	東京都立南多摩中等教育学校
		41	東京都立三鷹中等教育学校

高校２年生の皆さんへ

武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部についてのアンケート（回答用紙）

武蔵野大学では2021(令和3)年4月、アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科の開設を構想しています。

本学部開設の参考といたしたく、アンケート回答にご協力をお願いいたします。

このアンケートの結果はアントレプレナーシップ学部開設の参考としてのみ利用し、それ以外の目的で利用することはありません。

このリーフレットをご覧いただいた上で、以下の質問にお答えください。

該当する項目の□内に○をつけてください。

「その他」を選んだ場合は、（　　）内に具体的に記入してください。

【記入例】
○正しい記入例 ◯ 文系
×誤った記入例 □ 文系

問１．選択している（選択予定の）コースもしくは目指す進路の分野を教えてください。

□ 文系　□ 理系　その他（　　）

問２．武蔵野大学アントレプレナーシップ学部への入学を希望しますか。

□ ぜひ入学したい　□ 入学したい
□ あまり入学したくない　□ 入学したくない

問３．問２で「ぜひ入学したい」か「入学したい」と答えた方にお聞きします。アントレプレナーシップ学部に進学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか。（複数回答可）

□ 自ら起業したい
□ NPOを立ち上げたい
□ 大企業で新規事業を立ち上げたい
□ 地方行政の改革を担当したい
□ その他（　　）

ご協力ありがとうございました。

＜問い合わせ先＞
学校法人武蔵野大学　企画部　企画・広報課
（TEL　03-5530-7403、平日8時45分～）

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
武蔵野大学
Musashino University

10

世界の幸せをカタチにする。
武蔵野大学
Musashino University

資料９０ 本文４ページ参照

会社に入るか、社会を創るか。

2021年4月 第1期生募集

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部についてのアンケートのお願い（高校２年生向け）

4年後の人生を変える新学部が生まれる。

設置構想中

武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科

社会や経済などの変化が激しい現代社会において、**新たな価値を見出し実行していく力**、すなわち**起業家精神（アントレプレナーシップ）**を持った人材が強く求められています。そういった社会の要請に応えるべく、起業家精神を学び、イノベーティブな事業やサービスを創り、高い倫理観で未来を想い、社会に価値を創造することができる**未来創造型人材**を育成することを目的に、アントレプレナーシップ学部を設置します。

＊設置計画は現在構想中であり、内容に変更がある可能性があります。

「自分にしかできないこと」に出会う。踏み出す。没頭する。

1 世界を知る。自分を知る。

2 失敗を恐れず、やってみる

3 実際に起業し、試行錯誤する

教員は、現役ビジネスパーソン中心

現役のビジネスパーソンが「リアルな経験」に基づいた社会で生かせる知識・スキルを教えます。

カリキュラムは、実践中心

実際に手を動かす「実践プロジェクト」を基本として、グループ学習/事例研究/対話/ゲストスピーチなど、双方向に学ぶ授業スタイルを徹底します。

起業はじめ、「ことを成す」進路へ

起業（ベンチャー起業/社会起業）、大企業新規事業担当、行政の改革担当等、社会への価値創出を強く意識した就業を目指します。

Point

一流の現役ビジネスパーソンによる教育

就任予定教員の経歴（抜粋）

・R&D（研究開発）系
　ベンチャー企業　取締役
・ベンチャー企業CEO（最高経営責任者）
・市長経験者
・NPO創業者
・大手IT企業　業務執行役員
・企業内大学学長
・大手外資系自動車部品会社　CEO経験者
・海外ベンチャー企業日本進出責任者　　など

専任教員のうち
社長・法人代表経験者
70.6%
上場企業役員経験者
29.4%

全寮制で仲間と切磋琢磨しながら学びます

キャンパス内にアントレプレナーシップ学部生専用の学生寮を用意。
全員が1～2年の間入寮し、”社会に価値を創造したい”という仲間たちと共に、切磋琢磨しながら共に学ぶ仕組みを作ります。
活躍している起業家やビジネスパーソン等をゲストに呼び、授業外でも様々な刺激を受ける寮にしていきます。

海外短期留学を経験できます

豊かな国際感覚を身に付け、世界を舞台に活躍できる力を養うため、海外短期留学プログラムを提供します（留学にかかる費用は自己負担となります）。

＊設置計画は現在構想中であり、内容に変更がある可能性があります。

養成する人材像

自分の人生を主体的に捉え「自分の人生を前向きなエネルギーで満ちて生きる」ことができる人材を養成します。
皆が幸せに生きる社会の実現へ貢献する志や、正しいことを行う高い倫理観をもち、結果として「ことを成す」人材を目指します。

進路イメージ

・「新しい価値を作り出して形にする」「既存の状況を抜本的に変革する」仕事に就き、リーダーシップを発揮しながら価値の創出に貢献していく人材
・起業やベンチャー企業への参画
・NPO立ち上げや参画
・大企業の新規事業担当
・地方行政の改革担当　　など

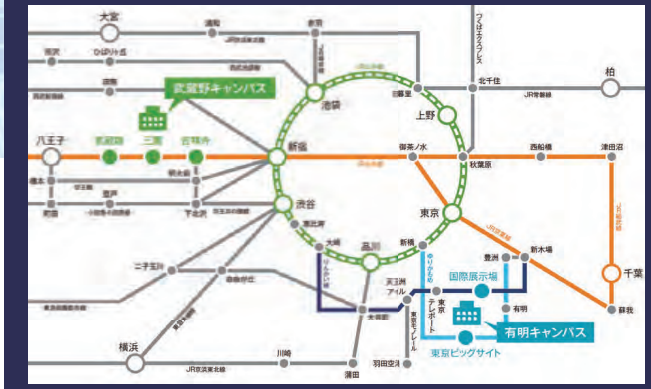
学費

初年次納入金：1,160,000円（入学金、授業料等）

＜ 参考 ＞ 他大学同系統学部の学費
立教大学 経営学部 経営学科、国際経営学科　1,301,000円
駒澤大学 経営学部 市場戦略学科（現代産業・起業コース）1,112,000円
明星大学 経営学部 経営学科（事業継承・起業コース）1,200,000円

武蔵野大学
アントレプレナーシップ学部
アントレプレナーシップ学科
（設置構想中）

入学定員：60名
キャンパス：武蔵野キャンパス（東京都西東京市）



アクセス：

新宿	約15分	吉祥寺	バス	武蔵野キャンパス
渋谷	約17分	三鷹		
八王子	約25分	武蔵境		

資料１０
本文４ページ参照

都立高校　高校２年生向けアンケートの結果について

１．**実施時期**：令和２年１～３月

２．**調査回答校（５０音順）**：　９校（なお、調査依頼は４１校）

３．**回答者の属性**

高校２年生、中等教育学校５年生 計 2,088 人

（文系 1,252 人、理工系 962 人、その他 24 人、不明 150 人）

４．**結果**

問２．武蔵野大学アントレプレナーシップ学部への入学を希望しますか。

選択肢	回答数	割合(%)※1
１．ぜひ入学したい	101	4.8
２．入学したい	109	5.2
３．あまり入学したくない	748	35.8
４．入学したくない	1,289	61.7
無効回答	159	7.6
計	2,088	100.0

問３．アントレプレナーシップ学部に進学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか。（複数回答可）

選択肢	回答数	割合(%)※2
１．自ら起業したい	136	64.8
２．ＮＰＯを立ち上げたい	47	22.4
３．大企業で新規事業を立ち上げたい	68	32.4
４．地方行政の改革を担当したい	51	24.3
５．その他	23	11.0

※１　割合(%)は小数点第２位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100.0 にならない場合がある

※２　問２で「ぜひ入学したい」「入学したい」と回答した 210 名のうちの割合

進路指導の先生方へ

武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部についてのアンケート（回答用紙）

武蔵野大学では2021(令和3)年4月、アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科の開設を構想しています。

本学部開設の参考といたしたく、アンケート回答にご協力をお願いいたします。

このアンケートの結果はアントレプレナーシップ学部開設の参考としてのみ利用し、それ以外の目的で利用することはありません。

このリーフレットをご覧いただいた上で、以下の質問にお答えください。

該当する項目の□内に○をつけてください。

【記入例】
○正しい記入例 ◯ 評価する
×誤った記入例 □ 評価する

問１．新設するアントレプレナーシップ学部の育成する人材像について、どのように評価されますか。

□ 大いに評価する　□ 評価する
□ あまり評価しない　□ 評価しない

問２．当該学部における学修について、社会ニーズがあるとお考えですか。

□ 大いにある　□ ある
□ あまりない　□ ない

問３．当該学部への進学を薦めますか。

□ 大いに薦める　□ 薦める
□ あまり薦めない　□ 薦めない

問４．当該学部に受験生の進学ニーズはあるとお考えですか。

□ 大いにある　□ ある
□ あまりない　□ ない

ご協力ありがとうございました。

＜問い合わせ先＞
学校法人武蔵野大学　企画部　企画・広報課（柏原、菅原）
（TEL　03-5530-7403、平日8時45分～）

世界の幸せをカタチにする。
武蔵野大学
Musashino University

世界の幸せをカタチにする。
武蔵野大学
Musashino University

会社に入るか、社会を創るか。

資料101 本文4ページ参照

2021年4月 第1期生募集

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部についてのアンケートのお願い（進路指導教員向け）

4年後の人生を変える新学部が生まれる。

設置構想中

武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科

社会や経済などの変化が激しい現代社会において、**新たな価値を見出し実行していく力**、すなわち**起業家精神（アントレプレナーシップ）**を持った人材が強く求められています。そういった社会の要請に応えるべく、起業家精神を学び、イノベーティブな事業やサービスを創り、高い倫理観で未来を想い、社会に価値を創造することができる**未来創造型人材**を育成することを目的に、アントレプレナーシップ学部を設置します。

＊設置計画は現在構想中であり、内容に変更がある可能性があります。

「自分にしかできないこと」に出会う。踏み出す。没頭する。

1 世界を知る。自分を知る。

2 失敗を恐れず、やってみる

3 実際に起業し、試行錯誤する

教員は、現役ビジネスパーソン中心

現役のビジネスパーソンが「リアルな経験」に基づいた社会で生かせる知識・スキルを教えます。

カリキュラムは、実践中心

実際に手を動かす「実践プロジェクト」を基本として、グループ学習/事例研究/対話/ゲストスピーチなど、双方向に学ぶ授業スタイルを徹底します。

起業はじめ、「ことを成す」進路へ

起業（ベンチャー起業/社会起業）、大企業新規事業担当、行政の改革担当等、社会への価値創出を強く意識した就業を目指します。

Point

一流の現役ビジネスパーソンによる教育

就任予定教員の経歴（抜粋）

・R&D（研究開発）系
　ベンチャー企業　取締役
・ベンチャー企業CEO（最高経営責任者）
・市長経験者
・NPO創業者
・大手IT企業　業務執行役員
・企業内大学学長
・大手外資系自動車部品会社　CEO経験者
・海外ベンチャー企業日本進出責任者　　など

専任教員のうち
社長・法人代表経験者
70.6%
上場企業役員経験者
29.4%

全寮制で仲間と切磋琢磨しながら学びます

キャンパス内にアントレプレナーシップ学部生専用の学生寮を用意。
全員が1～2年の間入寮し、”社会に価値を創造したい”という仲間たちと共に、切磋琢磨しながら共に学ぶ仕組みを作ります。
活躍している起業家やビジネスパーソン等をゲストに呼び、授業外でも様々な刺激を受ける寮にしていきます。

海外短期留学を経験できます

豊かな国際感覚を身に付け、世界を舞台に活躍できる力を養うため、海外短期留学プログラムを提供します（留学にかかる費用は自己負担となります）。

＊設置計画は現在構想中であり、内容に変更がある可能性があります。

養成する人材像

自分の人生を主体的に捉え「自分の人生を前向きなエネルギーで満ちて生きる」ことができる人材を養成します。
皆が幸せに生きる社会の実現へ貢献する志や、正しいことを行う高い倫理観をもち、結果として「ことを成す」人材を目指します。

進路イメージ

・「新しい価値を作り出して形にする」「既存の状況を抜本的に変革する」仕事に就き、リーダーシップを発揮しながら価値の創出に貢献していく人材
・起業やベンチャー企業への参画
・NPO立ち上げや参画
・大企業の新規事業担当
・地方行政の改革担当　　など

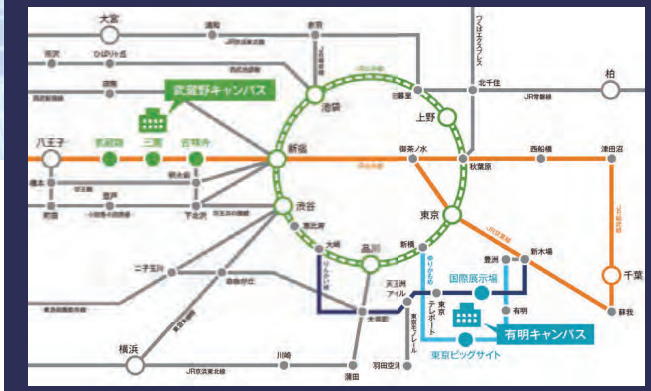
学費

初年次納入金：1,160,000円（入学金、授業料等）

＜ 参考 ＞ 他大学同系統学部の学費
立教大学 経営学部 経営学科、国際経営学科　1,301,000円
駒澤大学 経営学部 市場戦略学科（現代産業・起業コース）1,112,000円
明星大学 経営学部 経営学科（事業継承・起業コース）1,200,000円

武蔵野大学
アントレプレナーシップ学部
アントレプレナーシップ学科
（設置構想中）

入学定員：60名
キャンパス：武蔵野キャンパス（東京都西東京市）



アクセス：

新宿	約15分	吉祥寺	バス	武蔵野キャンパス
渋谷	約17分	三鷹		
八王子	約25分	武蔵境		

資料１２
本文４ページ参照

都立高校　進路指導教員向けアンケートの結果について

１．**実施時期**　　令和２年１～３月

２．**対　象**　　東京都立高校　進路指導担当教員５５名

３．**結果**

Ｑ１．新設するアントレプレナーシップ学部の育成する人材像について、どのように評価されますか。

１．大いに評価する	４ 人	３６ 人　６５．４％
２．評価する	３２ 人	
３．あまり評価しない	１４ 人	
４．評価しない	５ 人	
５．無回答	０ 人	

Ｑ２．当該学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

１．大いにある	２ 人	３７ 人　６７．３％
２．ある	３５ 人	
３．あまりない	１２ 人	
４．ない	６ 人	
５．無回答	０ 人	

Ｑ３．当該学部への進学を薦めますか。

１．大いに薦める	１ 人	１０人　１８．２ ％
２．薦める	９ 人	
３．あまり薦めない	３２ 人	
４．薦めない	１２ 人	
５．無回答	１ 人	

Ｑ４．当該学部に受験生の進学ニーズはあるとお考えですか。

１．大いにある	１ 人	２８人　５０．９ ％
２．ある	２７ 人	
３．あまりない	２０ 人	
４．ない	７ 人	
５．無回答	０ 人	

以　上

資料13

本文5ページ参照

オープンキャンパス参加者数、資料請求者数、志願者数の推移

（人）

入試年度		H28	H29	H30	R 1	R 2
（A）オープンキャンパス参加者数		12,209	12,803	14,419	16,564	16,550
（B）資料請求者数	大学全体	83,631	89,646	105,036	123,586	188,569
	経営学科	5,569	4,455	4,914	7,064	13,429
（C）志願者数	大学全体	22,470	20,186	27,350	42,799	41,158
	経営学科	1,832	1,867	2,571	4,925	4,370
志願率［(C)志願者数/(B)資料請求者数］	大学全体	26.9%	22.5%	26.0%	34.6%	21.8%
	経営学科	32.9%	41.9%	52.3%	69.7%	32.5%

資料１４
本文７ページ参照

これまでの成長戦略等

日本再興戦略 2016―第４次産業革命に向けて―（平成 28 年６月２日）　本文（全体版）

７．中堅企業・中小企業・小規模事業者の革新

（１）KPI の主な進捗状況

《KPI》産官学金の連携によるコンソーシアムを形成し、地域技術を活用した先導的技術開発プロジェクトを、毎年 200 程度を目安に、５年間で約 1,000 支援

※今回、新たに設定する KPI

《KPI》開業率が廃業率を上回る状態にし、開業率・廃業率が米国・英国レベル（10%台）になることを目指す（現状：開業率・廃業率ともに 4.5%（2004～2009 年の平均値））

⇒2014 年度：開業率 4.9%、廃業率 3.7%（2013 年度：開業率 4.8%、廃業率 4.0%）

⇒起業活動指数　2015 年度：4.8%（2014 年度：3.8%）

※開業率・廃業率については、政府の施策だけでなく、社会の起業に対する意識の改革も必要とし、長期的な目標となるため、今後 10 年間を見据えた補助指標として、「起業活動指数（「起業家精神に関する調査」において、「起業者・起業予定者である」との回答を得た割合）を今後 10 年間で倍増させる。」を設定。

《KPI》2020 年までに黒字中小企業・小規模事業者を 70 万社から 140 万社に増やす

⇒2014 年度：859,753 社（2013 年度：805,979 社）

成長戦略　　（令和元年 6 月 21 日）成長戦略フォローアップ

３．中小企業・小規模事業者の生産性革命の更なる強化

①KPI の主な進捗状況

《KPI》「サービス産業の労働生産性の伸び率が、2020 年までに 2.0%となることを目指す」【74】　⇒2017 年：0.18%

《KPI》「2020 年までに黒字中小企業・小規模事業者を 70 万社から 140 万社に増やす」【76】　⇒2016 年度：954,546 社

《KPI》「開業率が廃業率を上回る状態にし、開業率・廃業率が米国・英国レベル（10%台）になることを目指す」【77】

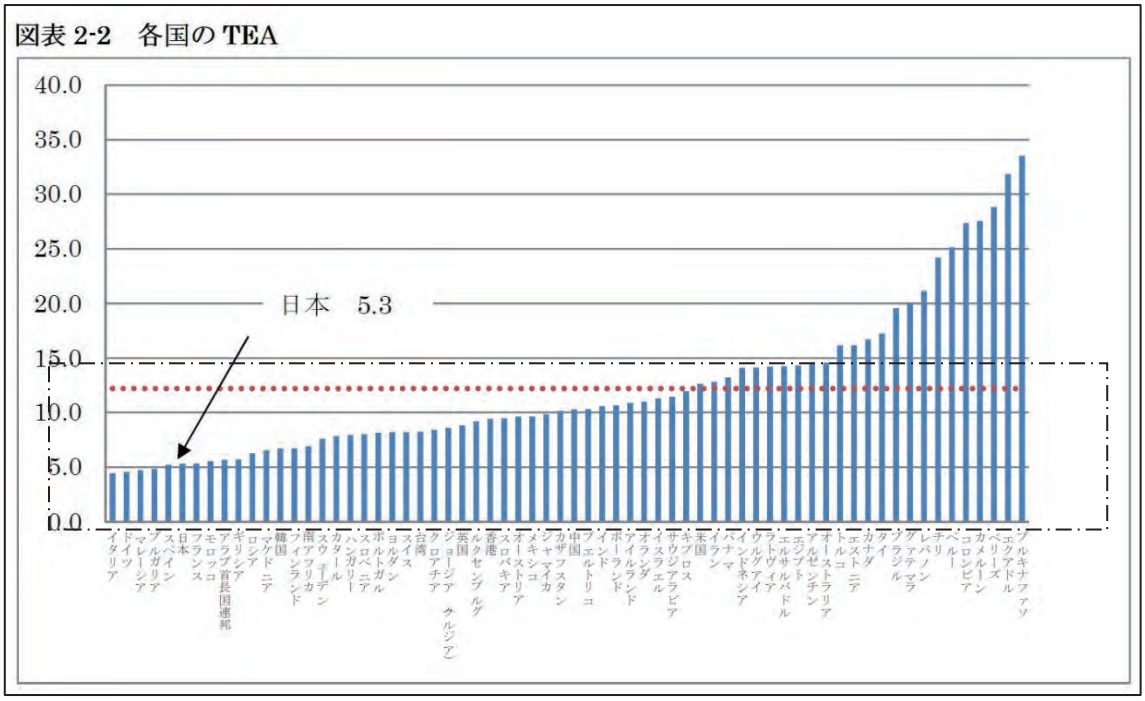
⇒2017 年度：開業率 5.6%、廃業率 3.5%

出　典　https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/kettei.html

資料１５
本文７ページ参照

平成 28 年度産業経済研究委託事業（起業家精神に関する調査事業）報告書
（平成 29 年 3 月　みずほ情報総研株式会社）

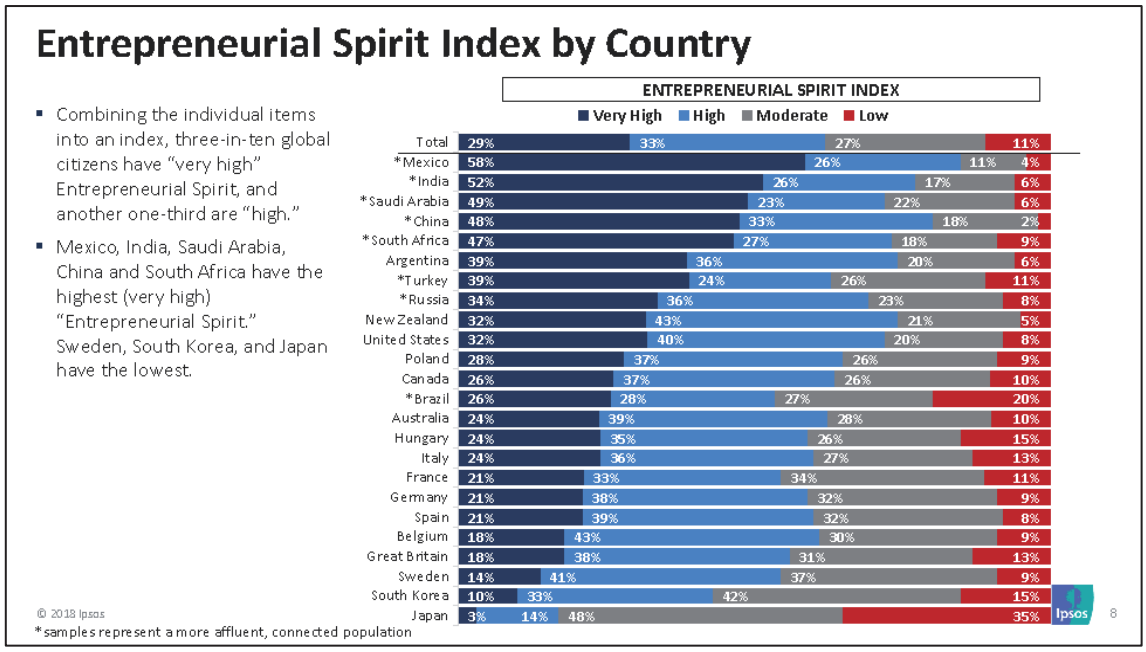
８ページ



注）総合起業活動指数(Total Early-Stage Entrepreneurial Activity: TEA)
「現在、1 人または複数で、何らかの自営業、物品の販売業、サービス業等を含む新しいビジネスをはじめようとしていますか」、「現在、1 人または複数で、雇用主のために通常の仕事の一環として、新しいビジネスや新しいベンチャーをはじめようとしていますか」、そして「現在、自営業、物品の販売業、サービス業等の会社のオーナーまたは共同経営者の 1 人として経営に関与していますか」などの質問に基づき作成されている。

出　典　https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/H28FY/000259.pdf

イプソス・グローバルアドバイザー調査
Entrepreneurialism - Global report - November 2018



起業家精神は健在であることが、2018 年 9 月下旬に世界 24 カ国で 18,000 人を対象に実施されたイプソス・グローバルアドバイザー調査で明らかになりました。調査実施国全体では、62%の調査対象者が起業家として重要な資質があることを示しており、10 人中 3 人は強い資質を示しています。今回の調査実施国のうち、起業家精神のある人々の割合が最も高い国々は、メキシコ、インド、サウジアラビア、中国、南アフリカで、最も低いのはスウェーデン、韓国、日本です。

出　典　イプソス・イン・ジャパン　ニュース
起業家精神は健在：今日の社会的課題に取り組んでいる
https://www.ipsos.com/ja-jp/entrepreneurialism-alive-and-well-and-taking-todays-social-challenges

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部についてのアンケートのお願い（企業等採用責任者・担当者向け）

資料１７

本文７ページ参照

令和元年２月７日

武蔵野大学
学長　西本 照真

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部に関するアンケートのお願い

拝啓　厳冬の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、本学の教育研究活動にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本学では 2021（令和３）年４月に、新たにアントレプレナーシップ学部を開設することを構想し、現在その準備を進めております。新学部開設にあたり、貴社の新卒採用責任者やご担当者様のご意見を伺い、開設に向けての参考とさせていただきたく、下記のとおりアンケートを実施することとなりました。つきましては、ご多用の時期に大変恐れ入りますが、ご回答のほど、何卒お願い申し上げます。
末筆ではございますが、貴校のますますのご発展を念じ申し上げます。

敬具

記

送付物

①アンケートのお願い（本紙）　１枚
②新学部に関するご案内　１枚

依頼対象

新卒採用の責任者またはご担当者様　１名

回答方法・期限

以下の WEB アンケート回答フォーム（4 問・所要時間目安 5 分）から
2020 年 2 月 28 日(金)午前 8 時 59 分までにご回答ください。
https://forms.gle/MSjp3vtusMh76yJn9　[QR コード]→

その他

アンケートご回答内容につきましては、本学部開設のための参考資料としてのみ利用させていただきます。それ以外の目的で使用することは一切ございません。
ご不明の点等ございましたら、以下のお問合せ先までご連絡をお願いいたします。

以 上

＜お問合せ先＞
学校法人武蔵野大学 企画部 企画・広報課（菅原、柏原）
〒135-8181 東京都江東区有明三丁目３番３号
[Tel]03-5530-7403（平日のみ 8:45～） [E-mail] kikaku@musashino-u.ac.jp

世界の幸せをカタチにする。

武蔵野大学
Musashino University

会社に入るか。社会を創るか。

2021年4月
第1期生
募集

4年後の人生を変える新学部が生まれる。

設置構想中

武蔵野大学 アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科

社会や経済などの変化が激しい現代社会において、**新たな価値を見出し実行していく力**、すなわち**起業家精神（アントレプレナーシップ）**を持った人材が強く求められています。そういった社会の要請に応えるべく、起業家精神を学び、イノベーティブな事業やサービスを創り、高い倫理観で未来を想い、社会に価値を創造することができる**未来創造型人材**を育成することを目的に、アントレプレナーシップ学部を設置します。

＊設置計画は現在構想中であり、内容に変更がある可能性があります。

「自分にしかできないこと」に出会う。踏み出す。没頭する。

1 世界を知る。自分を知る。

2 失敗を恐れず、やってみる

3 実際に起業し、試行錯誤する

教員は、現役ビジネスパーソン中心

現役のビジネスパーソンが「リアルな経験」に基づいた社会で生かせる知識・スキルを教えます。

カリキュラムは、実践中心

実際に手を動かす「実践プロジェクト」を基本として、グループ学習/事例研究/対話/ゲストスピーチなど、双方向に学ぶ授業スタイルを徹底します。

起業はじめ、「ことを成す」進路へ

起業（ベンチャー起業/社会起業）、大企業新規事業担当、行政の改革担当等、社会への価値創出を強く意識した就業を目指します。

Point

一流の現役ビジネスパーソンによる教育

就任予定教員の経歴（抜粋）

・R&D（研究開発）系
　ベンチャー企業 取締役
・ベンチャー企業CEO（最高経営責任者）
・市長経験者
・NPO創業者
・大手IT企業　業務執行役員
・企業内大学学長
・大手外資系自動車部品会社　CEO経験者
・海外ベンチャー企業日本進出責任者　　など

専任教員のうち
社長・法人代表経験者
70.6%
上場企業役員経験者
29.4%

全寮制で仲間と切磋琢磨しながら学びます

キャンパス内にアントレプレナーシップ学部生専用の学生寮を用意。
全員が1～2年の間入寮し、"社会に価値を創造したい"という仲間たちと共に、切磋琢磨しながら共に学ぶ仕組みを作ります。
活躍している起業家やビジネスパーソン等をゲストに呼び、授業外でも様々な刺激を受ける寮にしていきます。

海外短期留学を経験できます

豊かな国際感覚を身に付け、世界を舞台に活躍できる力を養うため、海外短期留学プログラムを提供します（留学にかかる費用は自己負担となります）。

＊設置計画は現在構想中であり、内容に変更がある可能性があります。

養成する人材像

自分の人生を主体的に捉え「自分の人生を前向きなエネルギーで満ちて生きる」ことができる人材を養成します。
皆が幸せに生きる社会の実現へ貢献する志や、正しいことを行う高い倫理観をもち、結果として「ことを成す」人材を目指します。

進路イメージ

・「新しい価値を作り出して形にする」「既存の状況を抜本的に変革する」仕事に就き、リーダーシップを発揮しながら価値の創出に貢献していく人材
・起業やベンチャー企業への参画
・NPO立ち上げや参画
・大企業の新規事業担当
・地方行政の改革担当　　など

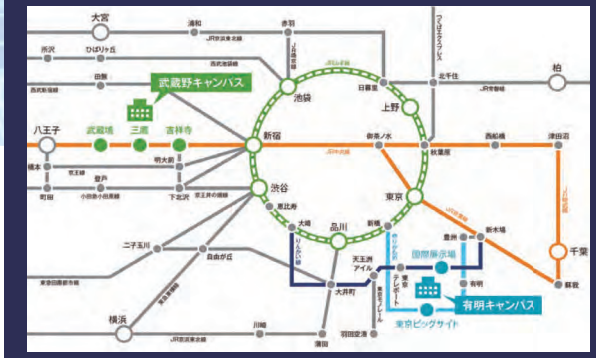
学費

初年次納入金：1,160,000円（入学金、授業料等）

＜参考＞他大学同系統学部の学費
立教大学 経営学部 経営学科、国際経営学科　1,301,000円
駒澤大学 経営学部 市場戦略学科（現代産業・起業コース）1,112,000円
明星大学 経営学部 経営学科（事業継承・起業コース）1,200,000円

武蔵野大学
アントレプレナーシップ学部
アントレプレナーシップ学科
（設置構想中）

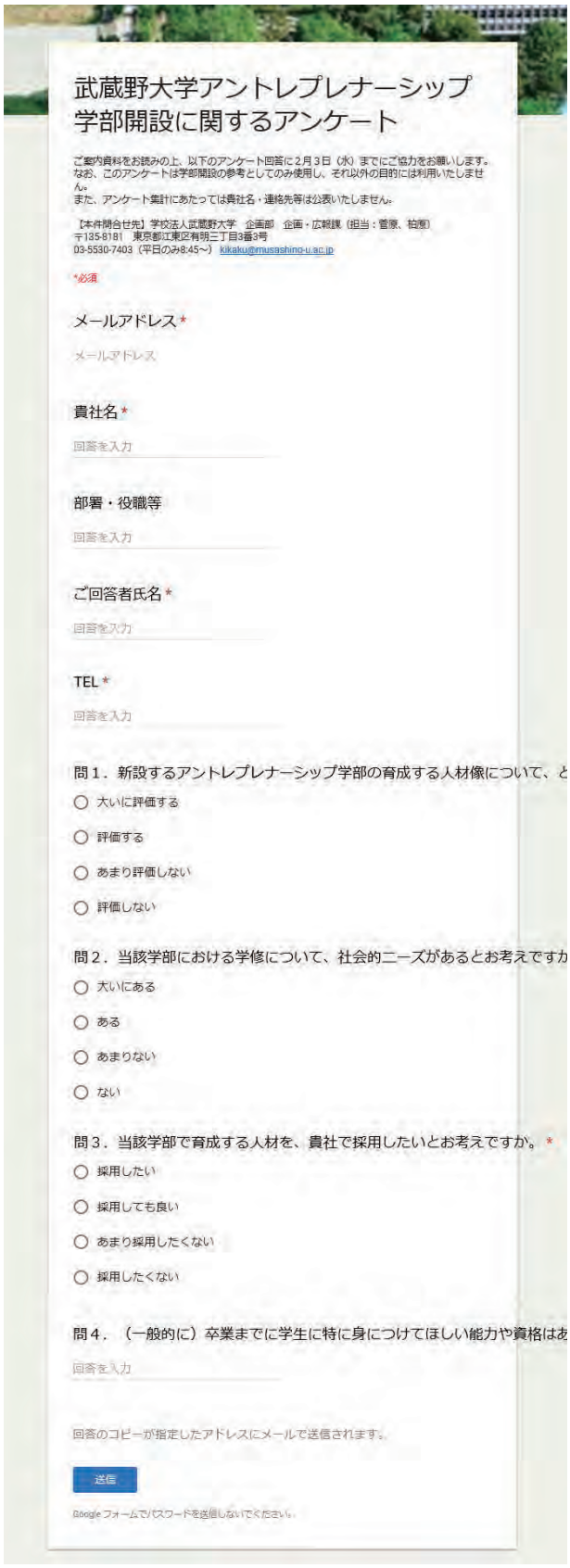
入学定員：60名
キャンパス：武蔵野キャンパス（東京都西東京市）



アクセス：

新宿	約15分	吉祥寺	バス	武蔵野キャンパス
渋谷	約17分	三鷹		
八王子	約25分	武蔵境		

企業等新卒採用責任者・担当者　ＷＥＢアンケート回答フォーム



武蔵野大学アントレプレナーシップ学部開設に関するアンケート

ご案内資料をお読みの上、以下のアンケート回答に２月３日（水）までにご協力をお願いします。
なお、このアンケートは学部開設の参考としてのみ使用し、それ以外の目的には利用いたしません。
また、アンケート集計にあたっては貴社名・連絡先等は公表いたしません。

【本件問合せ先】学校法人武蔵野大学　企画部　企画・広報課（担当：菅原、柏原）
〒135-8181　東京都江東区有明三丁目3番3号
03-5530-7403（平日のみ8:45～）　kikaku@musashino-u.ac.jp

*必須

メールアドレス *

メールアドレス

貴社名 *

回答を入力

部署・役職等

回答を入力

ご回答者氏名 *

回答を入力

TEL *

回答を入力

問１．新設するアントレプレナーシップ学部の育成する人材像について、と

- 大いに評価する
- 評価する
- あまり評価しない
- 評価しない

問２．当該学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか

- 大いにある
- ある
- あまりない
- ない

問３．当該学部で育成する人材を、貴社で採用したいとお考えですか。 *

- 採用したい
- 採用しても良い
- あまり採用したくない
- 採用したくない

問４．（一般的に）卒業までに学生に特に身につけてほしい能力や資格はあ

回答を入力

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

問１．新設するアントレプレナーシップ学部の育成する人材像について、どのように評価されますか。

大いに評価する
評価する
あまり評価しない
評価しない

問２．当該学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

大いにある
ある
あまりない
ない

問３．当該学部で育成する人材を、貴社で採用したいとお考えですか。

採用したい
採用しても良い
あまり採用したくない
採用したくない

問４．（一般的に）卒業までに学生に特に身につけてほしい能力や資格はありますか。

（自由記述）

企業等採用責任者・担当者向けアンケートの結果について

１．**実施時期**　令和２年２月
２．**対　　象**　２４社
３．**回　　答**　２０社
４．**結　　果**

Ｑ１．新設するアントレプレナーシップ学部の育成する人材像について、どのように評価されますか。

１．大いに評価する	１４社
２．評価する	５社
３．あまり評価しない	１社
４．評価しない	０社

Ｑ２．当該学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

１．大いにある	１５社
２．ある	５社
３．あまりない	０社
４．ない	０社

Ｑ３．当該学部で育成する人材を、貴社で採用したいとお考えですか。

１．採用したい	９社
２．採用しても良い	９社
３．あまり採用したくない	２社
４．採用したくない	０社

Ｑ４．（一般的に）卒業までに学生に特に身につけてほしい能力や資格はありますか。

〔能　　力〕
・プレゼンテーション力
・ファイナンスや事業計画作成の能力
・クリティカルシンキング
・コーチングコミュニケーション
・チャレンジする中で、仮説検証していく力

〔マインド〕
・新しいことにチャレンジするチャレンジ精神
・違う意見を受け入れる多様性
・実行をベースとして成果を出すことの重要性の認識

〔経験〕
・自分自身が強い使命感を持って何か大きな目標を設定し、その目標達成に向けてＰＤＣＡを回しながら成果を出した経験
・圧倒的な成果を残した、もしくは残そうとチャレンジした経験
・インプットだけでなく、実務レベル（模擬ではなく、実際に会社やプロダクトを作ったり、資金調達したり）のアウトプット

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　　員　　名　　簿

学　　長　　の　　氏　　名　　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
18	学長	ニシモト　テルマ 西本　照真 〈平成28年4月〉		博士 (文学)		武蔵野大学 学長 （平成28.4～令6.3）

（注）　高等専門学校にあっては校長について記入すること。

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
1	兼任	講師	ｱｵｳ　ﾏｺﾄ 粟生　万琴 〈令和3年4月〉		学士 (国際学)		ビジネスモデル研究基礎	1①	1	1	株式会社パソナ JOB HUB(平30.6) 株式会社パソナ JOB HUB(平30.6)	
	専	教授	ｱｵｳ　ﾏｺﾄ 粟生　万琴 〈令和4年4月〉		学士 (国際学)		地域課題と事業創造 領域別Tech研究Ａ マーケティング基礎 インターンシップ（領域別Tech研究） プロジェクト応用Ａ プロジェクト発展Ｄ ゼミナール３	2･3･4②・④ 1③・2① 1・2①・② 2①～④ 2①～② 4③～④ 3③～④	1 1 1 1 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1	株式会社パソナ JOB HUB(平30.6) 株式会社パソナ JOB HUB(平30.6)	3日 3日
2	兼任	講師	ｱｷﾓﾄ　ｼｮｳｼﾞ 秋元　祥治 〈令和3年4月〉		高等学校卒		マーケティング基礎	1・2①・②	1	1	岡崎市ビジネスサポートセンター センター長（平25.10） 岡崎市ビジネスサポートセンター センター長（平25.10）	
	専	教授	ｱｷﾓﾄ　ｼｮｳｼﾞ 秋元　祥治 〈令和4年4月〉		高等学校卒		地域課題と事業創造 アントレプレナーシップ４Ａ 領域別Tech研究Ｄ 事業計画Ｂ マーケティングＣ インターンシップ（領域別Tech研究） インターンシップＡ インターンシップＢ インターンシップＣ ゼミナール３	2･3･4②・④ 4① 1④・2② 2①～②・③～④ 2･3･4①・③ 2①～④ 2・3・4①～④ 2・3・4①～④ 2・3・4①～④ 3③～④	1 1 1 2 1 1 2 3 4 2	1 1 1 2 1 1 1 1 1 1	岡崎市ビジネスサポートセンター センター長（平25.10） 岡崎市ビジネスサポートセンター センター長（平25.10）	3日 3日
3	専	教授	ｲｹﾓﾄ　ｼｭｳｺﾞ 池本　修悟 〈令和3年4月〉		修士 (政策・メディア)		キャリアデザイン１ キャリアデザイン２ アントレプレナーシップ３Ａ 課題解決プロセス２ チーム・プロジェクトマネジメント ゼミナール２	1①～② 1③～④ 3① 2② 2②・③・④ 3①～②	1 1 1 1 3 2	1 1 1 1 3 1	公益社団法人ユニバーサル志縁センター 専務理事（平23.7） 公益社団法人ユニバーサル志縁センター 専務理事（平23.7）	3日 3日
4	専	教授 (学部長)	ｲﾄｳ　ﾖｳｲﾁ 伊藤　羊一 〈令和3年4月〉		学士 (経済学)		未来構想 事業と哲学 倫理観１ 倫理観２ アントレプレナーシップ１Ａ アントレプレナーシップ３Ｂ アントレプレナーシップ４Ｃ クリティカルシンキング基礎 領域別Tech研究Ｂ 領域別Tech研究Ｃ 領域別Tech研究Ｄ プレゼンテーション リーダーシップとマネジメント プロジェクト入門 インターンシップ（領域別Tech研究） プロジェクト発展Ｅ プロジェクト発展Ｆ プロジェクト発展Ｇ プロジェクト発展Ｈ ゼミナール２	2④ 2①～② 2③ 3① 1③ 3② 4③ 1①～② 1③・2① 1④・2② 1④・2② 2･3･4①･③ 3･4①・③ 1① 2①～④ 3・4①～④ 3・4①～④ 3・4①～④ 3・4①～④ 3①～②	1 2 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 2 3 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ヤフー株式会社 コーポレートエバンジェリスト Yahoo！アカデミア　学長（平27.4） ヤフー株式会社 コーポレートエバンジェリスト Yahoo！アカデミア　学長（平27.4）	4日 3日
5	専	教授	ｲﾜｻ　ﾋﾛｷ 岩佐 大輝 〈令和3年4月〉		経営学修士 (専門職)		アントレプレナーシップ２Ａ アントレプレナーシップ２Ｄ プロジェクト入門 プロジェクト基礎Ａ プロジェクト基礎Ｂ プロジェクト応用Ｂ ゼミナール４	2① 2④ 1① 1② 1③ 2③～④ 4①～②	1 1 1 2 2 4 2	1 1 1 1 1 1 1	株式会社GRA 代表取締役CEO（平24.1） 株式会社GRA 代表取締役CEO（平24.1）	3日 3日
6	専	教授	ｳﾐﾉ ｻﾄｼ 海野　慧 〈令和4年4月〉		学士 (国際関係学)		アントレプレナーシップ２Ｃ アントレプレナーシップ４Ｂ コミュニケーション基礎 コーチング プロジェクト発展Ａ プロジェクト発展Ｃ ゼミナール５	2③ 4② 1・2③・④ 2･3･4②･④ 3①～② 4①～② 4③～④	1 1 1 1 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1	株式会社CarpeDiem 代表（令1.6） 株式会社CarpeDiem 代表（令1.6）	3日 3日
7	専	教授	ｶｼﾜﾔ　ﾋﾛﾕｷ 柏谷　泰行 〈令和3年4月〉		学士 (経営学)		組織・人事マネジメント プロジェクト入門 プロジェクト基礎Ａ プロジェクト基礎Ｂ プロジェクト基礎Ｃ プロジェクト発展Ｃ ゼミナール１	3･4②・④ 1① 1② 1③ 1④ 4①～② 2③～④	1 1 2 2 2 4 2	1 1 1 1 1 1 1	ERRORs株式会社 代表取締役（令1.6） ERRORs株式会社 代表取締役（令1.6）	3日 3日
8	専	教授	ｶﾅｽｷﾞ　ﾄﾓｺ 金杉　朋子 〈令和3年4月〉		修士 (政策・メディア)		キャリアデザイン１ キャリアデザイン２ キャリアデザイン３ チーム・プロジェクトマネジメント ゼミナール３ ゼミナール４	1①～② 1③～④ 2①～② 2②・③・④ 3③～④ 4①～②	1 1 1 3 2 2	1 1 1 3 1 1	東京経済大学 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部 講師（平31.4） 東京経済大学 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学部 講師（平31.4）	3日 2日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（アントレプレナーシップ学部　アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
9	専	教授	ｺﾞｼﾏ　ｶｽﾞﾋﾄ 五嶋　一人 〈令和3年4月〉		学士 (経営学)		アントレプレナーシップ２Ｂ 領域別Tech研究Ｂ 領域別Tech研究Ｃ ファイナンス・アカウンティング基礎 ファイナンスＡ リーガル基礎 インターンシップ（領域別Tech研究） プロジェクト発展Ａ プロジェクト発展Ｃ ゼミナール１	2② 1③・2① 1④・2② 1・2①・② 3･4①・③ 1・2③・④ 2①～④ 3①～② 4①～② 2③～④	1 1 1 1 1 2 1 4 4 2	1 1 1 1 1 2 1 1 1 1	株式会社iSGSインベストメントワークス 代表取締役 (平28.6) 株式会社iSGSインベストメントワークス 代表取締役 (平28.6)	3日 3日
10	専	教授	ｻﾄｳ　ﾀﾞｲｺﾞ 佐藤　大吾 〈令和3年4月〉		高等学校卒		キャリアデザイン１ キャリアデザイン２ チーム・プロジェクトマネジメント インターンシップＡ インターンシップＢ インターンシップＣ プロジェクト発展Ｂ ゼミナール１ ゼミナール２	1①～② 1③～④ 2②・③・④ 2・3・4①～④ 2・3・4①～④ 2・3・4①～④ 3③～④ 2③～④ 3①～②	1 1 3 2 3 4 4 2 2	1 1 3 1 1 1 1 1 1	一般財団法人ジャパンギビング 代表理事 (平22.1) 一般財団法人ジャパンギビング 代表理事 (平22.1)	3日 3日
11	兼任	講師	ｻﾜ　ﾏﾄﾞｶ 澤　円 〈令和3年4月〉		学士 (経済学)		コミュニケーション基礎	1・2③・④	1	1	株式会社圓窓 代表取締役 (令1.10) 株式会社圓窓 代表取締役 (令1.10)	
	専	教授	ｻﾜ　ﾏﾄﾞｶ 澤　円 〈令和4年4月〉		学士 (経済学)		好奇心醸成 領域別Tech研究Ａ プロトタイピングＡ プレゼンテーション 組織・人事マネジメント インターンシップ（領域別Tech研究） ゼミナール３ ゼミナール４	2① 1③・2① 2①～④ 2･3･4①･③ 3･4②・④ 2①～④ 3③～④ 4①～②	1 1 1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	株式会社圓窓 代表取締役 (令1.10) 株式会社圓窓 代表取締役 (令1.10)	3日 3日
12	専	教授	ｼﾉﾀﾞ　ﾏｷｺ 篠田　真貴子 〈令和3年4月〉		Master of Business Administration 【米国】 Master of International Relations 【米国】		倫理観２ 女性とアントレプレナーシップ アントレプレナーシップ１Ｂ アントレプレナーシップ３Ｃ クリティカルシンキング基礎 コミュニケーション基礎 コーチング グローバルマネジメント ゼミナール１ ゼミナール４	3① 2･3･4①・③ 1④ 3③ 1①～② 1・2③・④ 2･3･4②･④ 3･4②・④ 2③～④ 4①～②	1 1 1 1 2 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	エール株式会社 取締役 (令2.3) エール株式会社 取締役 (令2.3)	3日 3日
13	専	教授	ｼﾊﾞ　ﾃﾂﾔ 芝　哲也 〈令和4年4月〉		修士 (システムデザイン・マネジメント学)		事業と哲学 デザインと事業創造 クリティカルシンキング基礎 プロトタイピングＢ プロジェクト発展Ｂ ゼミナール３	2①～② 2･3･4②・④ 1①～② 2①～② 3③～④ 3③～④	2 2 2 1 4 2	1 2 1 1 1 1	一般社団法人クリエイティブ思考協会 共同代表理事 (平30.1) 一般社団法人クリエイティブ思考協会 共同代表理事 (平30.1)	3日 3日
14	専	教授	ｼﾗｷ　ﾅﾂｺ 白木　夏子 〈令和4年4月〉		B.A. in Development Geography 【英国】		女性とアントレプレナーシップ アントレプレナーシップ１Ｂ インターンシップＡ インターンシップＢ インターンシップＣ プロジェクト発展Ａ プロジェクト発展Ｂ ゼミナール４	2･3･4①・③ 1④ 2・3・4①～④ 2・3・4①～④ 2・3・4①～④ 3①～② 3③～④ 4①～②	1 1 2 3 4 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1	HASUNA Co.,Ltd. 代表取締役 (平21.4) HASUNA Co.,Ltd. 代表取締役 (平21.4)	3日 3日
15	専	教授	ｽｶﾞﾜﾗ　ﾔｽｼ 菅原　康之 〈令和4年4月〉		修士 (経営学)		アントレプレナーシップ４Ｄ ファイナンス・アカウンティング基礎 ファイナンスＡ プロジェクト応用Ｂ ゼミナール２ ゼミナール５	4④ 1・2①・② 3･4①・③ 2③～④ 3①～② 4③～④	1 1 1 4 2 2	1 1 1 1 1 1	株式会社アナムネ 代表取締役 (平26.9) 株式会社アナムネ 代表取締役 (平26.9)	3日 3日
16	兼任	講師	ﾂﾌﾞｷ　ﾀﾂﾔ 津吹　達也 〈令和3年4月〉		経営学修士 (専門職)		ビジネスモデル研究基礎	1①	1	1	千代田インターナショナルスクール東京 Assistant to the Head of School (平31.4) 千代田インターナショナルスクール東京 Assistant to the Head of School (平31.4)	
	専	教授	ﾂﾌﾞｷ　ﾀﾂﾔ 津吹　達也 〈令和4年4月〉		経営学修士 (専門職)		グローバルアントレプレナー（海外研修） 事業計画Ａ プロジェクト応用Ｂ ゼミナール１	2①～④ 2①～②・③～④ 2③～④ 2③～④	1 2 4 2	1 2 1 1	千代田インターナショナルスクール東京 Assistant to the Head of School (平31.4) 千代田インターナショナルスクール東京 Assistant to the Head of School (平31.4)	3日 4日
17	専	教授	ﾃﾗﾀﾞ　ﾄﾓﾀ 寺田　知太 〈令和3年4月〉		修士(工学) Master of Business Administration 【米国】		アントレプレナーシップ３Ｄ クリティカルシンキング２ 課題解決プロセス１ ビジネスモデル研究基礎 領域別Tech研究Ａ 領域別Tech研究Ｄ マーケティング基礎 マーケティングＡ プロジェクト応用Ａ プロジェクト発展Ｄ ゼミナール５	3④ 2①～② 2① 1① 1③・2① 1④・2② 1・2①・② 2･3･4②・④ 2①～② 4③～④ 4③～④	1 2 1 1 1 1 1 1 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	インクルージョン・ジャパン株式会社 取締役 (令1.9) インクルージョン・ジャパン株式会社 取締役 (令1.9)	3日 3日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　員　の　氏　名　等

（アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
18	専	教授	ニシモト　テルマ 西本　照真 〈令和3年4月〉		博士 (文学)		倫理観１	2③	1	1	武蔵野大学 人間科学部 教授 (平9.4)	5日
19	専	教授	ヒライシ　イクオ 平石　郁生 〈令和3年4月〉		学士 (文学)		グローバルアントレプレナー（海外研修） ビジネスモデル研究基礎 プロジェクト基礎Ａ プロジェクト基礎Ｃ プロジェクト応用Ａ プロジェクト発展Ｄ ゼミナール５	2①～④ 1① 1② 1④ 2①～② 4③～④ 4③～④	1 1 2 2 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1	株式会社ドリームビジョン 代表取締役社長 (平18.3) 株式会社ドリームビジョン 代表取締役社長 (平18.3)	3日 3日
20	兼担	教授	ｲﾁﾉｾ　ｺｳｼﾞ 市瀬　浩志 〈令和3年4月〉		薬学博士		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 教授 (平16.4)	
21	兼担	教授	ｲﾁﾉｾ ﾏｻｷ 一ノ瀬　正樹 〈令和3年4月〉		博士(文学)		ＳＤＧｓ発展１ ＳＤＧｓ発展２ ＳＤＧｓ発展３	1② 1③ 1④	1 1 1	1 1 1	武蔵野大学 グローバル学部 教授 (平30.4)	
22	兼担	教授	ｲ ﾁｬﾝｷｭ 李　昌圭 〈令和4年4月〉		文学修士 【韓国】		韓国語発展１ 韓国語発展２	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 人間科学部 教授 (平14.4)	
23	兼担	教授	ｲﾜｶﾞﾐ ｶｽﾞﾉﾘ 石上　和敬 〈令和3年4月〉		博士(文学)		企業協働プロジェクト 仏教（生き方を考える）基礎 仏教（生き方を考える）発展	2①～④ 1③～④ 3①～②	2 2 2	1 1 1	武蔵野大学 経営学部 教授 (平17.4)	
24	兼担	教授	ｴﾝﾄﾞｳ ﾕｳｽｹ 遠藤　祐介 〈令和3年4月〉		博士(文学)		中国語基礎１ 中国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 グローバル学部 教授 (平23.4)	
25	兼担	教授	ｵｶﾞﾜ　ｹｲｲﾁﾛｳ 小川　桂一郎 〈令和3年4月〉		理学博士		ＳＤＧｓ発展１ ＳＤＧｓ発展２ ＳＤＧｓ発展３ 全学教養ゼミナール１ 全学教養ゼミナール２	1② 1③ 1④ 1①～② 1③～④	1 1 1 2 2	1 1 1 1 1	武蔵野大学 経済学部 教授 (平29.4)	
26	兼担	教授	ｶﾐﾊﾞﾔｼ ﾉﾘﾕｷ 上林　憲行 〈令和3年4月〉		工学博士		メディアリテラシー 情報技法発展Ｂ 人工知能技術と社会 サービスデザイン 人工知能実践プロジェクト	1④ 2①・② 2③・④ 2③・④ 3①～④	1 2 2 2 2	1 2 2 2 1	武蔵野大学 ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 教授 (平30.4)	
27	兼担	教授	ｽｶﾞﾜﾗ ｶﾂﾔ 菅原　克也 〈令和3年4月〉		文学修士※		ＳＤＧｓ基礎 ＳＤＧｓ発展１ ＳＤＧｓ発展２ ＳＤＧｓ発展３	1① 1② 1③ 1④	1 1 1 1	1 1 1 1	武蔵野大学 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学部 教授 (平31.4)	
28	兼担	教授	ﾂﾁﾔ ｼﾉﾌﾞ 土屋　忍 〈令和4年4月〉		博士(文学)		企業協働プロジェクト	2①～④	2	1	武蔵野大学 文学部 教授 (平16.4)	
29	兼担	教授	ﾅｶﾞｲ　ﾅｵﾐ 永井　尚美 〈令和3年4月〉		博士(薬学)		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 教授 (平29.4)	
30	兼担	教授	ﾋﾛﾔ　ｺｳ 廣谷　功 〈令和3年4月〉		薬学博士		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.8	1	武蔵野大学 薬学部 教授 (平23.4)	
31	兼担	教授	ﾐﾊﾗ　ｷﾖｼ 三原　潔 〈令和3年4月〉		博士(薬学)		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 教授 (平18.4)	
32	兼担	教授	ﾑﾛｲ　ﾏｻｼ 室井　正志 〈令和3年4月〉		薬学博士		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 教授 (平21.4)	
33	兼担	教授	ﾔﾏｼﾀ　ﾅｵﾐ 山下　直美 〈令和3年4月〉		医学博士		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 教授 (平17.4)	

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　員　の　氏　名　等

（アントレプレナーシップ学部　アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
34	兼担	教授	ﾔﾏﾀﾞ ﾋﾄｼ 山田　均 〈令和3年4月〉		博士(文学)		フィールド・スタディーズ フィールド・スタディーズ１ フィールド・スタディーズ２ フィールド・スタディーズ３ フィールド・スタディーズ４ フィールド・スタディーズ発展１Ａ フィールド・スタディーズ発展１Ｂ フィールド・スタディーズ発展１Ｃ フィールド・スタディーズ発展１Ｄ フィールド・スタディーズ発展２Ａ フィールド・スタディーズ発展２Ｂ フィールド・スタディーズ発展２Ｃ フィールド・スタディーズ発展２Ｄ フィールド・スタディーズ発展２Ｅ フィールド・スタディーズ発展３Ａ フィールド・スタディーズ発展３Ｂ フィールド・スタディーズ発展３Ｃ フィールド・スタディーズ発展３Ｄ フィールド・スタディーズ発展３Ｅ フィールド・スタディーズ発展４Ａ フィールド・スタディーズ発展４Ｂ フィールド・スタディーズ発展４Ｃ フィールド・スタディーズ発展４Ｄ インターンシップ	1①～④ 1①～④ 1①～④ 1①～④ 1①～④ 1①～④ 1①～④ 1①～④ 1①～④ 2①～④ 2①～④ 2①～④ 2①～④ 2①～④ 3①～④ 3①～④ 3①～④ 3①～④ 3①～④ 3①～④ 4①～④ 4①～④ 4①～④ 4①～④ 2①～④	1 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 1 2 3 4 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	武蔵野大学 経営学部 教授 (平30.4)	
35	兼担	教授	ﾜﾀﾅﾍﾞ ｻﾄｼ 渡部　訓 〈令和4年4月〉		博士(経営学)		証券ビジネス論	2③～④	2	1	武蔵野大学 経営学部 教授 (平22.4)	
36	兼担	教授	ﾜﾀﾅﾍﾞ ﾖｼﾌﾐ 渡辺　恵史 〈令和3年4月〉		薬学博士		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 教授 (平16.4)	
37	兼担	教授	ﾊﾔｼ ｺｳｲﾁ 林　浩一 〈令和4年4月〉		博士(工学)		情報技法発展Ａ	2①・②	2	2	武蔵野大学 データサイエンス学部 教授 (令2.4)	
38	兼担	准教授	ｵｳﾐ ﾄｼﾋﾛ 碧海　寿広 〈令和3年4月〉		博士(社会学)		日本事情	1①～②	2	1	武蔵野大学 文学部 准教授 (平31.4)	
39	兼担	准教授	ｺﾞﾄｳ ｱﾗﾀ 後藤　新 〈令和4年4月〉		修士(法学)※		企業協働プロジェクト 未来型都市とメディア	2①～④ 2③～④	2 2	1 1	武蔵野大学 法学部 准教授 (平26.4)	
40	兼担	准教授	ﾀｶｵ　ﾖｼﾋﾛ 髙尾　良洋 〈令和3年4月〉		薬学士		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 准教授 (平29.4)	
41	兼担	准教授	ﾄｳｺﾞｳ ﾕﾀｶ 東郷　裕 〈令和3年4月〉		修士(文学)※		英語基礎Ａ 英語基礎Ｃ 英語綜合Ａ 英語綜合Ｂ 英語資格・検定試験対策１ 英語資格・検定試験対策２ 留学準備１ 留学準備２	1①～② 1③～④ 3①～② 3③～④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①～②・③～④ 1①～②・③～④	2 2 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1 2 2 1 1	武蔵野大学 経済学部 准教授 (平29.4)	
42	兼担	准教授	ﾅｶﾑﾗ　ﾀｷﾙ 中村　太戯留 〈令和3年4月〉		博士(政策メディア)		データサイエンス基礎 人工知能基礎 情報技法基礎 情報技法発展Ｃ 人工知能実践プロジェクト	1① 1② 1③ 2①・② 3①～④	1 1 1 2 2	1 1 1 2 1	武蔵野大学 ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 准教授 (平31.1)	
43	兼担	准教授	ﾆｲｻｸ ﾖｼｱｷ 新作　慶明 〈令和4年4月〉		博士(文学)		企業協働プロジェクト	2①～④	2	1	武蔵野大学 経営学部 准教授 (平27.4)	
44	兼担	准教授	ﾏﾅｶ ﾜｶｴ 間中　和歌江 〈令和3年4月〉		文学修士		英語資格・検定試験対策１ 英語資格・検定試験対策２ 留学準備１ 留学準備２	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①～②・③～④ 1①～②・③～④	2 2 1 1	2 2 1 1	武蔵野大学 人間科学部 准教授 (平28.4)	
45	兼担	准教授	ﾜﾀﾅﾍﾞ ﾉﾘﾌﾐ 渡邊　紀文 〈令和3年4月〉		博士(政策メディア)		プログラミング基礎 プログラミング発展Ａ プログラミング発展Ｂ 機械学習活用１ 機械学習活用２ 人工知能実践プロジェクト	1④ 2①・② 2①・② 2③・④ 2③・④ 3①～④	1 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 1	武蔵野大学 ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 准教授 (平31.1)	
46	兼担	准教授	ﾜﾀﾅﾍﾞ ﾋﾛｼ 渡部　博志 〈令和4年4月〉		修士(経営学)※		ＳＤＧｓ特講 企業協働プロジェクト	3①～② 2①～④	2 2	1 1	武蔵野大学 経営学部 准教授 (平23.4)	
47	兼担	講師	ｶﾀｶﾞﾜ　ｶｽﾞｱｷ 片川　和明 〈令和3年4月〉		博士(薬学)		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 講師 (平22.4)	

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（アントレプレナーシップ学部　アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
48	兼担	講師	ｾﾞﾝｹ　ｺｳｽｹ 善家　孝介 〈令和3年4月〉		Doctor of Science (理学博士) 【大韓民国】		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 講師 (平28.6)	
49	兼担	講師	ﾅｶﾞｵ ｼｹﾞｷ 長尾　重輝 〈令和4年4月〉		修士(文学)※		企業協働プロジェクト	2①～④	2	1	武蔵野大学 文学部 講師 (平26.4)	
50	兼担	講師	ﾅｶﾑﾗ ｱﾔｺ 中村　絢子 〈令和4年4月〉		Doctor of Philosophy(PhD) in Politics (Exeter) 【英国】		未来型都市とメディア	2③～④	2	1	武蔵野大学 法学部 講師 (平27.9)	
51	兼担	講師	ﾅｶﾑﾗ ﾂﾖｼ 中村　剛 〈令和3年4月〉		修士(コーチ学)		スポーツと身体科学 フィールド・スポーツ	1①～② 2①～④	1 1	1 1	武蔵野大学 教育学部 講師 (平19.4)	
52	兼担	講師	ﾊｯﾄﾘ　ﾕｳｽｹ 服部　祐介 〈令和3年4月〉		博士(学術)		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 講師 (平22.4)	
53	兼担	講師	ﾋﾗﾀ ｼｭｳ 平田　秀 〈令和3年4月〉		博士(文学)		日本語基礎Ａ 日本語基礎Ｂ 日本語基礎Ｃ 日本語基礎Ｄ 日本語発展Ａ 日本語発展Ｂ 日本語発展Ｃ 日本語発展Ｄ	1① 1② 1③ 1④ 2① 2② 2③ 2④	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	武蔵野大学 グローバル学部 講師 (令2.1)	
54	兼担	助教	ｲｼｲ　ﾏｻｷ 石井　雅樹 〈令和3年4月〉		博士(薬学)		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 助教 (平30.4)	
55	兼担	助教	ｴﾝｻﾞｷ　ﾕｳｷ 圓崎 祐貴 〈令和4年4月〉		博士(工学)		メディアデザイン	2③・④	2	2	武蔵野大学 ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 助教 (令2.4)	
56	兼担	助教	ｵｶﾀﾞ　ﾘｮｳﾀﾛｳ 岡田　龍太郎 〈令和4年4月〉		博士(工学)		データサイエンス活用１ データサイエンス活用２	2③・④ 2③・④	2 2	2 2	武蔵野大学 ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学部 助教 (令2.4)	
57	兼担	助教	ﾔﾏｷﾞｼ　ﾖｼｱｷ 山岸　喜彰 〈令和3年4月〉		博士(薬学)		武蔵野市自由講座※	1③～④	0.1	1	武蔵野大学 薬学部 助教 (平29.4)	
58	兼任	講師	ｱﾗｷ　ﾋﾛﾕｷ 荒木　博行 〈令和3年4月〉		学士 (法学)		クリティカルシンキング基礎 クリティカルシンキング１	1①～② 2①～②	2 2	1 1	株式会社フライヤー 取締役COO (平31.4)	
59	兼任	講師	ｲﾉｳｴ　ｼﾞｮｳ 井上　浄 〈令和3年4月〉		博士 (薬学)		科学技術と事業創造 プロジェクト基礎Ｂ プロジェクト基礎Ｃ ゼミナール２ ゼミナール５	2･3･4②・④ 1③ 1④ 3①～② 4③～④	2 2 2 2 2	2 1 1 1 1	株式会社リバネス 代表取締役副社長CTO (平30.12)	
60	兼任	講師	ｳﾒﾀﾞ　ｻﾄｼ 梅田　悟司 〈令和4年4月〉		修士 (工学)		マーケティングＢ	2･3･4①・③	2	2	株式会社インクルージョン・ジャパン (平30.10)	
61	兼任	講師	ｵｶﾀﾞ　ｼｮｳｵ 岡田　庄生 〈令和4年4月〉		修士 (経営学)		マーケティング基礎 マーケティングＡ	1・2①・② 2･3･4②・④	1 1	1 1	株式会社博報堂 (平15.4)	
62	兼任	講師	ｵﾊﾞﾗ　ｶｽﾞﾋﾛ 尾原 和啓 〈令和4年4月〉		修士 (工学)		アフターデジタルの課題解決	2③	1	1	藤原投資顧問株式会社 (平29.6)	
63	兼任	講師	ｻｲﾄｳ　ﾘｭｳｼﾞ 齋藤　隆次 〈令和5年4月〉		経営学修士 (専門職)		倫理観２ グローバルマネジメント	3① 3･4②・④	1 1	1 1	元　株式会社ヤマシタコーポレーション 経営企画室長 (平30.10まで)	
64	兼任	講師	ﾌｼﾞﾊﾗ　ｶｽﾞﾋﾛ 藤原　和博 〈令和3年4月〉		経済学士		情報編集力	1②	1	1	元　奈良市立一条高等学校校長 (平30.3まで)	
65	兼任	講師	ﾏｴﾉ ﾀｶｼ 前野　隆司 〈令和4年4月〉		博士(工学)		幸福学	2③	1	1	慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科　教授 (平7.4)	
66	兼任	講師	ﾑﾗｶﾐ　ｼﾝ 村上　臣 〈令和3年4月〉		学士(理学)		インターネットビジネス基礎	1②	1	1	リンクトイン・ジャパン株式会社 (平29.11)	

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　員　の　氏　名　等

（アントレプレナーシップ学部　アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
67	兼任	講師	ﾓﾄﾀﾞ ｳﾘｮｳ 元田　宇亮 〈令和5年4月〉		学士(経済学)		ファイナンスＢ	3･4①・③	2	2	READYFOR株式会社 取締役 (平27.9)	
68	兼任	講師	ﾖｼﾀﾞ ﾕｳﾄ 吉田　雄人 〈令和4年4月〉		修士 (政治学)		政治と社会	2･3･4①・③	2	2	Glocal Government Relationz株式会社 代表取締役 (平29.7)	
69	兼任	講師	ｱｵｷ ﾁｬｰﾘﾝ 青木　佳伶 〈令和3年4月〉		修士(印度哲学仏教学)		中国語基礎１ 中国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
70	兼任	講師	ｱｵﾊﾞ ﾏｷ 青葉　真紀 〈令和3年4月〉		修士(体育学)		スポーツと身体科学	1①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平29.4)	
71	兼任	講師	ｱｷﾊﾞ ﾊﾙﾐ 秋庭　はるみ 〈令和4年4月〉		環境学博士		英語発展Ｂ	2①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平27.4)	
72	兼任	講師	ｱｷﾓﾄ ｶｽﾞﾐ 秋元　和美 〈令和3年4月〉		修士(文学)		ドイツ語基礎１ ドイツ語基礎２ ドイツ語発展１	1①～② 1③～④ 2①～②	1 1 1	1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平6.4)	
73	兼任	講師	ｱﾗｲ ｹｲｺ 荒井　惠子 〈令和3年4月〉		修士(Master of Professional Studies TESOL 英語教授法)		英語基礎Ａ 英語基礎Ｃ	1①～② 1③～④	2 2	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平29.4)	
74	兼任	講師	ｲ ﾃﾑﾝ 李　泰文 〈令和3年4月〉		修士(文学･文化人類学)		韓国語基礎１ 韓国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平24.4)	
75	兼任	講師	ｲｲﾉ ｱﾂｼ 飯野　厚 〈令和3年4月〉		学術修士		英語基礎Ａ 英語基礎Ｃ	1①～② 1③～④	2 2	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
76	兼任	講師	ｲﾄｳ ｺｳｲﾁﾛｳ 伊藤　孝一郎 〈令和3年4月〉		修士(文学)、Master of Arts(English Literature) 【カナダ】※		英語基礎Ｂ 英語基礎Ｄ	1①～② １③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	
77	兼任	講師	ｲﾊﾗ ﾕｳｷ 伊原　佑樹 〈令和3年4月〉		修士(体育科学)		スポーツと身体科学	1①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平24.4)	
78	兼任	講師	ｳﾉ ｶｽﾞﾐ 宇野　和美 〈令和3年4月〉		修士(言語文学･教育学)		スペイン語基礎１	1①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
79	兼任	講師	ｵｲｶﾜ ｶｽﾞﾐ 及川　一美 〈令和3年4月〉		英文学修士		英語基礎Ｂ 英語基礎Ｄ	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
80	兼任	講師	ｵｵｸﾎﾞ ﾋﾛﾕｷ 大久保　寛之 〈令和3年4月〉		修士(健康ｽﾎﾟｰﾂ) 修士(ｽﾎﾟｰﾂ医学)		スポーツと身体科学	1①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平27.4)	
81	兼任	講師	ｵｸﾎﾞｳ ﾐﾂｺ 奥坊　光子 〈令和4年4月〉		文学修士(英語学)		英語発展Ａ 英語発展Ｃ	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
82	兼任	講師	ｵｸﾞﾏ ﾃｲｺ 小熊　貞子 〈令和3年4月〉		修士(学術)		日本語リテラシー	1④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
83	兼任	講師	ｵﾉ ｱﾔｺ 小野　綾子 〈令和3年4月〉		博士(文学)		日本語基礎Ａ 日本語基礎Ｂ 日本語基礎Ｃ 日本語基礎Ｄ	1① 1② 1③ 1④	1 1 1 1	1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
84	兼任	講師	ｶｷﾞﾔ ﾕｳｽｹ 鍵谷　優介 〈令和3年4月〉		修士(文学)※		ドイツ語基礎１ ドイツ語発展１ ドイツ語発展２	1①～② 2①～② 2③～④	1 1 1	1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	
85	兼任	講師	ｶｹﾞﾔﾏ ﾅｵﾐ 影山　なおみ 〈令和3年4月〉		修士(文学科学)※		英語基礎Ａ 英語基礎Ｂ 英語基礎Ｃ 英語基礎Ｄ	1①～② 1①～② 1③～④ 1③～④	2 1 2 1	1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
86	兼任	講師	ｶｻﾊﾗ ｼﾝｲﾁﾛｳ 笠原　慎一朗 〈令和3年4月〉		人文学修士		英語基礎Ｂ 英語基礎Ｄ	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平29.4)	

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　員　の　氏　名　等

（アントレプレナーシップ学部　アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
87	兼任	講師	カシワギ ノリコ 柏木　典子 〈令和4年4月〉		修士(外国語)		スペイン語発展１ スペイン語発展２	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平18.6)	
88	兼任	講師	キム ヒョンス 金　鉉洙 〈令和3年4月〉		修士(学術)		韓国語基礎１ 韓国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
89	兼任	講師	グ ヨンファ 具　軟和 〈令和3年4月〉		修士(文化科学/日本・アジア研究)		韓国語基礎１ 韓国語発展２	1①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平24.4)	
90	兼任	講師	クドウ キエ 工藤　貴恵 〈令和3年4月〉		修士(文学)		英語基礎Ｂ 英語基礎Ｄ 英語綜合Ａ 英語綜合Ｂ	1①～② 1③～④ 3①～② 3③～④	1 1 1 1	1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平24.4)	
91	兼任	講師	クラモチ マスコ 倉持　益子 〈令和3年4月〉		応用言語学博士		日本語基礎Ａ 日本語基礎Ｂ 日本語基礎Ｃ 日本語基礎Ｄ 日本語発展Ａ 日本語発展Ｂ 日本語発展Ｃ 日本語発展Ｄ	1① 1② 1③ 1④ 2① 2② 2③ 2④	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
92	兼任	講師	クロサキ シノ 黒崎　紫乃 〈令和3年4月〉		博士(応用言語学)		英語基礎Ｃ	1③～④	2	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平29.4)	
93	兼任	講師	クワノ サチコ 桑野　幸子 〈令和3年4月〉		修士(日本語日本文学)		日本語リテラシー	1④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
94	兼任	講師	コタジマ アヤコ 古田島　綾子 〈令和4年4月〉		文学修士		英語発展Ｂ 英語発展Ｄ	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
95	兼任	講師	コタニ ナツコ 小谷　奈津子 〈令和3年4月〉		修士(仏文学)		フランス語基礎２ フランス語発展２	1③～④ 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
96	兼任	講師	サカイ ナオ 坂井　菜緒 〈令和3年4月〉		修士(人文学)		日本語リテラシー	1④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平15.4)	
97	兼任	講師	サカグチ ケイ 阪口　慧 〈令和3年4月〉		修士(学術)		英語基礎Ｂ 英語基礎Ｄ	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	
98	兼任	講師	サクマ ヤスヒコ 佐久間　保彦 〈令和3年4月〉		Doktor der Philosophie 【ドイツ】		日本語リテラシー	1④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
99	兼任	講師	シオヤ サチコ 塩谷　幸子 〈令和5年4月〉		修士(英文学)※		英語綜合Ａ 英語綜合Ｂ	3①～② 3③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
100	兼任	講師	シ トウヨウ 史　東陽 〈令和4年4月〉		修士(言語学)※		中国語発展１	2①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平29.4)	
101	兼任	講師	シム ミンギュ 沈　民珪 〈令和3年4月〉		博士(文化政策学)		韓国語基礎１ 韓国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平24.4)	
102	兼任	講師	シュ ゲイキ 朱　芸綺 〈令和3年4月〉		修士(学術)		中国語基礎１ 中国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
103	兼任	講師	シュン トウ 荀　涛 〈令和3年4月〉		教育学修士※		中国語基礎１ 中国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平25.4)	
104	兼任	講師	タナカ タイチ 田中　太一 〈令和3年4月〉		修士(文学)		日本語基礎Ａ 日本語基礎Ｂ 日本語基礎Ｃ 日本語基礎Ｄ 日本語発展Ａ 日本語発展Ｂ 日本語発展Ｃ 日本語発展Ｄ	1① 1② 1③ 1④ 2① 2② 2③ 2④	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（アントレプレナーシップ学部　アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
105	兼任	講師	ﾀﾑﾗ ﾏｻｱｷ 田村　雅昭 〈令和3年4月〉		学士(経済学)		英語基礎Ａ 英語基礎Ｃ 英語発展Ｂ 英語発展Ｄ	1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	2 2 1 1	1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平13.4)	
106	兼任	講師	ﾁｮﾝ ｼﾞｬﾝﾌﾝ 鄭　長勲 〈令和3年4月〉		修士(学術)		韓国語基礎１ 韓国語発展１	1①～② 2①～②	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平15.4)	
107	兼任	講師	ﾁﾝ ﾀﾂﾒｲ 陳　達明 〈令和3年4月〉		博士(文学)		中国語基礎１ 中国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
108	兼任	講師	ﾂﾁﾔ ﾘｮｳ 土屋　亮 〈令和3年4月〉		修士(文学)※		スペイン語基礎１	1①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
109	兼任	講師	ﾃﾞｲﾋﾞｯﾄﾞ･ｱﾚｸｻﾝﾀﾞｰ･ﾏｯｸﾆｰﾙ David Alexander McNEILL 〈令和4年4月〉		Ph.D. in film, photography and television 【英国】		英語発展Ａ	2①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
110	兼任	講師	ﾃﾗｻｶ ﾕﾐ 寺坂　有美 〈令和3年4月〉		修士(文学)		英語基礎Ａ 英語基礎Ｃ	1①～② 1③～④	2 2	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平14.4)	
111	兼任	講師	ﾃﾘｰ Ｌ ｳｨﾙｿﾝ Terry L. Wilson 〈令和4年4月〉		修士(MBA経営学・神学/人文学フォーカス) 【豪州】		英語発展Ａ 英語綜合Ａ	2①～② 3①～②	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
112	兼任	講師	ﾄﾔ ﾋﾛﾐ 戸谷　比呂美 〈令和4年4月〉		文学士		英語発展Ｂ 英語発展Ｄ	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平18.4)	
113	兼任	講師	ﾅｶﾑﾗ ｼｹﾞﾎ 中村　重穂 〈令和3年4月〉		博士(哲学)※		日本語基礎Ａ 日本語基礎Ｂ 日本語基礎Ｃ 日本語基礎Ｄ 日本語発展Ａ 日本語発展Ｂ 日本語発展Ｃ 日本語発展Ｄ	1① 1② 1③ 1④ 2① 2② 2③ 2④	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
114	兼任	講師	ﾅｼﾓﾄ ｷｼｺ 梨本　貴志子 〈令和4年4月〉		学士(文学)		英語発展Ａ 英語発展Ｂ 英語発展Ｃ 英語発展Ｄ	2①～② 2①～② 2③～④ 2③～④	1 1 1 1	1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平13.4)	
115	兼任	講師	ﾆｼﾀﾞ ﾖｼｺ 西田　佳子 〈令和5年4月〉		文学士		英語綜合Ａ 英語綜合Ｂ	3①～② 3③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
116	兼任	講師	ﾊｾｶﾞﾜ ﾀｶｺ 長谷川　孝子 〈令和3年4月〉		Master of Applied Japanese Linguistics【豪州】		日本語基礎Ａ 日本語基礎Ｂ 日本語基礎Ｃ 日本語基礎Ｄ	1① 1② 1③ 1④	1 1 1 1	1 1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	
117	兼任	講師	ﾊｾｶﾞﾜ ﾋﾃﾞｺ 長谷川　秀子 〈令和3年4月〉		M.A. TESOL 【英国】		英語基礎Ｂ 英語基礎Ｄ	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平10.4)	
118	兼任	講師	ﾊﾗﾀﾞ ﾐﾎ 原田　美穂 〈令和4年4月〉		MA in Literature 【米国】		英語発展Ａ 英語発展Ｃ	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平22.4)	
119	兼任	講師	ﾊﾝﾀﾞ ｴﾐ 半田　恵美 〈令和3年4月〉		修士(文学)		英語基礎Ｂ 英語基礎Ｄ	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平16.9)	
120	兼任	講師	ﾌｼﾞｲ ﾚｲﾅ 藤井　礼奈 〈令和3年4月〉		修士(地域研究)※		スペイン語基礎１ スペイン語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	
121	兼任	講師	ﾌｼﾞｶﾜ ﾄﾓｺ 藤川　智子 〈令和3年4月〉		修士(文学)		韓国語基礎２	1③～④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平18.4)	
122	兼任	講師	ﾌﾞﾌ ｽﾃﾌｧﾝ Boeuf Stephane 〈令和4年4月〉		博士(生物学)		英語発展Ｃ	2③～④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平29.7)	
123	兼任	講師	ﾎｾ ｵﾘｵﾙ ｾｸﾞ ｽﾋﾞﾗ Jose Oriol Segu Subira 〈令和3年4月〉		Doctorado en linguistica aplicada a la ensenanza del espanol como lengua extranjera 【スペイン】		スペイン語基礎２	1③～④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平31.4)	

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　員　の　氏　名　等

（アントレプレナーシップ学部　アントレプレナーシップ学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均　日　数
124	兼任	講師	ホソヤ ジュンコ 細谷　順子 〈令和4年4月〉		Master of Arts in Applied Linguistics、Master of Education in Applied Linguistics 【米国】		英語発展Ｂ 英語発展Ｄ	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	
125	兼任	講師	ホヤ トモコ 保谷　朋子 〈令和3年4月〉		博士(文学)※		英語基礎Ａ	1①～②	2	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平27.4)	
126	兼任	講師	マツモト ヒデシ 松本　秀士 〈令和3年4月〉		博士(比較文明学)		中国語基礎１ 中国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
127	兼任	講師	マルヤマ マサユキ 丸山　真幸 〈令和3年4月〉		博士(芸術)		フランス語基礎１ フランス語基礎２ フランス語発展１	1①～② 1③～④ 2①～②	1 1 1	1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.6)	
128	兼任	講師	ミヤセ マリ 宮瀬　真理 〈令和3年4月〉		修士(言語文化学)		日本語リテラシー	1④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
129	兼任	講師	モリ シンタロウ 森　真太郎 〈令和3年4月〉		修士(文学)		フランス語基礎１ フランス語発展１ フランス語発展２	1①～② 2①～② 2③～④	1 1 1	1 1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
130	兼任	講師	モリ マサシ 森　和 〈令和4年4月〉		博士(文学)		中国語発展１	2①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
131	兼任	講師	ヤマモト エミリ 山本　恵弥里 〈令和3年4月〉		修士(体育学)※		スポーツと身体科学	1①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平24.4)	
132	兼任	講師	ヤマモト カツラ 山本　桂 〈令和3年4月〉		学術修士		英語基礎Ｃ	1③～④	2	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	
133	兼任	講師	ヤマベ マリコ 山辺　真理子 〈令和3年4月〉		修士(文学)		日本語リテラシー	1④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平15.9)	
134	兼任	講師	ヨコタ マリコ 横田　まり子 〈令和4年4月〉		文学修士		英語発展Ａ 英語発展Ｃ	2①～② 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平30.4)	
135	兼任	講師	ヨシダ アキラ 吉田　明 〈令和3年4月〉		修士(マネジメント)		スポーツと身体科学	1①～②	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	
136	兼任	講師	リュウ コウ 劉　紅 〈令和3年4月〉		修士(日本文学・国際関係論)※		中国語基礎１ 中国語基礎２	1①～② 1③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平23.4)	
137	兼任	講師	リョ ショウエン 呂　小燕 〈令和4年4月〉		修士(文学)※		中国語発展２	2③～④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平19.6)	
138	兼任	講師	ロドリゲス ベニト,マリア・デ・ラス・ニエベス Rodriguez Benito,Maria de las Nieves 〈令和3年4月〉		FORMACIÓN DE PROFESORES DE ESPAÑOL COMO LENGUA EXTRANJERA 【スペイン】		スペイン語基礎２	1③～④	1	1	武蔵野大学 非常勤講師 (平27.4)	
139	兼任	講師	ワカマツ ノリコ 若松　宣子 〈令和3年4月〉		博士(ドイツ文学)		ドイツ語基礎２ ドイツ語発展２	1③～④ 2③～④	1 1	1 1	武蔵野大学 非常勤講師 (平28.4)	

別記様式第３号（その３）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	人	1　人	人	人	1　人	
	修　士	人	人	4　人	4　人	人	人	人	8　人	
	学　士	人	1　人	2　人	4　人	1　人	人	人	8　人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	0　人	
	その他	人	人	1　人	1　人	人	人	人	2　人	
准教授	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	人	人	1　人	人	人	1　人	
	修　士	人	人	4　人	4　人	人	人	人	8　人	
	学　士	人	1　人	2　人	4　人	1　人	人	人	8　人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	0　人	
	その他	人	人	1　人	1　人	人	人	人	2　人	